札幌市子育て世帯を対象としたニーズ等調査

報告書

平成 31 年 3 月

札幌市

目　次

Ⅰ．調査の概要

１．調査の目的 Ⅰ-1
２．実施内容 Ⅰ-1

Ⅱ．就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査

１．調査の概要 Ⅱ-1
２．調査結果
　Ａ．子どもと家族の状況 Ⅱ-2
　Ｂ．子どもの育ちをめぐる環境 Ⅱ-8
　Ｃ．保護者の就労状況 Ⅱ-17
　Ｄ．平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 Ⅱ-31
　Ｅ．土日祝日、長期休暇中の「教育・保育事業」の利用希望 Ⅱ-43
　Ｆ．「教育・保育事業」の利用にあたって重視すること Ⅱ-47
　Ｇ．子どもが病気・ケガの際の対応 Ⅱ-49
　Ｈ．不定期の教育・保育事業、宿泊を伴う一時預かり等の利用 Ⅱ-52
　Ｉ．地域の子育て支援事業の利用状況 Ⅱ-58
　Ｊ．小学校就学後の放課後の過ごし方 Ⅱ-63
　Ｋ．妊娠・出産、育児休業や短時間勤務制度 Ⅱ-80
　Ｌ．子育て支援施策に関するご意見・ご要望 Ⅱ-94

Ⅲ．放課後児童クラブ利用世帯を対象としたニーズ調査

１．調査の概要 Ⅲ-1
２．調査結果
　Ａ．通っている施設・通っている学年 Ⅲ-1
　Ｂ．父母の就労状況 Ⅲ-4
　Ｃ．子どもの放課後の状況 Ⅲ-11
　Ｄ．児童クラブを利用している理由・満足度 Ⅲ-19
　Ｅ．児童クラブ退会の判断基準 Ⅲ-22
　Ｆ．今後、児童クラブに望むこと Ⅲ-23
　Ｇ．児童クラブの開設時間 Ⅲ-25
　Ｈ．児童クラブの利用意向 Ⅲ-27
　Ｉ．児童クラブや児童会館・ミニ児童会館に関するご意見・ご要望 Ⅲ-30

Ⅳ．就学前児童の保護者へのグループヒアリング調査

１．調査の概要 Ⅳ-1
２．グループヒアリング風景 Ⅳ-3
３．ヒアリング設問シート Ⅳ-4
４．グループヒアリング調査結果の概要 Ⅳ-6
５．グループヒアリング全回答結果 Ⅳ-9

Ⅴ．子育て支援者へのグループヒアリング調査

１．調査の概要 Ⅴ-1
２．グループヒアリング風景 Ⅴ-3
３．ヒアリング設問シート Ⅴ-4
４．グループヒアリング調査結果の概要 Ⅴ-6
５．グループヒアリング全回答結果 Ⅴ-9

Ⅵ．先進事例調査

１．調査の視点 Ⅴ-1
２．先進事例調査結果
　Ａ．わこう版ネウボラ（和光市） Ⅵ-2
　Ｂ．0123 吉祥寺、0123 はらっぱ（武蔵野市） Ⅵ-5
　Ｃ．ろくごう病児保育室（東京都大田区） Ⅵ-9
　Ｄ．スマートフォンアプリによる病児保育の空き状況の情報提供（堺市） Ⅵ-11
　Ｅ．イキメン研究所（川崎市） Ⅵ-13

資料編

１．就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査 調査票 資-1
２．放課後児童クラブ利用世帯を対象としたニーズ調査 調査票
　（児童会館・ミニ児童会館利用者向け） 資-28
３．　〃　（民間児童育成会・届出事業所向け） 資-32

Ⅰ．調査の概要

１．調査の目的

札幌市では子ども・子育て支援法に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」を包含する「新・さっぽろ子ども未来プラン」（計画期間：平成 27 年度～平成 31 年度）を平成 27 年 3 月に策定し、当該事業計画に基づき、教育・保育サービスの提供体制の拡充を進めている。

この度、「新・さっぽろ子ども未来プラン」の計画期間が終了する 2020 年度以降のプランの策定に当たり、市民の教育・保育ニーズと札幌市における子育て支援の課題を抽出するとともに、参考となる先進事例を抽出することで同プランの改定に向けた基礎データを収集することを目的として本調査を実施した。

２．実施内容

（１）就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査

○事業計画策定の基礎データとして、就学前児童のいる世帯の子育てに関する生活実態や潜在ニーズ等を把握するために、就学前児童（5 歳以下）の保護者に対して実施した。

○15,000 世帯に対して行い 6,116 件の回収を得た（回収率 40.8%）。

（２）放課後児童クラブ利用世帯を対象としたニーズ調査

○放課後児童クラブに関する基準策定の基礎データを得るため、児童クラブ又は民間児童育成会を利用中の世帯に対して実施した。

○児童クラブ利用者については、16,787 世帯に対して行い 7,593 件の回収を得た（回収率 45.2%）。民間児童育成会及び届け出事業所利用者については、1,213 世帯に対して行い 493 件の回収を得た（回収率 40.6%）。

（３）就学前児童の保護者へのグループヒアリング調査

○アンケート調査結果も踏まえ、就学前児童がいる世帯の保護者から、子育てに関する本音を引き出すことを目的として実施した。

○就学前児童がいる世帯の保護者（父母）計 49 名の参加により行った。

（４）子育て支援者へのグループヒアリング調査

○アンケート調査結果も踏まえ、子育て支援事業の実施担当者から子育て支援の現場における本音を引き出すことを目的として実施した。

○保育所・幼稚園・児童会館等の現場スタッフ及び子育て支援を行っている市民活動団体関係者計 15 名の参加により行った。

（５）先進事例調査

○上記（1）～（4）の調査を踏まえて、札幌市における取組の参考になると考えられる事例について文献・ヒアリング調査を行った。

Ⅱ．就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査

１．調査の概要

（１）目的

事業計画策定の基礎データとして、就学前児童のいる世帯の子育てに関する生活実態や潜在ニーズ等を把握すること。

（２）調査対象と回収サンプル数：

○住民基本台帳から無作為に抽出した、就学前児童（5 歳以下）の保護者 15,000 人
○回収数：6,116 件（回収率 40.8%）

（３）調査手法：

郵送アンケート調査（郵送発送、郵送回収）。ウェブアンケートフォーム、E メールによる回答も受け付けた。

（４）調査期間：

平成 30 年 12 月 7 日（調査票発送）～平成 31 年 1 月 4 日（回収締切、当日消印有効）

調査結果の凡例

○＜SA＞ シングルアンサー（単一回答）
○＜MA＞ マルチアンサー（複数回答）
○＜1～3A＞選択肢を 1 つ～3 つまで選択可能
○＜IN＞ 数値記述回答
○N サンプル数

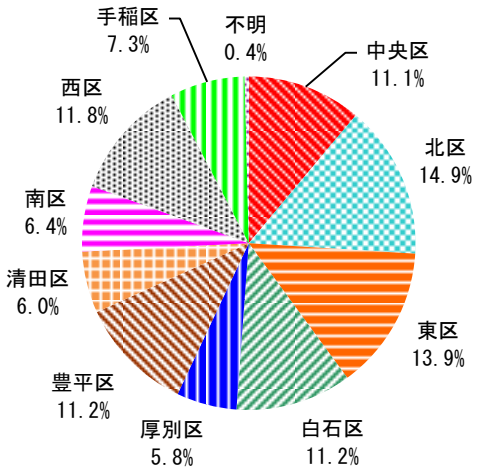
注記

○サンプル数 N は、注記のない限り、非該当者（その設問に答える必要のない方）を除いた数であるため、回収数以下になる。
○不明は、未回答（未記入）などで回答内容が不明であることを示す。
○割合は、原則としてシングルアンサー設問＜SA＞については回答不明者（未記入など）を含めて集計し、マルチアンサー設問＜MA＞は、回答不明者を除いて集計している。
○マルチアンサー設問＜MA＞では、表記の割合の合計は 100%を超える。
○シングルアンサー設問＜SA＞に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数点第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
○中間値とはデータを小さいものから順に並べた際にちょうど中間に来る値である（データが偶数個の際は中央 2 データの平均値をとる）。数値記述回答にて極端に値が大きいデータが存在する際、平均値はそれに大きく影響されてしまうため、中間値を平均値と合わせて表記している。（例：5 つのデータ「1,1,1,1,100」の平均値は 20.8、中間値は 1 となる）

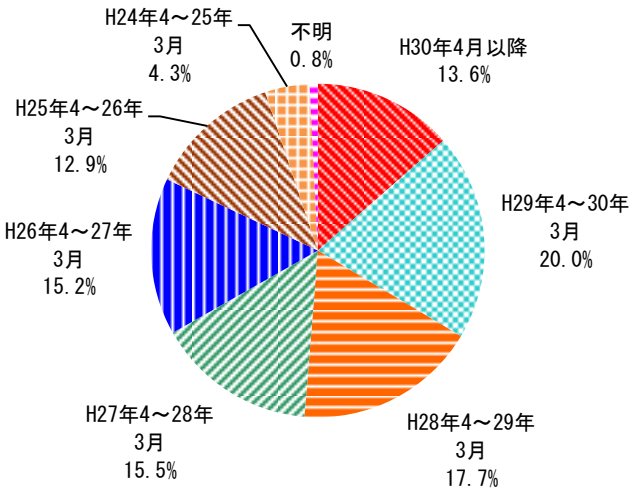
２．調査結果

A．子どもと家族の状況

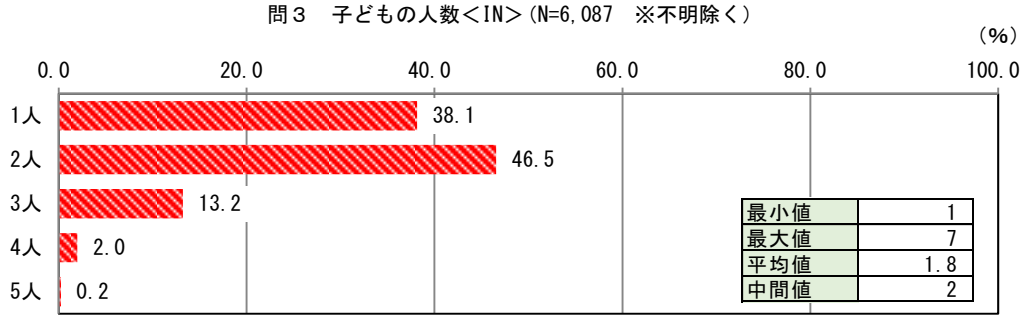
問１　居住区＜SA＞（N=6,116）



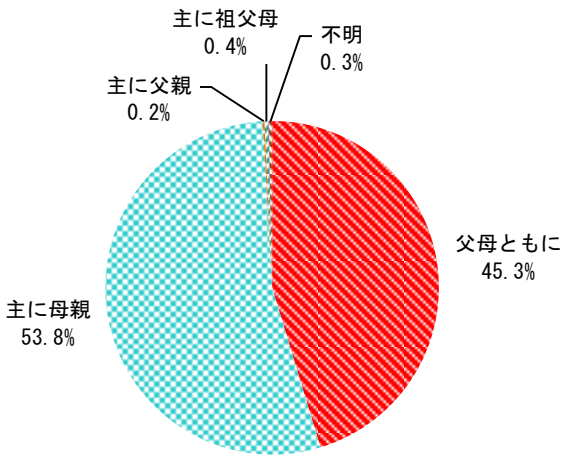
問２　宛名児童の生年月日＜SA＞（N=6,116）



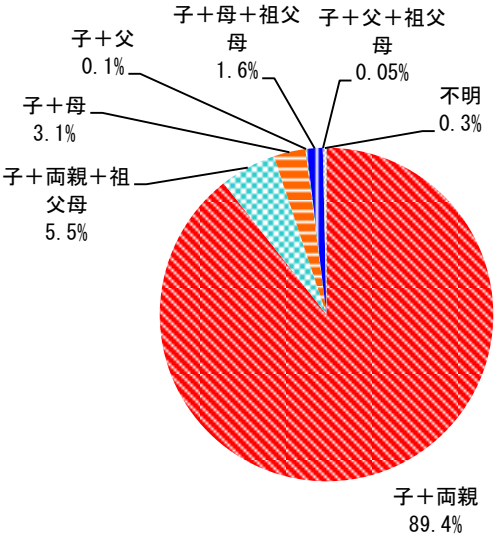
問３　子どもの人数＜IN＞(N=6,087　※不明除く)



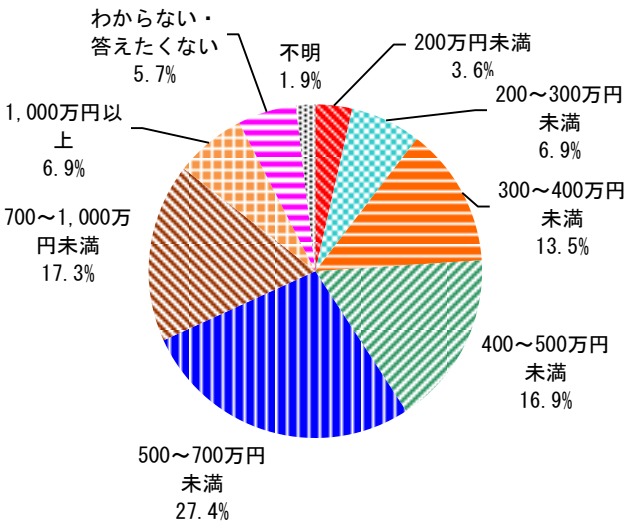
問５　子育ての主な担い手＜SA＞（N=6,116）



問４　世帯構成＜SA＞（N=6,116）



問６　世帯年収（税込）＜SA＞（N=6,116）



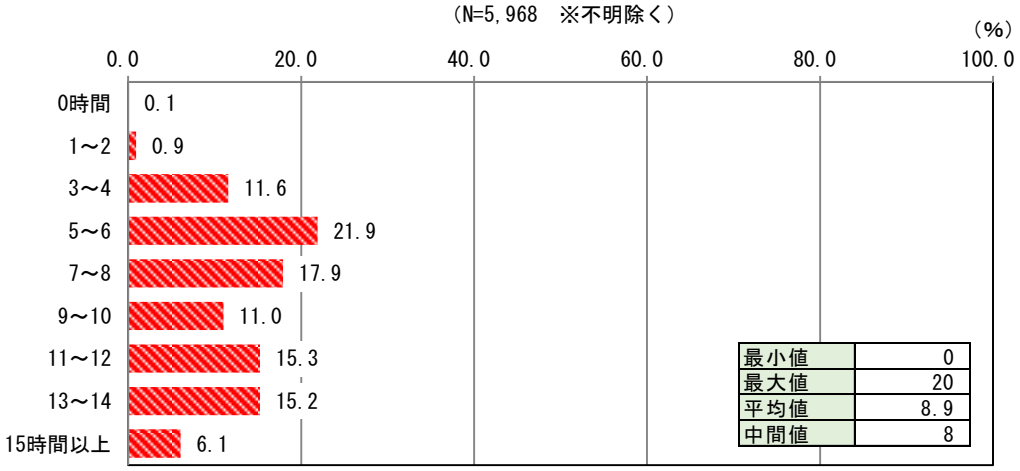
（クロス集計表）問６　世帯年収・各属性別＜SA＞

	N	200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000万円以上	わからない・答えたくない	不明
全体	6,116	3.6	6.9	13.5	16.9	27.4	17.3	6.9	5.7	1.9
問４　世帯構成										
お子さん＋ご両親(二世代世帯)	5,469	1.6	6.0	13.5	17.3	29.0	18.4	7.3	5.2	1.7
お子さん＋ご両親＋祖父母(三世代世帯)	335	4.5	10.1	17.0	18.8	22.1	14.9	5.4	6.0	1.2
お子さん＋母/父親(ひとり親・二世代世帯)	195	42.6	22.1	9.2	7.2	4.1	1.0	1.0	12.8	－
お子さん＋母/父親＋祖父母(ひとり親・三世代世帯)	98	34.7	12.2	11.2	7.1	6.1	3.1	3.1	19.4	3.1
問19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無										
利用している	3,509	4.2	6.0	11.7	16.4	26.1	20.0	8.5	5.2	1.9
利用していない	2,578	2.8	8.0	16.0	17.5	29.2	13.7	4.8	6.3	1.7
問19-1　定期的に利用している事業										
幼稚園（通常の就園時間の利用）	1,035	2.6	4.2	10.5	18.1	30.0	16.1	11.0	5.6	1.8
幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ）	213	3.8	2.3	11.3	20.2	28.2	14.6	13.1	3.3	3.3
認可保育所・公立保育所	1,403	5.2	6.5	11.8	15.3	23.4	23.5	7.6	4.8	1.9
認定こども園	573	3.0	6.6	10.1	17.5	29.7	20.9	4.5	5.4	2.3
家庭的保育事業（保育ママ）	6	16.7	－	33.3	－	33.3	16.7	－	－	－
小規模保育事業	87	4.6	10.3	19.5	20.7	23.0	16.1	2.3	3.4	－
事業所内保育事業（認可／認可外）	95	2.1	4.2	10.5	11.6	30.5	26.3	8.4	5.3	1.1
認可外保育施設	140	6.4	5.7	10.7	14.3	15.7	21.4	20.7	4.3	0.7
企業主導型保育事業	107	5.6	8.4	15.9	14.0	19.6	18.7	11.2	4.7	1.9
居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）	2	－	－	50.0	－	－	－	50.0	－	－
さっぽろ子育てサポートセンター	20	－	10.0	10.0	10.0	25.0	15.0	15.0	5.0	10.0
その他	94	7.4	10.6	13.8	19.1	23.4	8.5	5.3	7.4	4.3

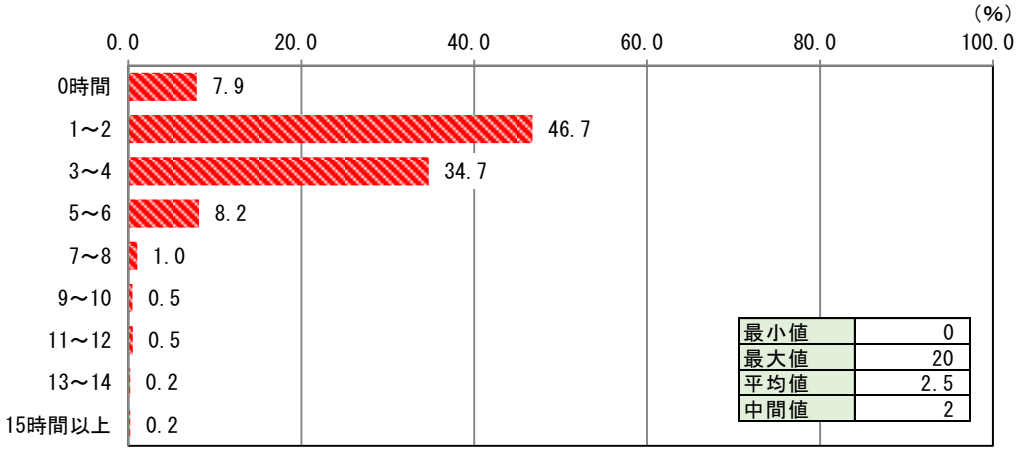
※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問７　母親が平日に子と一緒に過ごす時間」は平均で 8.9 時間であることに対して、「問７　父親が平日に子と一緒に過ごす時間」は平均で 2.5 時間にとどまっている。

問７　母親が平日に子と一緒に過ごす時間＜IN＞
（N=5,968　※不明除く）

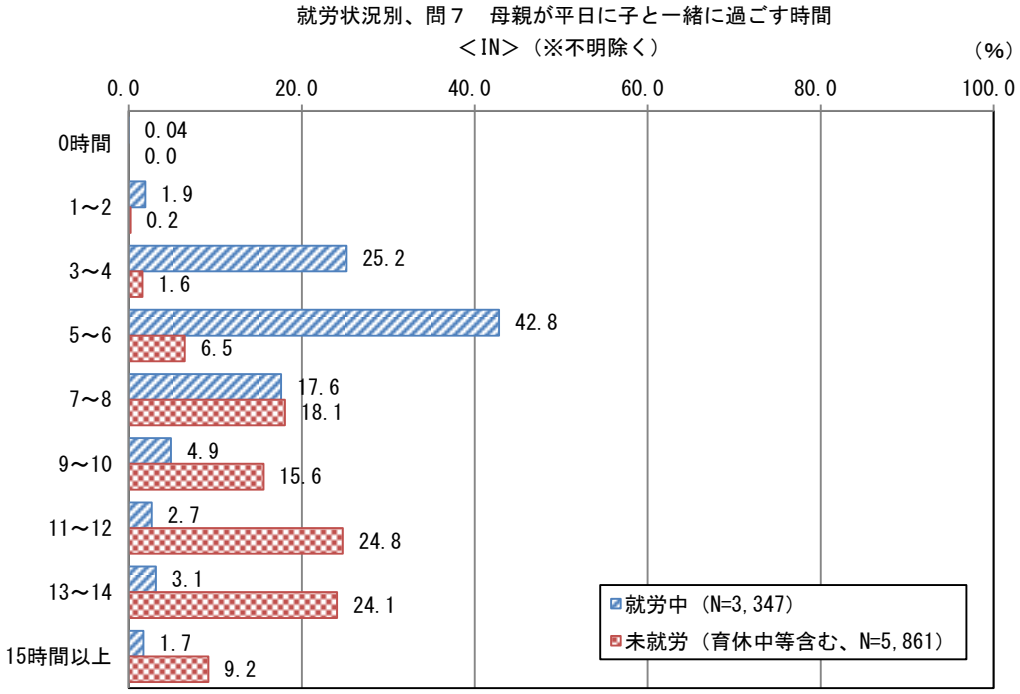


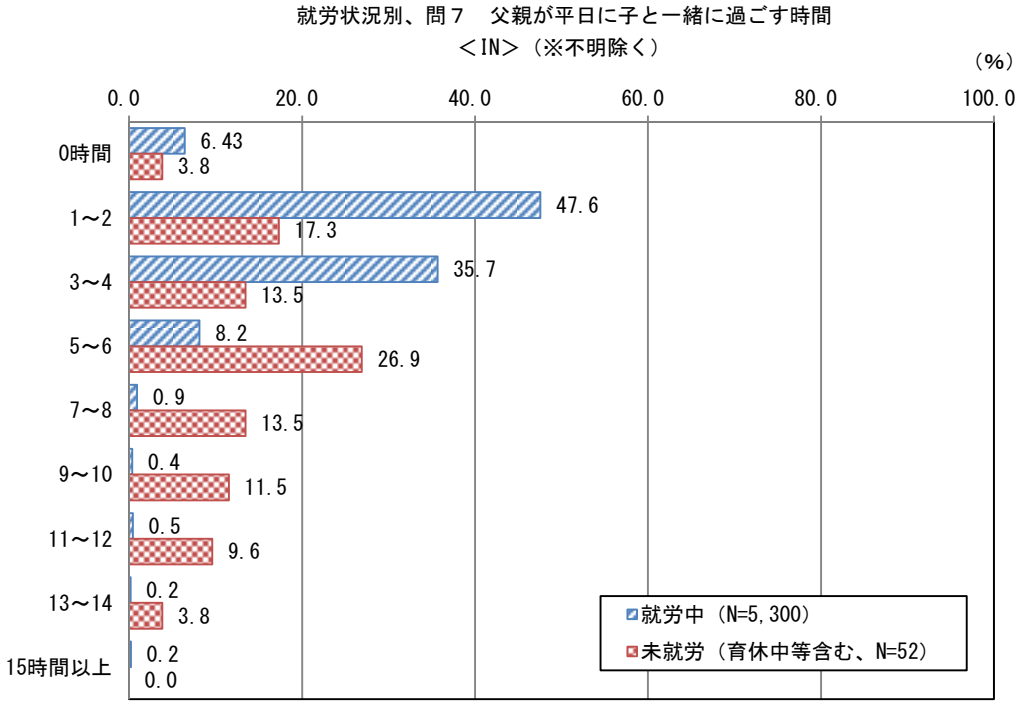
問７　父親が平日に子と一緒に過ごす時間＜IN＞
（N=5,768　※不明除く）



○「問７　母親が平日に子と一緒に過ごす時間」「問７　父親が平日に子と一緒に過ごす時間」を就労状況別に見ると、いずれにおいても未就労の方が子どもと過ごす時間が多くなっている。

○母親と父親を比較すると、就労中では母親は「5～6 時間」が最も多くなっている一方、父親では「1～2 時間」が最も多くなった。未就労でも母親は「11～12 時間」が最も多くなっているが、父親は「5～6 時間」が最も多くなっている。このように、就労中、未就労、どちらにおいても、母親の方が父親よりも子どもと過ごす時間が多くなっている。



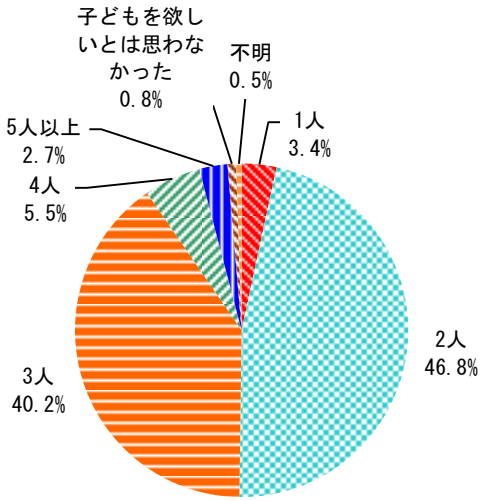


○「問８（１）　ほしい子どもの人数」は「2 人」が 46.8%、「3 人」が 40.2%であった。

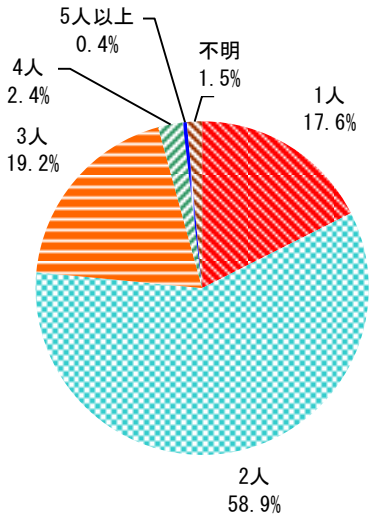
○「問８（１）　ほしい子どもの人数」と「問８（２）　実際に予定している子どもの人数」と比較すると、「3 人」が半分以下の 19.2%、「4 人」以上の各選択肢も減少していることに対し、「2 人」が 12.1 ポイント、「1 人」が 14.2 ポイント増えている。

○「問９（１）　実際に予定している子どもの人数がほしい人数より少ない理由」として「経済的な負担が増えるから」が 69.8%で最も多かった。以下「高齢出産になるから」(36.7%)、「仕事と子育ての両立が大変だから」(30.1%）が続く。

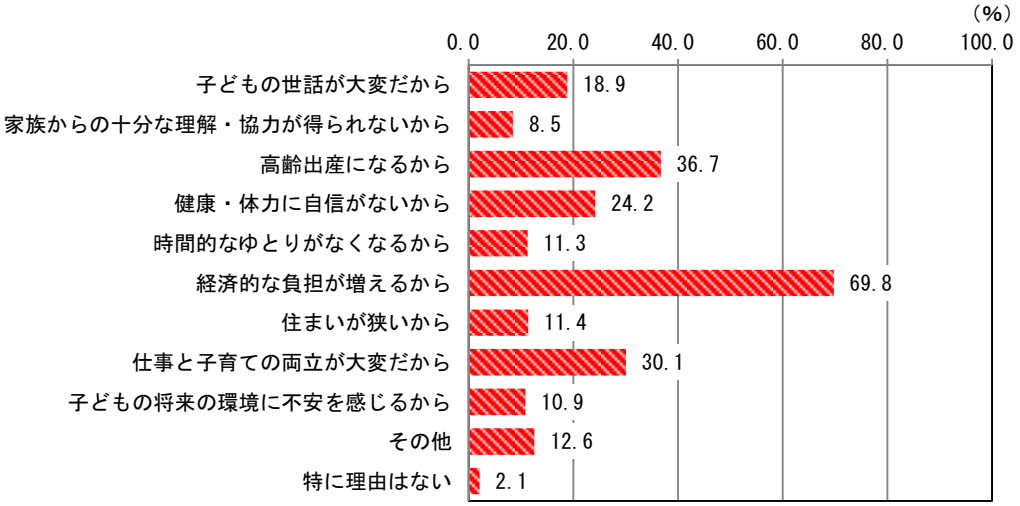
問８（１）　ほしい子どもの人数＜SA＞（N=6,116）



問８（２）　実際に予定している子どもの人数＜SA＞（N=6,116）

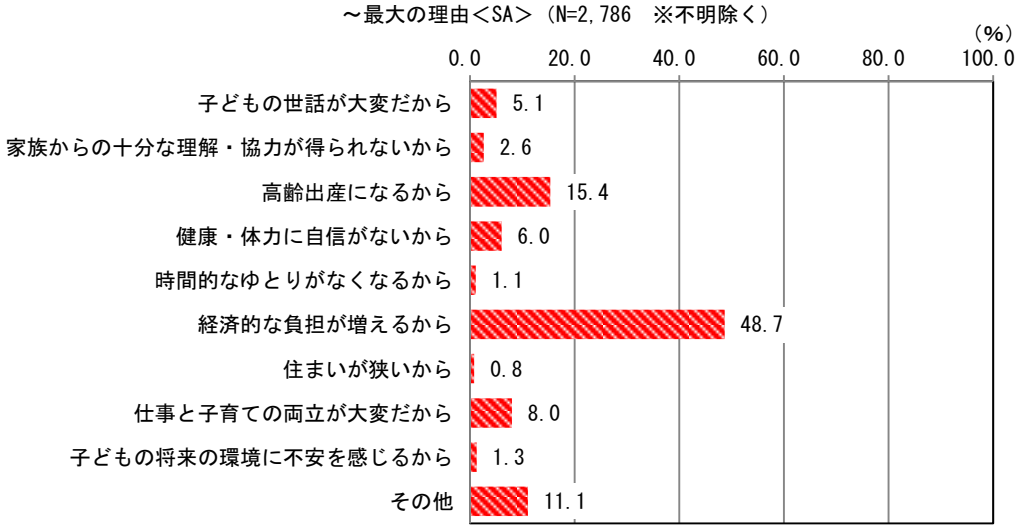


問９（１）　【予定している子どもの人数がほしい人数より少ない方限定】
予定している子どもの人数がほしい人数より少ない理由＜1～3A＞（N=2,679　※不明除く）



その他
○不妊症のため、不妊治療が必要・お金がかかるため（78）
○離婚・死別等で一人親のため（55）
○妊娠・悪阻・陣痛・出産が辛い・怖いため（17）
○帝王切開のため（16）
○経済面で不安があるため（11）
○子に障がい・病気があるため（9）
○保育所等に入りにくい・少ないため、保育料が高いため（8）
○子育てについて周りに頼れる人がいないため（8）
○転勤があるため（7）
○現在妊娠中のため（7）
○産休・育休等がとれない・とりにくいため（6）
○自身・家族等が病気のため（6）
○流産・死産・子の死を経験したため（5）
○子どもが嫌い・苦手だから（5）
○夫婦関係に問題があるため（5）　など

問９（２）　【予定している子どもの人数がほしい人数より少ない方限定】予定している子どもの人数がほしい人数より少ない理由
～最大の理由＜SA＞（N=2,786　※不明除く）

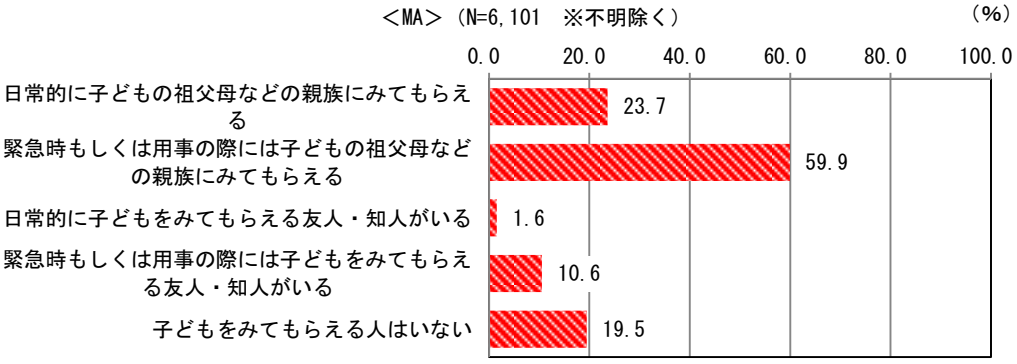


B. 子どもの育ちをめぐる環境

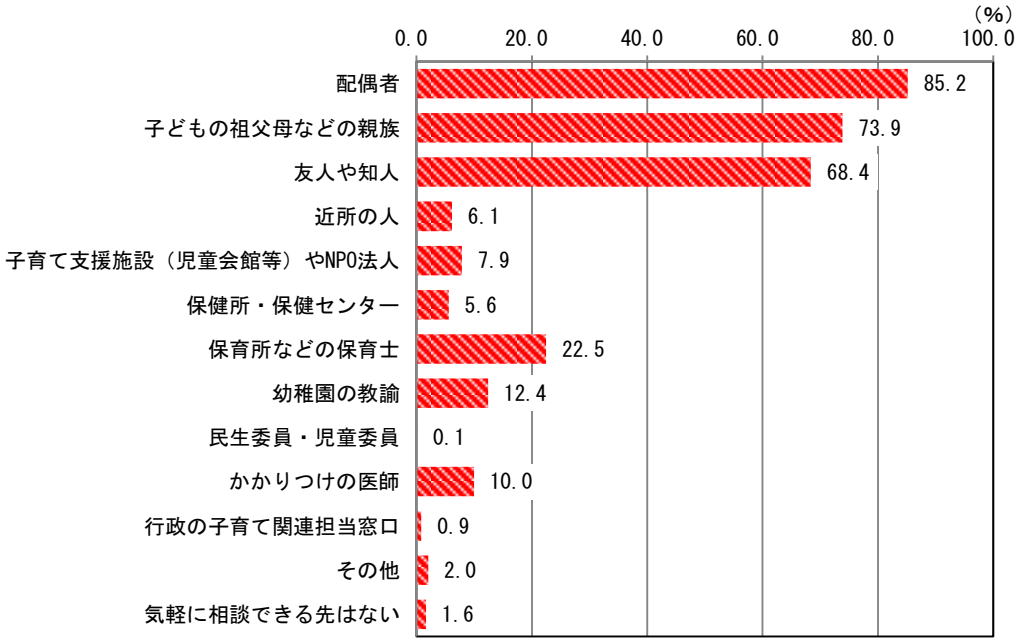
○「問 10　子どもをみてもらえる親族・知人」では「緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる」が 59.9%と最も多く、「日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる」が 23.7%で次ぐが、「子どもをみてもらえる人はいない」も 19.5%が挙げた。

○「問 11　子育てについて気軽に相談できる相談先」としては「配偶者」が最も多く 85.2%であった。以下「祖父母などの親族」(73.9%)、「友人や知人」(68.4%) と続く。

問 10　子どもをみてもらえる親族・知人
＜MA＞（N=6,101　※不明除く）



問 11　子育てについて気軽に相談できる相談先
＜MA＞（N=6,102　※不明除く）



その他
○職場の人（38）
○デイサービス・療育施設の関係者（26）
○助産院・助産師（9）
○SNS・インターネット（6）
○保育所の保育士・幼稚園の教諭・幼児教室の先生（5）　など

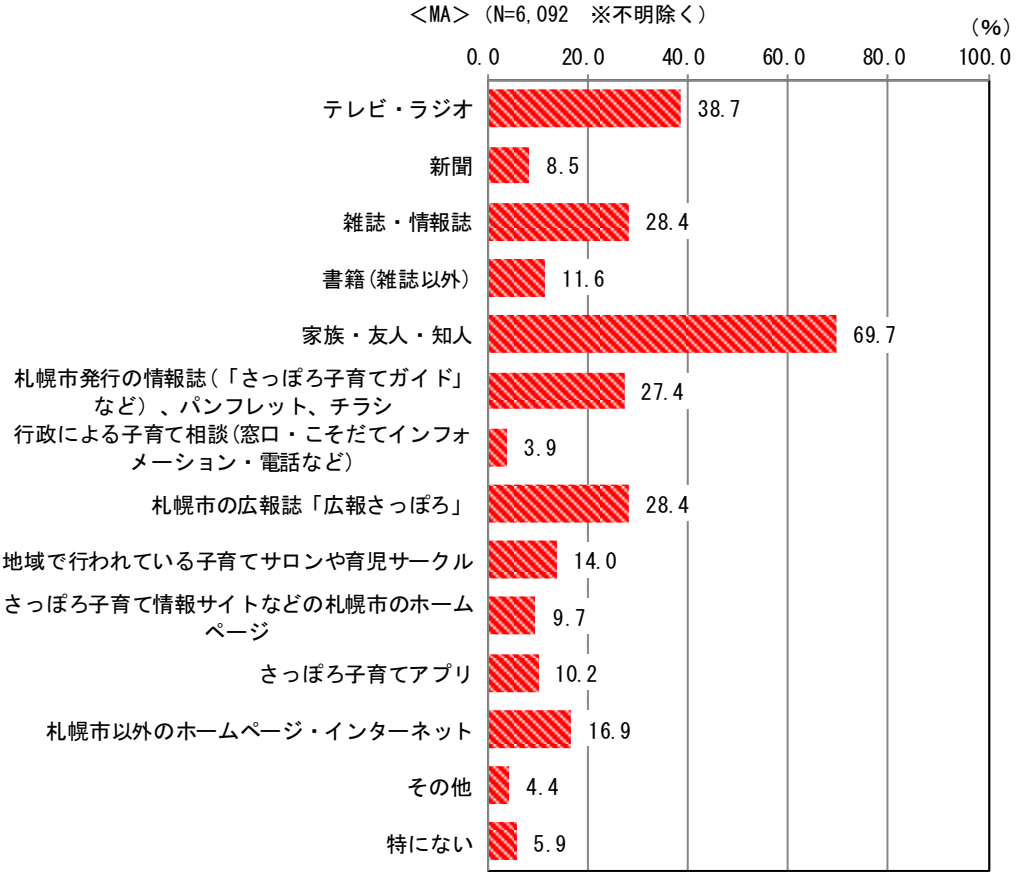
（クロス集計表）問 11　子育てについて気軽に相談できる相談先・各属性別<MA>（※不明除く）

	N	配偶者	子どもの祖父母などの親族	友人や知人	近所の人	子育て支援施設（児童会館等）やNPO法人	保健所・保健センター	保育所などの保育士	幼稚園の教諭	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	行政の子育て関連担当窓口	その他	気軽に相談できる先はない
全体	6,102	85.2	73.9	68.4	6.1	7.9	5.6	22.5	12.4	0.1	10.0	0.9	2.0	1.6
問２　宛名児童の生年月日														
H30年4月以降	827	89.7	81.9	68.0	5.2	6.2	8.9	10.0	2.5	－	11.4	1.0	1.7	0.7
H29年4～30年3月	1,225	87.5	78.3	70.5	4.2	10.9	8.1	20.0	3.2	0.1	11.4	1.5	1.7	1.5
H28年4～29年3月	1,081	87.0	74.2	68.1	7.4	10.7	5.6	27.8	5.0	0.2	9.1	1.2	1.9	1.6
H27年4～28年3月	949	84.0	72.5	66.5	6.3	8.0	4.3	28.2	12.1	0.1	8.7	0.3	3.3	2.2
H26年4～27年3月	931	82.2	69.4	68.2	7.0	5.6	2.7	24.2	27.2	－	9.8	0.2	1.7	1.5
H25年4～26年3月	788	82.7	67.3	67.9	6.6	4.1	3.6	23.9	26.9	0.3	9.1	0.6	2.0	2.2
H24年4～25年3月	263	77.6	71.1	71.5	8.7	6.8	5.3	21.7	20.9	－	10.6	1.1	1.5	1.5
問19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無														
利用している	3,502	82.8	69.8	67.3	5.9	4.9	3.6	36.2	18.0	0.1	10.1	0.7	2.0	2.1
利用していない	2,573	88.5	79.4	69.9	6.5	12.0	8.4	3.8	4.8	0.1	9.8	1.0	2.1	1.0
問19-1　定期的に利用している事業														
幼稚園（通常の就園時間の利用）	1,034	84.3	69.2	70.5	8.5	5.7	2.8	2.5	41.0	0.1	9.3	0.8	1.5	2.0
幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ）	212	80.2	67.0	70.3	5.7	6.6	1.4	5.7	46.2	－	11.3	1.9	2.4	1.4
認可保育所・公立保育所	1,401	81.4	69.5	63.6	3.0	2.5	3.1	57.9	1.4	0.1	9.6	0.4	2.5	2.3
認定こども園	572	85.7	75.5	72.7	9.8	6.1	4.5	32.7	28.8	0.3	11.9	1.0	1.4	1.4
家庭的保育事業（保育ママ）	6	66.7	66.7	50.0	16.7	－	16.7	83.3	16.7	－	－	－	－	－
小規模保育事業	87	80.5	65.5	60.9	1.1	9.2	9.2	64.4	1.1	－	13.8	1.1	3.4	4.6
事業所内保育事業（認可／認可外）	95	91.6	70.5	71.6	5.3	8.4	3.2	49.5	5.3	1.1	9.5	2.1	4.2	－
認可外保育施設	140	77.1	65.7	69.3	5.7	7.9	3.6	49.3	5.7	－	8.6	1.4	1.4	2.1
企業主導型保育事業	106	83.0	68.9	64.2	6.6	1.9	5.7	64.2	1.9	－	15.1	0.9	0.9	2.8
居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）	2	100.0	50.0	100.0	－	100.0	－	50.0	50.0	－	－	50.0	－	－
さっぽろ子育てサポートセンター	20	85.0	70.0	55.0	－	50.0	25.0	30.0	5.0	－	15.0	10.0	10.0	－
その他	93	68.8	57.0	57.0	3.2	26.9	8.6	18.3	20.4	－	23.7	1.1	8.6	1.1

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 12　子育てや子育て支援情報の入手先」として「家族・友人・知人」が最も多く 69.7%であった。以下「テレビ・ラジオ」(38.7%)、「札幌市の広報誌『広報さっぽろ』」(28.4%)、「雑誌・情報誌」(28.4%)、「札幌市発行の情報誌(『さっぽろ子育てガイド』など)、パンフレット、チラシ」(27.4%）がほぼ同率で続く。

問 12　子育てや子育て支援情報の入手先
＜MA＞（N=6,092　※不明除く）

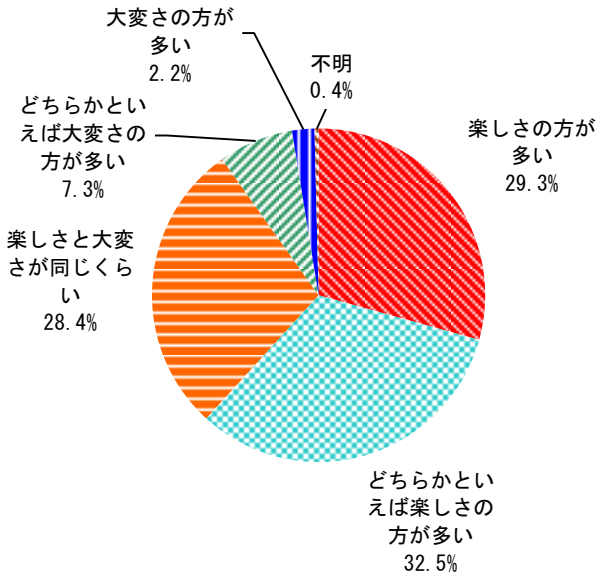


札幌市以外のホームページ・インターネット
○特定のサイトはない・都度検索する（174）
○ママリ（76）
○Twitter（40）
○インスダクラム（37）
○SNS（34）
○ベネッセ・たまひよ・ウィメンズパーク（34）
○子育て等のブログ（30）
○こそだてハック（16）
○スマホのアプリ（14）
○Facebook（13）
○ニュース・ニュースサイト・ニュースアプリ（10）
○Yahoo 知恵袋（9）
○ママナビ（6）　など

その他
○SNS（Twitter、Facebook、インスタグラム等）（57）
○インターネット・ネット検索（48）
○保育所・保育士（42）
○幼稚園・幼稚園教諭（25）
○スマホのアプリ（22）
○子育て等のブログ（9）
○医療機関・医師・看護師（8）
○保健センター・保健師（6）
○児童会館・児童クラブ（5）
○こどもちゃれんじ（5）　など

○「問 13　子育てに楽しさと大変さ、どちらを感じることが多いか」との設問について「楽しさの方が多い」「どちらかといえば楽しさの方が多い」と答えた人は計 61.8%であった。一方、「どちらかといえば大変さの方が多い」「大変さの方が多い」と答えた人は計 9.5%であった。

問 13　子育てに楽しさと大変さ、どちらを感じることが多いか
＜SA＞（N=6,116）



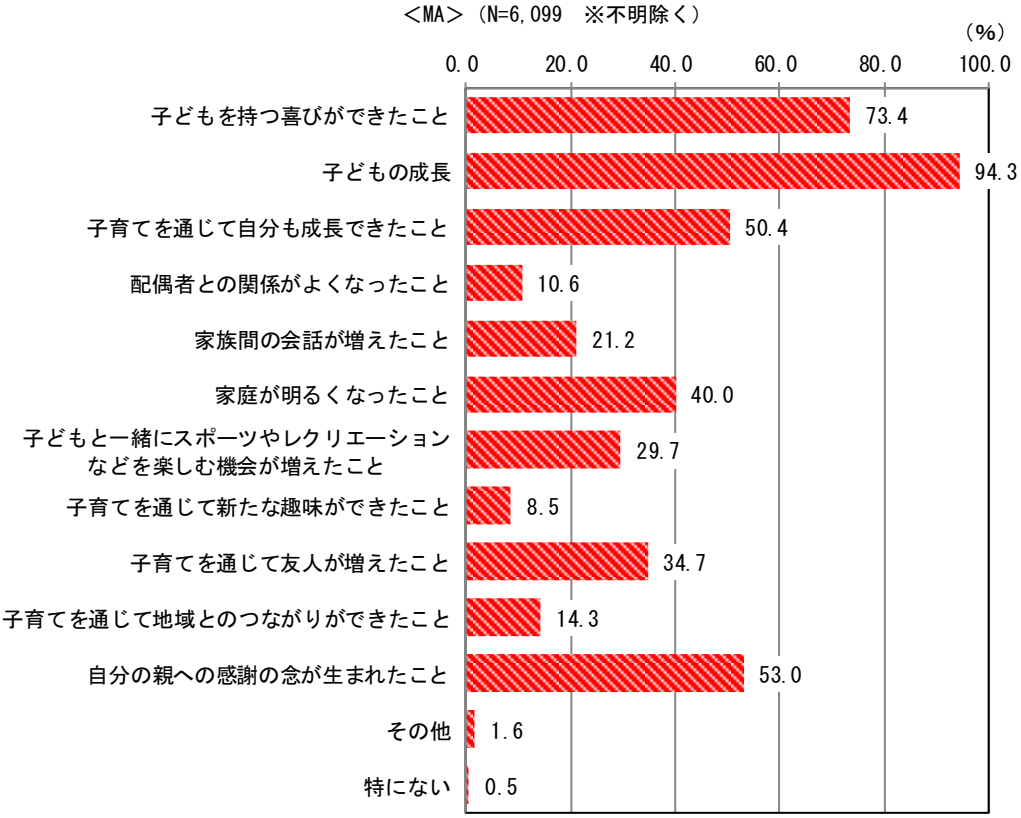
（クロス集計表）問 13　子育てに楽しさと大変さ、どちらを感じることが多いか・各属性別＜SA＞

	N	楽しさの方が多い	どちらかといえば楽しさの方が多い	楽しさと大変さが同じくらい	どちらかといえば大変さの方が多い	大変さの方が多い	不明
全体	6,116	29.3	32.5	28.4	7.3	2.2	0.4
問２　宛名児童の生年月日							
H30年4月以降	829	39.6	31.5	20.7	5.9	1.8	0.5
H29年4～30年3月	1,225	36.2	32.1	24.9	5.1	1.5	0.2
H28年4～29年3月	1,082	28.2	33.0	28.9	7.8	1.9	0.2
H27年4～28年3月	949	26.7	29.9	30.6	9.1	3.1	0.7
H26年4～27年3月	931	23.2	33.8	31.0	9.1	2.6	0.2
H25年4～26年3月	788	22.5	34.5	32.7	7.1	2.4	0.8
H24年4～25年3月	264	22.0	33.7	36.4	6.8	1.1	－
問４　世帯構成							
お子さん＋ご両親(二世代世帯)	5,469	29.2	32.5	28.8	7.1	2.0	0.4
お子さん＋ご両親＋祖父母(三世代世帯)	335	33.1	34.9	22.1	7.2	2.4	0.3
お子さん＋母/父親(ひとり親・二世代世帯)	195	25.1	26.7	28.7	12.3	6.2	1.0
お子さん＋母/父親＋祖父母(ひとり親・三世代世帯)	98	32.7	32.7	25.5	8.2	1.0	－
問６　世帯年収							
200万円未満	218	29.4	26.1	30.3	9.2	3.2	1.8
200～300万円未満	419	26.5	28.6	32.5	9.5	2.4	0.5
300～400万円未満	828	27.8	33.9	27.5	8.3	1.8	0.6
400～500万円未満	1,032	26.8	34.2	29.2	7.3	2.0	0.5
500～700万円未満	1,674	29.8	32.9	28.6	6.3	2.2	0.1
700～1,000万円未満	1,061	32.5	33.8	26.0	5.8	1.5	0.3
1,000万円以上	423	35.0	30.0	22.9	8.5	3.3	0.2
わからない・答えたくない	347	25.6	31.1	31.1	9.5	2.3	0.3
問10　子どもをみてもらえる親族・知人							
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,444	38.0	32.8	22.6	5.1	1.0	0.6
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,655	29.2	32.6	29.2	6.9	1.7	0.4
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	97	41.2	34.0	20.6	3.1	1.0	－
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	646	34.8	36.7	23.7	3.3	1.2	0.3
子どもをみてもらえる人はいない	1,189	22.2	30.7	32.4	10.0	4.4	0.3
問17･18（１）世帯の就労状況							
共働き（フルタイム）	1,833	33.8	32.2	26.3	6.2	1.3	0.2
共働き（片方・両方がパートタイム）	1,222	27.7	32.6	29.4	7.4	2.5	0.4
片働き（専業主婦）	2,302	27.2	33.6	29.1	7.4	2.4	0.3
片働き（専業主夫）	20	20.0	35.0	30.0	10.0	5.0	－
就労していない	18	16.7	16.7	50.0	16.7	－	－
その他	283	28.3	28.6	27.2	11.0	4.6	0.4
問19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無							
利用している	3,509	26.0	32.8	30.3	8.0	2.5	0.4
利用していない	2,578	34.0	32.0	25.8	6.3	1.5	0.3

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 14　子育てをしていてよかったこと、うれしかったこと」については「子どもの成長」を 94.3%の方が挙げた。以下「子どもを持つ喜びができたこと」(73.4%)、「自分の親への感謝の念が生まれたこと」(53.0%) が続く。

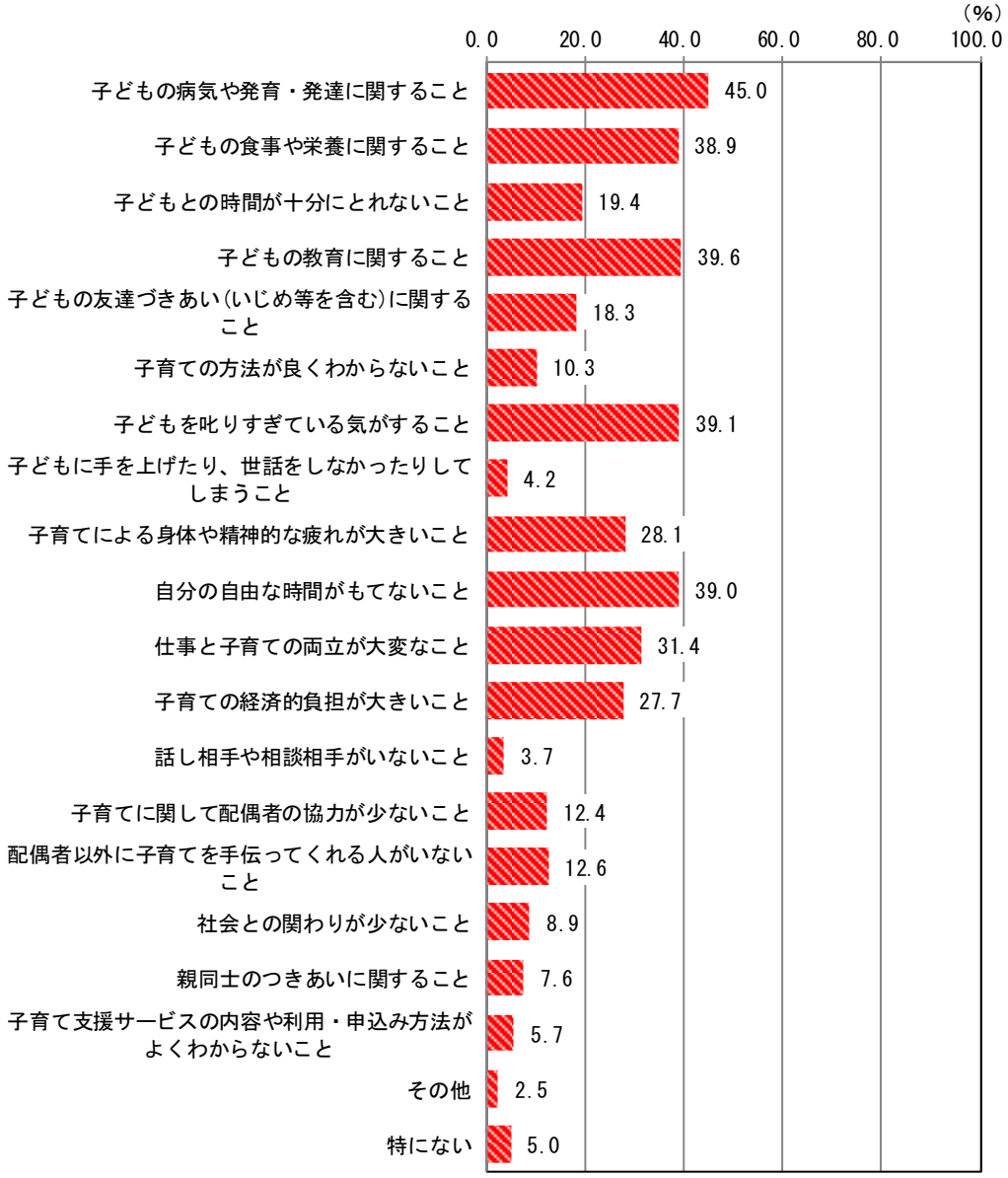
問 14　子育てをしていてよかったこと、うれしかったこと
＜MA＞（N=6,099　※不明除く）



その他
○子どもがかわいいこと（14）
○子どもの祖父母・親戚が喜んでくれたこと（10）
○子どもの祖父母・親戚と親しくなれたこと（8）
○自分の視野・興味が広がったこと（8）
○自分の必要性を感じられたこと（6）
○より幸せ・楽しさ・喜びを感じられるようになったこと（6）
○仕事のやりがいができた・増えたこと（5）　など

○「問 15　子育ての悩み」として、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(45.0%) が最も多く挙げられた。以下「子どもの教育に関すること」(39.6%)、「子どもを叱りすぎている気がすること」(39.1%)、「自分の自由な時間がもてないこと」(39.0%)、「子どもの食事や栄養に関すること」(38.9%) がほぼ同率で多く挙げられている。

問 15　子育ての悩み＜MA＞（N=6,065　※不明除く）



その他

○希望する保育所・幼稚園等に入れないこと・入れるか不安なこと（15）
○子どもが病気の際や緊急時の預け先がない・仕事を休まなければならない・休みにくいこと（7）
○配偶者との子育て方針・意見の相違（7）
○子育てと仕事・家事のバランス（7）
○ストレス・イライラがたまること（6）
○近くに子どもが遊べる場所・サロンがないこと（6）
○経済的に余裕がないこと（5）　など

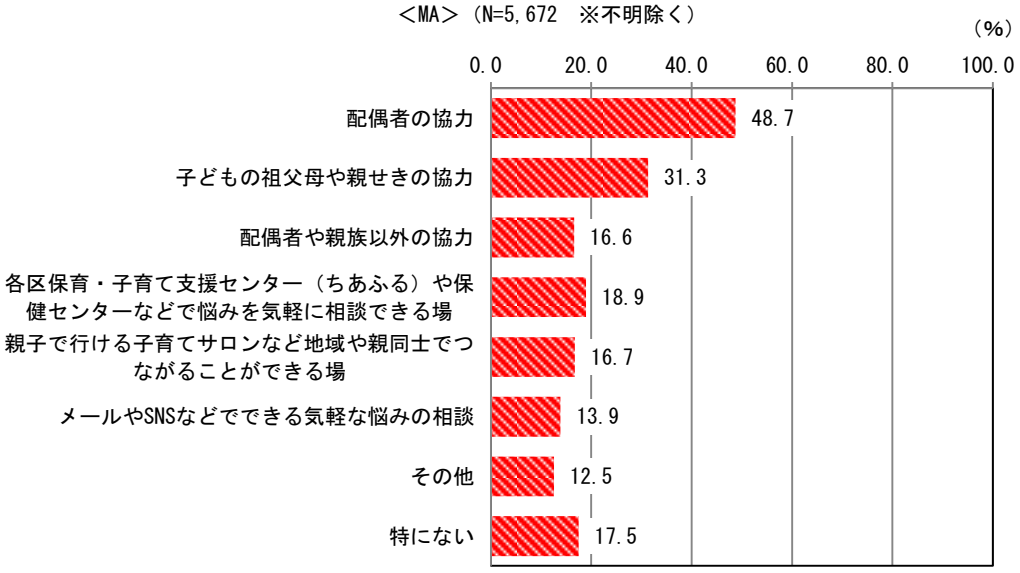
（クロス集計表）問 15　子育ての悩み・各属性別＜MA＞（※不明除く）

	N	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもの食事や栄養に関すること	子どもとの時間が十分にとれないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること	子育ての方法が良くわからないこと	子どもを叱りすぎていると気がすること	子どもの手を上げたり、世話をしなかったりしてしまうこと	子育てによる身体や精神的な疲れが大きいこと	自分の自由や時間がもてないこと	仕事と子育ての両立が大変なこと	子育ての経済的負担が大きいこと	話し相手や相談相手がいないこと	子育てに関して配偶者の協力が少ないこと	配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	社会との関わりが少ないこと	親同士のつきあいに関すること	子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと	その他	特にない
全体	6,065	45.0	38.9	19.4	39.6	18.3	10.3	39.1	4.2	28.1	39.0	31.4	27.7	3.7	12.4	12.6	8.9	7.6	5.7	2.5	5.0
問2　宛名児童の生年月日																					
H30年4月以降	818	52.0	40.1	10.0	33.6	14.4	13.6	21.5	2.8	28.2	40.3	23.3	28.0	6.0	11.7	12.3	15.3	7.0	9.4	2.1	6.4
H29年4～30年3月	1,216	46.7	47.5	14.9	34.9	13.1	10.4	25.7	3.0	27.5	40.6	30.5	25.8	4.1	12.2	12.4	10.2	6.7	6.8	2.8	5.7
H28年4～29年3月	1,077	45.1	43.2	21.5	37.1	15.7	11.4	39.4	4.1	29.2	44.2	29.7	26.6	3.7	12.0	13.7	10.2	7.4	5.9	2.6	3.9
H27年4～28年3月	942	40.4	36.2	23.1	41.5	18.8	10.4	48.4	6.1	30.1	41.5	34.7	27.8	4.1	11.8	10.9	7.7	8.6	4.7	2.3	4.4
H26年4～27年3月	923	41.6	33.8	23.0	41.2	22.3	8.9	49.1	4.6	27.6	32.5	34.7	28.6	2.5	14.4	12.6	6.3	7.6	2.9	3.1	4.4
H25年4～26年3月	778	44.0	31.4	22.2	49.6	25.8	7.7	52.4	5.4	27.9	35.0	34.8	30.6	2.3	12.2	13.2	4.6	8.2	4.5	2.2	5.7
H24年4～25年3月	263	45.6	28.9	27.4	46.4	25.9	6.1	47.1	3.0	20.9	33.5	35.7	27.8	2.3	13.7	14.4	3.4	9.5	4.6	2.7	4.2
問4　世帯構成																					
お子さん＋ご両親(二世代世帯)	5,422	45.0	38.8	18.4	39.2	17.9	10.3	39.2	4.2	28.5	39.8	30.8	27.1	3.7	12.8	13.8	9.3	7.3	5.6	2.5	4.9
お子さん＋ご両親＋祖父母(三世代世帯)	334	45.2	39.2	18.9	41.3	25.1	8.4	37.7	3.6	22.2	35.3	29.3	26.6	1.8	10.8	2.1	6.3	10.2	5.7	1.8	8.1
お子さん＋母/父親(ひとり親・二世代世帯)	194	43.3	39.2	37.1	44.3	20.1	11.9	43.8	6.7	29.9	28.4	50.5	39.2	8.2	6.7	4.6	3.6	10.8	5.7	5.2	3.1
お子さん＋母/父親＋祖父母(ひとり親・三世代世帯)	96	46.9	40.6	41.7	42.7	16.7	9.4	29.2	1.0	21.9	29.2	37.5	39.6	2.1	8.3	－	5.2	11.5	7.3	3.1	3.1
問6　世帯年収																					
200万円未満	216	40.3	42.1	29.2	36.1	20.8	8.8	40.3	4.2	23.1	26.4	34.7	44.9	4.6	9.7	6.5	4.2	7.9	6.9	3.7	3.2
200～300万円未満	415	49.9	45.3	17.8	35.2	19.3	10.1	39.0	6.7	29.2	37.6	31.1	39.5	4.3	15.7	8.7	8.0	6.7	7.0	3.6	4.3
300～400万円未満	816	45.1	42.2	14.1	37.6	17.8	10.8	38.8	4.3	26.1	35.7	26.0	38.6	3.6	13.5	11.6	11.3	8.9	6.6	2.7	5.3
400～500万円未満	1,027	46.1	39.7	15.7	38.0	17.7	10.5	38.9	4.1	25.4	38.1	26.9	30.9	4.7	15.0	11.3	9.3	8.9	6.4	1.8	5.0
500～700万円未満	1,660	46.0	38.6	18.3	39.6	18.3	10.8	38.6	4.3	30.7	42.3	30.5	25.2	3.6	11.9	13.9	8.7	7.5	5.4	2.7	4.5
700～1,000万円未満	1,056	43.4	35.0	26.9	42.9	18.4	8.2	40.0	3.9	27.5	40.4	40.8	20.0	2.3	9.5	13.8	7.1	6.2	4.4	2.1	5.8
1,000万円以上	421	39.4	31.6	24.7	44.4	15.4	10.7	36.8	3.6	31.6	42.8	37.5	11.9	4.0	12.8	17.1	7.4	5.9	4.0	2.4	4.0
わからない・答えたくない	343	47.2	41.4	15.5	37.6	21.3	12.5	40.5	2.3	26.5	35.3	24.2	22.2	4.4	11.4	13.4	13.7	8.5	5.8	3.8	8.2
問10　子どもをみてもらえる親族・知人																					
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,425	44.8	42.6	20.3	38.7	18.8	7.6	34.9	3.2	20.9	33.9	27.8	24.5	0.9	9.3	0.2	6.9	7.0	4.9	2.0	6.6
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,632	45.0	38.9	20.0	39.8	18.4	9.6	39.5	3.7	27.9	39.4	32.5	27.1	2.9	12.3	5.4	9.2	7.7	5.4	2.5	5.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	95	44.2	42.1	9.5	47.4	17.9	13.7	42.1	8.4	14.7	31.6	24.2	23.2	4.2	6.3	4.2	5.3	10.5	7.4	1.1	7.4
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	637	43.3	35.3	13.8	40.3	18.1	7.5	42.2	3.6	23.2	35.0	22.6	23.5	0.9	11.5	8.2	6.1	6.0	3.6	3.3	6.8
子どもをみてもらえる人はいない	1,180	47.5	38.8	18.7	41.1	19.2	14.5	42.4	6.1	35.6	44.6	34.6	32.6	8.8	15.5	44.3	10.1	8.7	7.6	3.3	2.9
問17-18（1）世帯の就労状況																					
共働き（フルタイム）	1,822	42.4	36.8	35.8	41.3	15.7	10.7	36.2	3.8	27.1	40.1	57.1	25.6	2.5	10.4	12.9	4.0	5.2	4.7	2.6	4.7
共働き（片方・両方がパートタイム）	1,214	42.7	33.6	19.0	39.0	19.7	9.2	45.1	5.5	27.8	36.2	40.7	37.1	3.0	14.4	13.8	4.5	8.1	4.9	2.6	4.6
片働き（専業主婦）	2,284	48.3	43.0	5.4	38.1	19.1	10.0	38.0	3.9	29.8	41.5	5.7	23.2	5.0	13.2	13.5	15.4	9.0	6.8	2.3	5.2
片働き（専業主夫）	20	40.0	15.0	20.0	40.0	10.0	－	30.0	－	30.0	25.0	40.0	55.0	5.0	15.0	15.0	－	5.0	－	5.0	10.0
就労していない	18	72.2	66.7	5.6	27.8	16.7	22.2	27.8	5.6	27.8	44.4	5.6	22.2	5.6	16.7	5.6	16.7	5.6	－	－	－
その他	280	44.3	39.6	38.6	43.2	18.9	10.7	39.3	5.0	27.1	28.2	46.8	39.6	6.1	6.8	3.2	3.9	10.7	6.1	4.3	3.2

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 16　悩みを軽減するためにあればよいと思うサポート」として「配偶者の協力」(48.7%)が最も多く挙げられた。「子どもの祖父母や親せきの協力」(31.3%) が次ぐ。

問 16　悩みを軽減するためにあればよいと思うサポート
＜MA＞（N=5,672　※不明除く）



その他
○経済的な補助・負担軽減（保育費・医療費・教育費等）（172）
○職場の理解・労働環境の改善・時短（106）
○一時預かりが可能な施設・人数・情報の拡充等（54）
○社会全体の子育てに関する理解・意識・制度の変化（41）
○保育所等の拡充・保育士の増員・待機児童解消（40）
○気軽に・安心して預けられる託児施設・サービスの整備（40）
○無料・安価な託児施設・サービスの整備（23）
○病児保育の拡充・利便性向上等（22）
○子育てについて相談できる場・窓口の充実（22）
○子どもの屋内等の遊び場整備（19）
○親・子育て世帯同士が交流できる場等（13）
○家事をサポートしてくれるサービスの拡充（7）　など

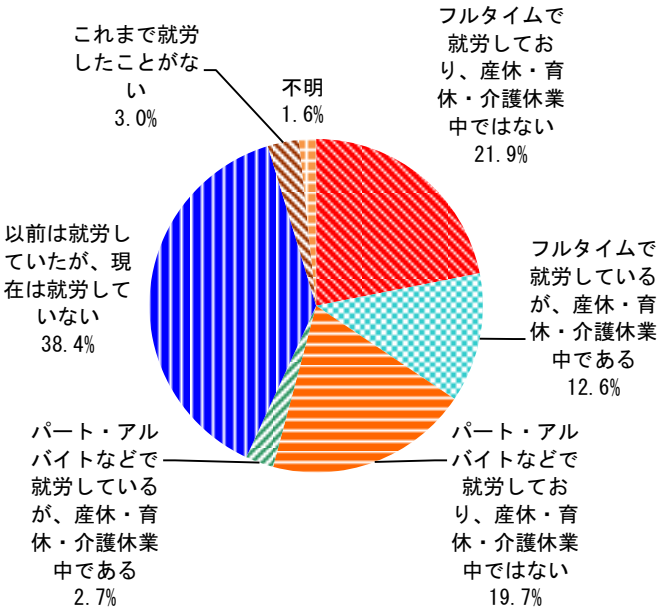
C．保護者の就労状況

＜母親＞

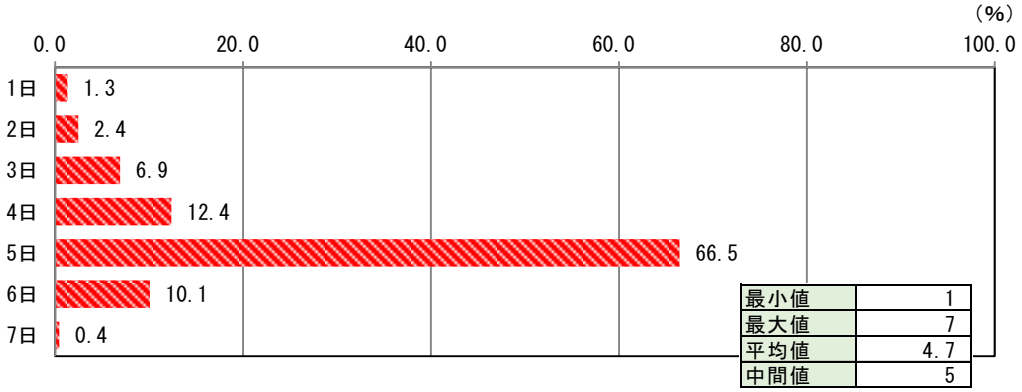
○「問 17（1）母親の就労状況」を見ると就労している方（「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）が計 56.9%であった。就労していない方（「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」）は 41.4%と約 4 割となっている。

○就労している母親の「問 17（2）週あたりの就労日数」は平均 4.7 日、問 17（2）1 日あたりの就労時間」は平均 7.1 時間であった。1 ヶ月あたりの就労時間に換算すると、平均で 136.6 時間となる。

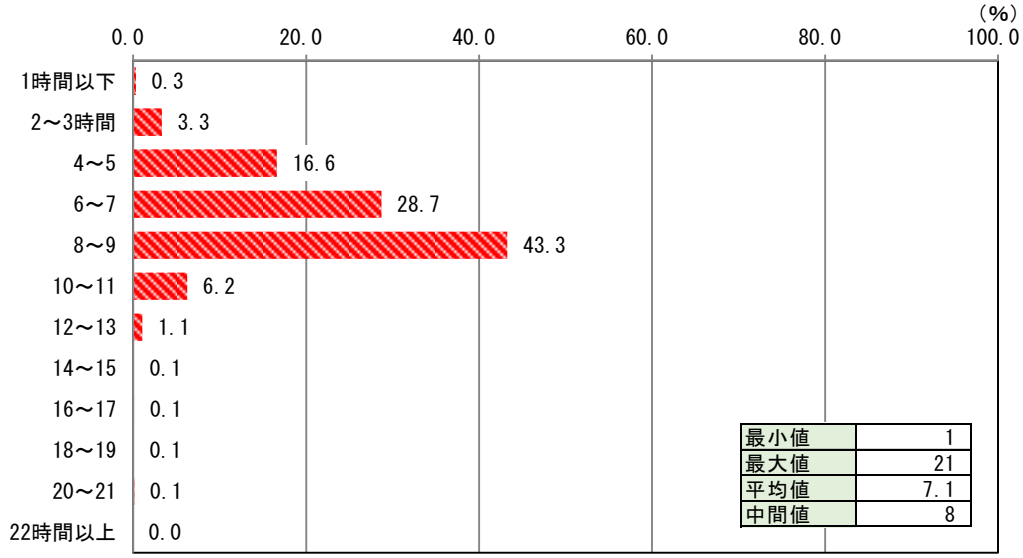
問 17（1）母親の就労状況＜SA＞（N=6,087）



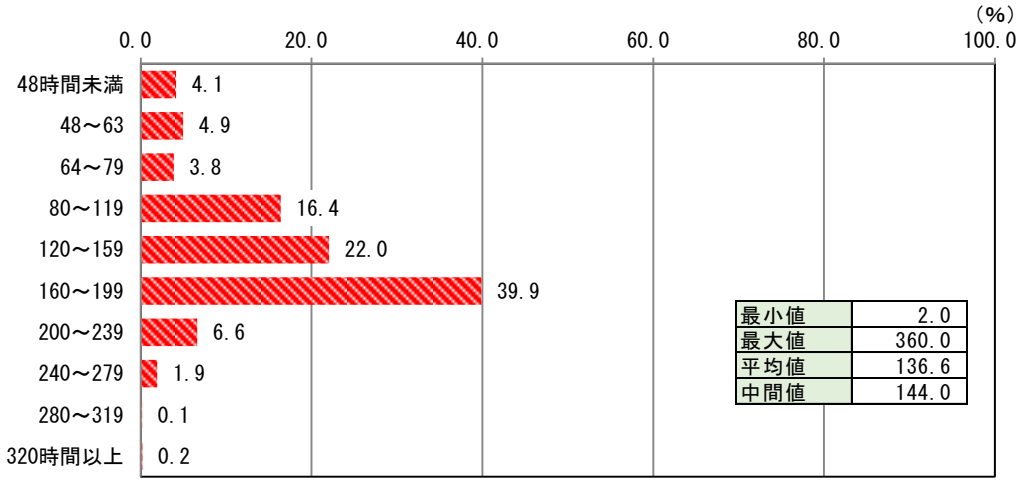
問 17（２）【就労者限定】母親の週あたりの就労日数
＜IN＞（N=3,435　※不明除く）



問 17（２）【就労者限定】母親の１日あたりの就労時間
＜IN＞（N=3,399　※不明除く）

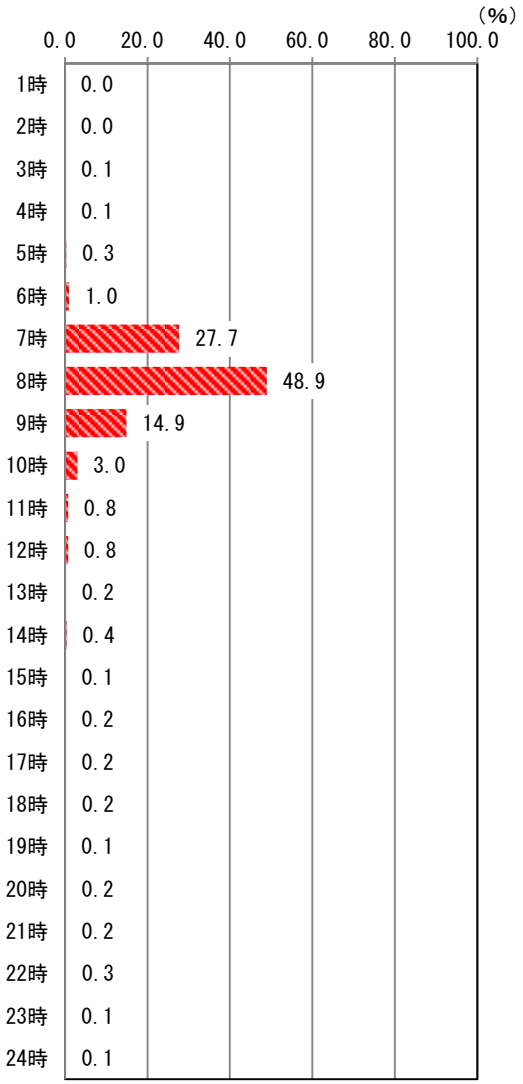


問 17（２）【就労者限定】母親の１ヶ月あたりの就労時間
＜IN＞（N=3,384　※不明除く）

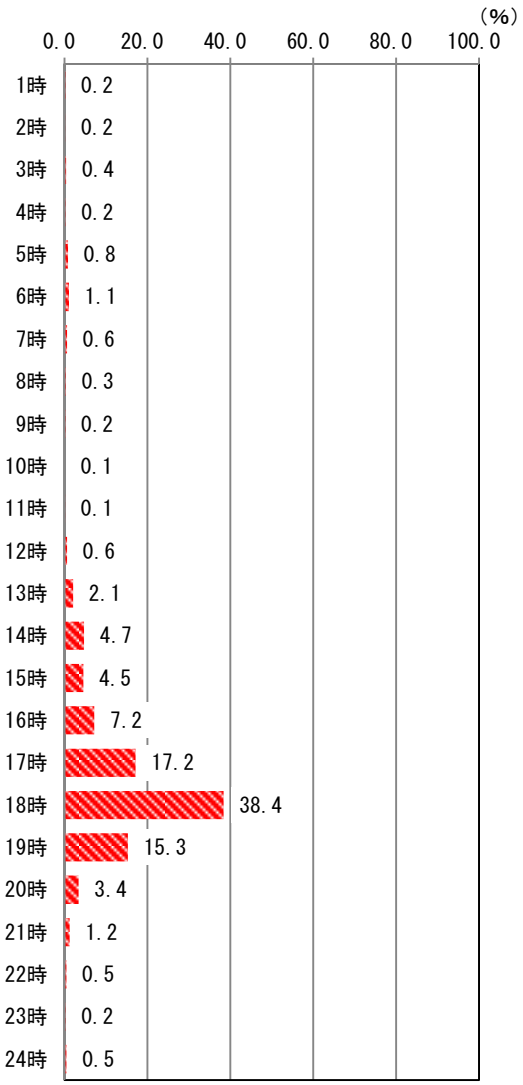


○就労している母親の「問 17（３）家を出る時刻」は「8 時」(48.9%）が最も多く、「問 17（３）帰宅時刻」は 18 時（38.4%）が最も多くなっている。

問 17（３）【就労者限定】母親の家を出る時刻
＜IN＞（N=3,411　※不明除く）

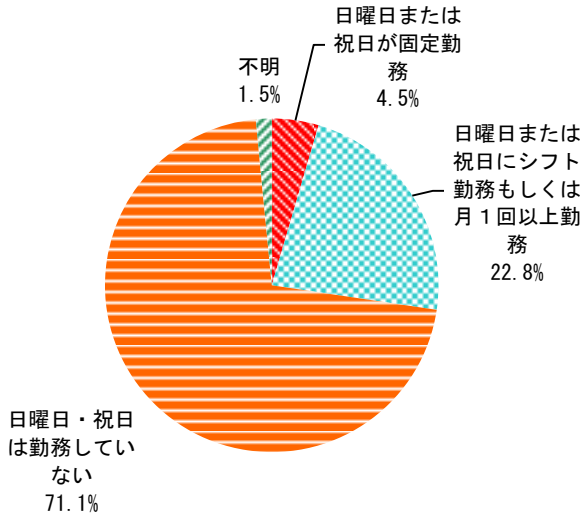


問 17（３）【就労者限定】母親の帰宅時刻
＜IN＞（N=3,407　※不明除く）

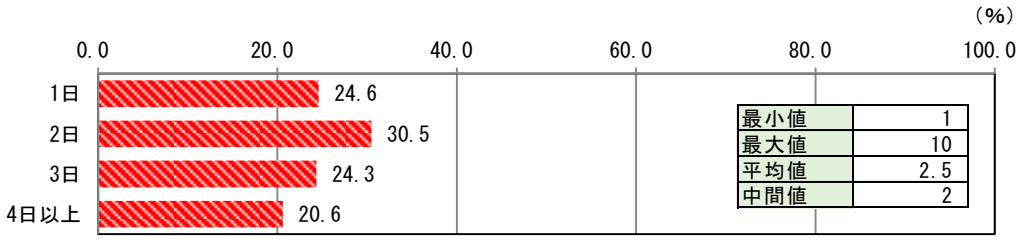


○就労している母親の「問 17（４）日曜・祝日の就労状況」であるが、「日曜日・祝日は勤務していない」が最も多く 71.1%であった。「日曜日または祝日が固定勤務」「日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月 1 回以上勤務」の方は計 27.3%であった。

問 17（４）【就労者限定】母親の日曜・祝日の就労状況＜SA＞（N=3,462）



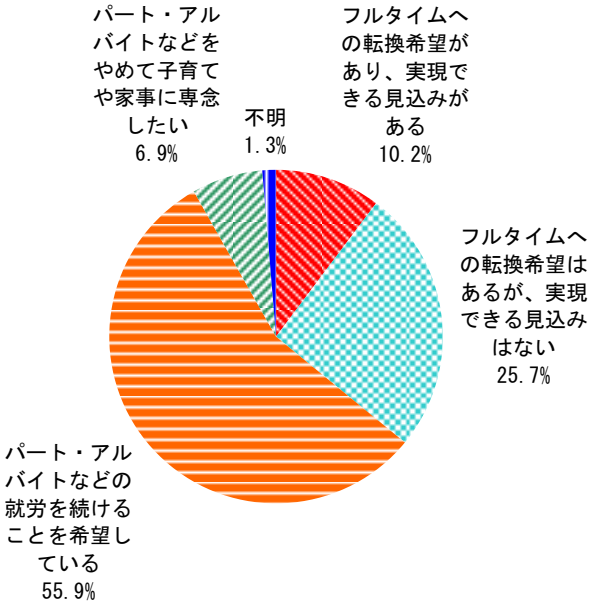
問 17（４）【日曜・祝日にシフト勤務もしくは月 1 回以上勤務者限定】
母親の日曜・祝日の月平均勤務日数＜SA＞（N=748　※不明除く）



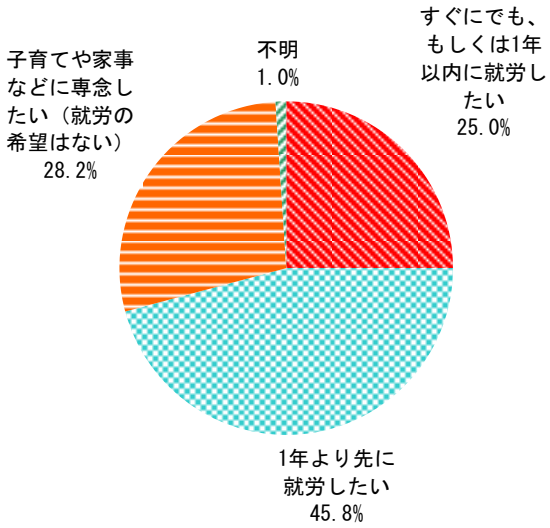
○「問 17（５）母親のフルタイムへの転換希望・見込み」については、パート・アルバイトの方の 55.9%が「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している」と回答した。フルタイムへの転換希望者（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」）は計 35.9%であった。

○未就労の母親について「問 17（６）就労希望の有無」を聞いたところ「1 年より先に就労したい」方が最も多く 45.8%であった。「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」方は 25.0%であった。以上、就労の希望がある人は計 70.8%であった。

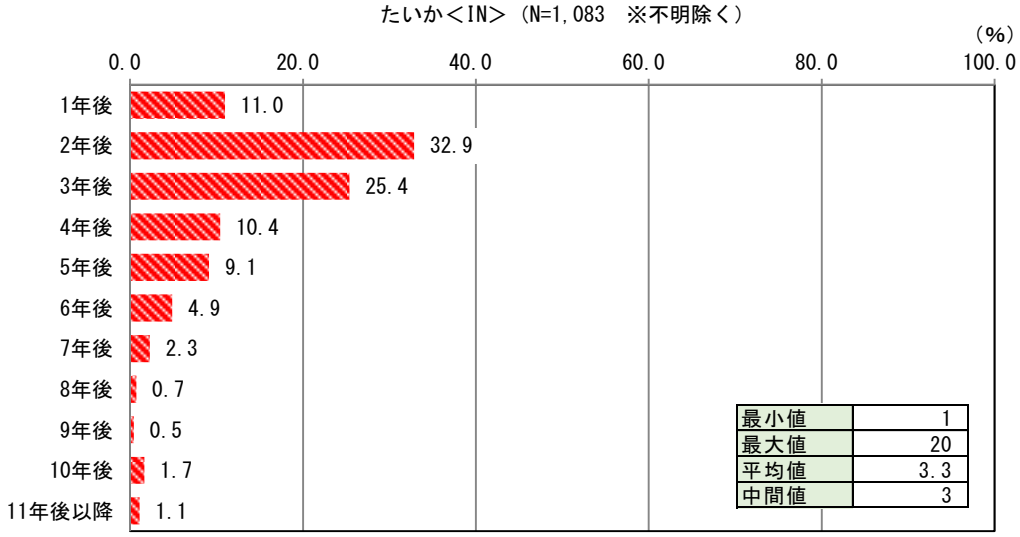
問 17（５）【パート・アルバイトの方限定】母親のフルタイムへの転換希望・見込み
＜SA＞（N=1,366）



問 17（６）【未就労者限定】母親の就労希望の有無
＜SA＞（N=2,525）



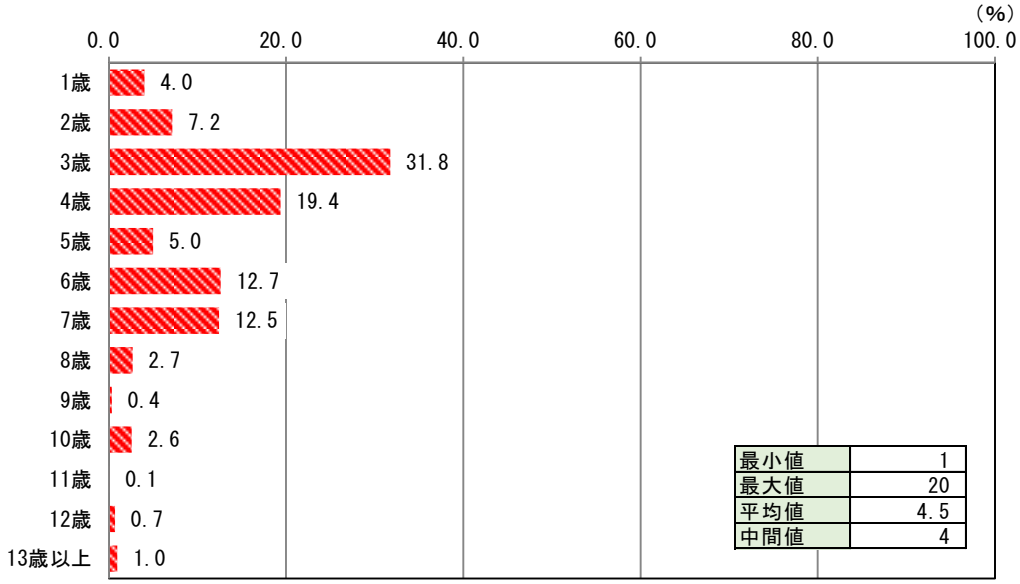
問 17（７）【1 年より先に就労したい方限定】母親は何年後に就労したいか＜IN＞（N=1,083　※不明除く）



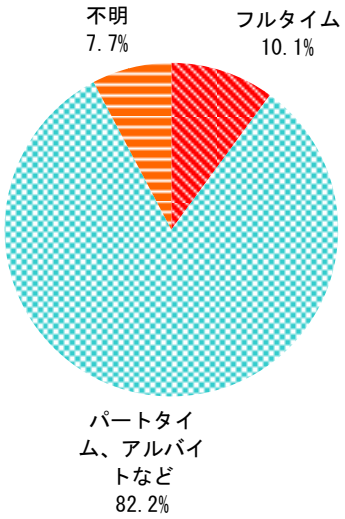
○1 年より先に就労を希望する母親に「問 17（7）一番下の子が何歳になったら就労したいか」を聞いたところ、最も多かったのは「3 歳」（31.8%）であった。子が幼稚園に入る「3 歳」「4 歳」に 1 つの山があり、小学校に入る「6 歳」「7 歳」にもう一つの山ができていることがわかる。

○未就労かつ就労を希望する母親に「問 17（8）希望する就労形態」を聞いたところ、82.2%が「パートタイム、アルバイトなど」を挙げた。

問 17（7）【1 年より先に就労したい方限定】
母親は一番下の子が何歳になったら就労したいか＜IN＞（N=1,114　※不明除く）



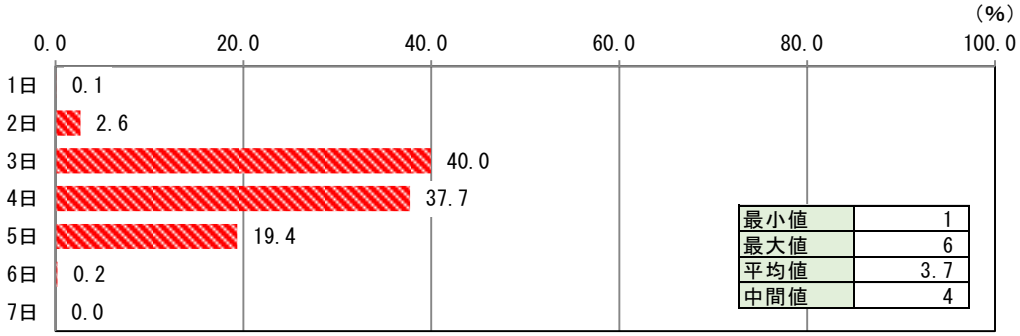
問 17（8）【未就労かつ就労希望者限定】
母親が希望する就労形態＜SA＞（N=1,788）



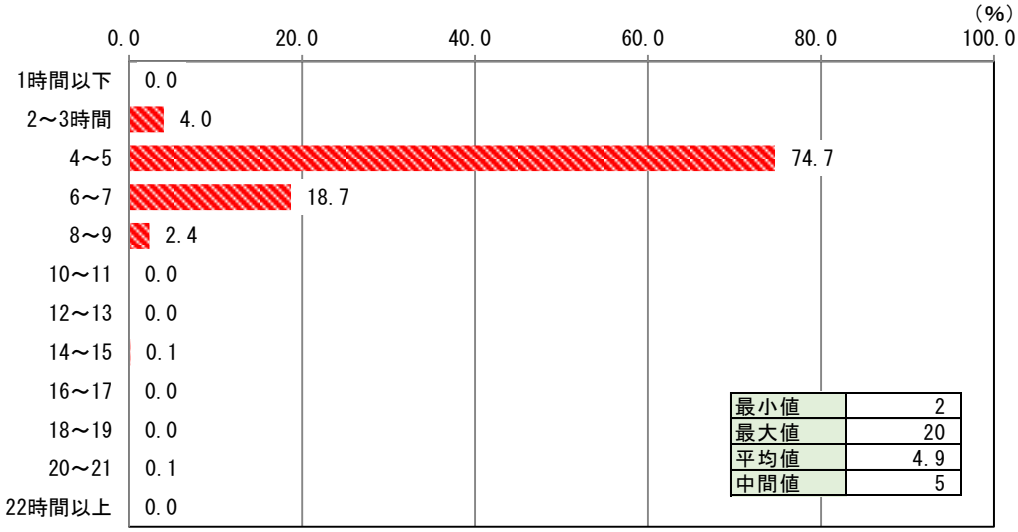
○未就労かつ就労を希望する母親に「問 17（８）希望する週の就労日数」を聞いたところ、平均値は 3.7 日であった。

○「問 17（８）希望する 1 日の就労時間」の平均値は 4.9 時間であった。

問 17（８）【未就労かつ就労希望者限定】
母親が希望する週の就労日数＜IN＞（N=1,436　※不明除く）



問 17（８）【未就労かつ就労希望者限定】
母親が希望する 1 日の就労時間＜IN＞（N=1,443　※不明除く）

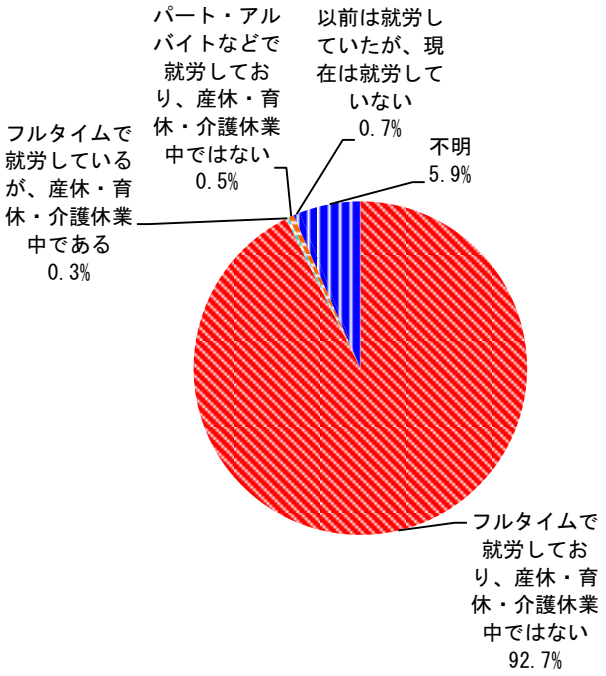


＜父親＞

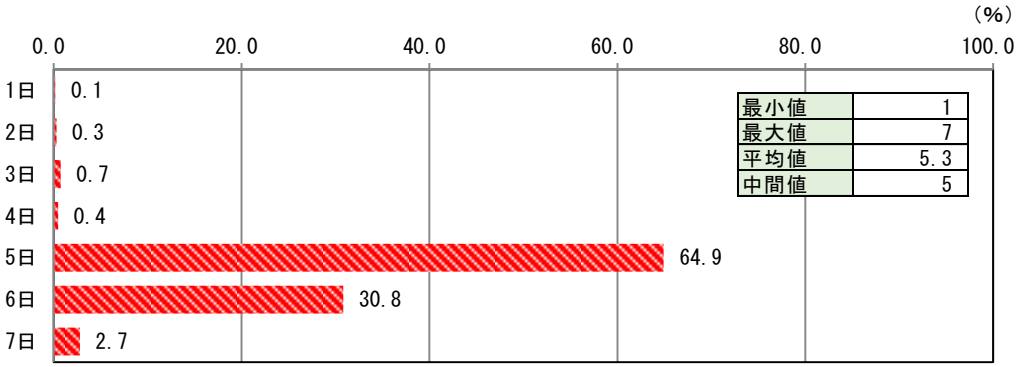
○「問 18（1）父親の就労状況」を見ると、ほとんどの方が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(92.7%）と回答した。

○就労している父親の「問 18（2）週あたりの就労日数」は平均 5.3 日、問 18（2）1 日あたりの就労時間」は平均 10.2 時間であった。1 ヶ月あたりの就労時間に換算すると、平均で 217.7 時間となる。

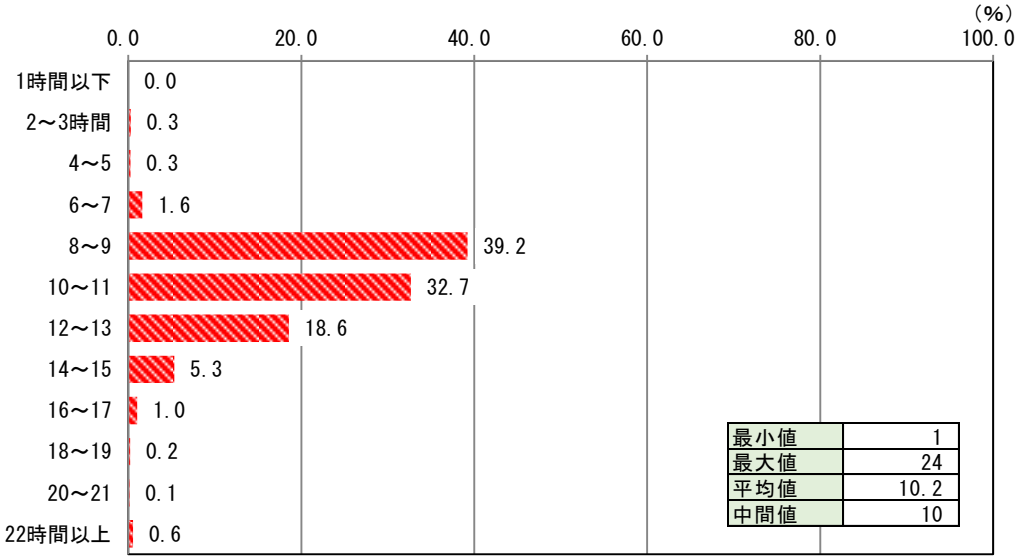
問 18（1）父親の就労状況＜SA＞（N=5,814）



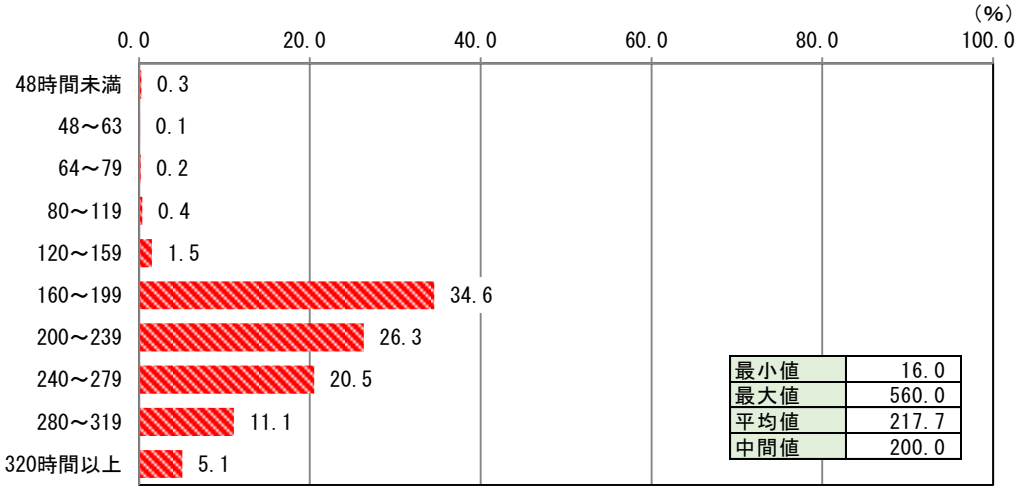
問 18（2）【就労者限定】父親の週あたりの就労日数
＜IN＞（N=5,387　※不明除く）



問 18（２）【就労者限定】父親の１日あたりの就労時間
＜IN＞（N=5,295　※不明除く）

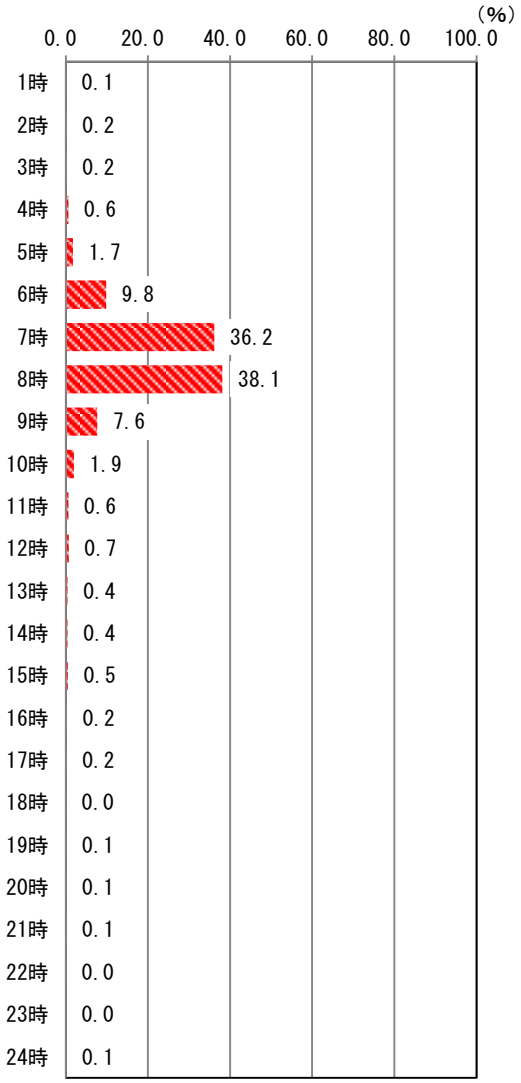


問 18（２）【就労者限定】父親の１ヶ月あたりの就労時間
＜IN＞（N=5,283　※不明除く）

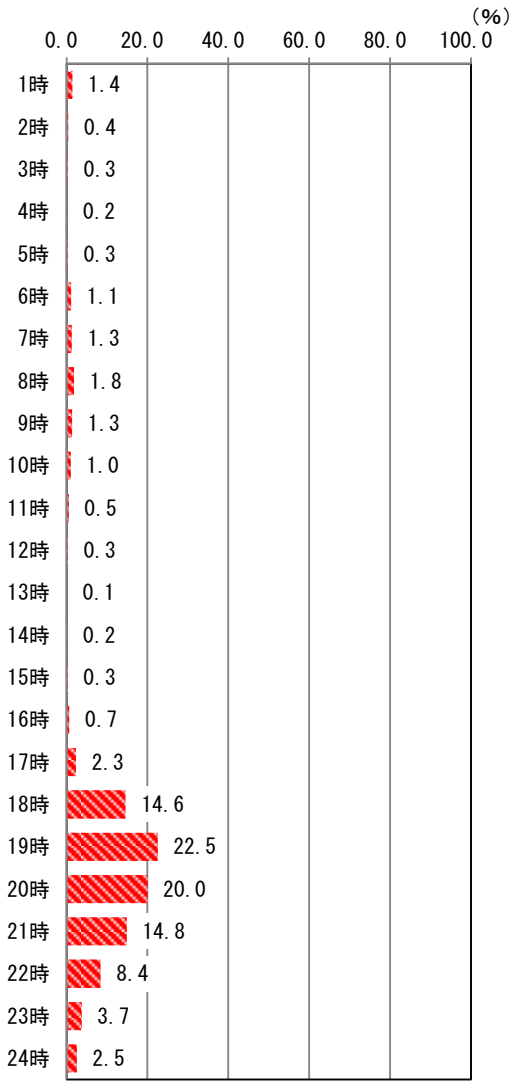


○就労している父親の「問 18（３）家を出る時刻」は「8 時」(38.1%）が最も多く、僅差で「7 時」(36.2%）が次ぐ。「問 17（３）帰宅時刻」は「19 時」(22.5%）が最も多く、「20 時」(20.0%）が次ぐ。

問 18（３）【就労者限定】父親の家を出る時刻
＜IN＞（N=5,390　※不明除く）

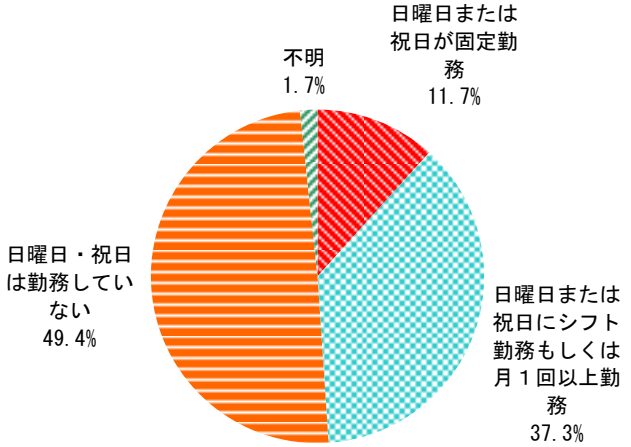


問 18（３）【就労者限定】父親の帰宅時刻
＜IN＞（N=5,383　※不明除く）

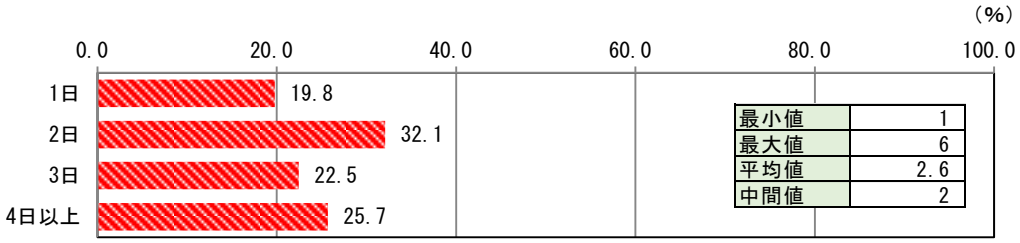


○就労している父親の「問 18（４）日曜・祝日の就労状況」であるが、「日曜日または祝日が固定勤務」「日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務」の方が計 49.0%であった。

問 18（４）【就労者限定】父親の日曜・祝日の就労状況＜SA＞（N=5,433）



問 18（４）【日曜・祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務者限定】
父親の日曜・祝日の月平均勤務日数＜SA＞（N=1,852　※不明除く）

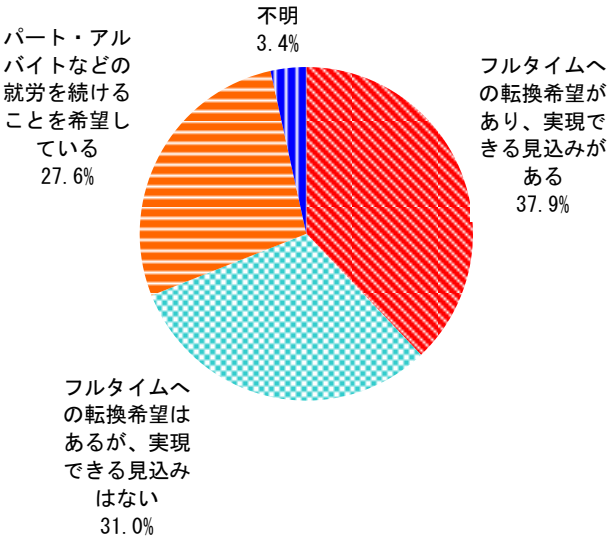


○先述の「問 18（1）父親の就労状況」から、フルタイム勤務以外の方（「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「以前は就労していたが、現在は就労していない」）は計 1.2%とわずかである。

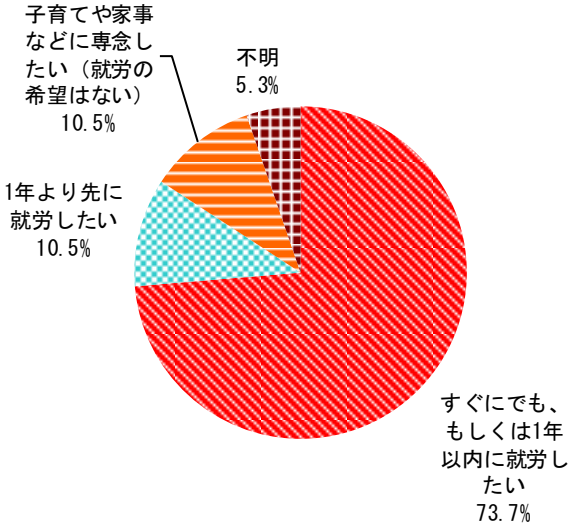
○「問 18（5）父親のフルタイムへの転換希望・見込み」について、パート・アルバイトの方でフルタイムへの転換希望（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」）がある方は計 68.9%であった。一方、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している」方は 27.6%であった。

○未就労の父親について「問 18（6）就労希望の有無」を聞いたところ「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」方が最も多く 73.7%であった。「1 年より先に就労したい」方は 10.5%であった。以上、就労の希望がある人は計 84.2%であった。

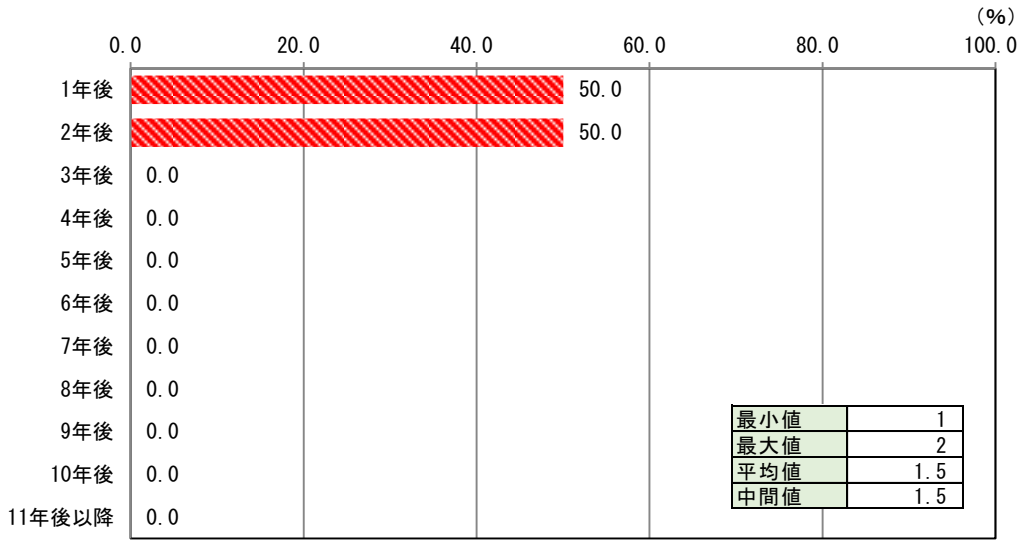
問 18（5）【パート・アルバイトの方限定】
父親のフルタイムへの転換希望・見込み
＜SA＞（N=29）



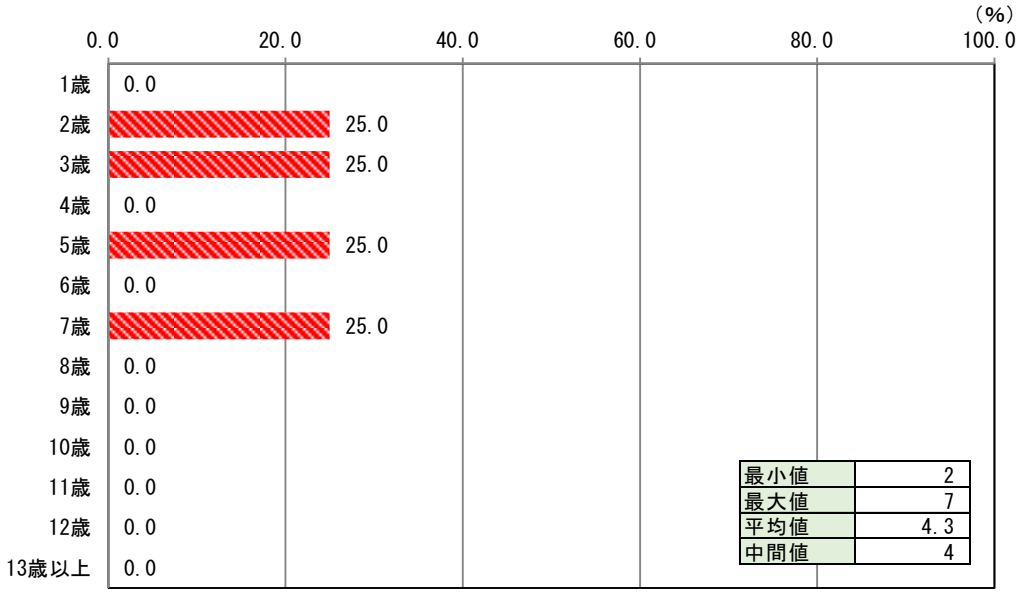
問 18（6）【未就労者限定】父親の就労希望の有無
＜SA＞（N=38）



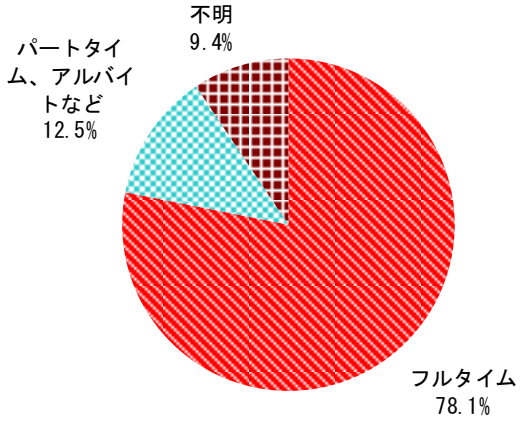
問 18（7）【1 年より先に就労したい方限定】
父親は何年後に就労したいか＜IN＞（N=4　※不明除く）



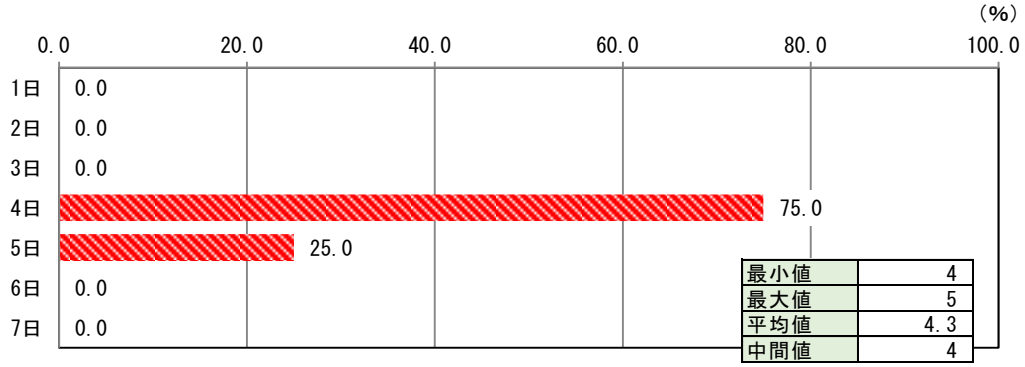
問 18（７）【1 年より先に就労したい方限定】
父親は一番下の子が何歳になったら就労したいか＜IN＞（N=4　※不明除く）



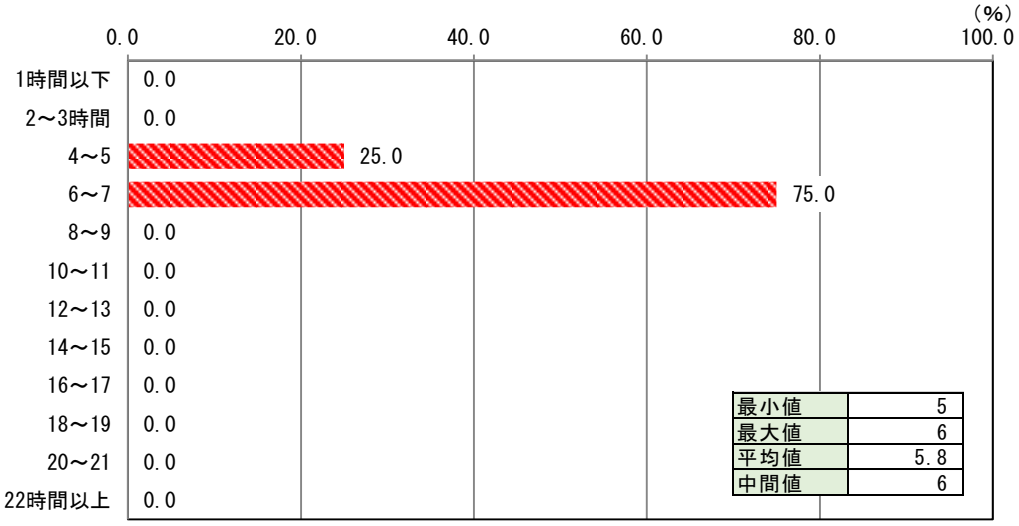
問 18（８）【未就労かつ就労希望者限定】父親が希望する就労形態
＜SA＞（N=32）



問 18（８）【未就労かつ就労希望者限定】
父親が希望する週の就労日数＜IN＞（N=4　※不明除く）



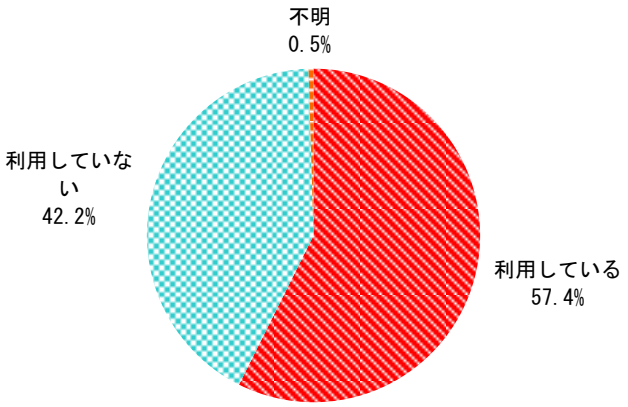
問 18（８）【未就労かつ就労希望者限定】父親が希望する１日の就労時間＜IN＞（N=4　※不明除く）

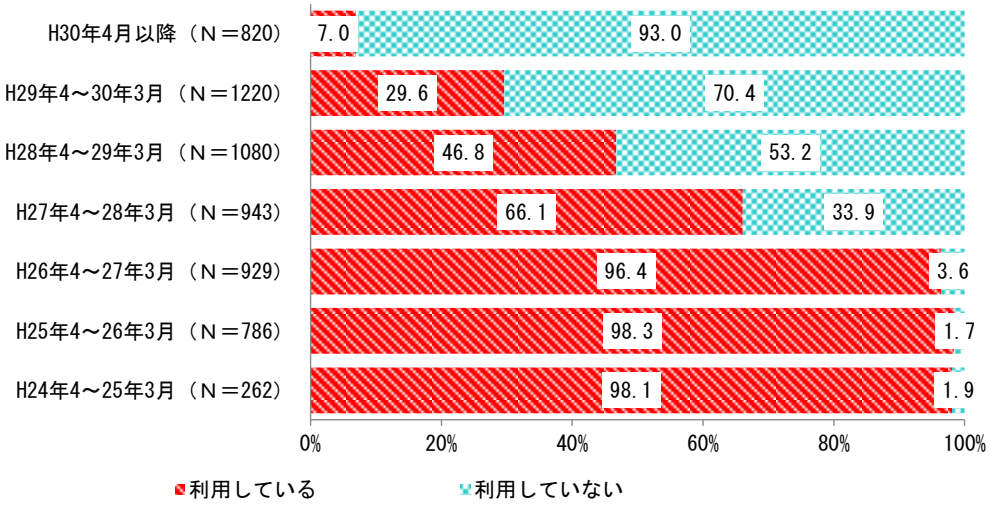


D. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

○「問 19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無」を聞いたところ 57.4%が「利用している」と回答した。

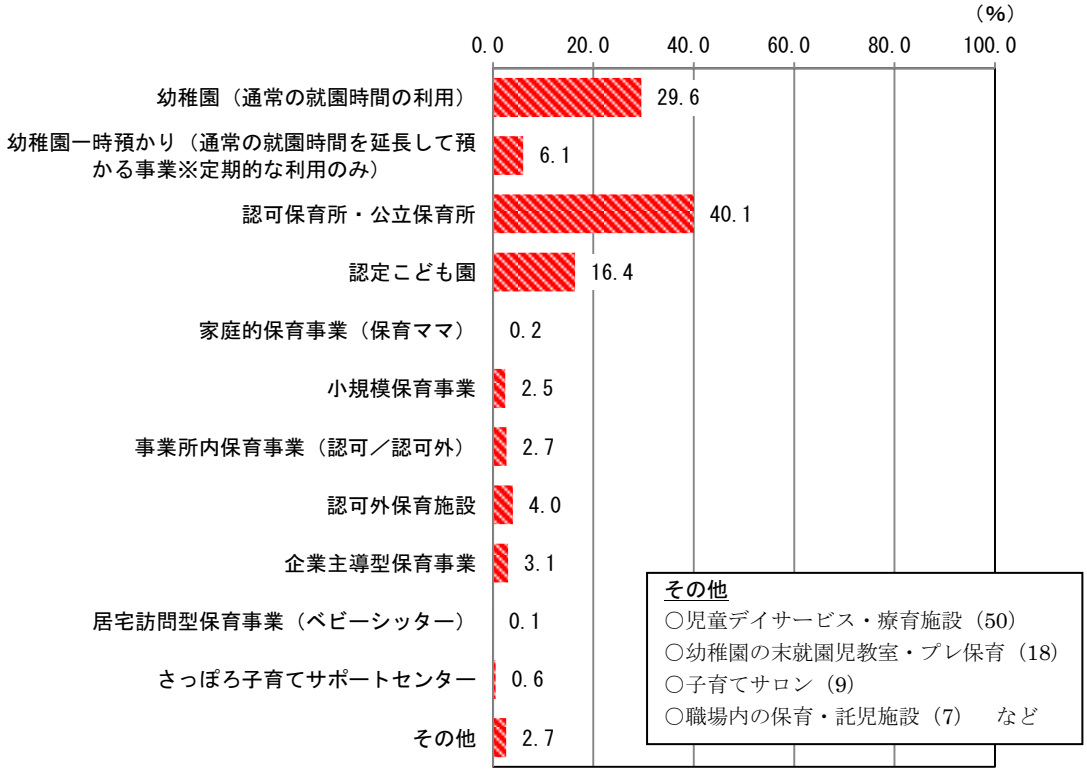
問 19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無＜SA＞（N=6,116）





○「問 19-1　定期的に利用している事業」としては「認可保育所・公立保育所」が最も多く（40.1%）、「幼稚園」（29.6%）が次ぐ。

問 19-1　【教育・保育事業利用者限定】定期的に利用している事業
＜MA＞（N=3,502　※不明除く）



（クロス集計表）問 19-1　定期的に利用している事業・各属性別＜MA＞（※不明除く）

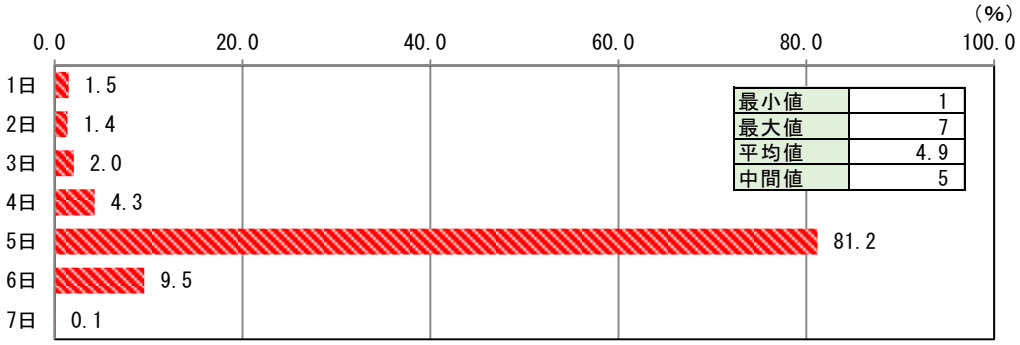
	N	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業）	認可保育所・公立保育所	認定こども園	家庭的保育事業（保育ママ）	小規模保育事業	事業所内保育事業（認可／認可外）	認可外保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）	さっぽろ子育てサポートセンター	その他
全体	3,502	29.6	6.1	40.1	16.4	0.2	2.5	2.7	4.0	3.1	0.1	0.6	2.7
問４　世帯構成													
お子さん＋ご両親（二世代世帯）	3,076	30.4	6.0	39.1	16.5	0.2	2.6	2.9	3.8	3.0	0.1	0.6	2.6
お子さん＋ご両親＋祖父母（三世代世帯）	187	35.3	8.0	36.9	15.5	－	2.1	3.2	4.3	2.7	－	－	2.1
お子さん＋母/父親（ひとり親・二世代世帯）	160	11.2	5.0	56.9	13.8	0.6	0.6	0.6	7.5	5.0	－	0.6	5.6
お子さん＋母/父親＋祖父母（ひとり親・三世代世帯）	67	19.4	4.5	56.7	17.9	－	1.5	－	4.5	－	－	－	1.5
お子さん＋祖父母		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
問17･18（１）世帯の就労状況													
共働き（フルタイム）	1,280	6.2	3.2	63.5	15.5	0.1	2.2	4.8	4.4	3.7	0.1	0.6	0.5
共働き（片方・両方がパートタイム）	991	28.9	12.4	37.4	16.1	0.4	4.2	2.7	4.6	4.0	0.1	0.1	2.2
片働き（専業主婦）	764	72.8	3.4	1.2	18.7	－	0.8	0.1	1.8	0.7	－	0.9	5.8
片働き（専業主夫）	14	14.3	7.1	50.0	14.3	－	7.1	－	－	7.1	－	－	－
就労していない	6	50.0	16.7	16.7	16.7	－	－	－	－	－	－	－	16.7
その他	220	12.3	4.5	57.3	15.5	0.5	0.9	0.5	6.8	3.6	－	－	3.6

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

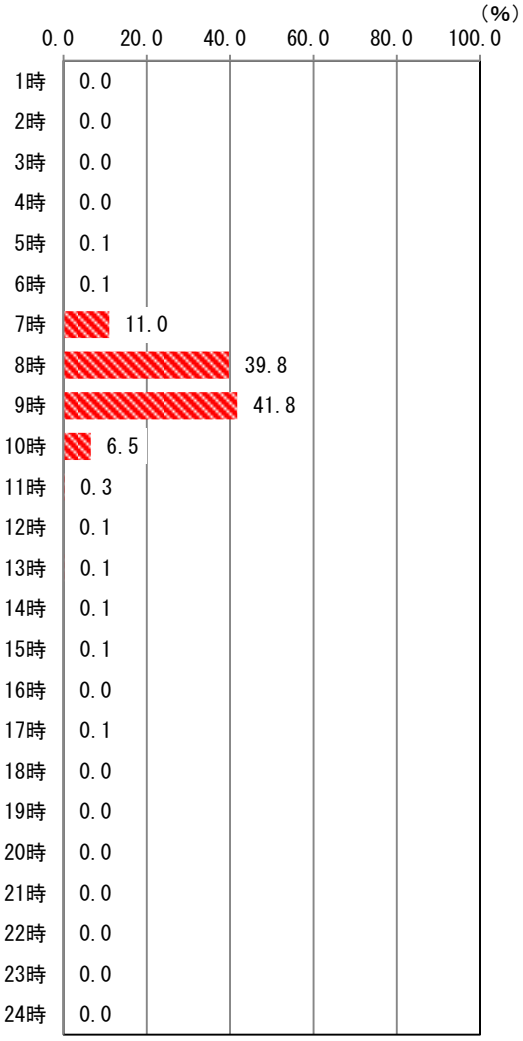
○「問 19-２（１）週あたりの利用日数（現状）」としては「5 日」が最も多い（81.2%）。平均値は 4.9 日であった。

○「問 19-２（１）利用開始時刻（現状）」は「9 時」(41.8%)、「8 時」(39.8%)、「問 19-２（１）利用終了時刻（現状）」は「18 時」(26.8%)、「17 時」(19.6%) に次ぎ、「14 時」(18.9%) が続くという、2 つの山ができている形となっている。保育所と幼稚園の利用時刻が反映されていると考えられる。

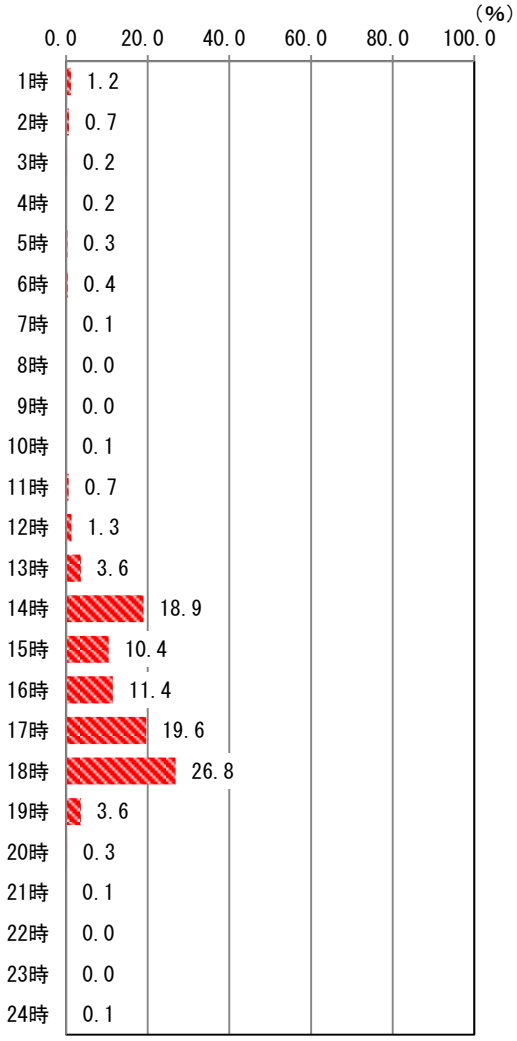
問 19-２（１）　【教育・保育事業利用者限定】
週あたりの利用日数（現状）＜IN＞（N=3,466　※不明除く）



問 19-２（１）　【教育・保育事業利用者限定】
利用開始時刻（現状）＜IN＞（N=3,476　※不明除く）



問 19-２（１）　【教育・保育事業利用者限定】
利用終了時刻（現状）＜IN＞（N=3,478　※不明除く）



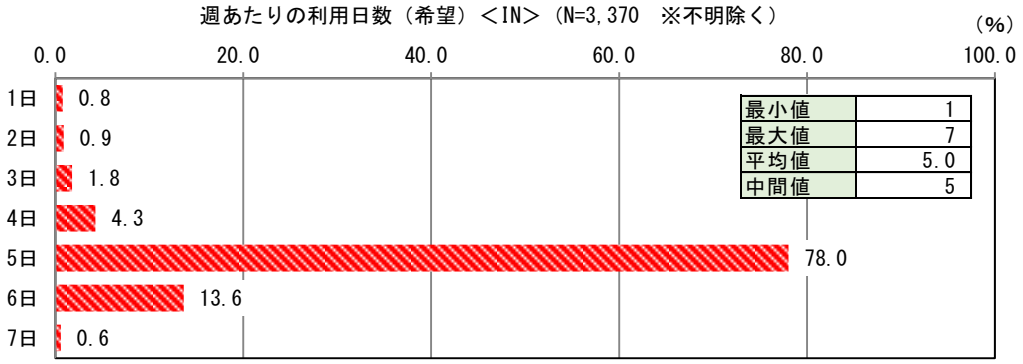
○「問 19-２（２）週あたりの利用日数（希望）」は「現状」と同様、「5 日」が最も多かった（78.0%）。

○「問 19-２（２）利用開始時刻（希望）」も「現状」と同様、「9 時」（41.0%）、「8 時」（40.9%）が多くなっている。

○「問 19-２（２）利用終了時刻（希望）」についても「現状」と同様、「18 時」（24.5%）「17 時」（21.5%）「15 時」（16.7%）の順となっている。

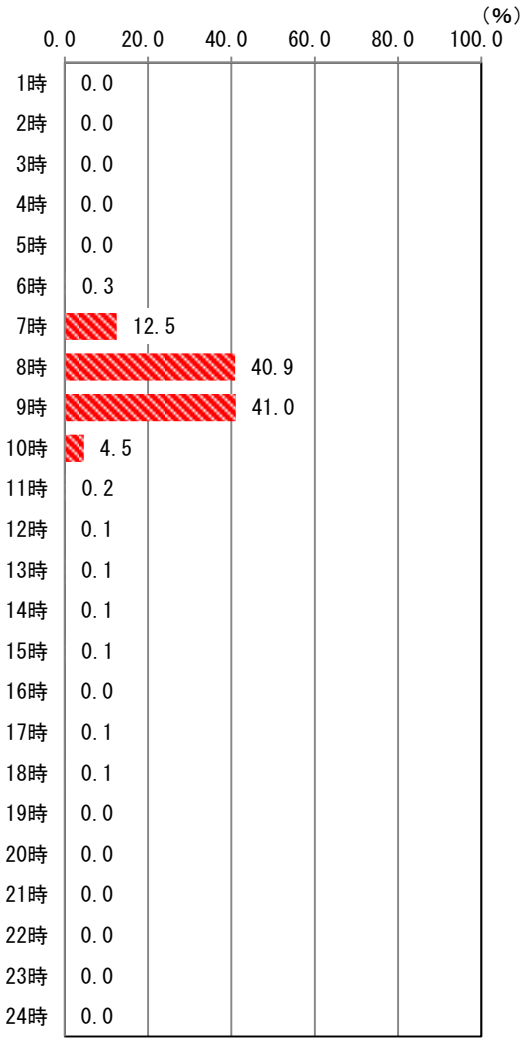
問 19-２（２）　【教育・保育事業利用者限定】

週あたりの利用日数（希望）＜IN＞（N=3,370　※不明除く）



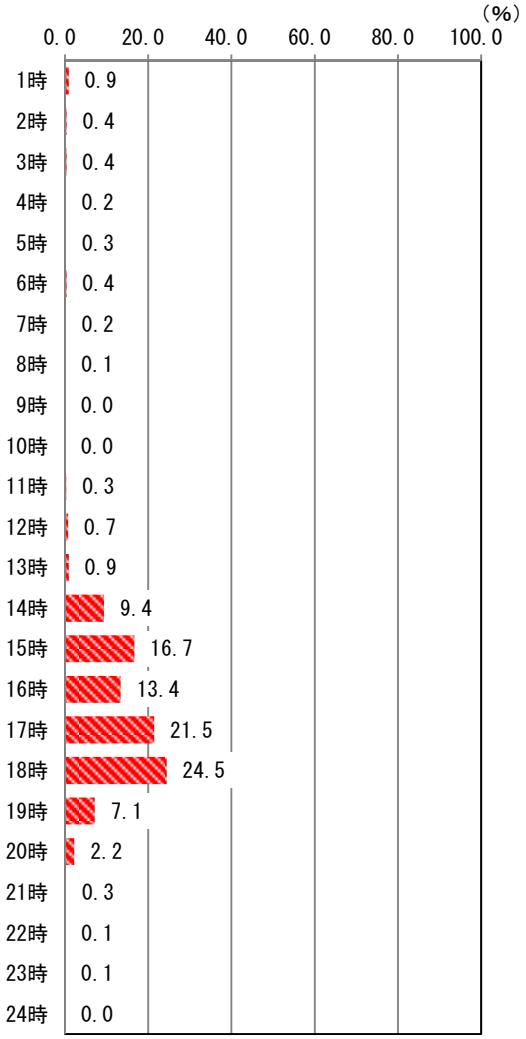
問 19-２（２）　【教育・保育事業利用者限定】

利用開始時刻数（希望）＜IN＞（N=3,380　※不明除く）



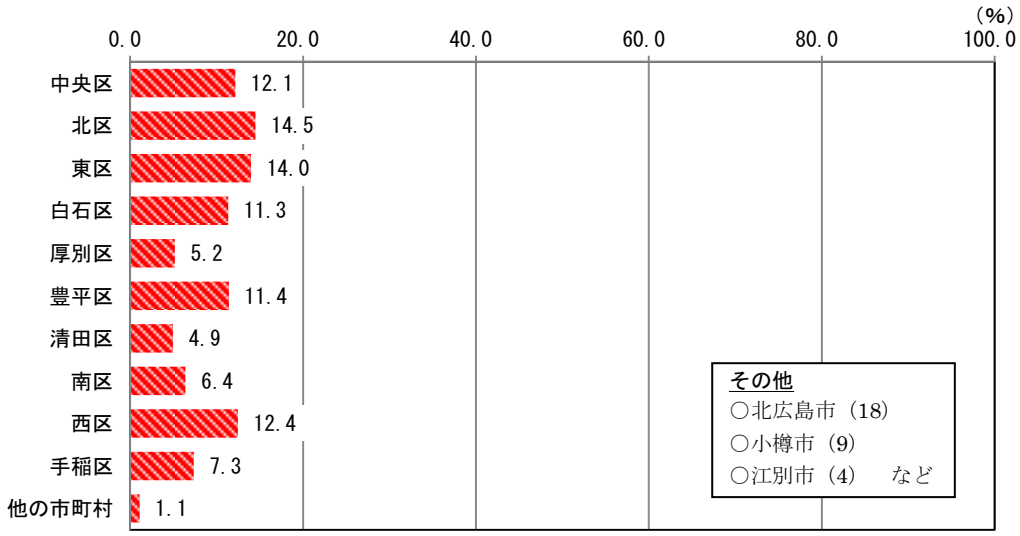
問 19-２（２）　【教育・保育事業利用者限定】

利用終了時刻数（希望）＜IN＞（N=3,378　※不明除く）



問 19-３　【教育・保育事業利用者限定】

教育・保育事業の実施場所＜MA＞（N=3,487　※不明除く）



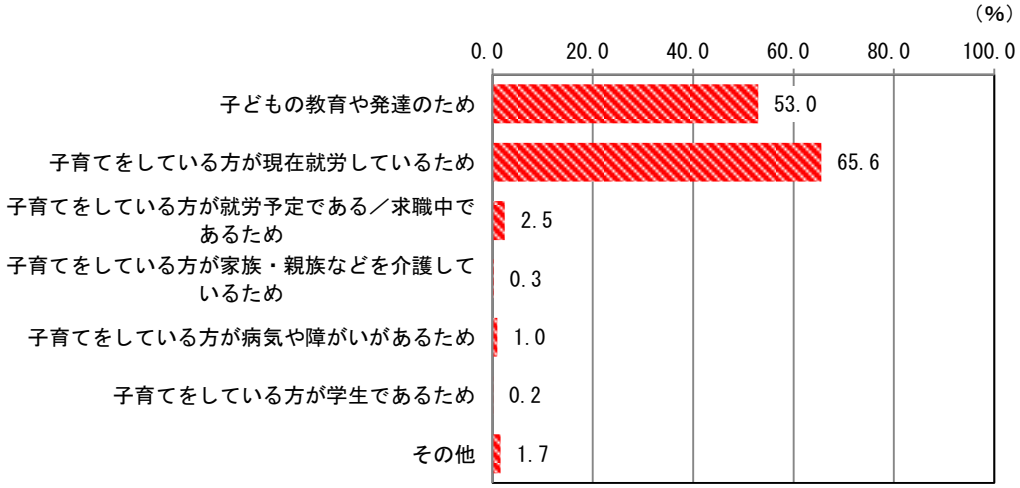
（クロス集計表）問 19-３　教育・保育事業の実施場所・居住区別＜MA＞（※不明除く）

実施場所 ＼ 居住区	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	他の市町村
全体(N=3,475)	12.1	14.5	14.0	11.3	5.2	11.4	4.9	6.4	12.5	7.3	1.1
中央区(N=386)	80.3	1.8	1.8	－	－	4.9	－	2.6	9.1	0.3	0.3
北区(N=530)	3.6	83.0	6.4	0.4	0.4	0.6	－	0.2	3.6	1.7	0.6
東区(N=484)	4.1	5.6	88.2	1.4	0.4	0.4	－	－	－	－	－
白石区(N=373)	3.8	－	2.4	84.2	1.9	6.4	0.5	－	0.5	0.3	0.3
厚別区(N=200)	2.5	0.5	－	11.0	78.5	1.0	1.0	－	－	－	6.0
豊平区(N=386)	3.6	0.3	1.0	9.1	0.3	79.8	1.6	4.9	0.3	－	0.5
清田区(N=206)	－	－	0.5	4.4	5.3	7.3	78.2	0.5	－	－	4.4
南区(N=222)	4.1	0.5	0.5	－	－	9.5	－	85.6	－	－	－
西区(N=417)	6.5	5.0	0.2	0.5	－	0.2	－	0.2	82.3	5.0	0.5
手稲区(N=271)	1.5	1.8	0.4	－	－	－	0.4	－	12.2	81.5	2.6
札幌市外(N=0)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 19-4　教育・保育事業を利用している理由」としては「子育てをしている方が現在就労しているため」（65.6%）が最も多く挙げられた。「子どもの教育や発達のため」（53.0%）が次ぐ。他の理由はいずれも 3%以下と小さい。

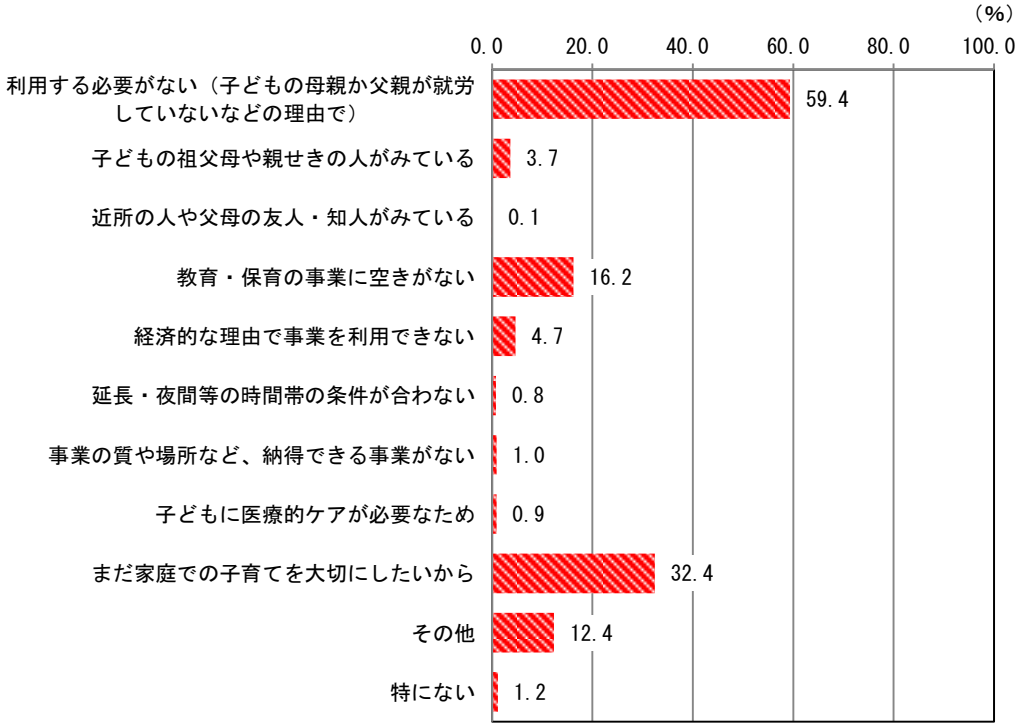
問 19-4　【教育・保育事業利用者限定】
教育・保育事業を利用している理由＜MA＞（N=3,469　※不明除く）



その他
○下の子などの育児・出産のため（19）
○自分の時間がほしいため（9）
○育児の負担軽減のため（6）
○他の子との交流・集団生活に慣らすため（5）　など

○「問 19-5　教育・保育事業を利用していない理由」としては「利用する必要がない」(59.4%)が最も多く挙げられ、「まだ家庭での子育てを大切にしたいから」(32.4%) が次ぐ。

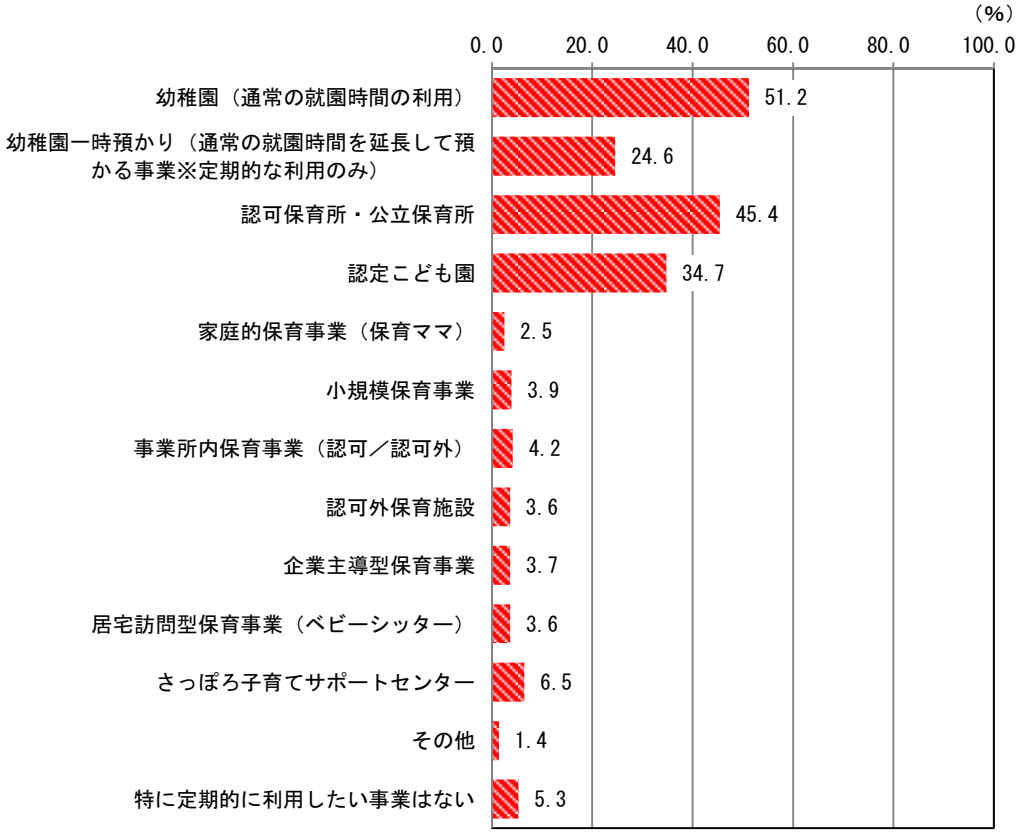
問 19-５　【教育・保育事業未利用者限定】
教育・保育事業を利用していない理由＜MA＞（N=2,568　※不明除く）



その他
○今後入所・入園予定、申込中（98）
○産休・育休中のため（83）
○子どもが生まれたばかり・まだ小さいため（51）
○保育所の待機中・空きがないため（18）
○児童デイサービス・療育施設に通っているため（12）
○幼稚園の未就園児教室に通っているため（9）　など

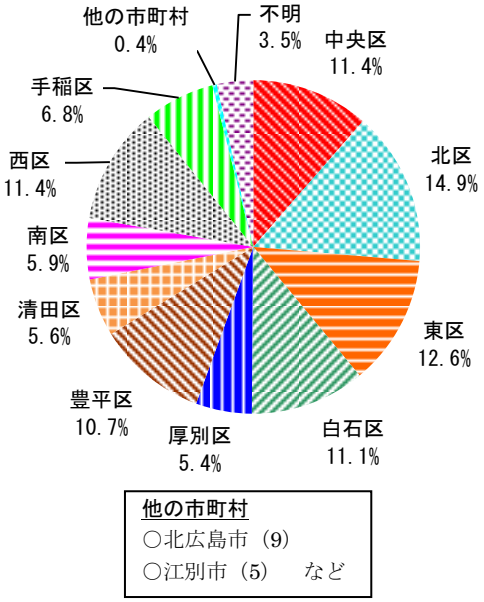
○「問 20　定期的に利用したい教育・保育事業」としては「幼稚園」が 51.2%と半数以上が挙げた。以下「認可保育所・公立保育所」(45.4%)、「認定こども園」(34.7%) と次ぐ。

問 20　定期的に利用したい教育・保育事業
＜MA＞（N=6,071　※不明除く）



その他
○児童デイサービス・療育施設（18）
○病後児保育（13）
○子育てサロン（8）
○ショートステイ・一時預かり（6）
○放課後児童クラブ（5）　など

問 20-１　【利用したい事業がある方限定】
教育・保育事業を最も利用したい場所＜SA＞（N=5,748）



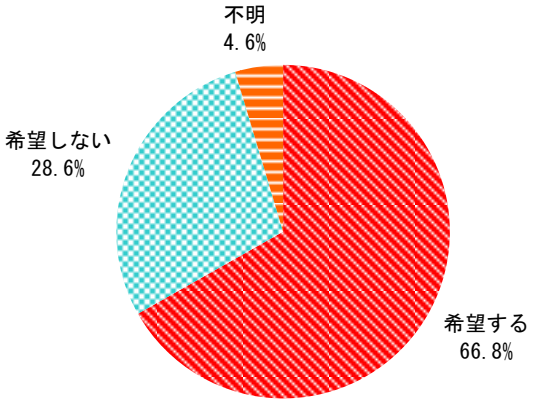
（クロス集計表）問 20-１　教育・保育事業を最も利用したい場所・居住区別＜SA＞（※不明除く）

実施場所 / 居住区	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	他の市町村
全体(N=5,527)	11.9	15.5	13.1	11.5	5.6	11.1	5.8	6.1	11.8	7.1	0.5
中央区(N=625)	94.2	0.3	0.8	0.2	－	0.8	0.2	0.5	3.0	－	－
北区(N=835)	0.1	95.1	1.6	0.4	－	－	－	－	1.2	1.3	0.4
東区(N=761)	2.2	4.5	91.7	0.5	－	0.3	－	－	0.4	0.3	0.1
白石区(N=633)	1.1	0.5	0.8	92.9	0.6	2.1	0.2	0.5	0.8	0.2	0.5
厚別区(N=328)	0.9	－	－	4.3	90.2	1.2	1.2	－	－	－	2.1
豊平区(N=630)	1.6	0.5	－	4.1	0.3	89.8	0.6	2.1	0.2	0.5	0.3
清田区(N=335)	0.6	－	－	0.3	2.4	1.8	93.1	－	－	－	1.8
南区(N=347)	2.3	0.3	－	－	－	4.6	0.3	91.9	0.3	0.3	－
西区(N=643)	2.0	2.2	0.2	0.2	0.2	－	－	0.2	92.5	2.3	0.3
手稲区(N=390)	1.3	0.8	0.5	－	－	－	－	－	5.1	92.1	0.3
札幌市外(N=0)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

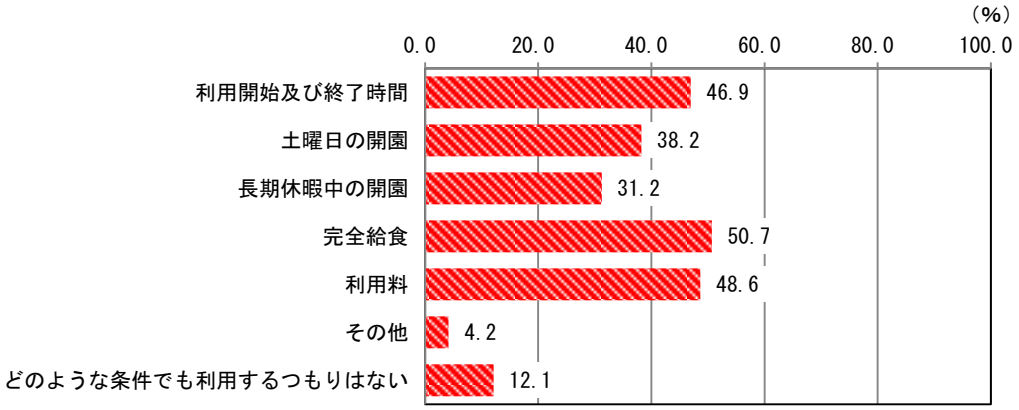
○幼稚園と合わせて他の事業を利用したい方に「問 20-２　特に幼稚園の利用を強く希望するか」を聞いたところ、66.8%が「希望する」と回答した。

問 20-２　【幼稚園と合わせて他の事業を利用したい方限定】
特に幼稚園の利用を強く希望するか＜SA＞（N=1,618）



○「問 20-３　幼稚園の一時預かりをどのような条件が整えば利用したいか」との設問に対して「完全給食」（50.7%）が最も多かった。以下、「利用料」（48.6%）、「利用開始及び終了時間」（46.9%）が続く。

問 20-３　幼稚園の一時預かりをどのような条件が整えば利用したいか
＜MA＞（N=5,849　※不明除く）

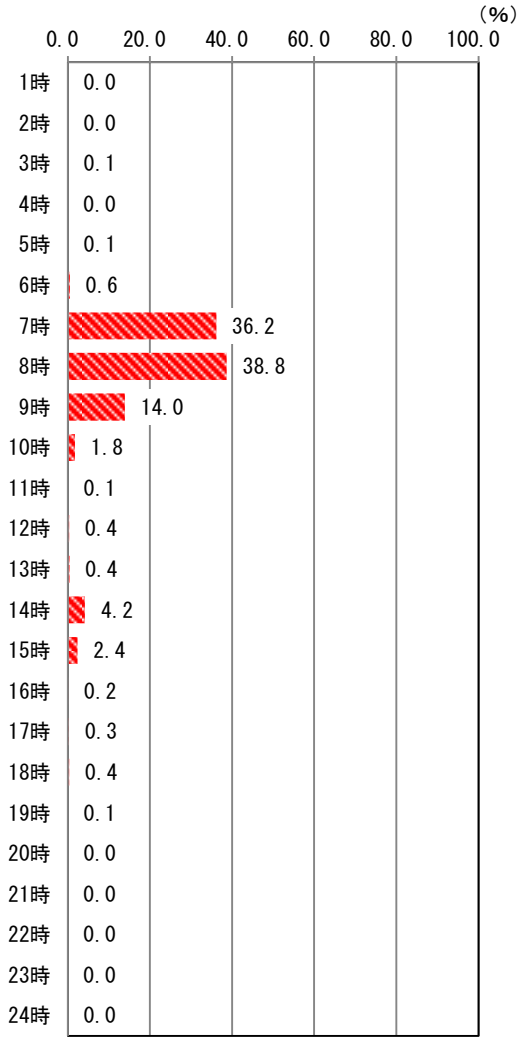


その他
○送迎あり（29）
○土・日・祝日に預けられる（20）
○利用しやすい・預けたいときに預けられる（18）
○考えていない・わからない（18）
○自宅に近い・立地が良い（16）
○急な預かりに対応してもらえる（13）
○現状で満足している（9）
○保育所の一時保育と同等・以上の環境・条件（7）
○乳児など小さい子も預けられる（6）　など

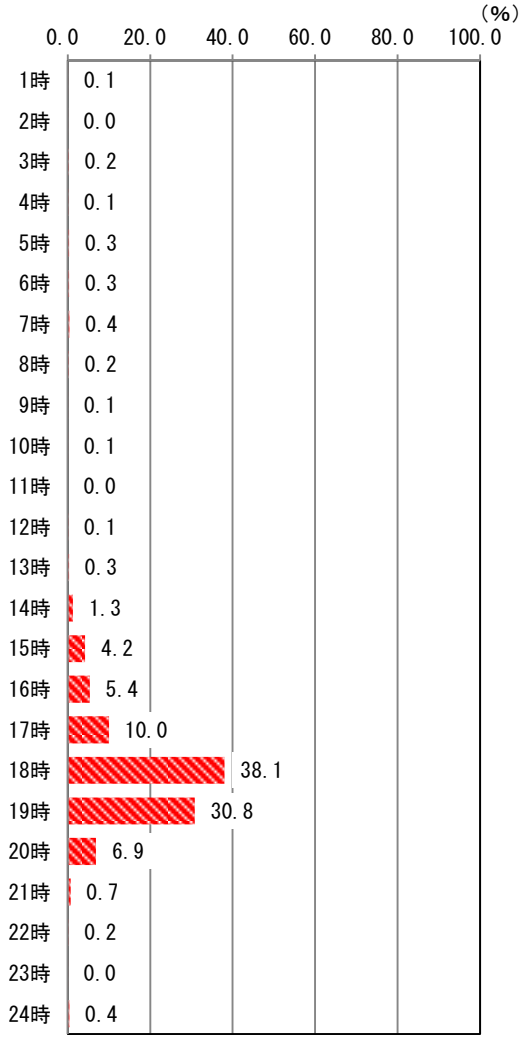
○幼稚園の一時預かりを利用開始・終了時間が合えば利用したい方に「問 20-３　希望する利用開始時間」を聞いたところ、38.8%が「8 時」と回答した。「7 時」（36.2%）が続く。

○「問 20-３　希望する利用終了時間」については、38.1%が「18 時」、30.8%が「19 時」と回答した。

問 20-３　【幼稚園の一時預かりを利用開始・終了時間が合えば利用したい方限定】
希望する利用開始時間＜IN＞（N=3,258　※不明除く）

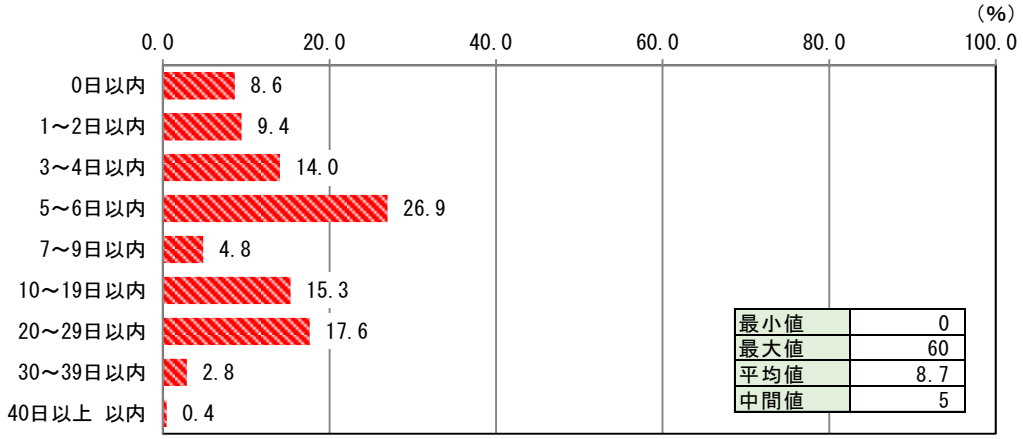


問 20-３　【幼稚園の一時預かりを利用開始・終了時間が合えば利用したい方限定】
希望する利用終了時間＜IN＞（N=3,298　※不明除く）



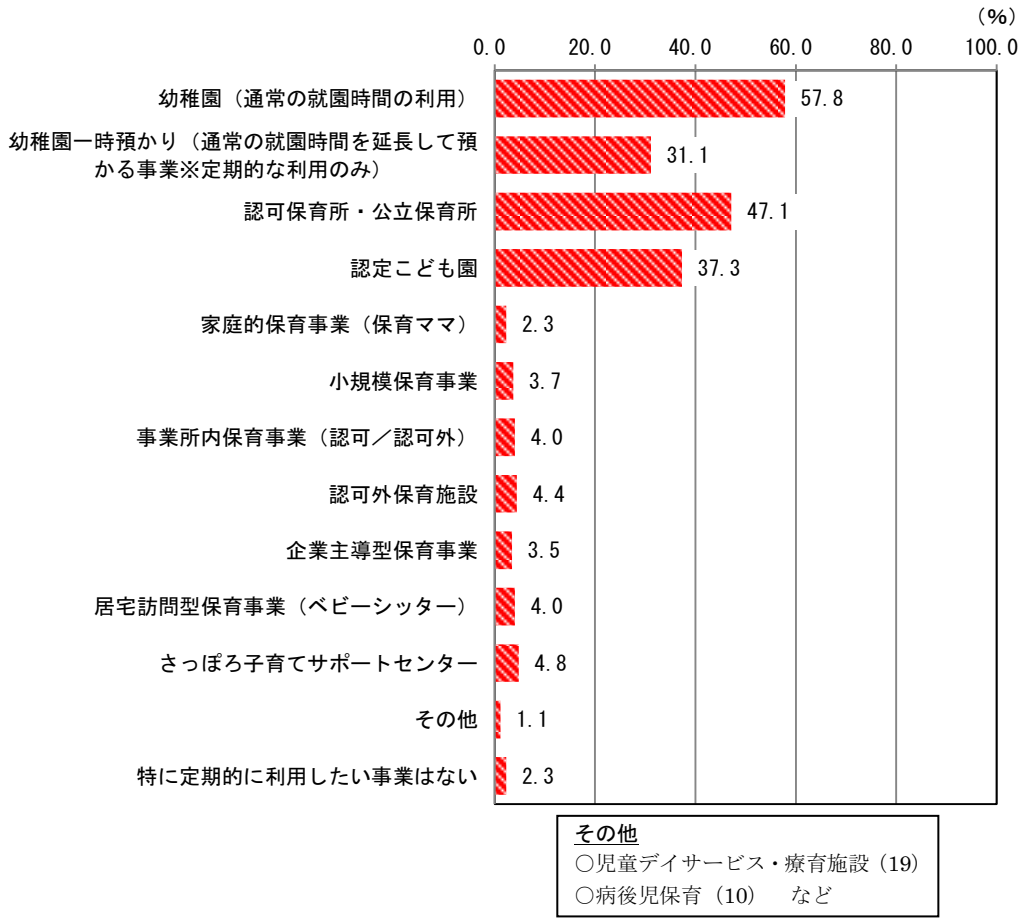
○幼稚園の一時預かりを長期休暇中の開園があれば利用したい方に「問 20-３　長期休暇中の休園日が何日以内であれば良いか」聞いたところ、平均値は 8.7 日であった。

問 20-３　【幼稚園の一時預かりを長期休暇中の開園があれば利用したい方限定】
長期休暇中の休園日が何日以内であれば良いか＜IN＞（N=954　※不明除く）



○「問 21　幼児教育・保育が無償化された場合に利用したい事業」として「幼稚園」（57.8%）が最も多く挙げられた。「認可保育所・公立保育所」（47.1%）、「認定こども園」（37.3%）、「幼稚園一時預かり」（31.1%）が続く

問 21　幼児教育・保育が無償化された場合に利用したい事業
＜MA＞（N=6,079　※不明除く）

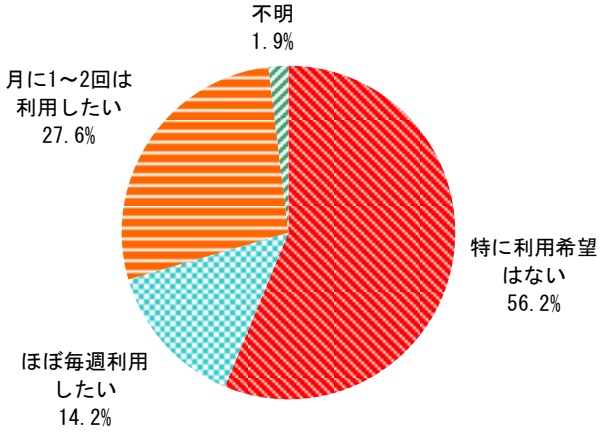


E. 土日祝日、長期休暇中の「教育・保育事業」の利用希望

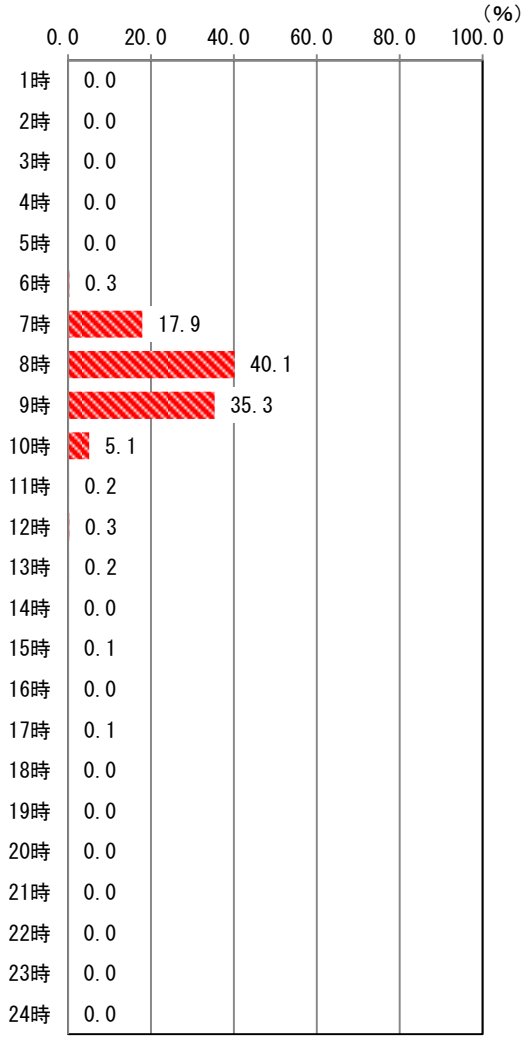
○「問 22（1）　土曜日の『教育・保育事業』利用希望」については、半数以上が「特に利用希望はない」（56.2%）と回答した。

○「問 22（1）希望する利用開始時間」としては「8 時」（40.1%）が、「問 22（1）希望する利用終了時間は「18 時」（32.7%）が最も多く挙げられている。

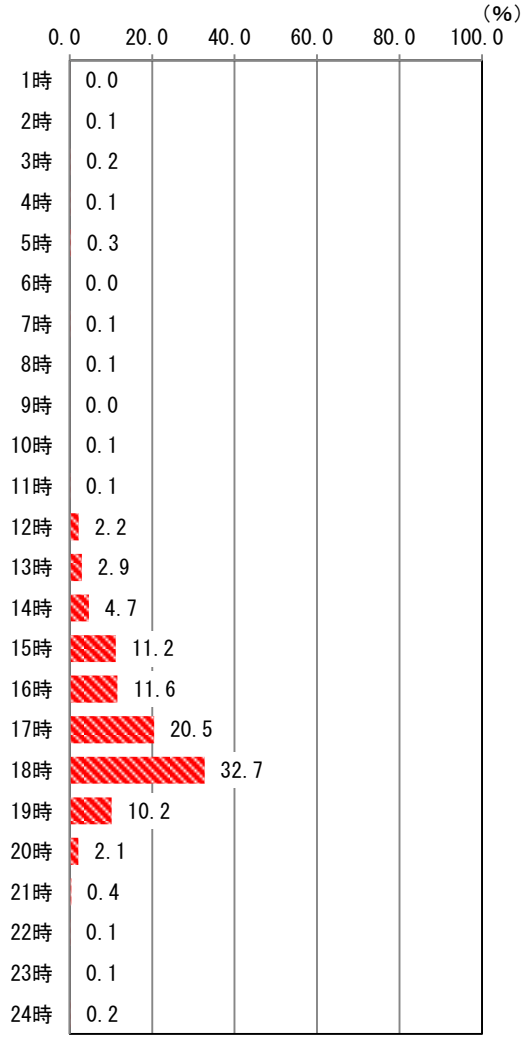
問 22（1）　土曜日の「教育・保育事業」利用希望＜SA＞（N=6,116）



問 22（1）　【土曜日利用希望者限定】
希望する利用開始時間＜IN＞（N=2,447　※不明除く）



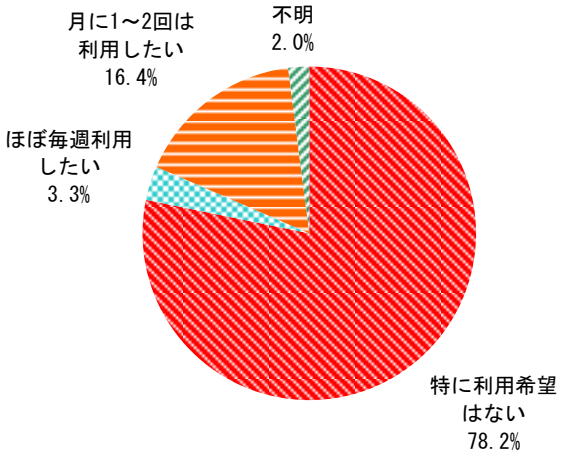
問 22（1）　【土曜日利用希望者限定】
希望する利用終了時間＜IN＞（N=2,447　※不明除く）



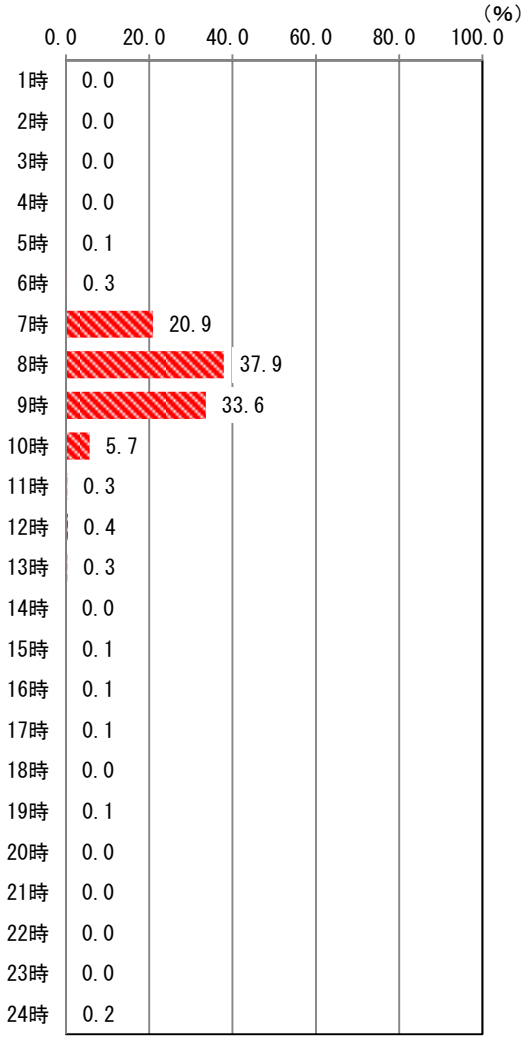
○「問 22（２）　日曜・祝日の『教育・保育事業』利用希望」については、約 8 割が「特に利用希望はない」（78.2%）と回答した。

○「問 22（２）希望する利用開始時間」としては「8 時」（37.9%）が、「問 22（２）希望する利用終了時間は「18 時」（38.6%）が最も多く挙げられている。

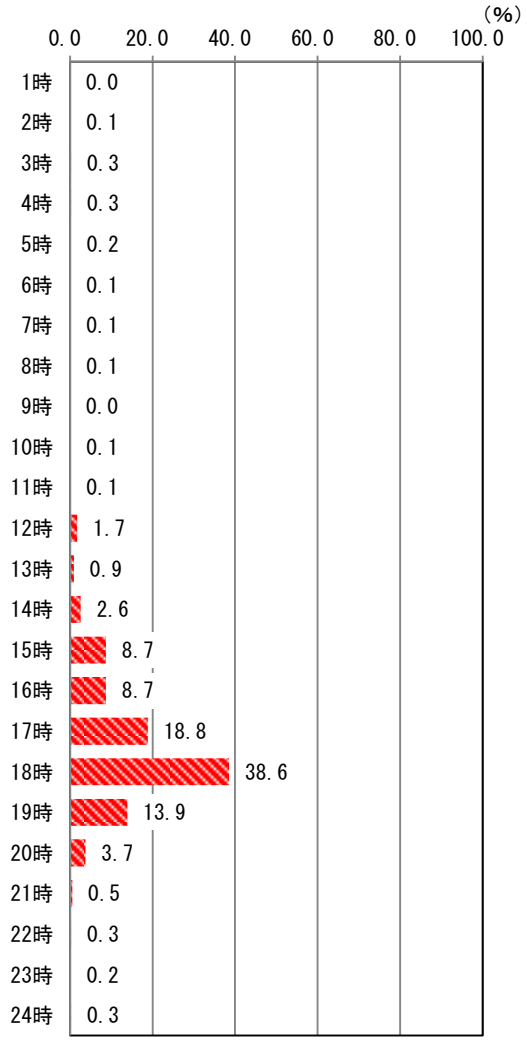
問 22（２）　日曜・祝日の「教育・保育事業」利用希望＜SA＞（N=6,116）



問 22（２）　【日曜・祝利用希望者限定】
希望する利用開始時間＜IN＞（N=1,162　※不明除く）



問 22（２）　【日曜・祝利用希望者限定】
希望する利用終了時間＜IN＞（N=1,162　※不明除く）



（クロス集計表）問 22（２）　日曜・祝日の「教育・保育事業」利用希望・母/父親の就労状況別＜SA＞

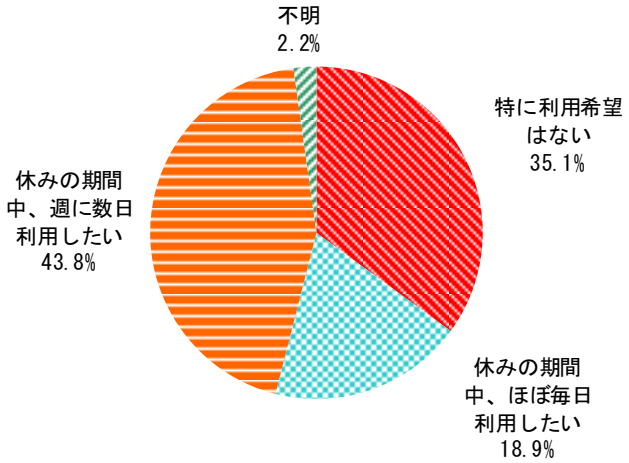
	N	特に利用希望はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	不明
全体	6,116	78.2	3.3	16.4	2.0
問17（４）母親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	157	54.1	20.4	24.8	0.6
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務	790	42.5	10.0	44.9	2.5
日曜日・祝日は勤務していない	2,462	81.8	1.7	14.8	1.7
問18（４）父親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	635	72.8	7.1	18.4	1.7
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務	2,024	71.2	4.5	22.7	1.6
日曜日・祝日は勤務していない	2,683	87.6	0.7	9.7	2.0

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

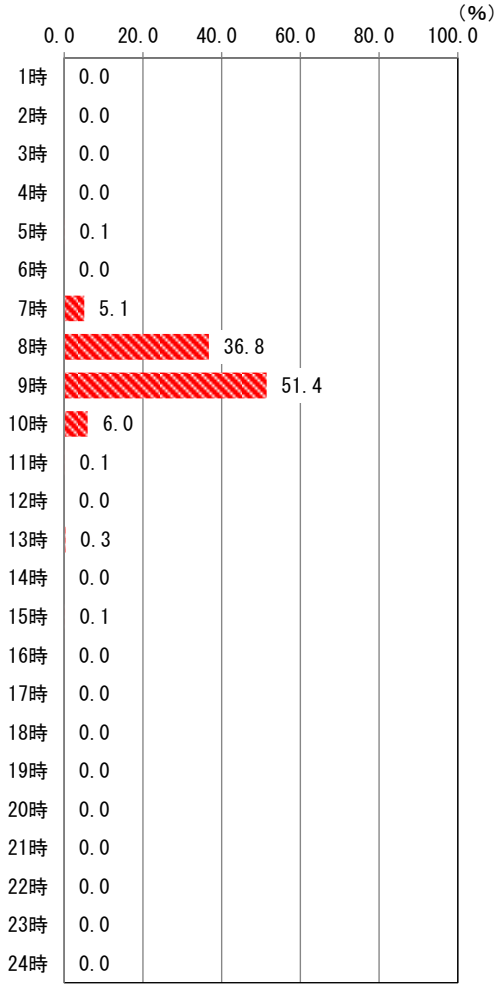
○幼稚園利用者に「問 23　長期休暇期間中の利用希望」について聞いたところ、43.8%が「休みの期間中、週に数日利用したい」、18.9%が「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答。

○「問 23　希望する利用開始時間」としては「9 時」（51.4%）が、「問 23　希望する利用終了時間は「15 時」（27.1%）が最も多く挙げられている。

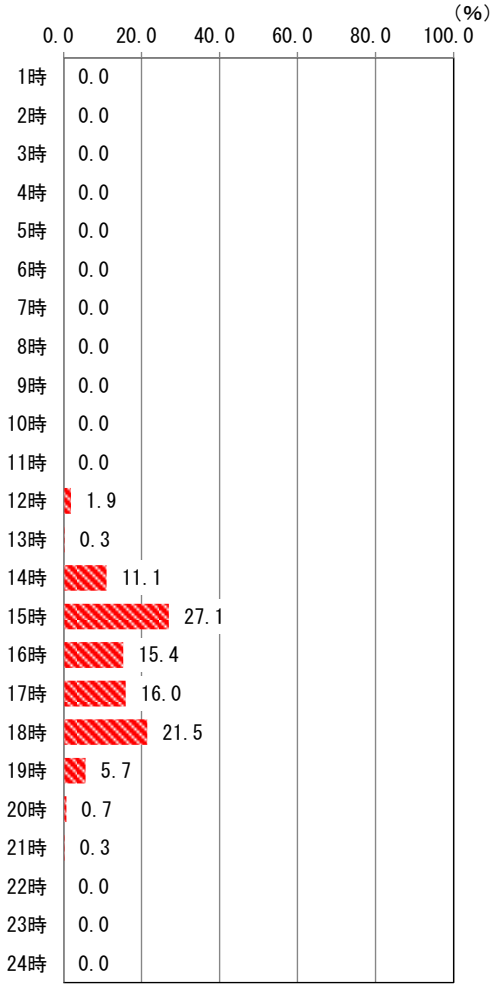
問 23　【幼稚園利用者限定】長期休暇期間中の利用希望
＜SA＞（N=1,084）



問 23　【幼稚園利用者かつ長期休暇期間中の利用希望者限定】
希望する利用開始時間＜IN＞（N=669　※不明除く）



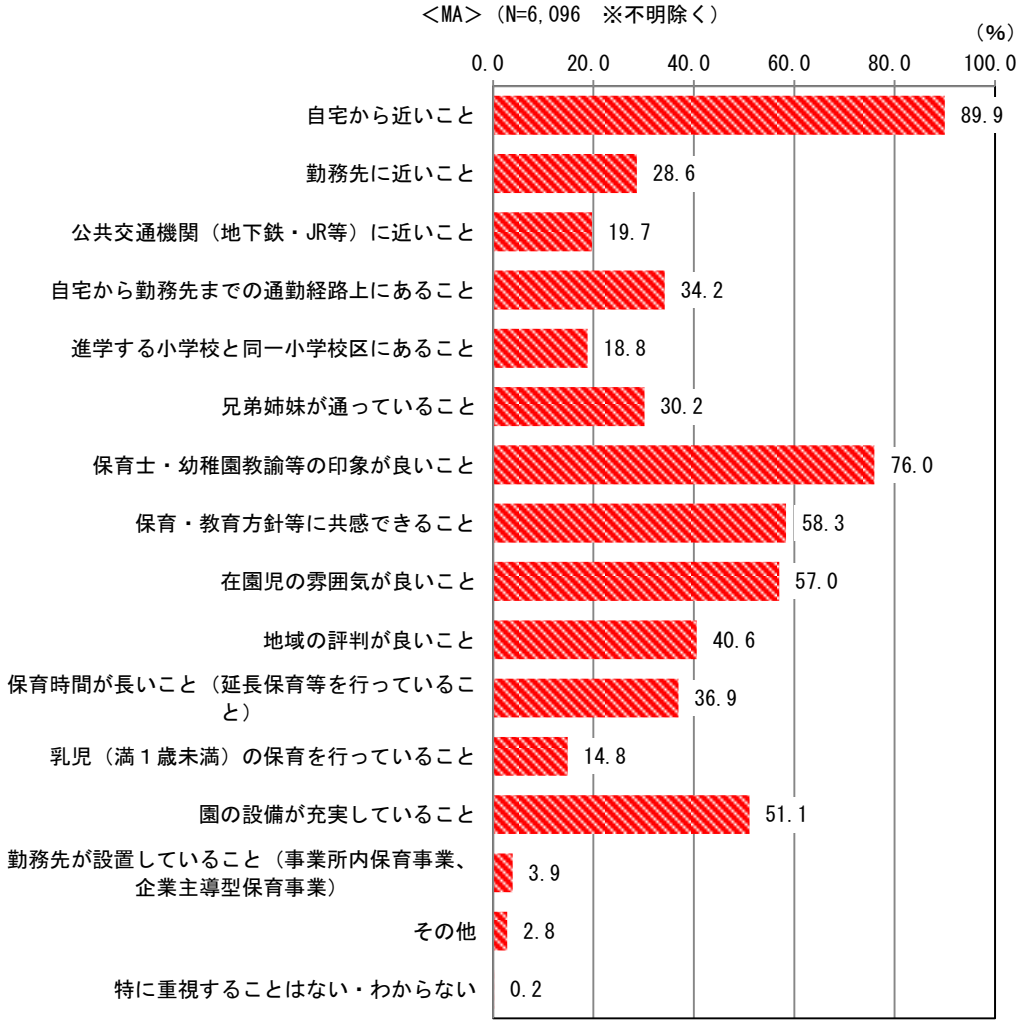
問 23　【幼稚園利用者かつ長期休暇期間中の利用希望者限定】
希望する利用終了時間＜IN＞（N=669　※不明除く）



F．「教育・保育事業」の利用にあたって重視すること

○「問 24　『教育・保育事業』の利用にあたって重視すること」としては、「自宅から近いこと」(89.9%)を約 9 割の方が挙げた。以下「保育士・幼稚園教諭等の印象が良いこと」(76.0%)、「保育・教育方針等に共感できること」(58.3%)、「在園児の雰囲気が良いこと」(57.0%)、「園の設備が充実していること」(51.1%) を半数以上の方が挙げている。

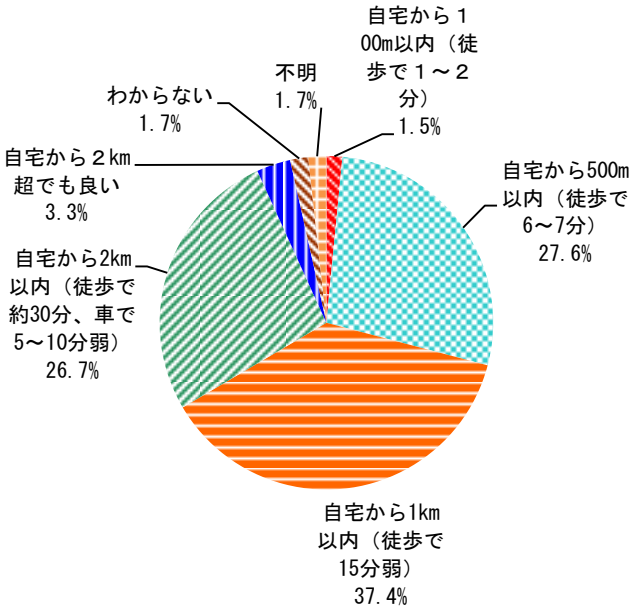
問 24　「教育・保育事業」の利用にあたって重視すること
＜MA＞（N=6,096　※不明除く）



その他
○送迎があること（22）
○給食があること・完全給食（17）
○費用（14）
○食事の内容（添加物、アレルギー配慮など）（12）
○施設が清潔・衛生的であること（12）
○行事・物品準備等の手間・負担が小さいこと（9）
○子どもに合っていること（9）
○自宅に近い・立地が良いこと（8）
○駐車場がある・整備されていること（8）
○安全・安心に預けられること（7）
○障がい・発達障がい等の子どもへの理解があること（5）　など

○重視することとして「自宅から近いこと」を挙げた回答者に「問 24-1　利用できると考える『教育・保育事業』利用先までの距離」を聞いたところ「自宅から 2km 超でも良い」との回答は 3.3%とわずかであり、9 割以上が自宅から 2km 以内の距離で回答した。

問 24-1　【「自宅から近いこと」回答者限定】
利用できると考える「教育・保育事業」利用先までの距離＜MA＞（N=5,548）



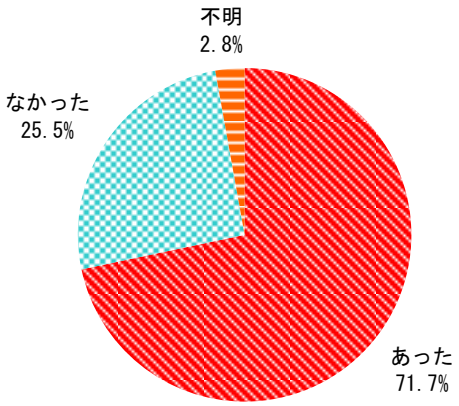
G.【平日の「教育・保育事業」利用者限定】子どもが病気・ケガの際の対応

○「教育・保育事業」の利用者で「問 25　子どもが病気やケガで『教育・保育事業』が利用できなかったことがあったか」との設問に対して、71.7%が「あった」と回答した。

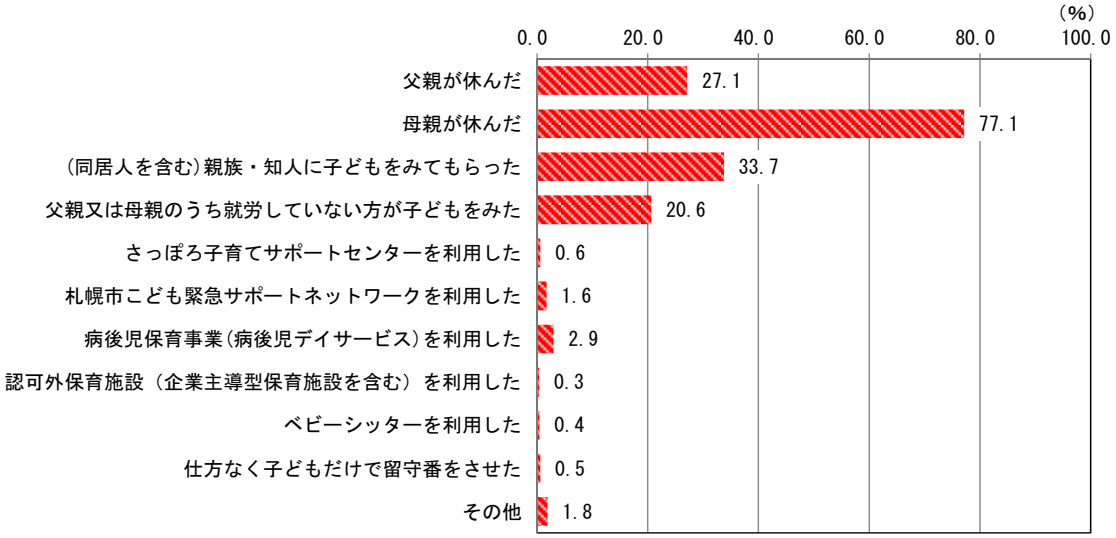
○「問 25-1　どのように対応したか」との設問では「母親が休んだ」(77.1%）が約 8 割と最も多かった。以下、「親族・知人に子どもをみてもらった」(33.7%)、「父親が休んだ」(27.1%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(20.6%）と続く。

○これらについてその年間の「問 25-1　それぞれの対応日数」の平均値を見ると「父親が休んだ」は 4.2 日である一方、「母親が休んだ」日数は 10.1 日と 10 日を超えている。

問 25　子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用できなかったことがあったか＜SA＞（N=3,509）



問 25-1　【子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用できなかったことがあった方限定】どのように対応したか＜MA＞（N=2,494　※不明除く）



その他
○母親が子どもをみた（9）
○職場に連れて行った（8）
○職場の病児・病後児保育を利用した（7）　など

問 25-1　【子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用できなかったことがあった方限定】
どのように対応したか～それぞれの対応日数＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

選択肢	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50日以上
父親が休んだ	666	38.1	26.0	18.3	5.6	8.7	1.7	1.5		0.2	
母親が休んだ	1,884	10.8	13.6	18.6	10.1	25.2	6.4	9.0	4.7	0.7	1.0
(同居人を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	821	21.3	18.9	21.0	6.6	20.3	3.5	5.8	2.1	0.1	0.4
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	495	11.7	14.1	17.8	9.5	26.9	5.7	9.3	2.6	0.4	2.0
さっぽろ子育てサポートセンターを利用した	14	57.1	14.3	7.1		14.3	7.1				
札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した	41	51.2	17.1	14.6	7.3	4.9	2.4	2.4			
病後児保育事業(病後児デイサービス)を利用した	71	40.8	21.1	12.7	7.0	15.5		2.8			
認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）を利用した	6	16.7	33.3		16.7				16.7		16.7
ベビーシッターを利用した	9	11.1	33.3	22.2		33.3					
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	40.0	30.0	20.0			10.0				
その他	40	17.5	20.0	7.5	10.0	22.5	2.5	12.5	2.5		5.0

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

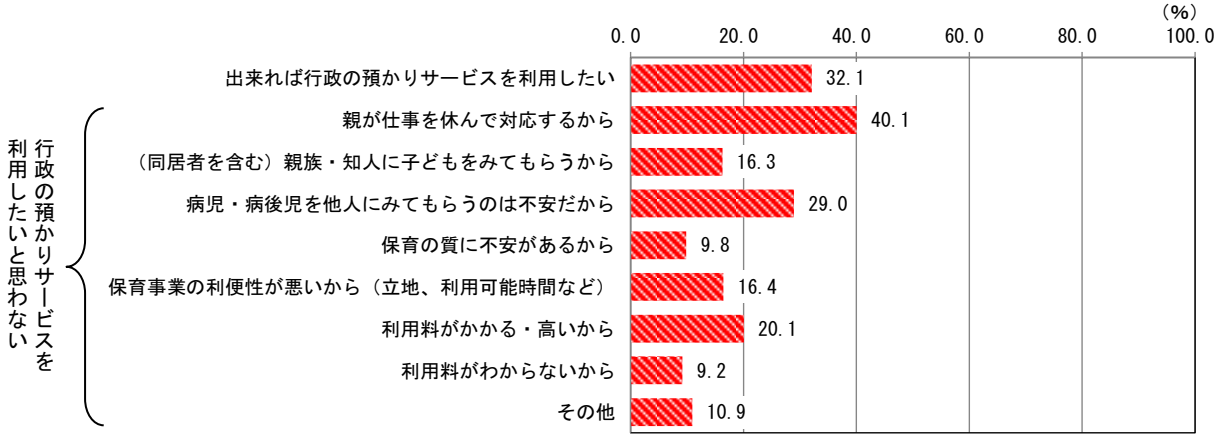
■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
父親が休んだ	666	0.5	40	4.2	3
母親が休んだ	1,884	1	306	10.1	7
(同居人を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	821	1	100	7.2	5
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	495	1	100	10.0	7
さっぽろ子育てサポートセンターを利用した	14	1	20	4.4	2
札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した	41	1	20	4.0	2
病後児保育事業(病後児デイサービス)を利用した	71	1	20	4.5	3
認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）を利用した	6	1	96	23.5	5.5
ベビーシッターを利用した	9	2	10	5.8	5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	10	1	15	4.0	3
その他	40	1	60	11.1	7

○「父親／母親が休んだ」方に「問 25-２　行政の預かりサービスを利用したいか・利用したいと思わない理由」を聞いたところ、32.1%が「出来れば行政の預かりサービスを利用したい」と回答した。

○「利用したいと思わない」理由としては「親が仕事を休んで対応するから」(40.1%)、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」(29.0%) が多く挙げられている。

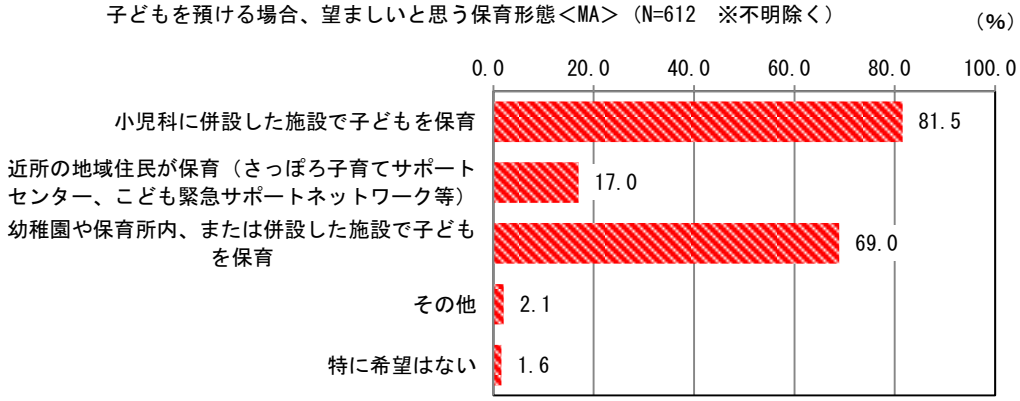
問 25-２　【父親・母親が休んで対応した方限定】
行政の預かりサービスを利用したいか・利用したいと思わない理由＜MA＞（N=1,910　※不明除く）



その他
○子どもがかわいそうだから・不安に感じるから（57）
○利用登録・手続き等が面倒だから（40）
○子どものそばにいてあげたいから（25）
○空きがなく利用できないことがあるから（18）
○急な利用ができないから（10）
○サービスの内容をよく知らないから（10）
○よく知らないところ・人に預けるのは不安だから（9）
○他の子どもから病気が移りそうだから（8）
○利用方法がわからないから（7）
○近くにない・立地が悪いから（6）
○職場に病後児保育があるから（5）　など

○行政の預かりサービスを利用したい方に「問 25-３　子どもを預ける場合、望ましいと思う保育形態」を聞いたところ 81.5%が「小児科に併設した施設で子どもを保育」を、69.0%が「幼稚園や保育所内、または併設した施設で子どもを保育」を挙げた。

問 25-３　【行政の預かりサービスを利用したい方限定】
子どもを預ける場合、望ましいと思う保育形態＜MA＞（N=612　※不明除く）



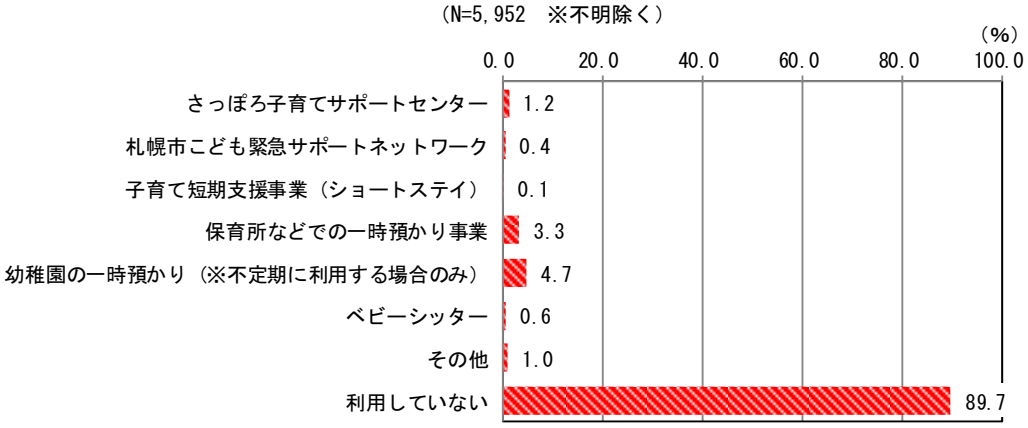
その他
○医師や看護師がいる環境（6）　など

H．不定期の教育・保育事業、宿泊を伴う一時預かり等の利用

○「問 26　日中、不定期に利用している事業」を聞いたところ、89.7%が「利用していない」と回答した。利用している事業として「幼稚園の一時預かり」(4.7%)、「保育所などでの一時預かり事業」(3.3%）が比較的多く挙げられている。

○これらの利用日数を見ると「幼稚園の一時預かり」の平均値は 15.8 日、「保育所などでの一時預かり保育」は 13.8 日であった。

問 26　日中、不定期に利用している事業＜MA＞
（N=5,952　※不明除く）



その他
○認可外保育施設（7）
○児童デイサービス・療育施設（6）
○子どもの祖父母に預ける（6）
○医療機関併設の託児施設（6）
○子育てサロン（5）　など

問 26　不定期に利用している事業～年間の利用日数
＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

選択肢	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50日以上
さっぽろ子育てサポートセンター	70	30.0	10.0	25.7	2.9	18.6	1.4	5.7	1.4	1.4	2.9
札幌市こども緊急サポートネットワーク	25	60.0	16.0	12.0		8.0	4.0				
子育て短期支援事業（ショートステイ）	6	33.3				16.7			33.3		16.7
保育所などでの一時預かり事業	185	30.3	9.7	16.8	4.9	15.7	1.1	6.5	5.9	1.6	7.6
幼稚園の一時預かり（※不定期に利用する場合のみ）	266	13.2	13.5	15.0	2.6	19.2	3.0	14.3	7.1	5.6	6.4
ベビーシッター	34	23.5	8.8	11.8	2.9	20.6	2.9	8.8	2.9	5.9	11.8
その他	53	22.6	7.5	11.3	3.8	11.3	3.8	13.2	5.7	1.9	18.9

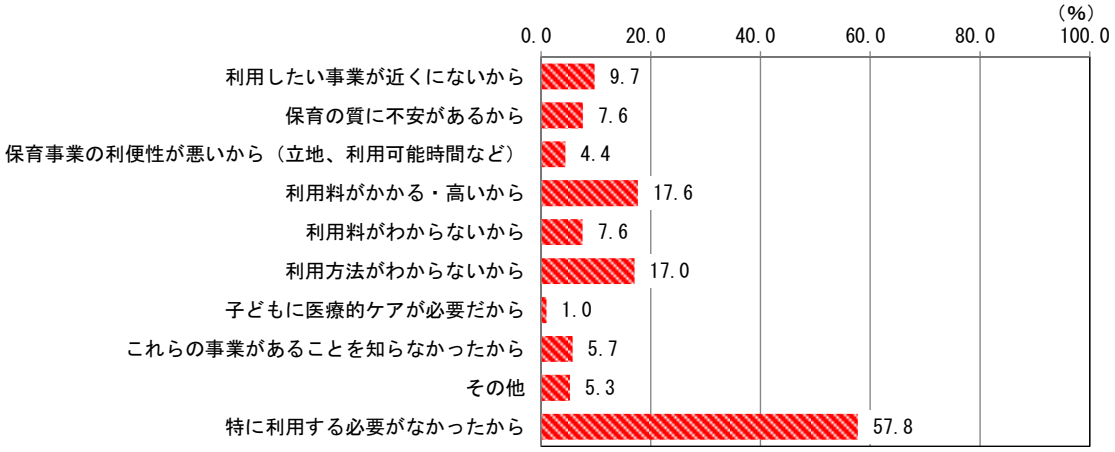
※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
さっぽろ子育てサポートセンター	70	1	70	8.6	5
札幌市こども緊急サポートネットワーク	25	1	20	3.7	2
子育て短期支援事業（ショートステイ）	6	2	50	20.7	20
保育所などでの一時預かり事業	185	1	180	13.8	5
幼稚園の一時預かり（※不定期に利用する場合のみ）	266	1	200	15.8	10
ベビーシッター	34	1	90	17.3	10
その他	53	1	270	27.9	10

○不定期に教育・保育事業を利用していない方に「問 26-1　不定期に教育・保育事業を利用していない理由」を聞いたところ「特に利用する必要がなかったから」（57.8%）が最も多く挙げられた。「利用料がかかる・高いから」(17.6%)、「利用方法がわからないから」(17.0%)も比較的多く挙げられている。

問 26-1　【不定期に教育・保育事業を利用していない方限定】
不定期に教育・保育事業を利用していない理由＜MA＞（N=5,305　※不明除く）



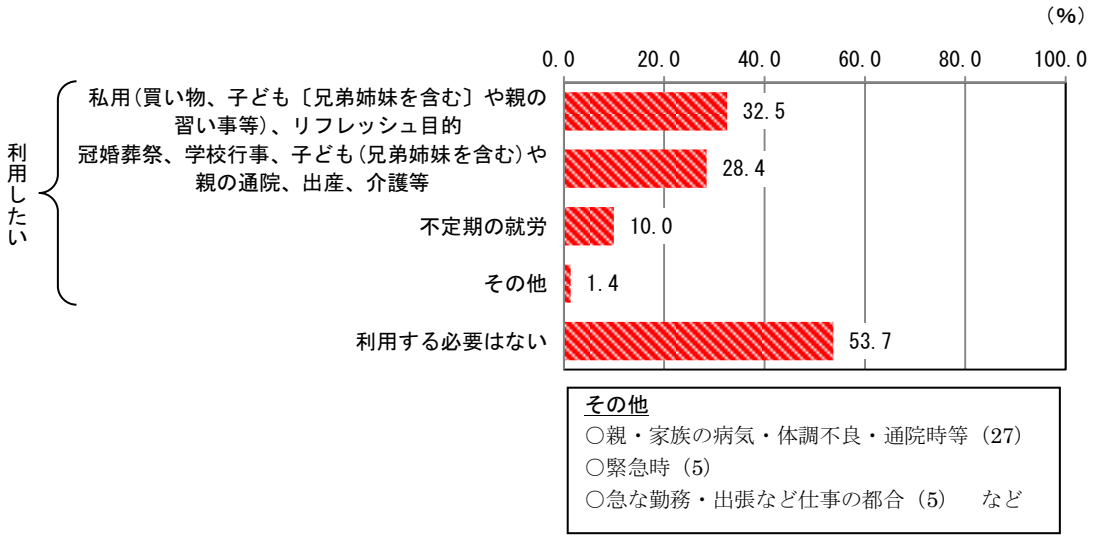
その他
○利用したいときに空きがない・予約が取れないため（59）
○利用の手続き・予約が面倒だから（33）
○子どもの祖父母・親戚に見てもらえるから（32）
○子どもが不安がる・かわいそう・人見知りだから（26）
○まだ子どもが小さいから（20）
○よく知らない施設・人に預けるのは不安だから（10）
○産休・育休中のため（10）
○子どものそばにいてあげたいから（10）
○保育所を利用できるため（7）
○サービスの内容を知らないから（6）　など

○「問 27　不定期の教育・保育事業を利用したいか・どのような場合に利用したいか」との問に対しては、53.7%が「利用する必要はない」と回答した。

○「利用したい」方については、「私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 32.5%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院、出産、介護等」が 28.4%であった。

○これらの年間の想定利用日数の平均値を見ると「私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等)、リフレッシュ目的」は 12.8 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院、出産、介護等」は 9.2 日であった。

問 27　不定期の教育・保育事業を利用したいか・どのような場合に利用したいか
＜MA＞（N=5,913　※不明除く）



問 27　不定期の教育・保育事業をどのような場合に利用したいか～
年間の想定利用日数＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

選択肢	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50日以上
私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事	1,852	5.9	10.8	19.4	2.9	43.0	1.5	7.4	4.0	1.7	3.5
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通	1,580	10.2	16.3	25.1	5.7	32.4	0.6	4.6	3.2	0.4	1.4
不定期の就労	524	4.2	7.3	10.1	3.4	29.6	2.1	11.8	10.3	3.6	17.6
その他	67	17.9	10.4	19.4	7.5	25.4	3.0	9.0		3.0	4.5

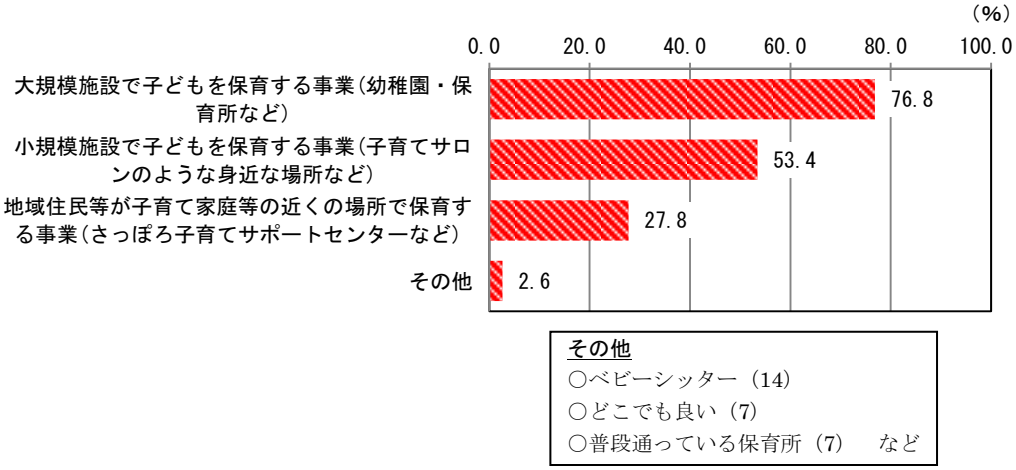
※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事	1,852	1	365	12.8	10
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通	1,580	1	365	9.2	6
不定期の就労	524	1	365	26.1	12
その他	67	1	90	11.6	7

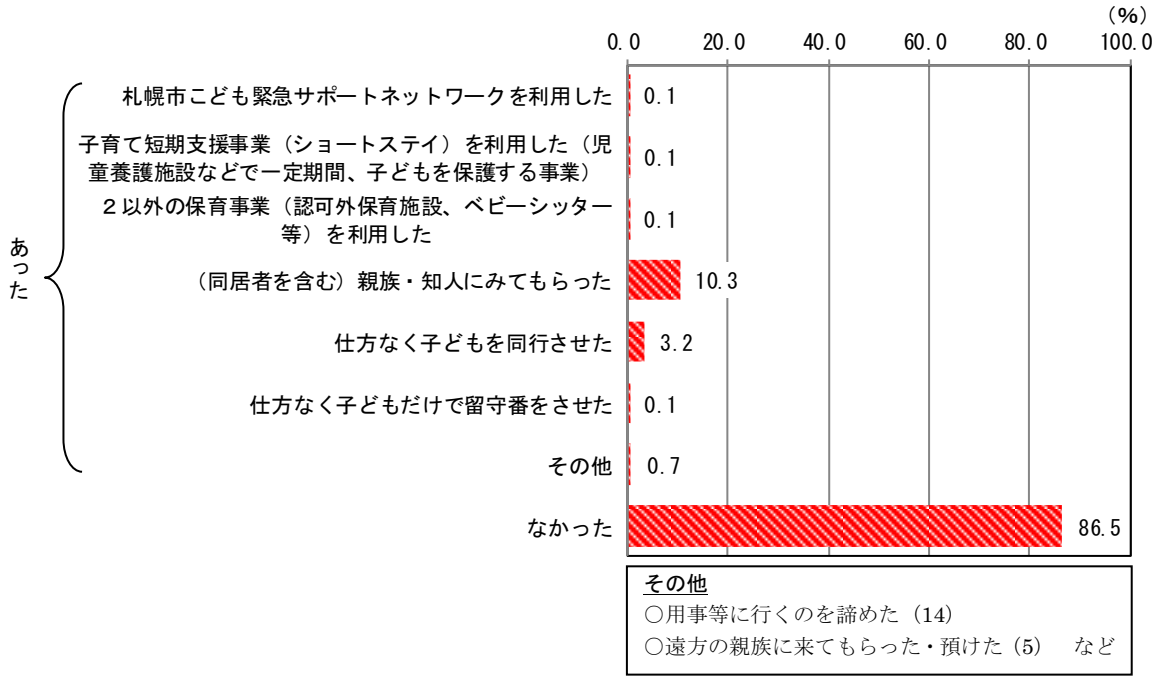
○不定期の教育・保育事業を利用したい方に「問 27-1　いずれの保育形態を利用したいか」を聞いたところ「大規模施設で子どもを保育する事業(幼稚園・保育所など)」(76.8%) が最も多く挙げられた。「小規模施設で子どもを保育する事業(子育てサロンのような身近な場所など)」(53.4%) も半数以上が挙げている。

問 27-1　【不定期の教育・保育事業を利用したい方限定】
いずれの保育形態を利用したいか＜MA＞（N=2,702　※不明除く）



○「問 28　この 1 年間に泊りがけで子どもを預けなければならないようなことがあったか・その際どう対応したか」については、86.5%が「なかった」と回答した。
○一方「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(10.3%) も約 1 割の回答があった。
○「年に何泊程度あったか」をみると「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の平均値は 6.5 泊であった。

問 28　この 1 年間に泊りがけで子どもを預けなければならないようなことがあったか・その際どう対応したか＜MA＞（N=5,934　※不明除く）



問 28　この１年間に泊りがけで子どもを預けなければならないようなことがあった～年に何泊程度あったか＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

選択肢	N	1～2泊	3～4	5～6	7～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50泊以上
札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した	1	100.0									
子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童	5	60.0	20.0								20.0
２以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）	3	33.3						33.3	33.3		
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	599	36.9	19.2	16.4	7.5	10.7	1.8	3.2	2.2	1.2	1.0
仕方なく子どもを同行させた	162	55.6	20.4	10.5	4.3	7.4		1.9			
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	83.3		16.7							
その他	33	48.5	18.2	12.1		9.1		3.0	3.0		6.1

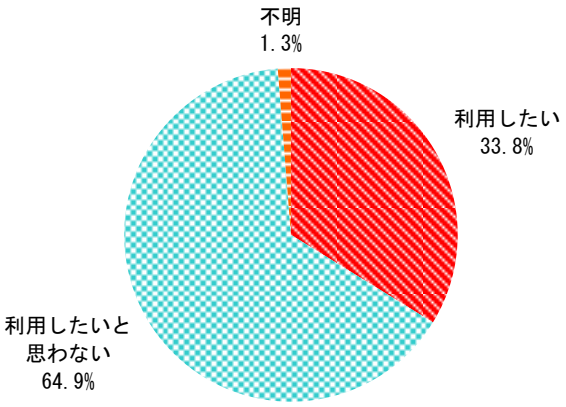
※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した	1	1	1	1.0	1
子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童	5	2	50	12.0	2
２以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）	3	2	36	19.3	20
（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	599	1	90	6.5	4
仕方なく子どもを同行させた	162	1	25	3.5	2
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	1	5	1.8	1
その他	33	1	130	10.5	3

○泊りがけで子どもを預けたりすることがあり、かつ事業を利用しなかった方に「問 28-1　今後、同様のことがあった場合、事業を利用したいか」を聞いたところ 33.8%が「利用したい」と回答した。

問 28-1　【泊りがけで子どもを預けたりすることがあり、かつ事業を利用しなかった方限定】
今後、同様のことがあった場合、事業を利用したいか＜SA＞（N=793　※不明除く）

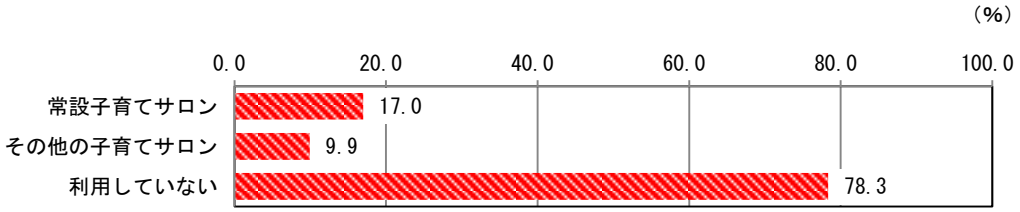


I. 地域の子育て支援事業の利用状況

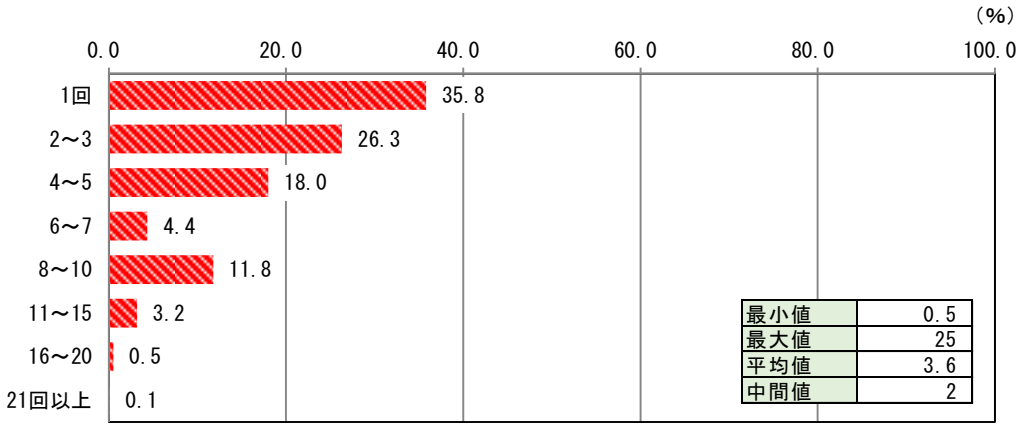
○「問 29　子育てサロンの利用状況・種類」を聞いたところ、「利用していない」が 78.3%であった。「常設子育てサロン」の利用は 17.0%、「その他の子育てサロン」は 9.9%であった。

○「問 29　1 ヶ月あたりの常設子育てサロン利用回数」の平均値は 3.6 回、「問 29　その他の子育てサロンの利用回数」の平均値は 2.5 回であった。

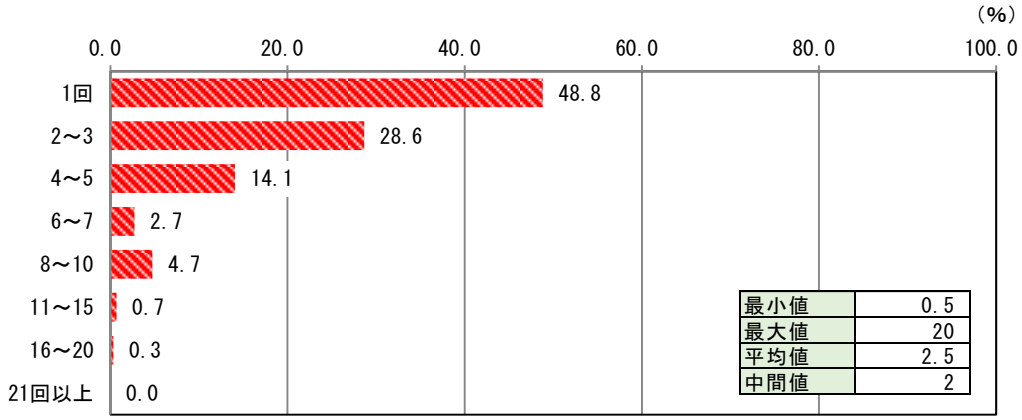
問 29　子育てサロンの利用状況・種類＜MA＞（N=6,063　※不明除く）



問 29　【常設子育てサロン利用者限定】1 ヶ月あたりの常設子育てサロン利用回数
＜IN＞（N=1,011　※不明除く）



問 29　【その他の子育てサロン利用者限定】
1 ヶ月あたりのその他の子育てサロン利用回数＜IN＞（N=590　※不明除く）



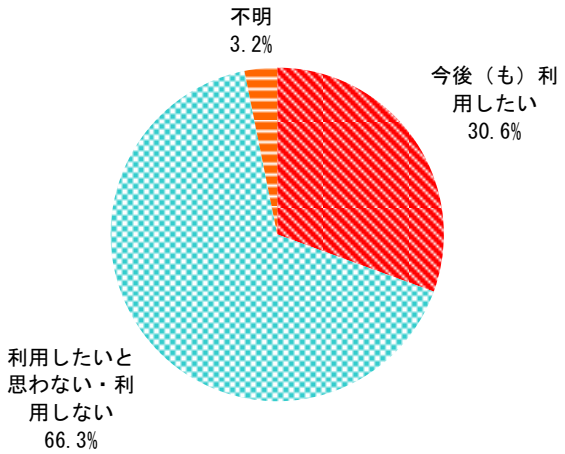
（クロス集計表）問 29　子育てサロンの利用状況・種類・各属性別＜MA＞※不明除く

	N	常設子育てサロン	その他の子育てサロン	利用していない
全体	6,063	17.0	9.9	78.3
問２　宛名児童の生年月日				
H30年4月以降	818	14.1	8.2	81.8
H29年4～30年3月	1,217	31.2	17.4	61.8
H28年4～29年3月	1,072	25.6	16.1	66.9
H27年4～28年3月	945	17.8	10.6	76.5
H26年4～27年3月	926	5.7	2.9	92.8
H25年4～26年3月	776	3.6	1.4	95.2
H24年4～25年3月	262	2.3	3.1	95.8
問10　子どもをみてもらえる親族・知人				
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,427	17.0	10.5	78.1
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,629	15.6	9.1	79.8
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	91	22.0	5.5	73.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	640	18.4	10.9	76.2
子どもをみてもらえる人はいない	1,180	20.8	10.7	74.7
問17･18（１）世帯の就労状況				
共働き（フルタイム）	1,825	12.2	5.9	85.5
共働き（片方・両方がパートタイム）	1,208	8.9	4.4	88.7
片働き（専業主婦）	2,289	26.4	16.9	65.4
片働き（専業主夫）	20	10.0	5.0	90.0
就労していない	18	－	5.6	94.4
その他	277	6.5	3.2	92.1
問19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無				
利用している	3,482	6.3	2.8	92.1
利用していない	2,556	31.5	19.7	59.5

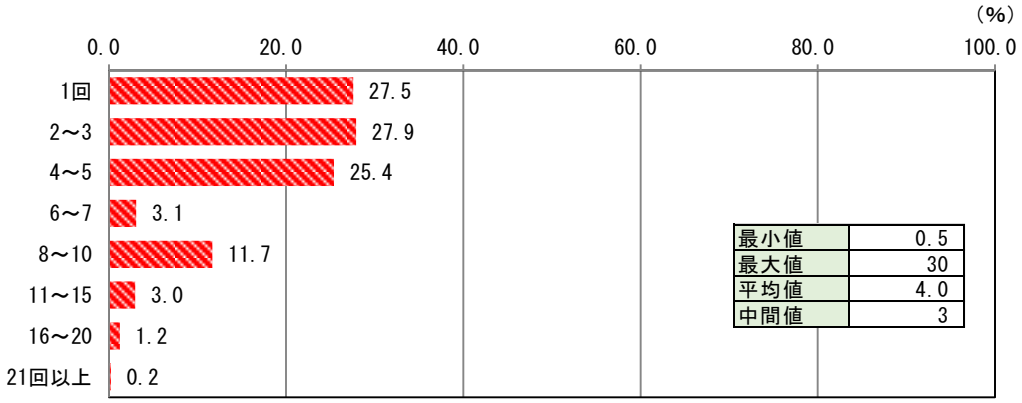
※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 29-1　常設子育てサロンの利用希望有無」について、30.6%が「今後（も）利用したい」と回答しており、「問 19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無」で「利用していない」と回答している者に限ると 55.2%が「今後（も）利用したい」と回答している。
○利用希望者の「問 29-1　1ヶ月当たりの利用希望回数」の平均値は 4.0 回であった。

問 29-1　常設子育てサロンの利用希望有無＜SA＞（N=6,116）



問 29-1　【常設子育てサロン利用希望者限定】
1ヶ月当たりの利用希望回数＜IN＞（N=1,815　※不明除く）



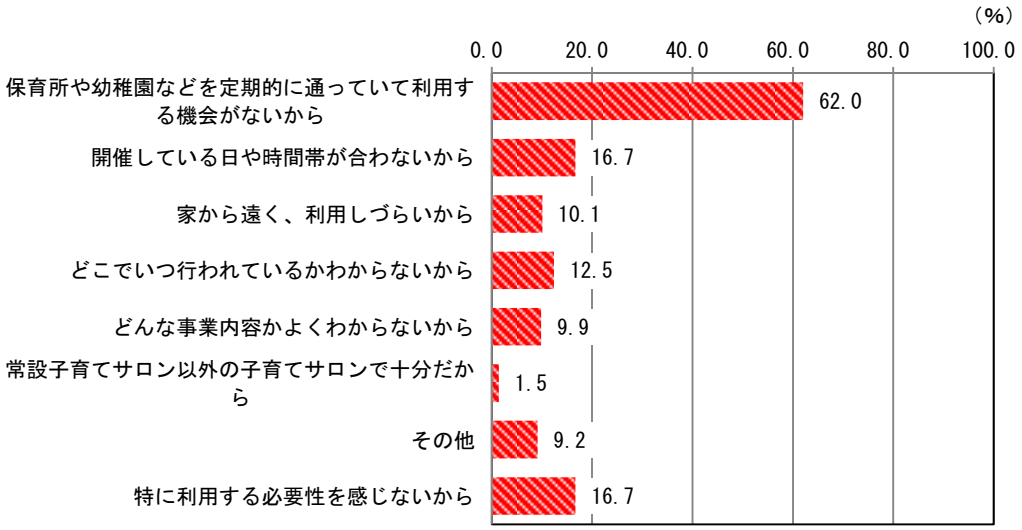
（クロス集計表）問 29-１　常設子育てサロンの利用希望有無・各属性別＜SA＞

	N	今後（も）利用したい	利用したいと思わない・利用しない	不明
全体	6,116	30.6	66.3	3.2
問２　宛名児童の生年月日				
H30年4月以降	829	49.3	47.0	3.6
H29年4～30年3月	1,225	48.7	49.0	2.4
H28年4～29年3月	1,082	39.7	57.8	2.5
H27年4～28年3月	949	25.8	72.3	1.9
H26年4～27年3月	931	11.6	84.9	3.5
H25年4～26年3月	788	7.1	88.5	4.4
H24年4～25年3月	264	6.1	87.5	6.4
問10　子どもをみてもらえる親族・知人				
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,444	32.1	64.8	3.2
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,655	29.3	67.6	3.1
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	97	30.9	61.9	7.2
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	646	29.7	67.2	3.1
子どもをみてもらえる人はいない	1,189	33.3	64.1	2.6
問17･18（１）世帯の就労状況				
共働き（フルタイム）	1,833	23.7	73.9	2.5
共働き（片方・両方がパートタイム）	1,222	18.6	77.7	3.7
片働き（専業主婦）	2,302	44.5	52.9	2.6
片働き（専業主夫）	20	15.0	70.0	15.0
就労していない	18	16.7	72.2	11.1
その他	283	13.1	83.0	3.9
問19　平日の定期的な教育・保育事業の利用有無				
利用している	3,509	12.5	84.2	3.3
利用していない	2,578	55.2	42.1	2.7

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 29-２　常設子育てサロンを利用しない理由」として「保育所や幼稚園などに通っていて機会がないから」(62.0%) が最も多く挙げられた。他の理由はいずれも２割以下である。

問 29-２　【常設子育てサロンの利用を希望しない方限定】
常設子育てサロンを利用しない理由＜MA＞（N=3,582　※不明除く）



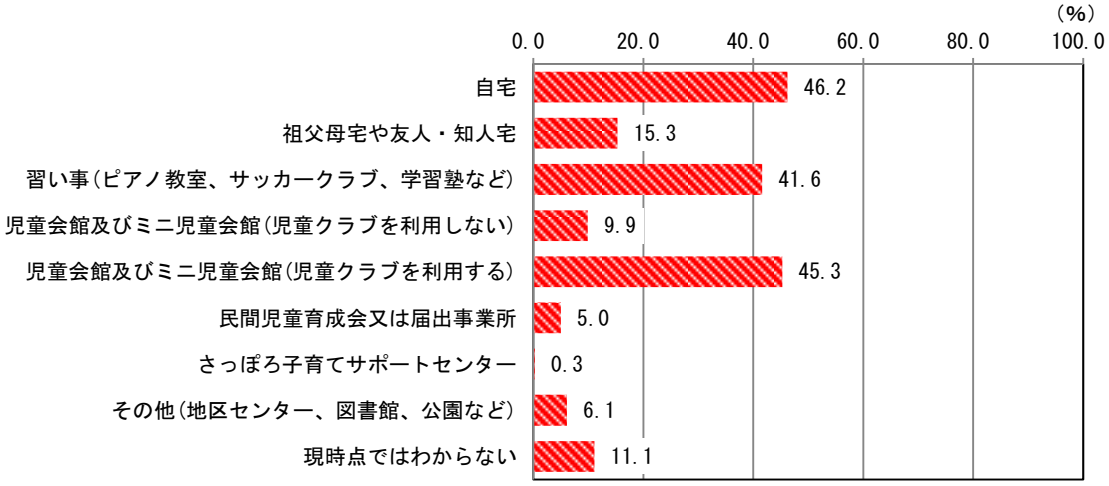
その他
○忙しい・行く時間がないから（51）
○他の母親等との交流が苦手・面倒・ストレスだから（44）
○子どもの年齢層が合わないから（24）
○すでに母親同士のグループができており入りづらいから（18）
○複数人の子どもを連れていくのが大変だから（10）
○他に遊ぶ友達・兄弟がいるから（10）
○（子どもを連れて）行くのが面倒だから（8）
○他の子どもから病気が移るから（8）
○子どもの病気・障がいのため（7）
○子どもの習い事があるから（7）
○子が行きたがらないから（6）
○児童デイサービス・療育施設に通っているから（6）
○職員・スタッフの対応・態度が悪いから（6）
○駐車場がない・狭いから（5）
○マナー・態度が悪い親子がいるから（5）
○不衛生・衛生面の心配があるから（5）
○結局、親が子どもの面倒を見なければいけないから（5）　など

J．【宛名のお子さんが５歳以上の方限定】小学校就学後の放課後の過ごし方

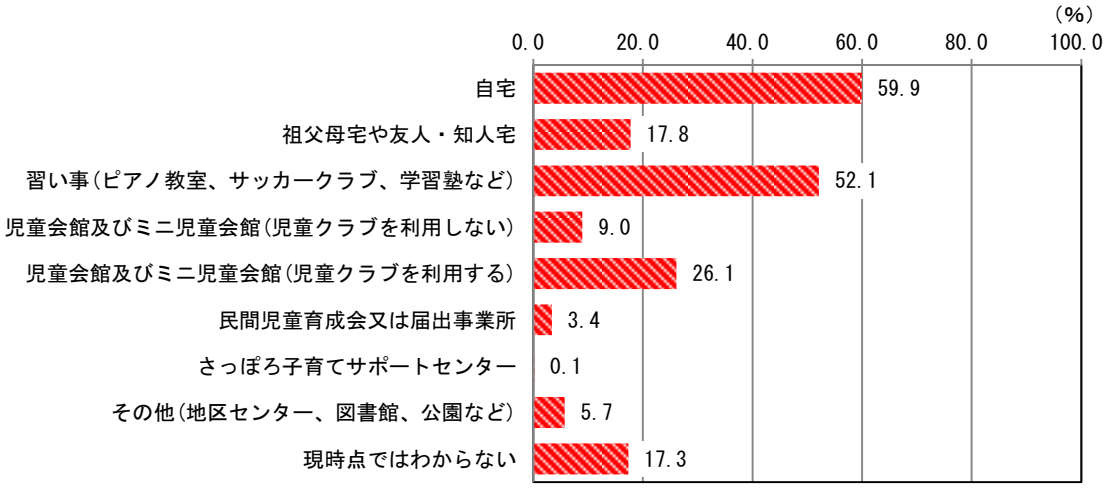
○「問 30（１）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校低学年時）」の回答としては「自宅」(46.2%)、「児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する）」(45.3%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(41.6%）の順で多く挙げられた。

○「問 30（２）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校高学年時）」については「自宅」(59.9%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(52.1%）が特に多く挙げられている。「児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する）」は 26.1%であった。

問 30（１）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校低学年時）
＜MA＞（N=718　※不明除く）



問 30（２）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校高学年時）
＜MA＞（N=681　※不明除く）



○「問 30（1）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校低学年時）～週あたりの日数」について、「児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する）」は平均で 2.8 日、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」は 1.8 日であった。

問 30（1）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校低学年時）
～週あたりの日数＜IN＞（不明除く）

■度数分布

選択肢	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
自宅	327	14.4	18.7	17.7	11.0	33.9	2.4	1.8
祖父母宅や友人・知人宅	109	51.4	25.7	7.3	1.8	12.8	0.9	
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	299	37.8	44.5	14.4	3.0	0.3		
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	71	36.6	11.3	21.1	2.8	26.8	1.4	
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	321	6.9	11.8	19.0	10.9	44.5	6.9	
民間児童育成会又は届出事業所	36	2.8	13.9	22.2	5.6	52.8	2.8	
さっぽろ子育てサポートセンター	2	100.0						
その他(地区センター、図書館、公園など)	42	40.5	33.3	16.7	2.4	7.1		

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
自宅	327	1	7	3.5	3
祖父母宅や友人・知人宅	109	1	6	2.0	1
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	299	1	5	1.8	2
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	71	1	6	2.8	3
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	321	1	6	4.0	5
民間児童育成会又は届出事業所	36	1	6	4.0	5
さっぽろ子育てサポートセンター	2	1	1	1.0	1
その他(地区センター、図書館、公園など)	42	1	5	2.0	2

○「問 30（２）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校高学年時）～週あたりの日数」について「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の平均値は 2.2 日、「児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する)」は 3.4 日となっている。

問 30（２）放課後をどこで過ごさせたいか（小学校高学年時）
～週あたりの日数＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

選択肢	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
自宅	386	14.8	21.0	21.2	8.0	31.3	2.1	1.6
祖父母宅や友人・知人宅	115	49.6	30.4	7.0	1.7	9.6	1.7	
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	353	19.8	48.7	24.4	4.8	2.3		
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	59	33.9	25.4	16.9	6.8	15.3	1.7	
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	170	9.4	25.3	21.8	8.2	31.2	4.1	
民間児童育成会又は届出事業所	22		18.2	22.7		54.5	4.5	
さっぽろ子育てサポートセンター	1	100.0						
その他(地区センター、図書館、公園など)	34	23.5	35.3	26.5	2.9	11.8		

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

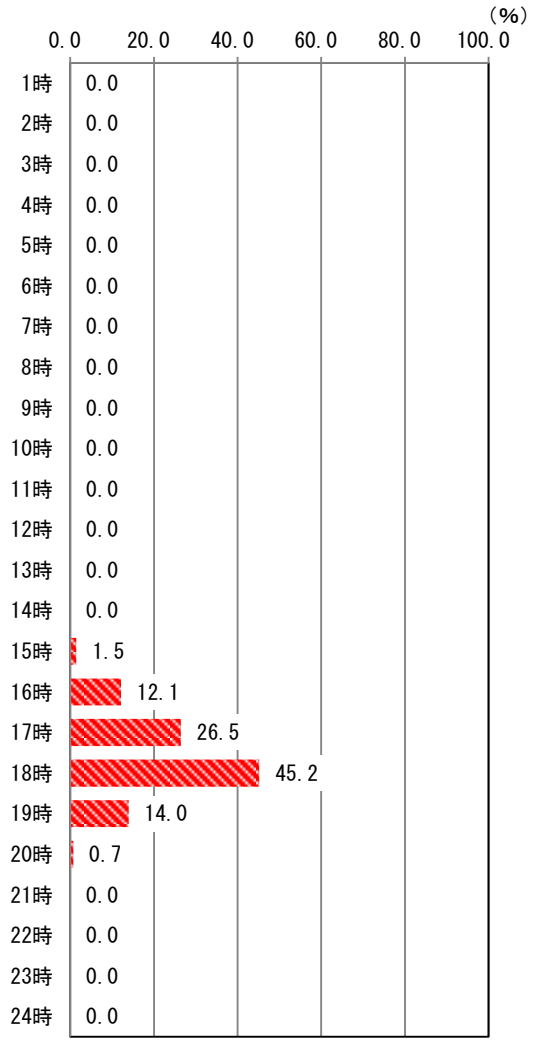
■最小・最大・平均・中間値

選択肢	N	最小値	最大値	平均値	中間値
自宅	386	1	7	3.3	3
祖父母宅や友人・知人宅	115	1	6	2.0	2
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	353	1	5	2.2	2
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用しない)	59	1	6	2.5	2
児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)	170	1	6	3.4	3
民間児童育成会又は届出事業所	22	2	6	4.0	5
さっぽろ子育てサポートセンター	1	1	1	1.0	1
その他(地区センター、図書館、公園など)	34	1	5	2.4	2

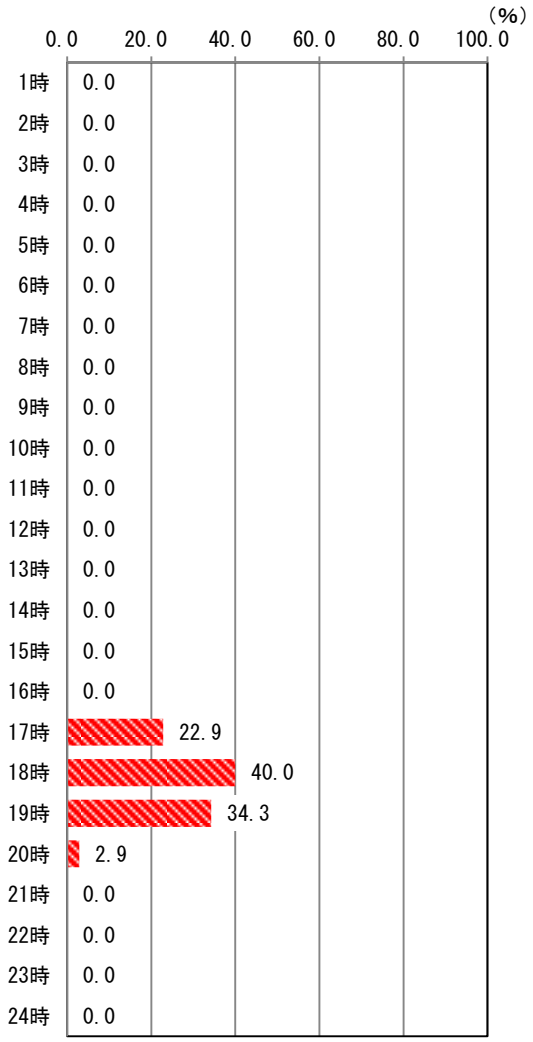
○小学校低学年で児童クラブまたは民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30（1）何時まで利用したいか」を聞くと、児童クラブ利用希望者、民間児童育成会等利用希望者とも「18 時」（45.2%、40.0%）が最も多く挙げられた。

○「19 時」の回答が民間児童育成会等利用希望者（34.3%）の方が児童クラブ利用希望者（14.0%）より 20.3 ポイント高いなど、民間児童育成会等利用希望者の方が遅くまでの利用を望んでいる。

問 30（1）【小学校低学年で児童クラブを利用させたい方限定】
何時まで利用したいか＜IN＞（N=272　※不明除く）

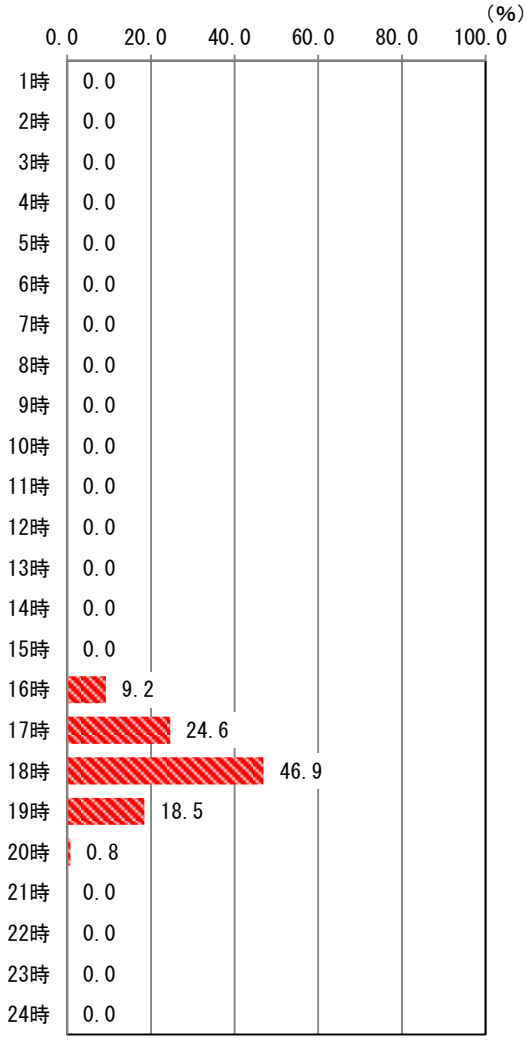


問 30（1）【小学校低学年で民間児童育成会等を利用させたい方限定】
何時まで利用したいか＜IN＞（N=35　※不明除く）

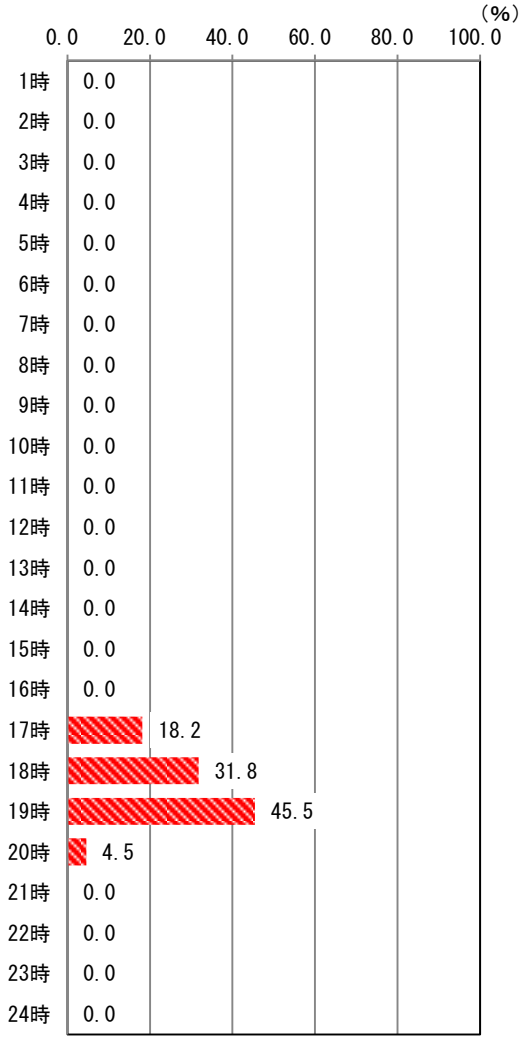


○小学校高学年で児童クラブまたは民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30（1）何時まで利用したいか」を聞くと、児童クラブ利用希望者で「18 時」（46.9%）が最も多かった一方、民間児童育成会等利用希望者では「19 時」（45.5%）が最も多くなっている。

問 30（２）【小学校高学年で児童クラブを利用させたい方限定】
何時まで利用したいか＜IN＞（N=130　※不明除く）



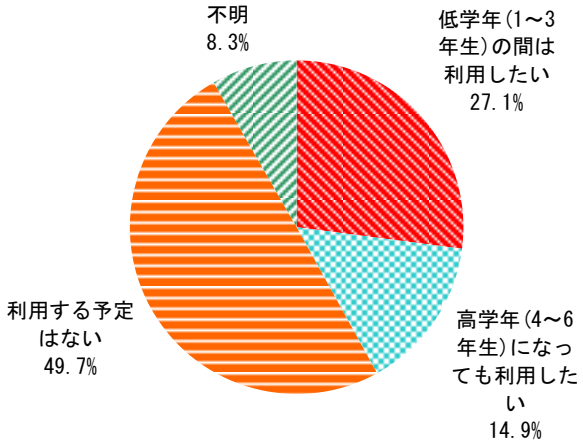
問 30（２）【小学校高学年で民間児童育成会等を利用させたい方限定】
何時まで利用したいか＜IN＞（N=22　※不明除く）



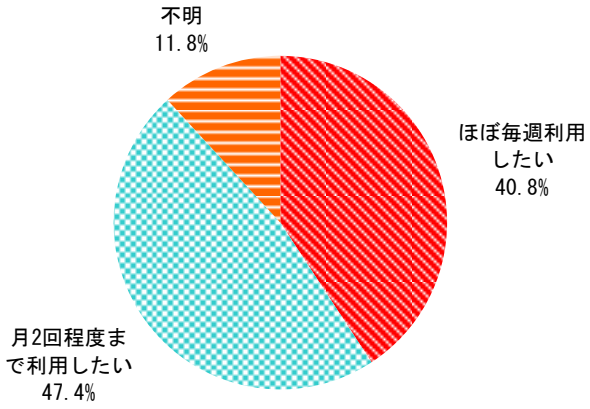
○児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者に「問 30-１（１）土曜日の放課後児童クラブの利用希望」を聞いたところ利用したい（「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」）が計 42.0%であった。

○土曜日利用希望者の「問 30-１（１）利用したい頻度」としては、「ほぼ毎週利用したい」が 40.8%、「月に 2 回程度まで利用したい」が 47.4%であった。

問 30-１（１）【児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】土曜日の放課後児童クラブの利用希望＜SA＞（N=362）



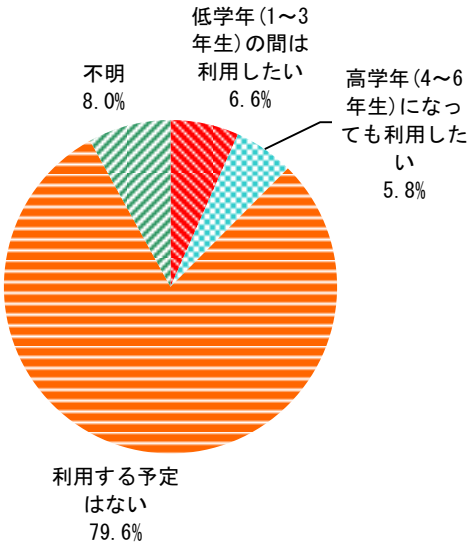
問 30-１（１）【土曜日の児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】土曜日の放課後児童クラブを利用したい頻度＜SA＞（N=152）



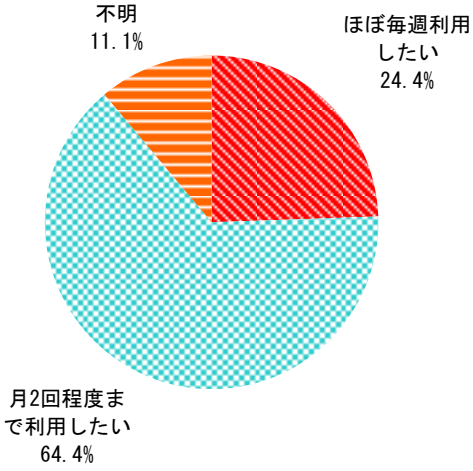
○児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者に「問 30-１（２）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望」を聞いたところ利用したい（「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」）は計 12.4%にとどまった。

○日曜・祝日利用希望者の「問 30-１（１）利用したい頻度」としては、「ほぼ毎週利用したい」が 24.4%、「月に 2 回程度まで利用したい」が 64.4%であった。

問 30-１（２）【児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望＜SA＞（N=362）



問 30-１（２）【土曜日の児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】日曜・祝日の放課後児童クラブを利用したい頻度＜SA＞（N=45）



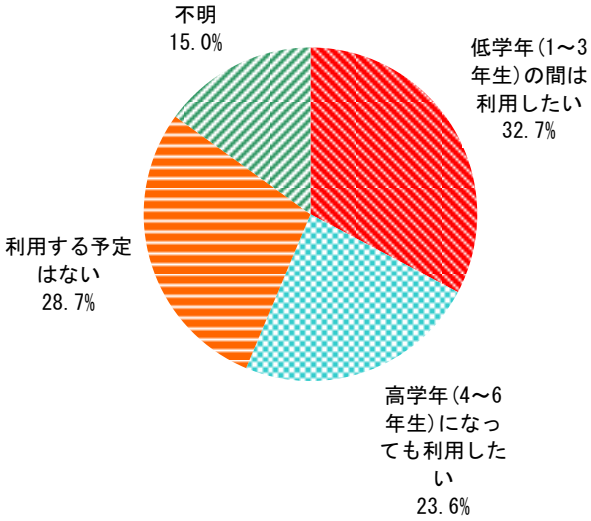
（クロス集計表）問 30-１（２）日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望・母/父親の就労状況別＜SA＞

	N	低学年（1～3年生）の間は利用したい	高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用する予定はない	不明
全体	362	6.6	5.8	79.6	8.0
問17（４）母親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	11	9.1	18.2	54.5	18.2
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務	54	20.4	7.4	64.8	7.4
日曜日・祝日は勤務していない	244	3.7	4.9	84.8	6.6
問18（４）父親の日曜・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	34	2.9	5.9	82.4	8.8
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月１回以上勤務	122	9.8	8.2	71.3	10.7
日曜日・祝日は勤務していない	141	2.8	2.1	91.5	3.5

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 31　長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望」を聞いたところ利用したい（「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」）は計 56.3%であった。

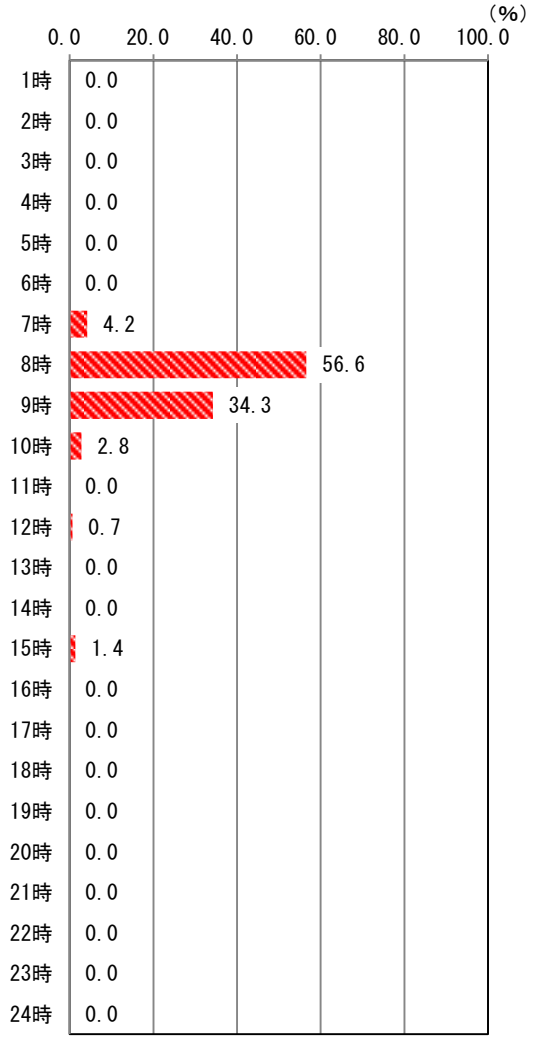
問 31　長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望
＜SA＞（N=785）



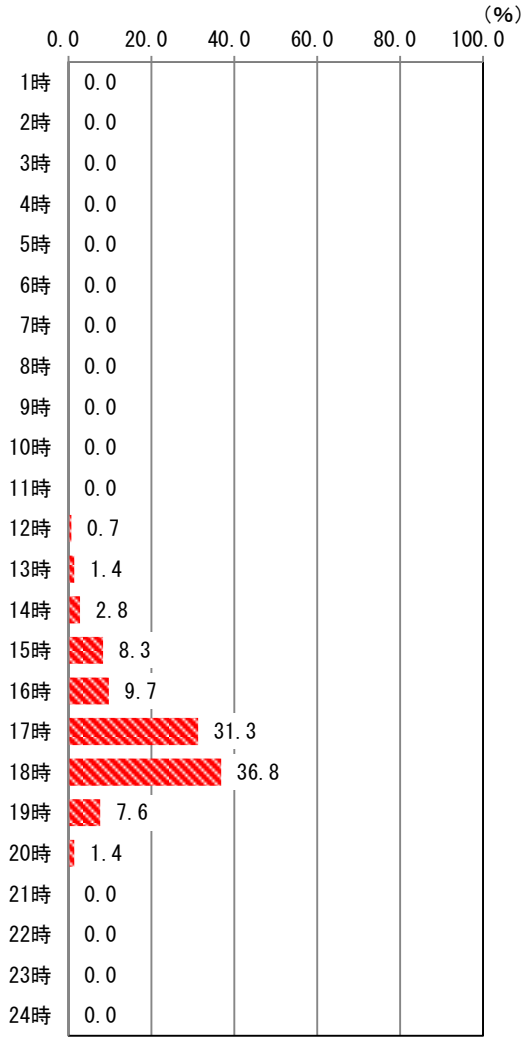
○土曜日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30-１（１）希望する利用開始時刻」を聞いたところ「8 時」（56.6%）が最も多く挙げられた。

○「問 30-１（１）希望する利用終了時刻」については「18 時」（36.8%）が最も多くなっている。

問 30-１（１）【土曜日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
＜IN＞（N=143　※不明除く）



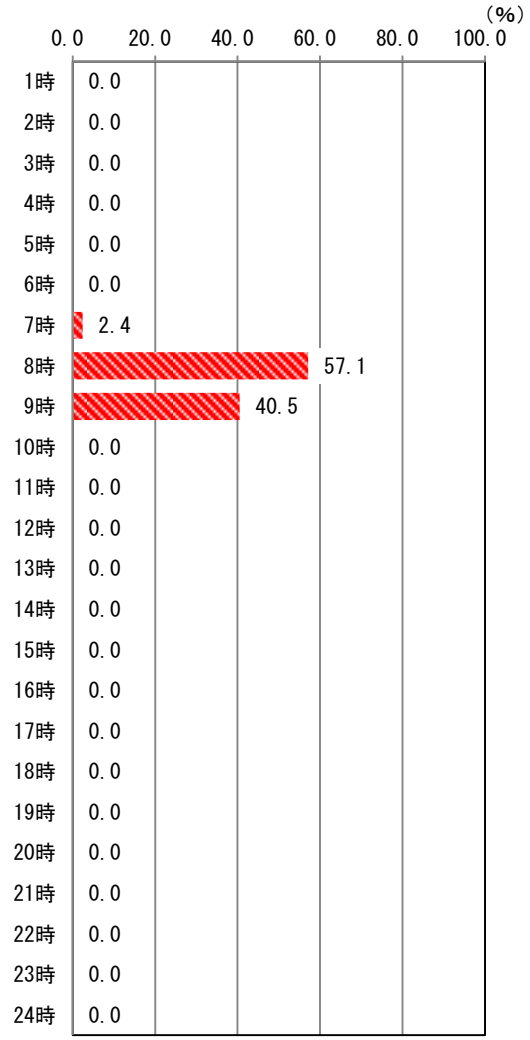
問 30-１（１）【土曜日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
＜IN＞（N=144　※不明除く）



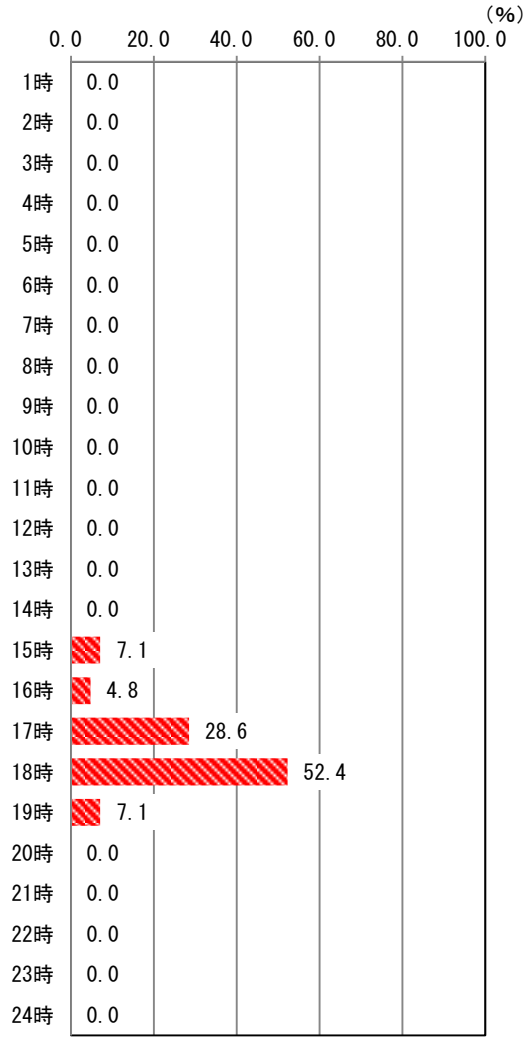
○日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用させたい方に「問 30-１（２）希望する利用開始時刻」を聞いたところ「8 時」(57.1%）が最も多く挙げられた。

○「問 30-１（２）希望する利用終了時刻」については「18 時」(52.4%）が最も多くなっている。

問 30-１（２）【日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
＜IN＞（N=42　※不明除く）



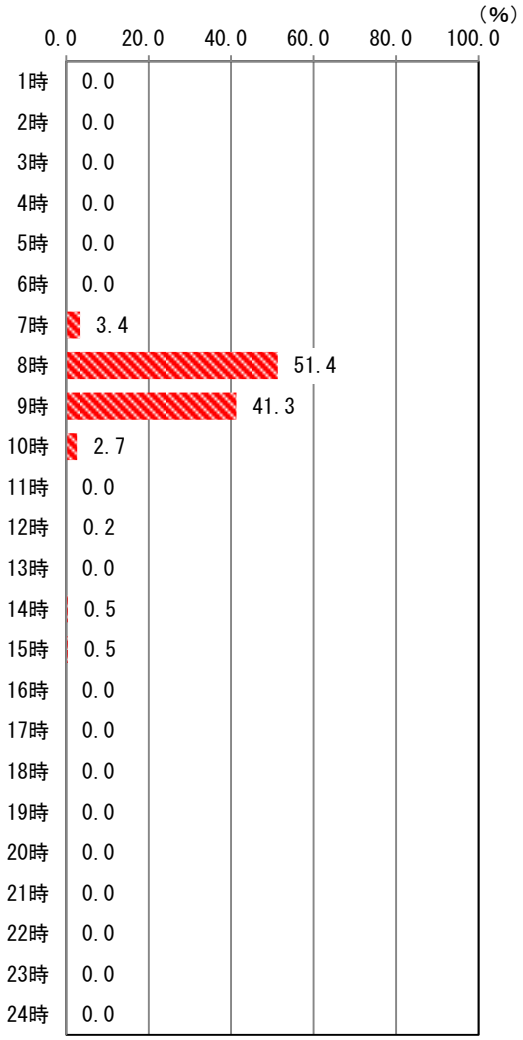
問 30-１（２）【日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
＜IN＞（N=42　※不明除く）



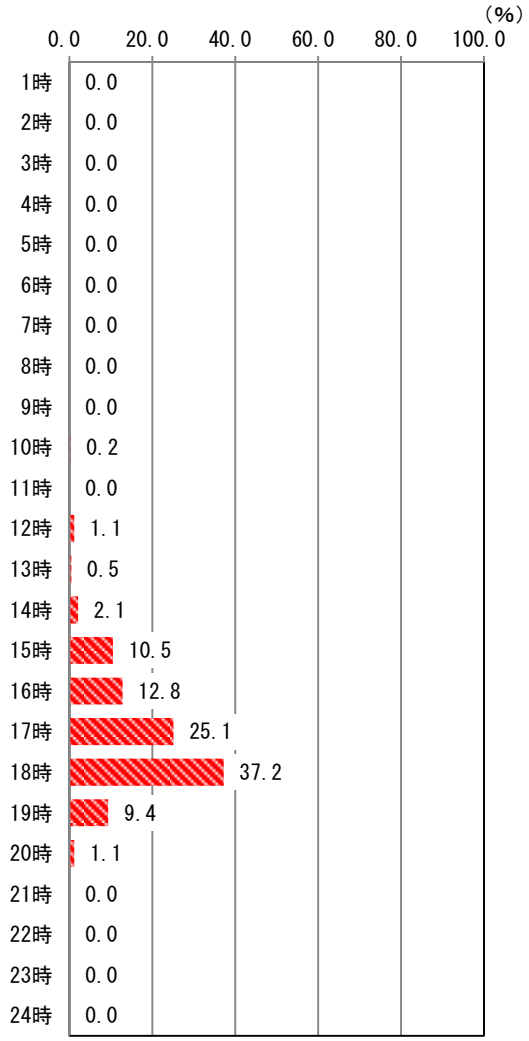
○長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童育成会等を利用させたい方に「問 31　希望する利用開始時刻」を聞いたところ「8 時」（51.4%）が最も多く挙げられた。

○「問３１　希望する利用終了時刻」については「18 時」（37.2%）が最も多くなっている。

問 31　【長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
＜IN＞（N=438　※不明除く）

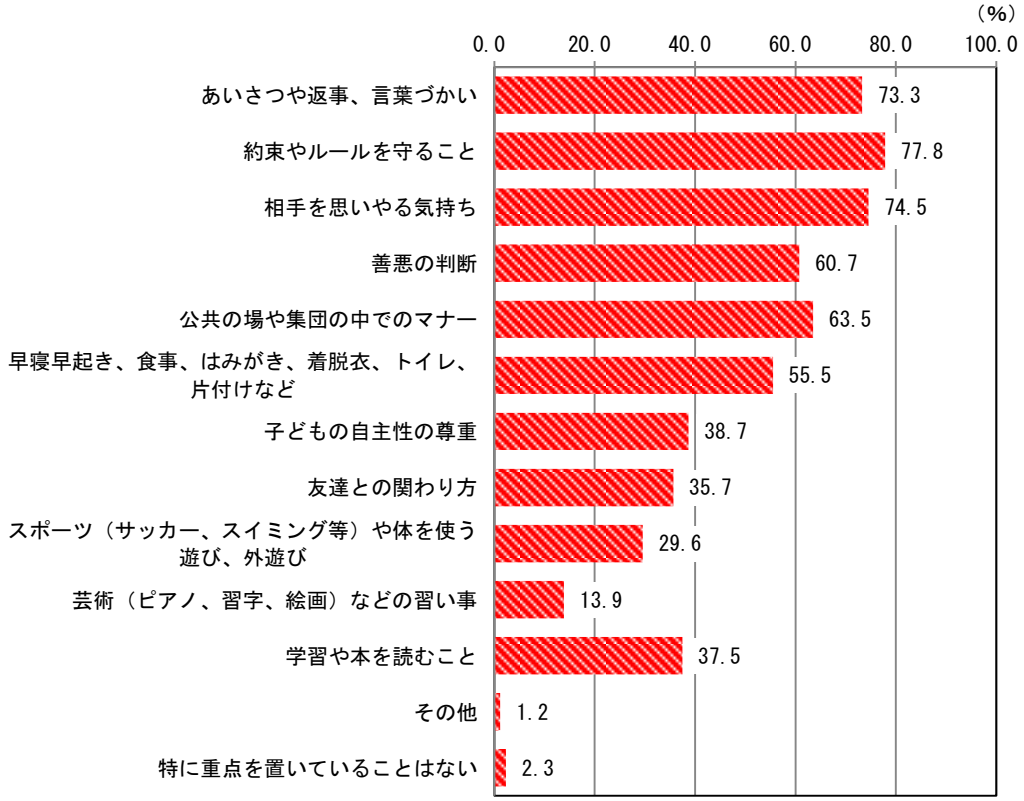


問 31　【長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
＜IN＞（N=438　※不明除く）



○「問 32　子育てで特に力を入れていること」として「約束やルールを守ること」(77.8%)、「相手を思いやる気持ち」(74.5%)、「あいさつや返事、言葉づかい」(73.3%) が特に多く挙げられた。

問 32　子育てで特に力を入れていること
＜MA＞（N=726　※不明除く）



その他
○防犯対策
○生きていればそれでいいです
○食う寝る遊ぶ
○いろいろな体験をさせる
○自分で考える、自分の気持ちを大切にする
○簡単なお手伝い
○家族を大切にする事
○少しでも一緒に遊ぶことを心掛けています
○簡単なお手伝い

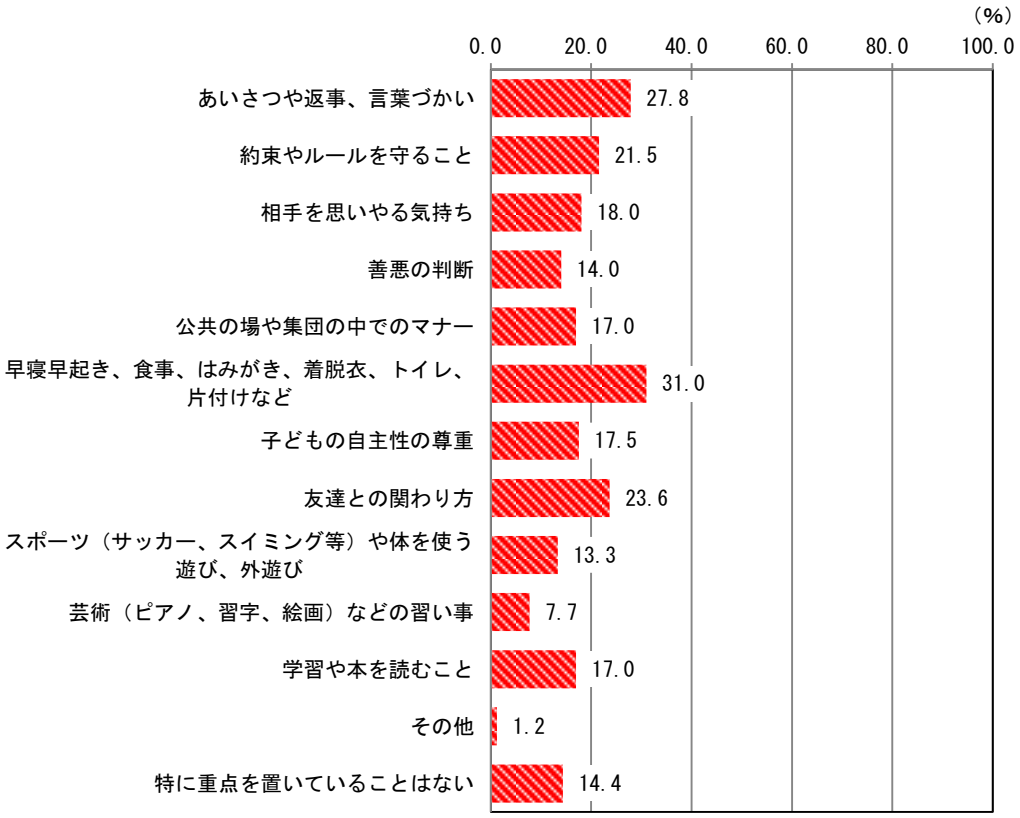
（クロス集計表）問 32　子育てで特に力を入れていること・各属性別＜MA＞※不明除く

	N	あいさつや返事、言葉づかい	約束やルールを守ること	相手を思いやる気持ち	善悪の判断	公共の場や集団の中でのマナー	早寝早起き、食事、はみがき、着脱衣、トイレ、片付けなど	子どもの自主性の尊重	友達との関わり方	スポーツ（サッカー、スイミング等）や体を使う遊び、外遊び	芸術（ピアノ、習字、絵画）などの習い事	学習や本を読むこと	その他	特に重点を置いていることはない
全体	726	73.3	77.8	74.5	60.7	63.5	55.5	38.7	35.7	29.6	13.9	37.5	1.2	2.3
問４　世帯構成														
お子さん＋ご両親(二世代世帯)	630	73.3	77.8	73.0	59.8	63.5	55.2	38.3	35.9	30.3	13.8	37.1	1.1	2.2
お子さん＋ご両親＋祖父母(三世代世帯)	36	72.2	75.0	83.3	75.0	63.9	63.9	33.3	33.3	16.7	5.6	38.9	－	2.8
お子さん＋母/父親(ひとり親・二世代世帯)	46	71.7	80.4	82.6	60.9	63.0	52.2	50.0	37.0	28.3	19.6	41.3	4.3	4.3
お子さん＋母/父親＋祖父母(ひとり親・三世代世帯)	13	76.9	76.9	92.3	69.2	61.5	61.5	38.5	30.8	38.5	23.1	38.5	－	－
問10　子どもをみてもらえる親族・知人														
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	162	80.9	83.3	81.5	68.5	68.5	55.6	40.1	37.7	31.5	17.3	36.4	0.6	1.9
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	424	73.8	78.1	76.4	59.9	62.0	55.4	38.9	34.7	31.1	13.7	37.0	0.9	1.9
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	17	88.2	94.1	100.0	70.6	64.7	70.6	47.1	52.9	47.1	35.3	41.2	－	－
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	99	79.8	79.8	86.9	58.6	63.6	60.6	42.4	42.4	38.4	18.2	42.4	2.0	－
子どもをみてもらえる人はいない	150	66.0	74.0	64.0	58.0	65.3	57.3	38.7	37.3	24.7	12.0	37.3	2.7	4.0

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 32　子育てに関して悩みがあるもの」としては「早寝早起き、食事、はみがき、着脱衣、トイレ、片付けなど」(31.0%)、「あいさつや返事、言葉づかい」(27.8%) が特に多く挙げられている。

問 32　子育てに関して悩みがあるもの
＜MA＞（N=571　※不明除く）



その他
○子どもの発達（2）
○動画やゲームに夢中になること（2）
○持病
○兄弟喧嘩

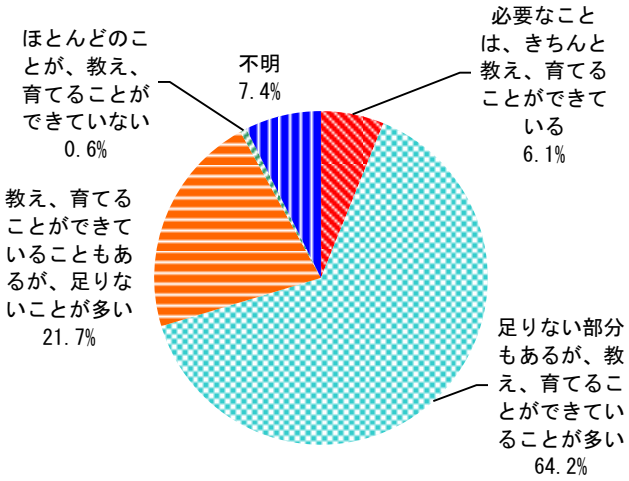
（クロス集計表）問32　子育てに関して悩みがあるもの・各属性別<MA>※不明除く

	N	あいさつや返事、言葉づかい	約束やルールを守ること	相手を思いやる気持ち	善悪の判断	公共の場や集団の中でのマナー	早寝早起き、食事、はみがき、着脱衣、トイレ、片付けなど	子どもの自主性の尊重	友達との関わり方	スポーツ（サッカー、スイミング等）や体を使う遊び、外遊び	芸術（ピアノ、習字、絵画）などの習い事	学習や本を読むこと	その他	特に重点を置いていることはない
全体	571	27.8	21.5	18.0	14.0	17.0	31.0	17.5	23.6	13.3	7.7	17.0	1.2	14.4
問４　世帯構成														
お子さん＋ご両親(二世代世帯)	496	27.2	21.8	18.3	14.3	16.9	30.0	17.9	23.4	13.9	7.5	16.3	1.4	14.3
お子さん＋ご両親＋祖父母(三世代世帯)	25	44.0	36.0	24.0	16.0	16.0	36.0	16.0	28.0	8.0	8.0	16.0	－	12.0
お子さん＋母/父親(ひとり親・二世代世帯)	40	22.5	12.5	15.0	10.0	20.0	40.0	12.5	27.5	12.5	7.5	25.0	－	20.0
お子さん＋母/父親＋祖父母(ひとり親・三世代世帯)	9	44.4	11.1	－	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	－	11.1	22.2	－	－
問10　子どもをみてもらえる親族・知人														
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	122	28.7	18.0	14.8	9.8	13.1	33.6	14.8	22.1	8.2	7.4	13.9	0.8	11.5
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	334	27.2	20.4	17.7	12.6	15.9	30.5	18.9	23.4	15.0	9.0	16.5	1.5	14.7
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	8	37.5	12.5	12.5	－	－	12.5	－	37.5	12.5	25.0	12.5	－	12.5
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	77	24.7	16.9	19.5	15.6	18.2	29.9	16.9	19.5	18.2	9.1	19.5	－	13.0
子どもをみてもらえる人はいない	124	30.6	27.4	18.5	17.7	20.2	29.8	15.3	25.8	12.1	7.3	20.2	1.6	13.7

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「問 33　ご家庭での子育てについてどのように思っているか」との設問については、「教え、育てることができている」（「必要なことは、きちんと教え、育てることができている」「足りない部分もあるが、教え、育てることができていることが多い」）が計 70.3%である一方、「教え、育てることができていない」（「教え、育てることができていることもあるが、足りないことが多い」「ほとんどのことが、教え、育てることができていない」）との回答が 22.3%であった。

問 33　ご家庭での子育てについてどのように思っているか
＜SA＞（N=785）



（クロス集計表）問 33　ご家庭での子育てについてどのように思っているか・各属性別＜SA＞

	N	必要なことは、きちんと教え、育てることができている	足りない部分もあるが、教え、育てることができていることが多い	教え、育てることができていることもあるが、足りないことが多い	ほとんどのことが、教え、育てることができていない	不明
全体	785	6.1	64.2	21.7	0.6	7.4
問４　世帯構成						
お子さん＋ご両親(二世代世帯)	684	6.3	64.2	21.3	0.6	7.6
お子さん＋ご両親＋祖父母(三世代世帯)	39	2.6	61.5	28.2	－	7.7
お子さん＋母/父親(ひとり親・二世代世帯)	48	6.2	60.4	25.0	2.1	6.2
お子さん＋母/父親＋祖父母(ひとり親・三世代世帯)	13	7.7	84.6	7.7	－	－
問10　子どもをみてもらえる親族・知人						
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	177	6.8	67.2	17.5	－	8.5
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	462	6.3	65.4	20.1	0.6	7.6
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	18	27.8	66.7	－	－	5.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	107	8.4	68.2	13.1	－	10.3
子どもをみてもらえる人はいない	160	4.4	61.9	27.5	1.2	5.0

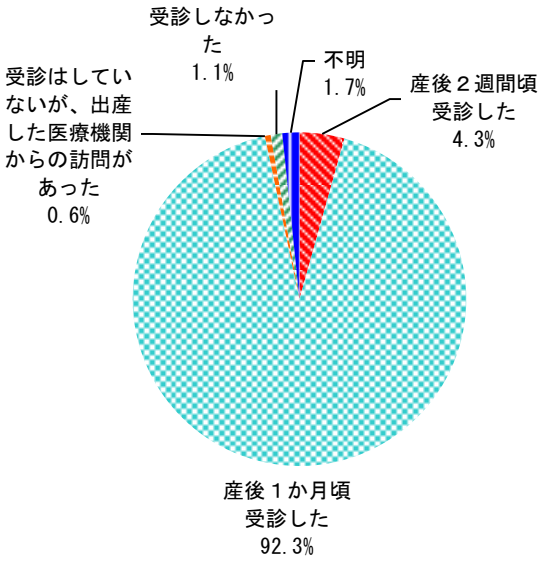
※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

K．妊娠・出産、育児休業や短時間勤務制度

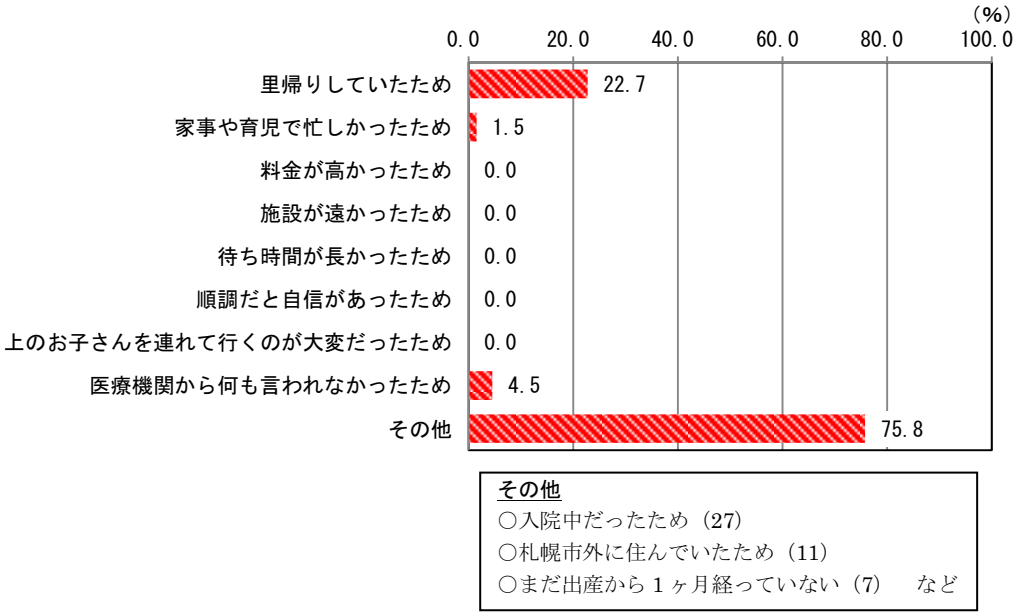
○「問 34　1 ヶ月健診（産後健診）を受診したか」との問について「受診しなかった」は 1.1%であった。

○「問 34-1　1 ヶ月健診（産後健診）を受診しなかった理由」としては、「その他」として「入院中だったため」(27 件、40.9%)が最も多く挙げられた。次に「里帰りしていたため」(22.7%)が続く。

問 34　1 ヶ月健診（産後健診）を受診したか＜SA＞（N=6,116）



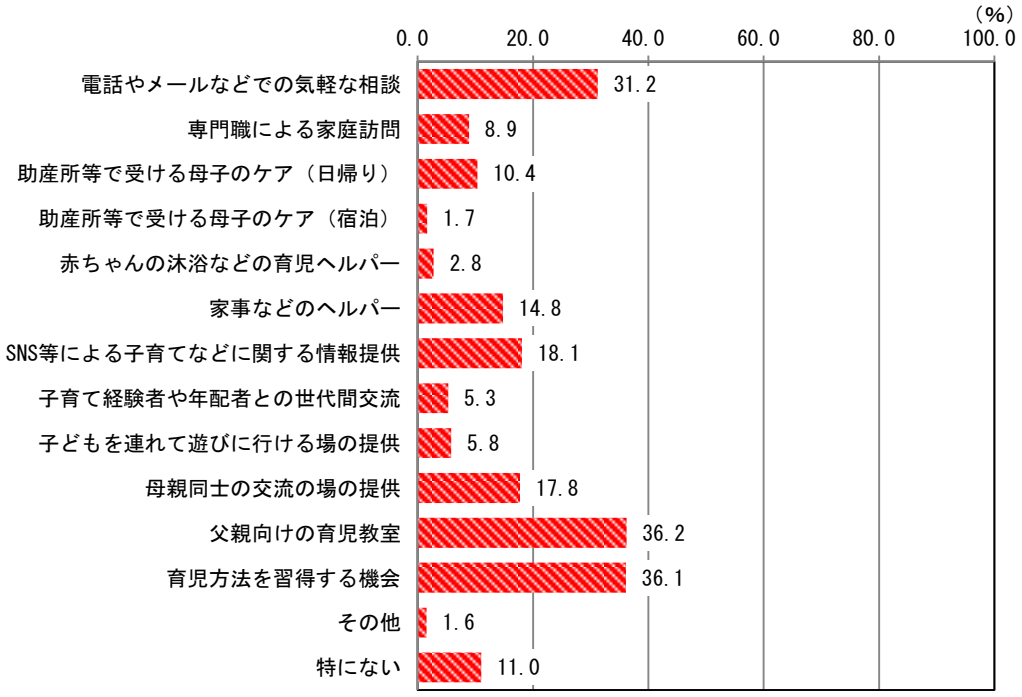
問 34-1　【1 ヶ月健診未受診者限定】1 ヶ月健診（産後健診）を受診しなかった理由＜MA＞（N=66　※不明除く）



その他
○入院中だったため（27）
○札幌市外に住んでいたため（11）
○まだ出産から 1 ヶ月経っていない（7）　など

○「問 35　妊娠中に特に重要だと思うサポート」としては「父親向けの育児教室」(36.2%)、「育児方法を習得する機会」(36.1%）がほぼ同率で多く挙げられている。「電話やメールなどでの気軽な相談」(31.2%）が次ぐ。

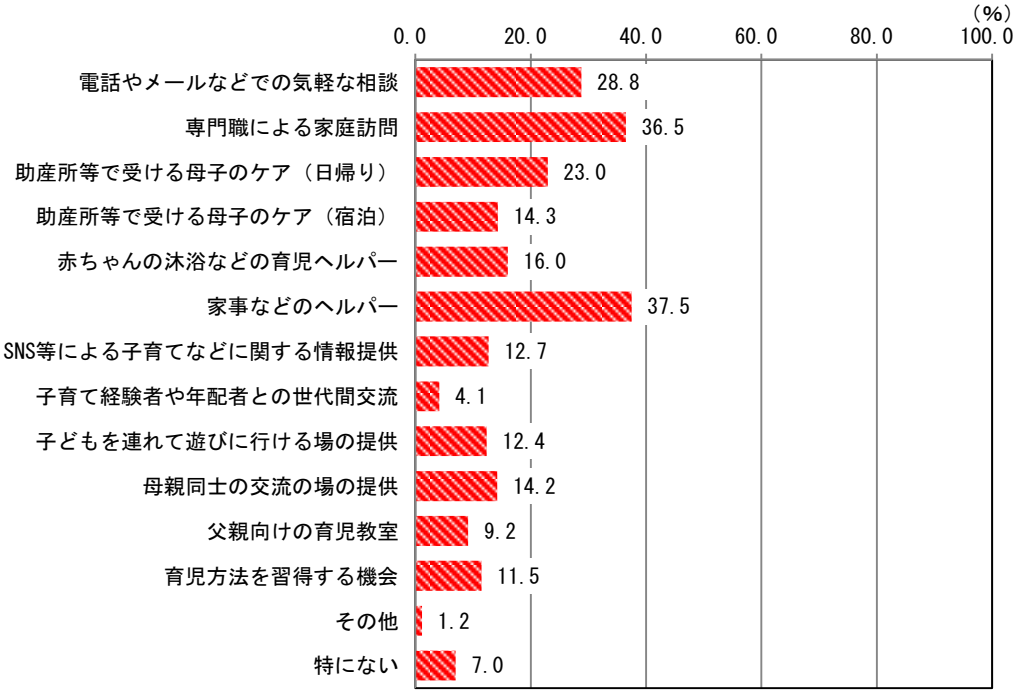
問 35　妊娠中に特に重要だと思うサポート
＜MA＞（N=5,150　※不明除く）



その他
○上の子どもの託児・ベビーシッター等（10）
○保育所・保育事業・手続き等についての説明・情報（9）
○経済的な補助（8）
○産後のケア・育児等について学べる場・情報提供・アドバイス（6）
○妊娠中・出産のケア・注意点等について学べる場・情報提供（5）
○母乳に関するケア・情報提供（5）　など

○「問 35　出産直後から 4 ヶ月までに特に重要だと思うサポート」としては、「家事などのヘルパー」(37.5%)、「専門職による家庭訪問」(36.5%) がほぼ同率で多く挙げられた。以下「電話やメールなどでの気軽な相談」(28.8%) が続く。

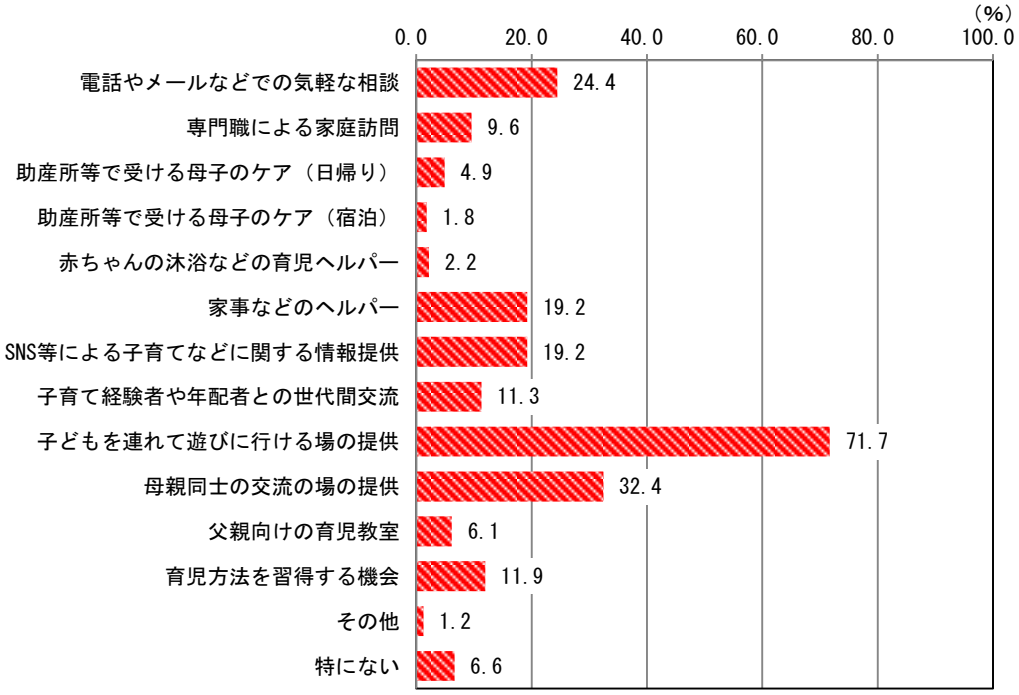
問 35　出産直後から 4 ヶ月までに特に重要だと思うサポート
＜MA＞（N=5,006　※不明除く）



その他
○母親の精神・身体のケア・リフレッシュの機会（10）
○経済的な補助（8）
○父親の協力（6）
○母乳に関するケア・情報提供（5）　など

○「問 35　5 ヶ月から 2 歳時までに特に重要だと思うサポート」としては「子どもを連れて遊びに行ける場の提供」(71.7%)が最も多く挙げられた。「母親同士の交流の場の提供」(32.4%)が次ぐ。

問 35　5 ヶ月から 2 歳時までに特に重要だと思うサポート
＜MA＞（N=5,181　※不明除く）

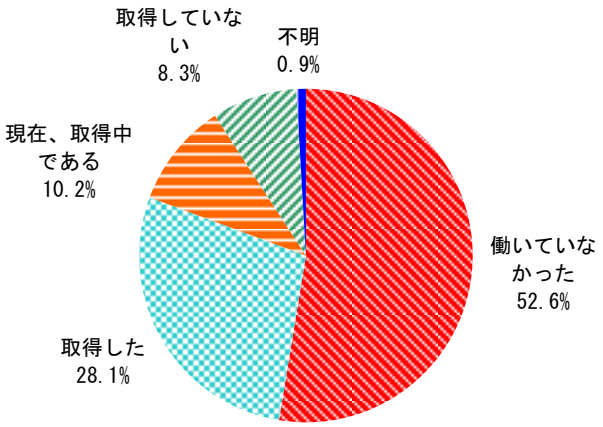


その他
○気軽に一時預かり・託児ができる場（13）
○経済的な補助（7）
○父親の協力（5）
○母親の精神・身体のケア・リフレッシュの機会（5）　など

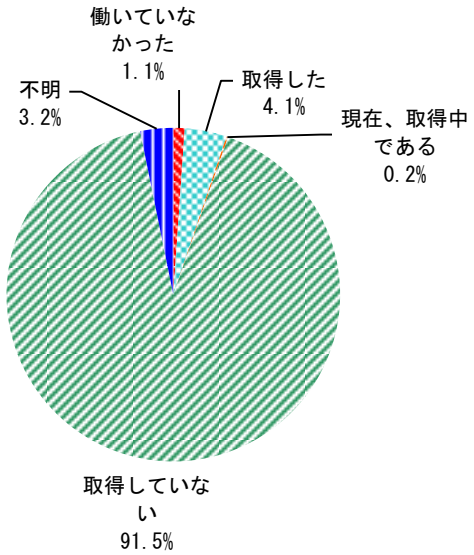
○「問 36　母親は子の出生時に育児休業を取得したか」を聞いたところ「取得した」「現在、取得中である」は計 38.3%であった。

○一方、父親について「問 36　育児休業を取得したか」を聞いたところ、「取得した」「現在、取得中である」は計 4.3%にとどまっている。

問 36　母親は子の出生時に育児休業を取得したか
＜SA＞（N=6,116）

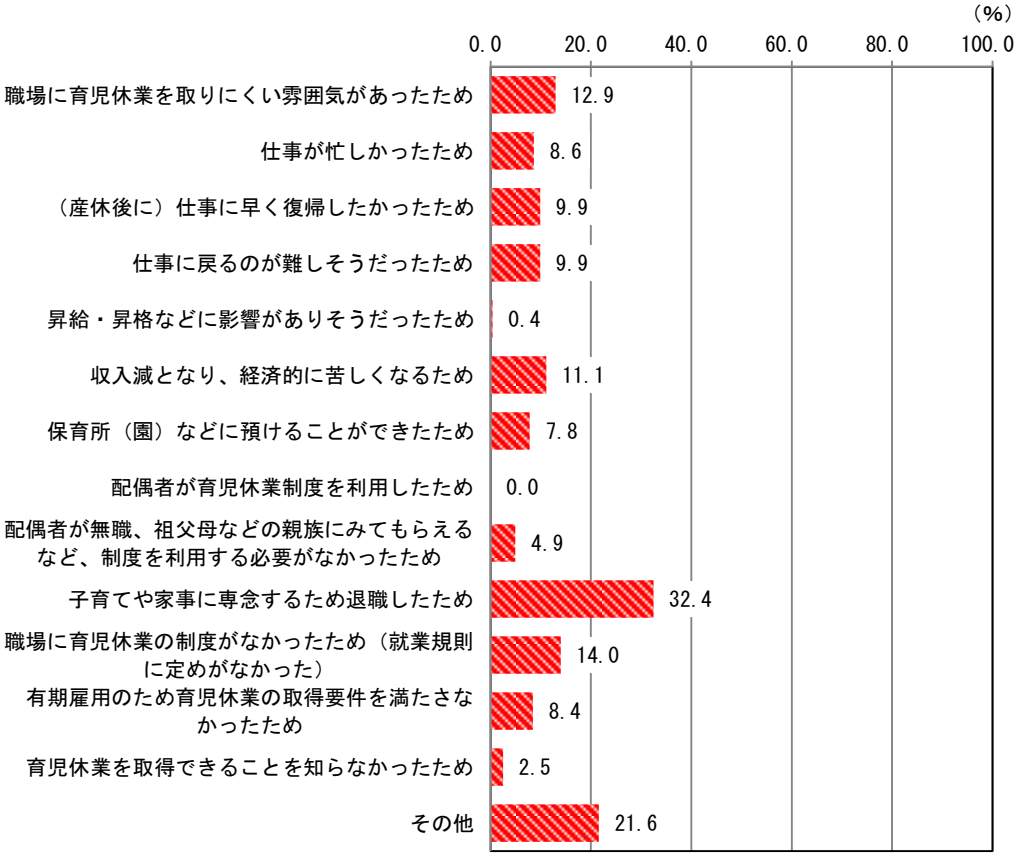


問 36　父親は子の出生時に育児休業を取得したか
＜SA＞（N=6,116）



○育児休業を取得しなかった母親に「問 36-1　育児休業を取得しなかった理由」を聞いたところ「子育てや家事に専念するため退職したため」(32.4%) が最も多く挙げられた。「職場に育児休業の制度がなかったため（就業規則に定めがなかった)」(14.0%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」(12.9%) も 1 割以上が挙げている。

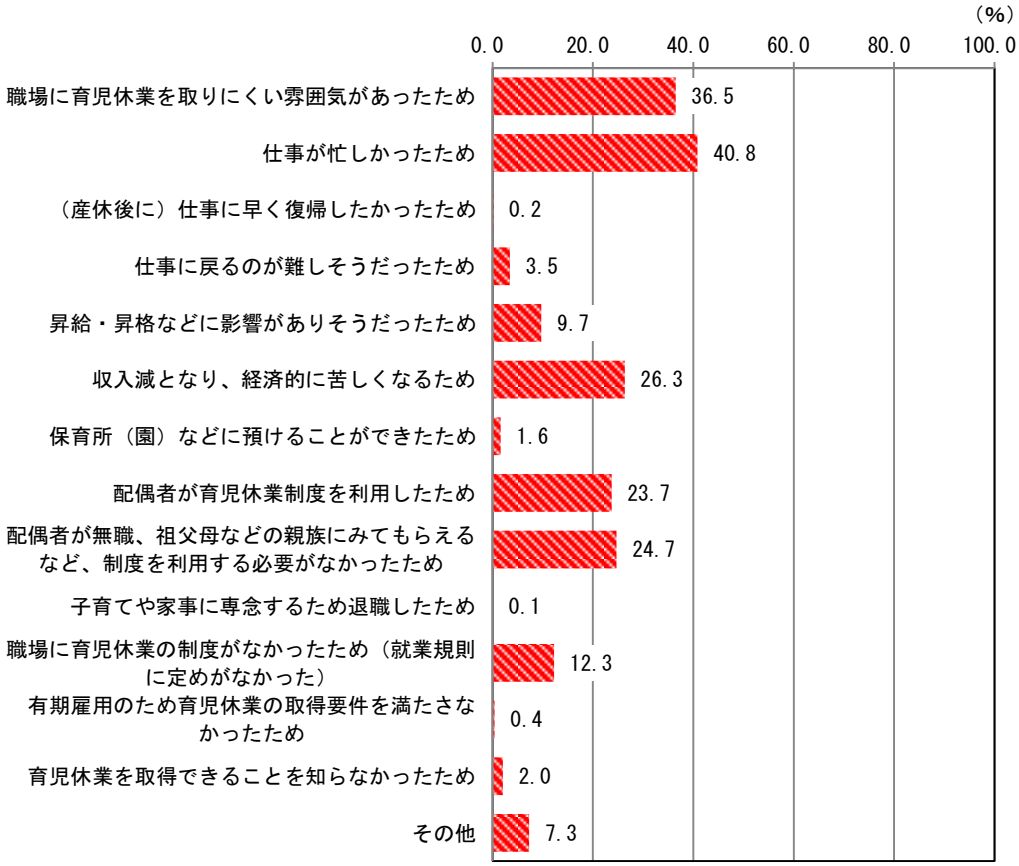
問 36-1　【育児休業を取得しなかった方限定】
母親の育児休業を取得しなかった理由＜MA＞（N=487　※不明除く）



その他
○自営業・経営者・役員のため（44）
○退職した・退職予定だったため（15）
○就労していなかったため（13）
○育休を取れる雰囲気になかった・取れる資格がなかったため（5）　など

○育児休業を取得しなかった父親に「問 36-1　育児休業を取得しなかった理由」を聞くと「仕事が忙しかったため」(40.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」(36.5%)が特に多く挙げられた。「収入減となり、経済的に苦しくなるため」(26.3%)、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため」(24.7%)、「配偶者が育児休業制度を利用したため」(23.7%) も 2 割以上が挙げた。

問 36-1　【育児休業を取得しなかった方限定】
父親の育児休業を取得しなかった理由＜MA＞（N=5,336　※不明除く）

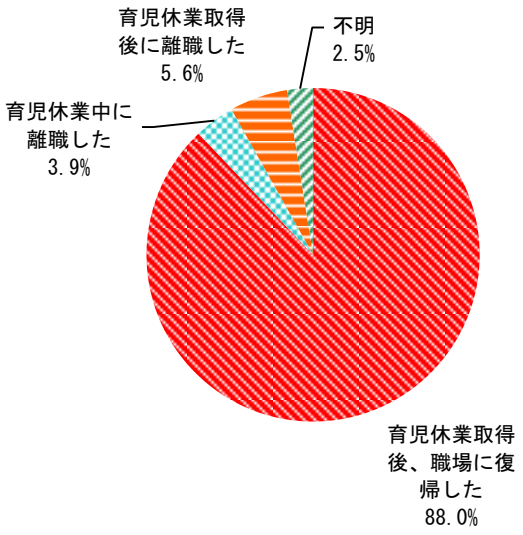


その他
○自営業・経営者・役員のため（101）
○育休を取る気がなかった・考えもしなかったため（56）
○必要がないと考えたため（54）
○有給休暇等を利用したため（23）
○職場に育休制度・前例がなかったため（12）
○職場が育休を取れる雰囲気ではなかったため（10）
○里帰り出産だったため・祖父母等のサポートがあったため（9）
○母親が就労していなかった・退職したため（8）
○母子家庭のため（7）
○母親が育児ができるため（6）
○育児は母親がすればよいと考えているため（5）　など

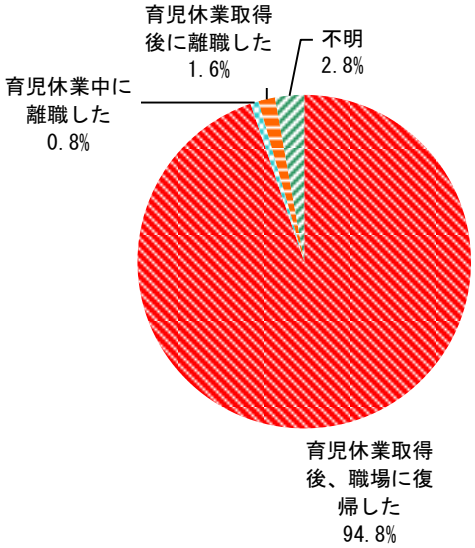
○母親に「問 36-２　育児休業取得後職場に復帰したか」を聞いたところ 88.0%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した。一方で「育児休業中に離職した」「育児休業取得後に離職した」方も計 9.5%いる。

○父親については、94.8%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答している。

問 36-２　【育児休業取得者限定】母親が育児休業取得後職場に復帰したか＜SA＞（N=1,718）



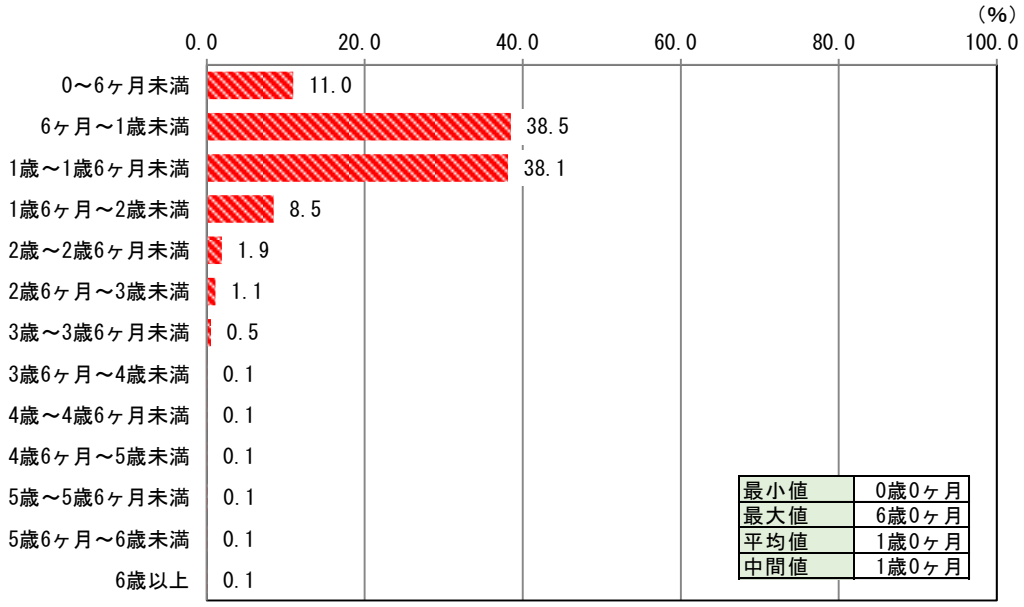
問 36-２　【育児休業取得者限定】父親が育児休業取得後職場に復帰したか＜SA＞（N=249）



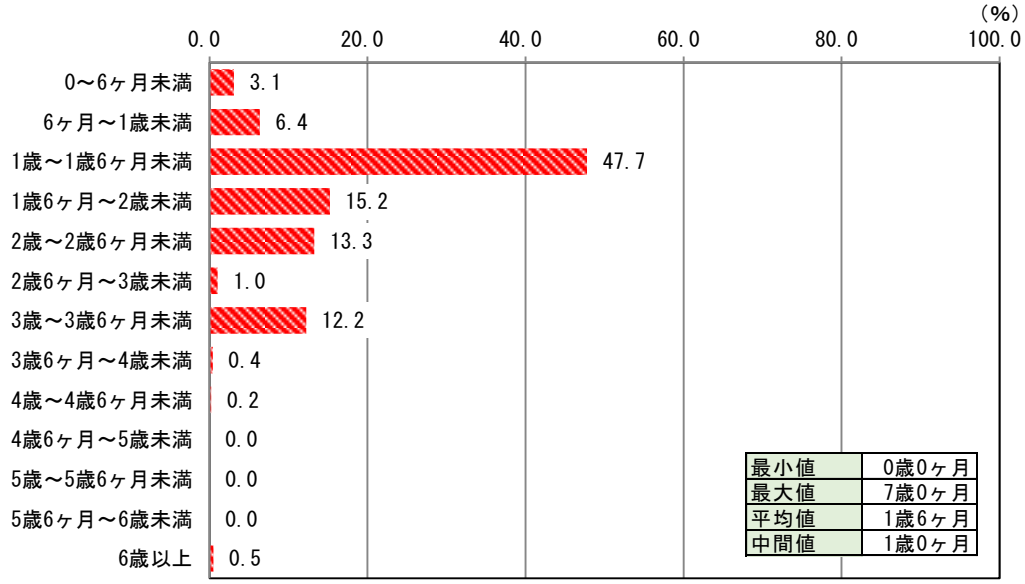
＜母親の育休後の職場復帰時期等＞

○育児休業取得後、職場に復帰した方への問である「問 36-３　母親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）」と「問 36-３　母親は子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）」を比較すると、母親の 76.2%が、子が「1 歳～2 歳 6 ヶ月未満」の時に復帰したいと考えていた一方、実際は 49.5%が「0 ヶ月～1 歳未満」で復職している状況がわかった。

問 36-３　【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）＜IN＞（N=1,479　※不明除く）



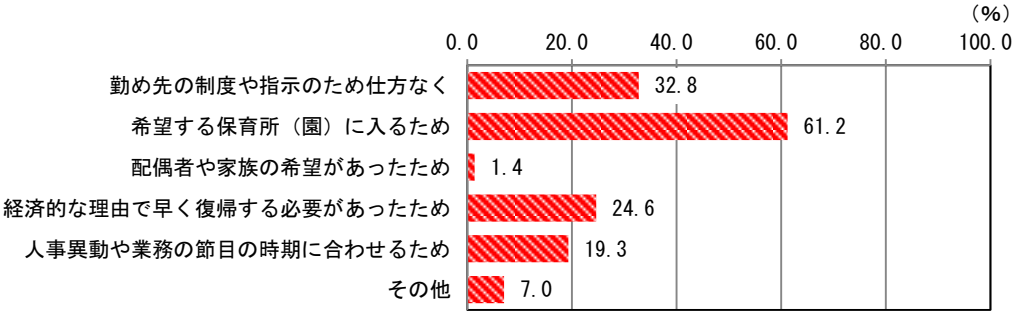
問 36-３　【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）＜IN＞（N=1,464　※不明除く）



○「問 36-4　母親が希望の時期に職場復帰しなかった（育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった）理由」として「希望する保育所（園）に入るため」（61.2%）が最も多く挙げられている。「勤め先の制度や指示のため仕方なく」（32.8%）が次ぐ。

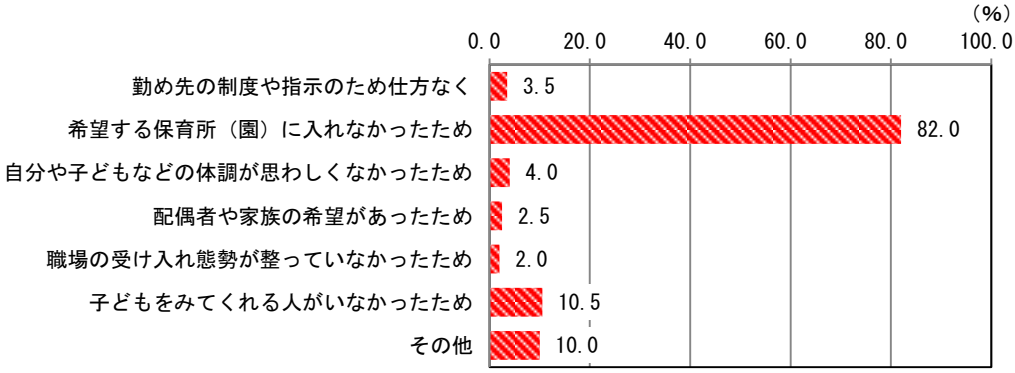
○逆に「問 36-5　育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった理由」としても「希望する保育所（園）に入るため」（82.0%）が最も多く挙げられている。

問 36-4　【育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった方限定】
母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由＜MA＞（N=982　※不明除く）



その他
○保育所の入所時期の関係で（18）
○育児疲れ・育児以外のことをしたかったため（7）
○仕事が多忙なため・職場が人手不足のため（6）
○復職しないと兄弟が保育所を退所させられるから（6）　など

問 36-5　【育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった方限定】
母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由＜MA＞（N=200　※不明除く）

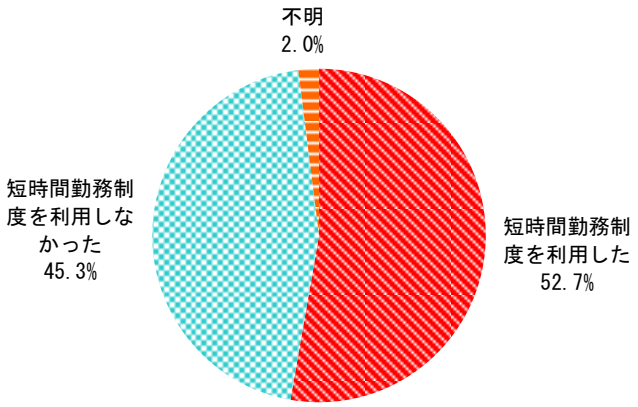


その他
○次の子どもを妊娠したため（8）　など

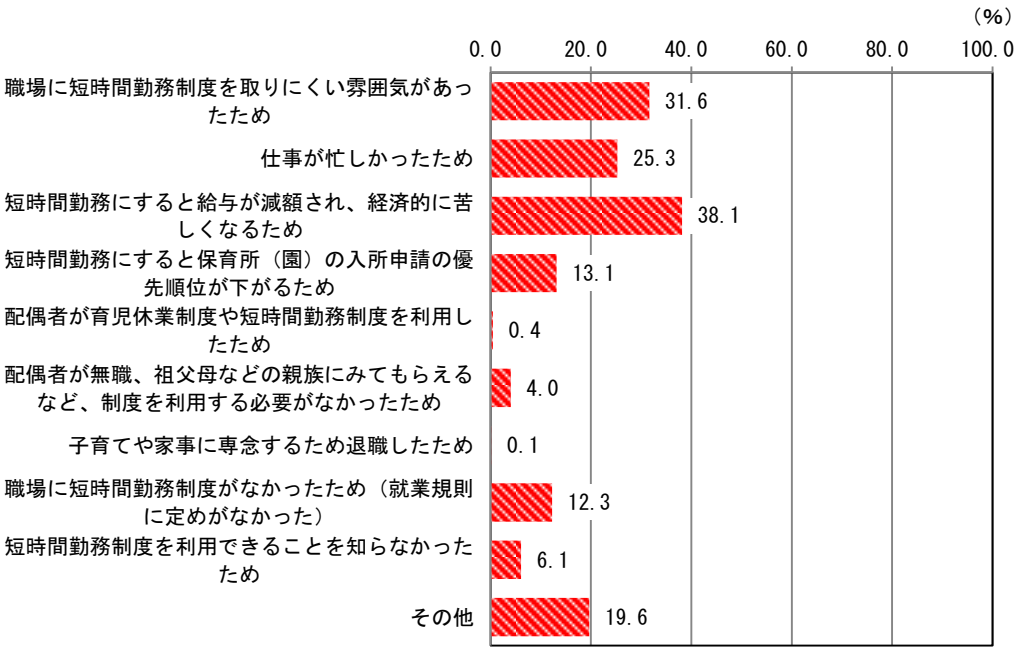
○育児休業取得後、職場に復帰した母親に「問 36-６　復帰後、短時間勤務制度を利用したか」聞いたところ、半数以上が「短時間勤務制度を利用した」（52.7%）と回答した。

○「問 36-７　短時間勤務制度を利用しなかった理由」だが「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」（38.1%）が最も多く挙げられた。「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」（31.6%）、「仕事が忙しかったため」（25.3%）が次ぐ。

問 36-６　【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は復帰後、短時間勤務制度を利用したか
＜SA＞（N=1,511）



問 36-７　【短時間勤務制度を利用しなかった方限定】
母親が利用しなかった理由＜MA＞（N=677　※不明除く）



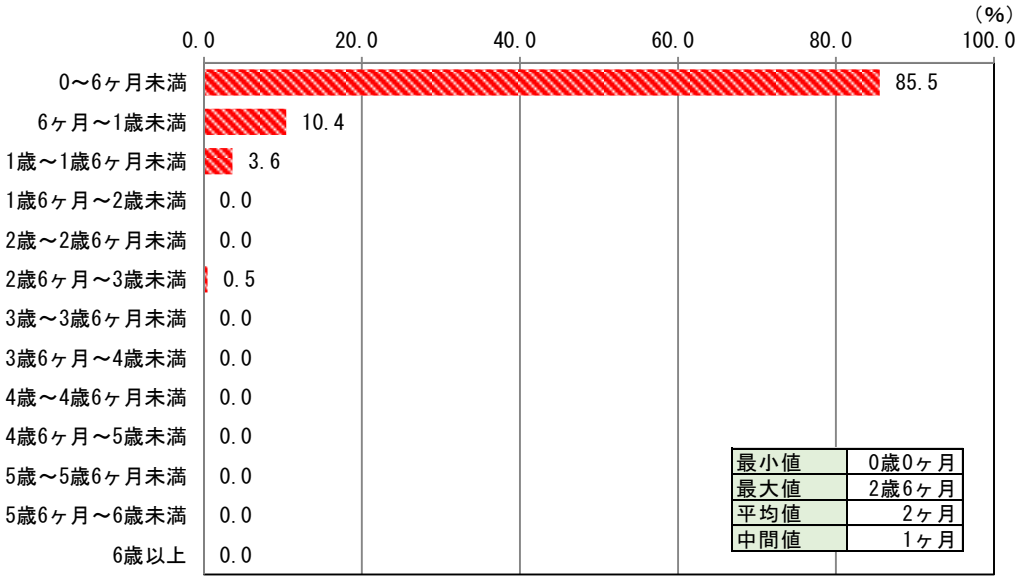
その他
○短時間勤務・パートタイムのため（35）
○利用する必要がなかった・必要性を感じなかったため（21）
○制度はあるが実際は使えなかった・使いにくかったため（11）
○自営業・経営者・役員のため（9）
○働きたかったため・フルタイムで働きたかったため・働けると思ったため（7）
○査定・昇進等に響くため（5）　など

＜父親の育休後の職場復帰時期等＞

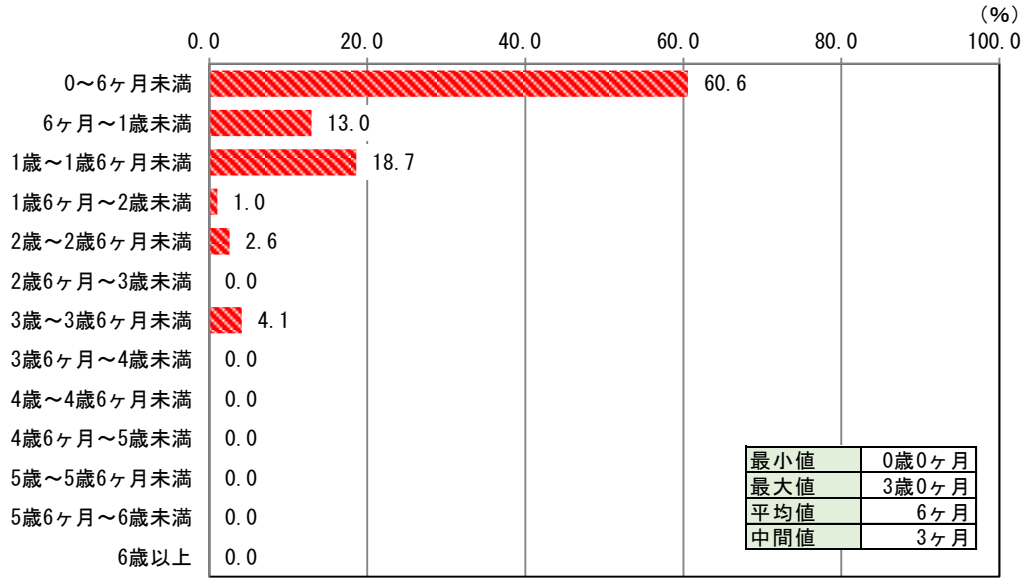
○父親については前述したとおり育休取得者が母親に比べて圧倒的に少ない。

○父親について「問 36-３　子が何歳の時に職場に復帰したか（実際)」と「問 36-３　子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望)」を比較すると「希望」では「0～6 ヶ月」は 60.6%であるが、「実際」は 24.9 ポイント多い 85.5%となっている。

問 36-３　【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）（N=221　※不明除く）

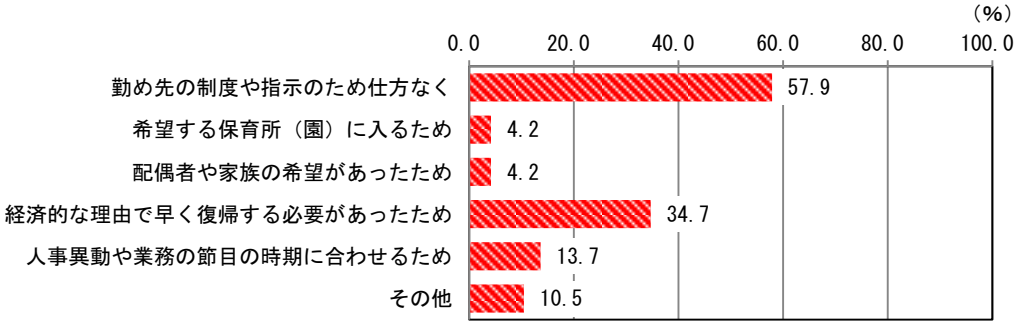


問 36-３　【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）＜IN＞（N=193　※不明除く）



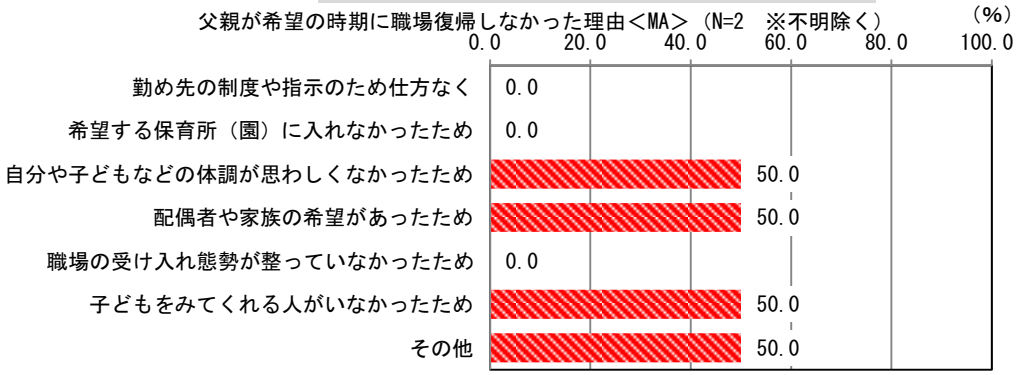
○「問 36-4　父親が希望の時期に職場復帰しなかった（育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった）理由」としては「勤め先の制度や指示のため仕方なく」（57.9%）が最も多く挙げられている。

問 36-4　【育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった方限定】
父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由＜MA＞（N=95　※不明除く）



その他
○育休が長いと周囲に迷惑をかけてしまう・申しわけないため(2)
○仕事が忙しかったため・仕事があったため（2）　など

問 36-5　【育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった方限定】
父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由＜MA＞（N=2　※不明除く）

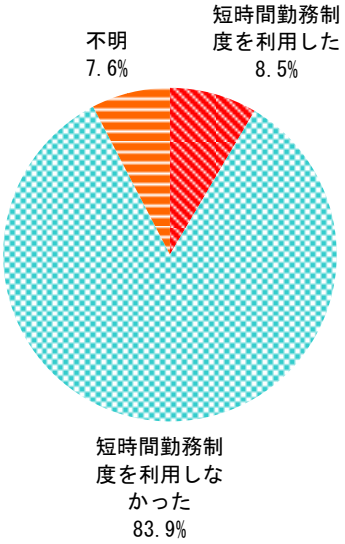


その他
○妻の体調不良

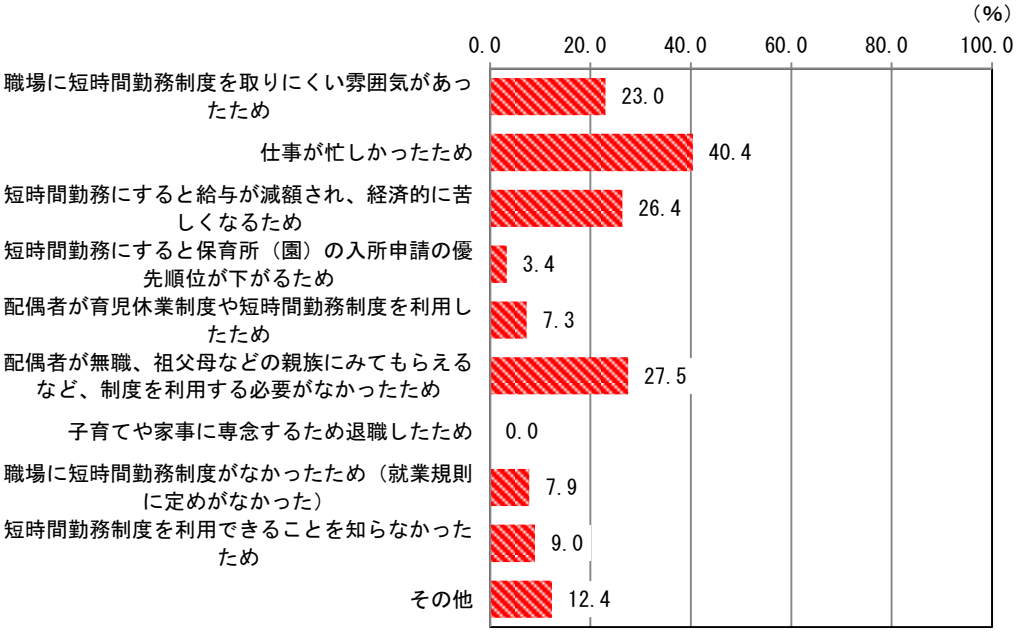
○育児休業取得後、職場に復帰した父親に「問 36-６　復帰後、短時間勤務制度を利用したか」聞いたところ、８割以上が「短時間勤務制度を利用しなかった」（83.9%）と回答した。

○「問 36-７　短時間勤務制度を利用しなかった理由」だが「仕事が忙しかったため」（40.4%）が最も多く挙げられた。以下「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため」（27.5%）、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」（26.4%）、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」（23.0%）が次ぐ。

問 36-６　【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は復帰後、短時間勤務制度を利用したか
＜SA＞（N=236）



問 36-７　【短時間勤務制度を利用しなかった方限定】
父親が利用しなかった理由＜MA＞（N=178　※不明除く）

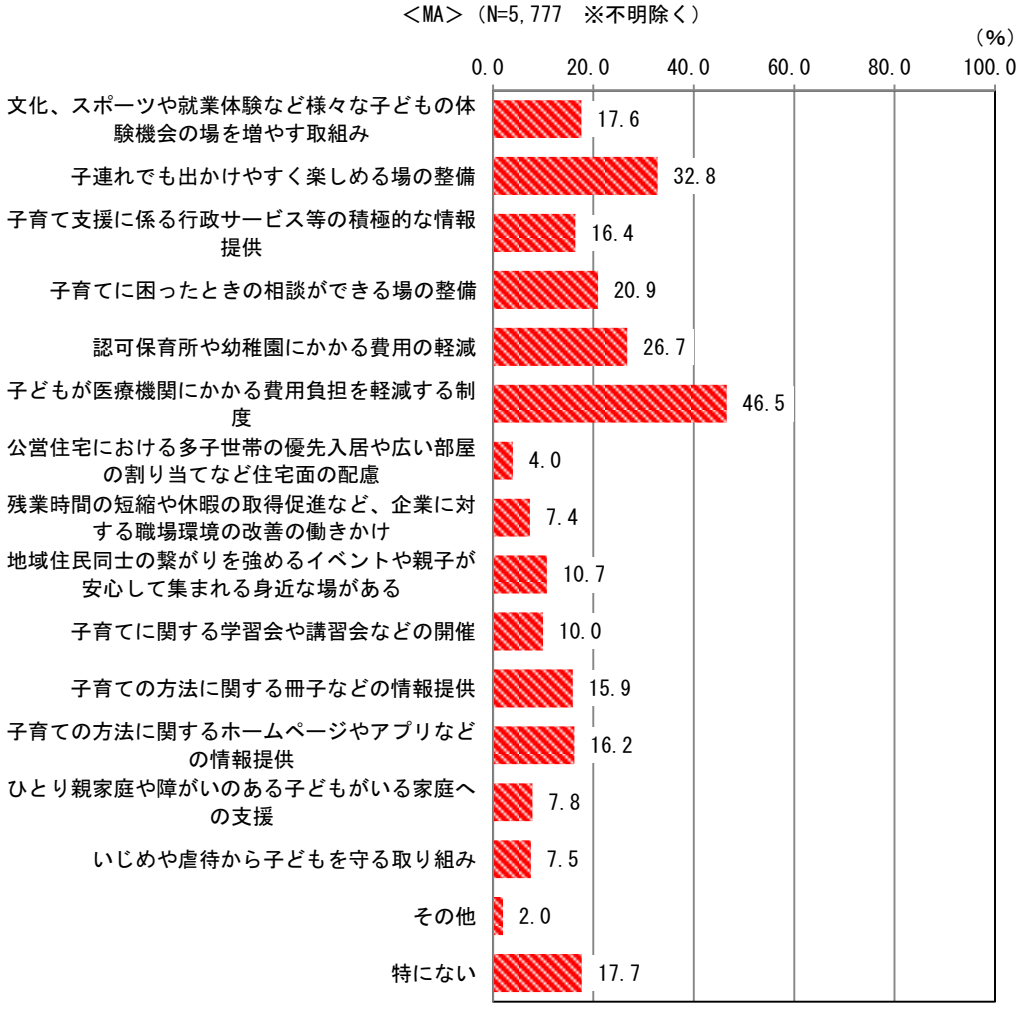


その他
○利用する必要がなかった・必要性を感じなかったため（11）　など

L．子育て支援施策に関するご意見・ご要望

○「問 37（1）既にある程度充実していると考える子育て支援施策」としては「子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度」（46.5%）が最も多く挙げられた。「子連れでも出かけやすく楽しめる場の整備」（32.8%）、「認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減」（26.7%）が次ぐ。

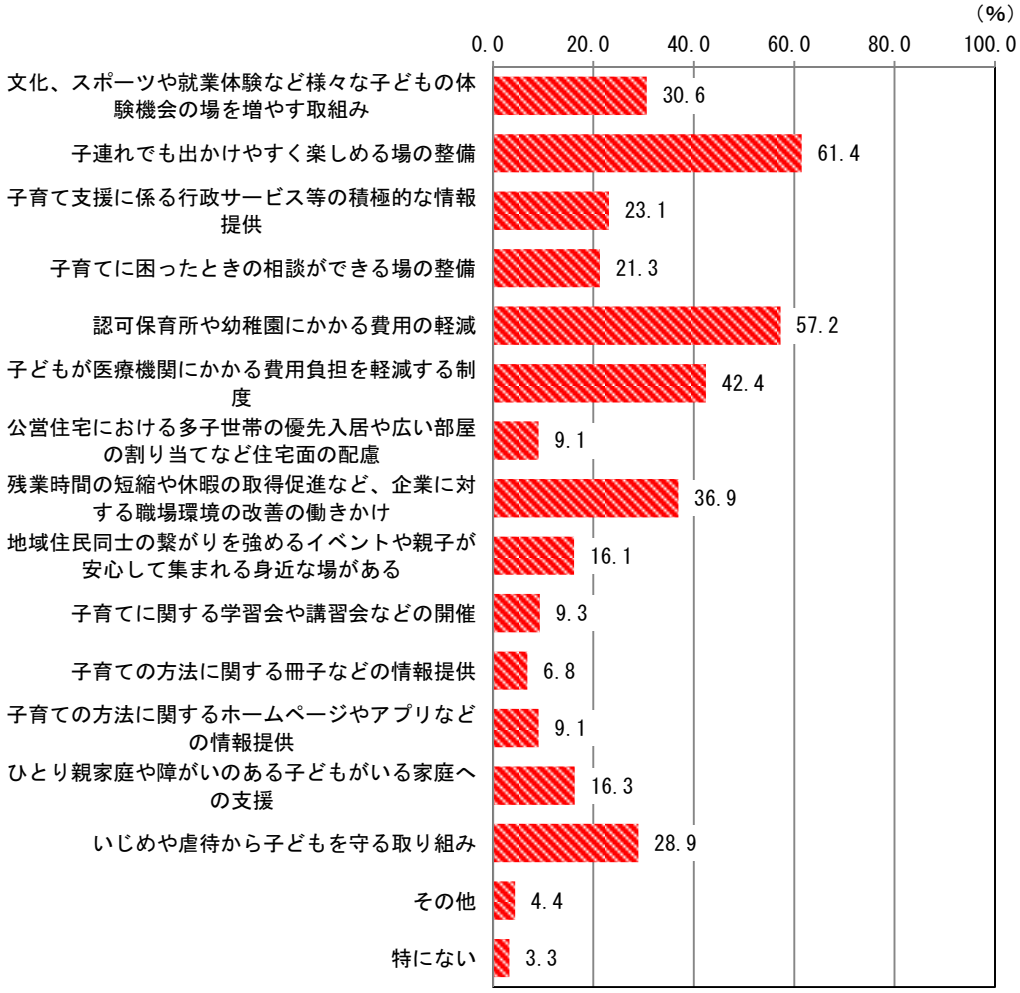
問 37（1）既にある程度充実していると考える子育て支援施策
＜MA＞（N=5,777　※不明除く）



その他
○公園（4）
○冬の遊び場所（2）
○子育てサロン（2）　など

○「問 37（２）今後充実させてほしい子育て支援施策」については「子連れでも出かけやすく楽しめる場の整備」（61.4%）、「認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減」（57.2%）が特に多く挙げられた。「子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度」（42.4%）、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ」（36.9%）、「文化、スポーツや就業体験など様々な子どもの体験機会の場を増やす取組み」（30.6%）も 3 割以上の方が挙げた。

問 37（２）今後充実させてほしい子育て支援施策
＜MA＞（N=5,973　※不明除く）



その他
○保育所の増設・定員の拡充・待機児童解消等（36）
○経済的な補助・手当増額（30）
○屋内の遊び場（無料等）（26）
○病児・病後児保育（13）
○一時預かりサービスの利便性向上（11）
○保育士の待遇改善・育成・増員（8）
○土・日・祝日の保育所・託児施設の開所（8）
○認可外保育施設の費用補助・軽減（7）
○子育てに関する相談（7）
○子育て世帯に優しい公共交通機関・交通関連施設（6）
○気軽に預けられる託児施設（5）
○産前・産後のケア（5）　など

（クロス集計表）問37（２）今後充実させてほしい子育て支援施策・宛名児童の生年月日別＜SA＞※不明除く

	N	文化、スポーツや就業体験など様々な子どもの体験機会の場を増やす取組み	子連れでも出かけやすく楽しめる場の整備	子育て支援に係る行政サービス等の積極的な情報提供	子育てに困ったときの相談ができる場の整備	認可保育所や幼稚園にかかる費用の軽減	子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減する制度	公営住宅における多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど住宅面の配慮	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善の働きかけ	地域住民同士の繋がりを強めるイベントや親子が安心して集まれる身近な場がある	子育てに関する学習会や講習会などの開催	子育ての方法に関する冊子などの情報提供	子育ての方法に関するホームページやアプリなどの情報提供	ひとり親家庭や障がいのある子どもがいる家庭への支援	いじめや虐待から子どもを守る取り組み	その他	特にない
全体	5,973	30.6	61.4	23.1	21.3	57.2	42.4	9.1	36.9	16.1	9.3	6.8	9.1	16.3	28.9	4.4	3.3
問２　宛名児童の生年月日																	
H30年4月以降	805	28.0	63.2	27.0	23.2	63.5	34.9	10.1	43.1	17.0	13.0	7.7	10.7	14.2	28.3	3.4	4.0
H29年4～30年3月	1,199	28.1	65.6	23.9	22.8	60.8	34.8	8.9	38.2	16.3	10.3	8.6	11.8	14.7	28.1	3.6	3.2
H28年4～29年3月	1,058	29.6	64.2	22.4	21.3	56.0	40.5	9.3	35.5	17.1	9.7	6.3	9.4	16.3	26.6	4.8	2.8
H27年4～28年3月	933	33.7	63.0	25.4	21.2	56.1	45.7	8.9	37.2	17.3	8.5	7.3	8.4	14.7	30.5	5.3	2.7
H26年4～27年3月	913	32.9	58.5	19.9	19.2	54.1	46.7	7.7	36.6	14.3	7.0	5.5	6.8	18.1	29.5	4.7	3.2
H25年4～26年3月	761	32.7	55.2	19.4	19.8	56.6	52.2	8.5	32.1	15.0	7.4	5.5	6.4	18.0	28.6	4.7	3.7
H24年4～25年3月	259	29.7	51.0	25.1	21.2	43.2	51.4	12.0	31.7	14.7	7.7	4.2	9.3	22.0	36.7	4.6	5.0

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

＜子育ての環境や支援に関するご意見・ご要望（自由記述）＞

○問 38 の自由意見記入欄には 1,852 名の方が記入された（「特になし」等は除く）。

○特に多かった「意見・要望の種類・分野」は下表の通りである。

意見・要望の種類・分野	該当数
医療費・教育費・交通費等補助、経済的な支援	453
保育所・幼稚園の整備・職員増、待機児童の解消	294
保育所・幼稚園にかかる費用	185
職場・社会の子育て・子育て世帯への配慮・意識改善（産育休・短時間勤務等）	157
屋内型の遊び場の整備等	154
子育て支援等に関する情報	135
相談（窓口、保健師・行政等の対応）	131
一時預かり（病児・病後児保育以外）	109
子育てサロン	89
親・親子対象のイベント・イベント情報	81
保育士・幼稚園教諭の待遇改善・スキルアップ	60
病児・病後児保育	54
バリアフリー化（公共空間・交通機関等）	52
延長保育・土日祝日の保育等	49
公園等屋外の遊び場の整備、遊び場全般	47
子連れで行ける店舗・場所の普及	37
交流・交流の場（同世代・異世代・地域内等）	36
医療的ケア児、障がい・発達障がい	30
学童保育（児童クラブ、民間児童育成会）	30
ゴミ袋の支援	29

●上位 10 種類・分野の代表的な意見

「医療費・教育費・交通費等補助、経済的な支援」に関して

■乳児医療にかかる費用負担の軽減。他県から引っ越してきましたが、そちらでは高校生まで医療費はかかりませんでした。子育てをしやすい街と胸をはって言えるよう、札幌市にも、せめて中学生までは無料にしてほしいです。

■医療費を無料にして欲しい。給食費を無料にする。(幼稚園、学校)・おむつ、ミルク代の補助金を。

■子どもの医療費を無償にして欲しい。特に乳児期は自分の体調を言葉で伝えられないので、受診を迷うことが多い。無償になれば、気軽に受診でき、心配事を相談できるので、安心して子育てができると思う。インフルエンザワクチンや母乳外来を無償で受けられるようにして欲しい。以前住んでいた自治体では子育て応援券というものがあって、券を利用して無償で受けられた。

■子どもの医療費の助成について、所得の上限を設けないでほしい。例えばインフルエンザの予防接種代について、老人への助成があって、なぜ子どもにはないのですか？　子どもは 2 回も接種が必要です。高齢化を援助して、子育てを援助していないように感じる。

■小中学生の医療費の軽減。おたふく、B 型肝炎などワクチン接種の無償化又は一部補助。

■1 年生まで医療費の補助があるのは助かりますが、年齢が増すほど教育費もかかるため、小学校に通っている間は、もう少し医療費の補助年齢を延ばしてほしいです。わが家の場合は

定期的に通院が必要な子たちばかりなので、経済的負担が大きいです。

■医療機関の負担軽減はとても助かっています。安心して子どもを病院へつれていけるので、なくさないでほしいです。

■第3子以降の子どもが産まれたときにお祝い金が出たり、教育費等の補助金が出たりすると、ありがたいなと思います。

■札幌市だけでも、子どもの医療費、教育費の経済的負担軽減の支援をしてほしい。経済的余裕があれば、もっと子どもを出産したかった。周囲の友人も、同じ考えの母親はたくさんいる。子育ても安心してできる環境があれば、子どもは増えると思う。

■子どもの医療費負担軽減 or 無料化、中学校入学前まで延長して欲しい。高校生まで公立の教育費の無料化（義務教育延長）。

「保育所・幼稚園の整備・職員増、待機児童の解消」に関して

■幼稚園の無償化など、そういうところにお金を使わなくていいから、認可保育園入れるようにしてほしい。待っても待っても入れず、結局高い職場の保育園に入れざるを得なかった。働いても保育料のために働いてるようで意味がない。何のための子育て支援なんだ！だから少子化になるんだ！

■保育園の待機が多く、希望の保育園に入れない。希望以外の所にも入れない。なので働けない。どうにかして下さい！働きたいのに。

■0歳児クラスは4月入所でないとほぼ入所出来ない園が多数です。4月、5月生まれであれば1歳に近いので保育所に入所させても良いかなと思いますが、秋、冬生まれだと体力的にもキツイので0歳児の4月入所は見合わせてしまいます。0歳児は途中入所もできるような制度にしてほしい！

■保育園を増やしてほしい。預けたい時期に預けられるようにしてほしい。1歳で預けようとしても、保育園の空きがなく、双子なので入れないことも考えて仕方なく0歳4月に入所予定。

■職場復帰したくても、子どもを保育園に入れることができず、復帰できない人がいるので、保育園の整備（待機児童ゼロ）をより進めて欲しい。

■幼稚園入園の際に、枠を確保するために前日の夜とか早期に並んで願書でもらわないといけないのはおかしいと思うので、その様なシステムを改善してもらいたいです。見てもらえる人がいない場合にどうやって並べばいいのですか？　子連れで並べというのですか？　無償化はありがたいですが、そのせいで入園を希望する家庭が増えると思います。今は幼稚園に入れるかが、とても不安です。

■保育園の数が少ない、保育士不足による待機児童の数が多いです。身近でも保育園に入れず困っている人がいます。働きたい、働いているが、待機児童が多すぎて受け入れてもらえる場所がないのが実情です。地域を変えて園に通うのは大変なので、もっと園を増やしてほしい。無認可園でも待機児童がいる。保育士の育成のためにもっと力を入れて、保育士を増やして、園を増園して下さい。

「保育所・幼稚園にかかる費用」に関して

■生活が苦しいと感じます。子どものためにがんばって働いても、その分、保育園代が高くなり、何のために働いてるのかと感じます。早く無償化になってほしいです。低所得者でも子どもをたくさん産んで育てられる国になってほしい。未来のために。

■今後の保育料無償化についてどのような内容なのかを明確に説明して頂きたい（説明会や文書など）。

■無償化のタイミングでの保育料値上げのせいで、逆に保育料が高くなってしまいました。本末転倒です。2 人目は半額だったはずが、2 人目 3 人目に関係なく一定の額を保育料として払わなければならず、給食費もこのタイミングで「2 人目半額を取りやめます」と幼稚園から連絡があり、逆に損をした気分です。3 人目以降がいるご家庭はもっとかわいそうなのでは。

■第 1 子が就学しても、第 2 子の保育料無償、減額を検討してほしい。来年から 3 歳以降無償化になる話を聞いたが、実際保育料が高いのは 0～2 歳。この年齢も無償・減額にならなければ、復職をためらう人も多いと思う。働いても高い保育料を払わなければいけないのは、働いている意味がないと思ってしまう。

■2 人目の保育園無料なのは上の子が幼稚園までというのはおかしいのではないか、小学校だと 2 人目でも 1 人目とみなされ、1 人目の料金がかかるのは、平等ではないと感じる。

■認定こども園と保育園との保育園の費用の差をなくしてほしい。長子が卒園後、第 2 子が認定こども園なら無料で、保育園ではかかるのはおかしい。空きの問題で好きで保育園に入れているわけではないのに。

■行政サービスは、ある程度充実していると思います。サービスの内容は上を見たらキリがないような気もします。我が家には 3 人の子どもがいますが、2 人目と 3 人目の保育園入所が重なった時（現在）に 2 人目半額になり助かっています。その後 2 人目が無償になり、さらに助かりました。

「職場・社会の子育て・子育て世帯への配慮・意識改善（産育休・短時間勤務等）」に関して

■時短が 3 歳までで切れてしまうため、小学校 2 年生くらいまで取得できるようにしてほしい。会社からは国や市が決めないと延長はできないと言われている。子どもが 3 歳になったらパートになりやめてしまう職員が多い。

■父親の育児休業取得をもっと促進していけるような取組を行ってほしいです。実際に育児休業を取得してみましたが、まだまだ父親の取得についてびっくりされることが多かったです。

■父親と母親の大人 2 人で、子どもが 3 歳になるまで子育てができるような環境になれば良いと思う。父親の育児休暇がきちんととれるようになってほしい。母親 1 人で子どもを育てるワンオペ育児が大変。

■子育て世代の両親の職場環境の改善に力を入れてほしい。残業をなくす、土日祝日の休みをとれるなど。

■希望者のみ時短勤務（育時時間）という制度では、職場からの無言の圧力というか、肩身の狭い思いをしながらの勤務となる。業務形態も様々だが、強制、義務という形で、育事休業等、様々な支援を利用できたらいいと思う。堂々と子育てできる環境になればと願いを込め

てアンケートに協力しました。

■産後、復帰するつもりで育休を取得しましたが、思った以上に育児は大変で、勤めていた職場はフルタイム以外の選択が難しかったため退職しました。時短で働ければ続けたかったと思います。そういう選択ができる職場が増えると良いなと思います。

■世間の子どもに対する理解が少ない。子どもは子どもらしく出来たら良いなと思う。親は他人に謝ってばかり…。

■バスや JR など公共機関を利用する際など子どもが泣き出したらどうしよう、他の人に迷惑かけてしまうのではないか、ととても心配になります。中には親切な方もいると思いますが、もう少し安心して子連れでも利用できるようになると良いなと思います。

「屋内型の遊び場の整備等」に関して

■市外にはいくつかあるが、市内には無料であそべる場所が少なく、困ってます。特に雨や雪が降ると室内で、と思いますが子育てサロンは小さな子も多いので走りまわる子どもを連れて行くことに抵抗があり、行けません。

■雨や雪でも伸び伸びと遊べる場所が多く欲しい（特に雪の期間は長いので）。近隣の市には低料金で楽しめる場所がありうらやましい。

■北海道の子どもの運動力低下には、冬期間の運動不足、遊び場所が少ないのも問題の 1 つでは。札幌で、広く低料金であそべる室内あそび場があると良いと思います！（小さい子用と、小学生用と分けて）。

■無料で、室内で遊べる場所を増やしてほしい。川下公園のようなところ。友達同士で行って、親子でゆっくり座って話できるスペース等がほしい。どこに行ってもお金がかかる。

■室内で遊べる場所が欲しいです。特に冬場は 1～2 歳児は雪あそびもできないので、室内で走り回ったり運動できたりする場所がもっとあるといいと思います。地方の方が、無料（もしくは有料でも低料金）で遊べる場が多いと感じます。

■札幌は冬が長いです。小さい子の兄弟がいると、外遊びにも限界があります。児童館は冬休み使えません。なのに、市内でカラダを使って遊ぶ施設がなさすぎます！千歳や岩見沢市のような施設があった方がいい！みんな願っています。

■有料で子どもが遊べる場はあるが、江別のぽこあぽこのような無料で気軽に遊びにつれていけるような場があるといいなと思います。冬が長いので、室内で思いっきり体を動かして遊べるところがほしい。外遊びをさせたくても、下の子が生まれたばかりだと連れだすのがむずかしい。室内だったら天候も気にせず遊ばせることができてよいと思う。

「子育て支援等に関する情報」に関して

■保育園や幼稚園を通じて札幌市でやっていることの情報を発信してほしい。働いているとなかなか保育園以外で情報を得る時間がとれない。子育てアプリも今回初めて知った。広報さっぽろに子ども向け（親向け）のページを 1 ページ設けてほしい。ここを見れば子ども向けの情報がまとまってるというようなもの。

■東京に住んでいたころは子育てに関する事（子育てサロンの情報や、お悩み相談会など）のお知らせが、区からお手紙で届いたりしていたので困る事はあまりありませんでしたが、札

幌ではそのような情報は基本的に自分で探さないといけないので、子育てしづらいなと感じる事がたまにあります。

■様々な取組をされているが、インターネットや区役所・保健センター・広報等、情報提供元が複数あり、一元化して分かりやすくしてほしい。

■母子手帳交付の時にいくつか情報をもらうが、その後は自分が何もしていなければ情報は入ってこない。産まれてからは余裕がなく、季節にもよるが北海道の冬に外に出ることも一苦労。何か新たな取組ができたのなら、しっかりと伝えてほしい。子育てをしている母、父に「調べればわかる」はマイナス。教えてくれるとありがたい。

■「札幌子育てアプリ」、利用していて便利です。当初は 2 人の子どもの予防接種の管理のため利用を始めましたが、情報も調べやすいです。ただ、アプリの存在は、たまたま自分で調べて気がついた。出生届を出すタイミングや出産時の病院で案内して頂けると良いと思います。

「相談（窓口、保健師・行政等の対応）」に関して

■保健センターの保健師に子育ての相談をしたが、知識や気遣いのない方が多く、相談したくない気持ちになった。保育施設や経済的な支援だけではなく、専門機関で親身な対応をしていただける体制を整えてほしい。

■子どもの健診などで相談事があっても、保健師で子育てに理解のある人が少なく、心ない言葉をかけられ相談を諦めたことが何度もあり、相談しなくなった。もう少し相談しやすい環境を作ってほしい。また、発達や子育てに不安がある時に専門機関に相談しやすいようなネットワークがあるといい。

■市の職員の方（保育園受付）がとても質が悪かったです。「保育園の利用は無理ですね」と言うだけではなく「こういうサービスもあります」とか、「こういう理由で難しい」等の言葉があるのが当たり前では？　サービスを増やすのも良いですが、まずは職員への教育が必要だと思います。

■産後に一度、保健師さんが自宅に来てくれ子どもの発育のようすを見てくれたのがとても助かった。これであっているのかどうか、些細なことも自宅なので気軽に聞けた。欲を言えばもう一度くらい、2～3 回定期的に来てもらえると心の負担もだいぶ軽くなるのではと思った。産後 1～3 ヵ月が一番きつかったので。

■豊平区役所内に新しく「こそだてインフォメーション」ができたのがとてもありがたく、時々使わせてもらっています。気軽に子育てに関しての相談ができる場が嬉しいです。また、子どもたちが遊べる場もあるのでホッとできます。

「一時預かり（病児・病後児保育以外）」に関して

■保育所の数は増えていますが、一時預かりを気軽にできる園がとても少なく困っています。母親の急な通院など、病気で急に預けたい時に困ったことがあります。気軽に、当日受付でもできる一時保育・託児を札幌市の方でもっと増やしてほしいです。

■保育所の一時預かりが全く機能していないと感じました。土曜日の保育所一時預かりを希望し、該当する園へ全て電話しましたが、1 つだけしか（しかも 4 歳児のみ）受け入れられな

いという結果でした。我が家は3歳児と4歳児の兄妹のため結局利用できず認可外へ行かざるを得ない状況となりました。

■一時保育を利用したいと思いますが、各保育所での判断で受け入れをしているようなので、状況がわかりにくく、またほとんど空きがなく利用できません。一時保育を利用したい人はたくさんいると思うので、各保育所にまかせるのではなく、札幌市としてもっとより多くの人が利用できるように整備していただきたいです。

■幼稚園の預かり保育を利用することがあるが、先生が預かる人数を増やしたくないようで、預かってはくれるが嫌な顔をされる。仕事のシフトが出るのが遅いため、預かりを申し込むのが2、3日前になってしまう時があるが、それも先生に嫌な顔をされるのでお願いしづらい。制度があっても利用しにくい空気があります。

■産後～子育て中、常に子どもといて自分の時間が持てないのは、精神的にも体力的にもとても辛いものがあると思います。2～3時間だけでも、気軽にリフレッシュできる自分の自由時間があると、おおらかな気持ちをたもち、子どもにも優しくなれるし、生活に余裕が出来てくると思います。私用でも気軽に子どもを預けられる環境があるととてもいいなと思います。

「子育てサロン」に関して

■子育てサロンが遠いし、時間が決まっているので実際行けません。もう少し長い時間やっていたら行けるのにと思います。雪が降ったらなかなか行きづらいです。

■赤ちゃんむけのサロンなど、イベントはわりとある印象ですが、2～3歳向けの場所があまりないので、増やして欲しいです。ねんねの赤ちゃんと一緒だとケガをさせてしまいそうなので…。

■子育てサロンを毎日行なっている所が少ないと思う。以前苫小牧に住んでいたが、保育園の一画や児童センター等、所々で開かれていたので行きやすかった。増やしてくれると有難いです。

■子育てサロンは幼稚園に行く前に、同じくらいの年齢の子ども同士で触れ合える機会ができ、とても良いと思います。よく利用させて頂いています。週3日以上、時間も長めにやっている所がもう少し増えると嬉しいです。

■0・1歳児の時は家で1人っきりで子どもに向き合う時間が多く、孤独を感じていました。広報さっぽろで近所に子育てサロンがあるのを知り、勇気を出して参加することができました。それからは、同じ思いのママさんがたくさんいる事を知り、前向きに育児することができました。それがなかったらと思うと、健やかに育児できていたかわかりません。

「親・親子対象のイベント・イベント情報」に関して

■市や区で行っている母親教室や子どもの遊び場の提供、子育て講座などは平日が多く仕事に復帰すると行けなくなるので、土曜や、平日の遅くにもやってほしい。

■地域センターちあふるが近くにありますが、いろいろな会や講座があっていいと思います。ただ、人気の託児付きの講座は予定人数が少なくすぐ満員になってしまい、いつも利用できないので、人数を多くするか回数を増やしてほしいです。

■乳幼児を連れて参加できるイベントが少ないように感じます。夏休みや冬休み中に子育てサ

ロン（児童会館）がなくて、幼稚園が休みの子どもが遊びに行くところがありません。託児つきのママ向けイベントがほしいです。

■冬場は歩いて児童館に行くのが大変なため、駅の近くなどでイベントや交流広場を設けてもらえると助かります。

■3 歳児がいるのですが、一緒に行けるイベントが少ないと感じています。小学生くらいになればいろいろありそうですが、小さいうちから、キタラのコンサートや、アートにふれる機会があれば、連れていってあげたいです。お年寄りとの交流の場もあればうれしいです。

Ⅲ．放課後児童クラブ利用世帯を対象としたニーズ調査

１．調査の概要

（１）目的

事業計画及び放課後児童クラブに関する基準策定の基礎データとして、児童クラブ又は民間児童育成会等を利用中の世帯に関する家庭状況やニーズ等を把握すること。

（２）調査対象と回収サンプル数：

○**児童クラブ利用調査:**児童クラブを利用中の 16,787 世帯。回収数は 7,593 件(回収率 45.2%)。

○**民間児童育成会及び届出事業所利用調査：**民間児童育成会及び届出事業所を利用中の 1,213 世帯。回収数は 493 件（回収率 40.6%)。

（３）調査手法：

○手渡し配布・手渡し回収式調査。ウェブアンケートフォーム、E メールによる回答も受け付けた。

（４）調査期間：

平成 31 年 1 月 4 日（調査票配布開始）～平成 31 年 1 月 21 日（回収締切）

調査結果の凡例

○＜SA＞ シングルアンサー（単一回答）　○＜MA＞ マルチアンサー（複数回答）

○＜IN＞ 数値記述回答　○N サンプル数

○クロス集計表は、各行について 1・2・3 番めに高い値にその順番で着色している。

注記

○サンプル数 N は、注記のない限り、非該当者（その設問に答える必要のない方）を除いた数であるため、回収数以下になる。

○不明は、未回答（未記入）などで回答内容が不明であることを示す。

○割合は、原則としてシングルアンサー設問＜SA＞については回答不明者（未記入など）を含めて集計し、マルチアンサー設問＜MA＞は、回答不明者を除いて集計している。

○マルチアンサー設問＜MA＞では、表記の割合の合計は 100%を超える。

○シングルアンサー設問＜SA＞に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数点第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

○中間値とはデータを小さいものから順に並べた際にちょうど中間に来る値である(データが偶数個の際は中央 2 データの平均値をとる)。数値記述回答にて極端に値が大きいデータが存在する際、平均値はそれに大きく影響されてしまうため、中間値を平均値と合わせて表記している。(例：5 つのデータ「1,1,1,1,100」の平均値は 20.8、中間値は 1 となる)

2．調査結果

A．通っている施設・通っている学年

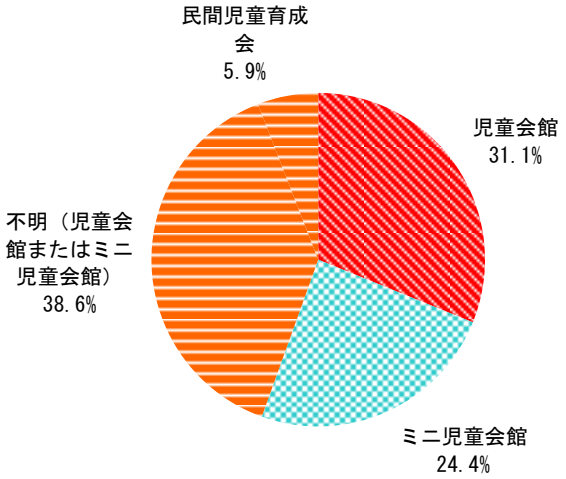
○「問 1-1　利用している施設がある区」としては「北区」（15.1%）、「東区」（14.0%）、「西区」（12.2%）の順で多く挙げられた。

○「児童の学年」は「1 年生」（40.2%）が最も多く、学年が上がるごとに減っている。

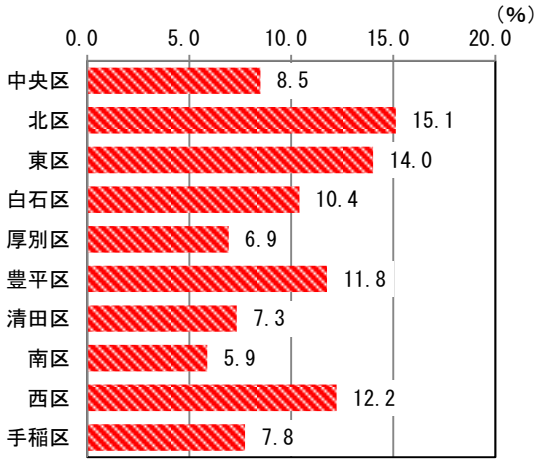
○なお、以下で行っているクロス集計分析においては「児童会館」または「ミニ児童会館」に通っている子どもの親による回答を「児童クラブ」、「民間児童育成会」に通っている子どもの親による回答を「民間児童育成会」と分類した。

○また、問 1「児童の学年」の回答「1 年生」「2 年生」「3 年生」いずれかのみを挙げた場合は「低学年」、「4 年生」「5 年生」「6 年生」を挙げた場合は「高学年」と分類している。

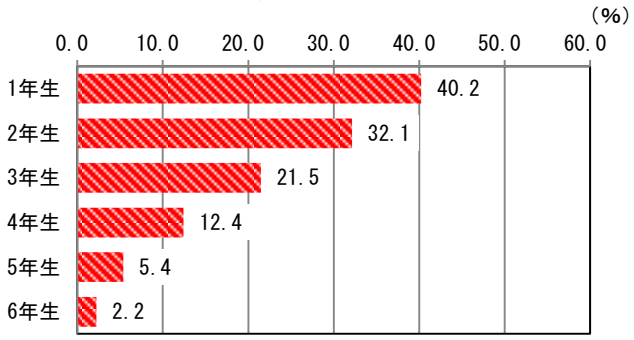
問 1　児童が利用している施設＜SA＞
（N=8,390）



問 1-1　利用している施設がある区＜MA＞
（N=8,367）※不明除く



問 1　児童の学年＜MA＞
（N=8,353）※不明除く



（クロス集計表）通っている施設別、学年＜MA＞（単位：人）

	N	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明
全体	8,390	3362	2684	1793	1039	449	187	37
児童会館	2,612	1069	822	549	323	134	53	7
ミニ児童会館	2,044	818	689	436	233	106	27	6
不明（児童会館またはミニ児童会館）	3,240	1344	1061	693	394	142	44	24
民間児童育成会	494	131	112	115	89	67	63	－

（クロス集計表）通っている施設別、高低学年＜MA＞（単位：人）

	N	低学年	高学年	不明
全体	8,390	6722	1631	37
児童会館	2,612	2107	498	7
ミニ児童会館	2,044	1678	360	6
不明（児童会館またはミニ児童会館）	3,240	2649	567	24
民間児童育成会	494	288	206	－

B．父母の就労状況

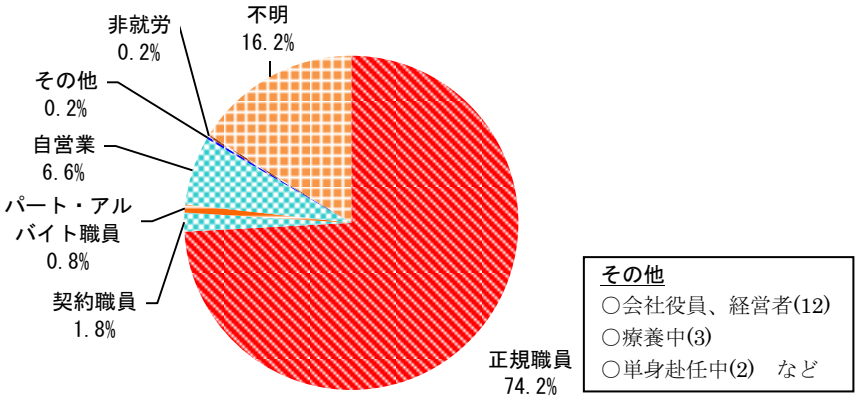
＜父親の就労状況＞

○「問 3-1　父親の就労形態」では「正規職員」（74.2%）が最も多かった。「自営業」（6.6%）が続く。

○「問 3-2　父親の就労曜日等」では平日の曜日がいずれも 75%を超えているが「土曜日」も 36.0%挙げられた。

○「問 3-3　父親の 1 日当たりの就労曜時間」では「8 時間以上」が 88.3%挙げられた。

問 3-1　父親の就労形態＜SA＞
（N=8,390）

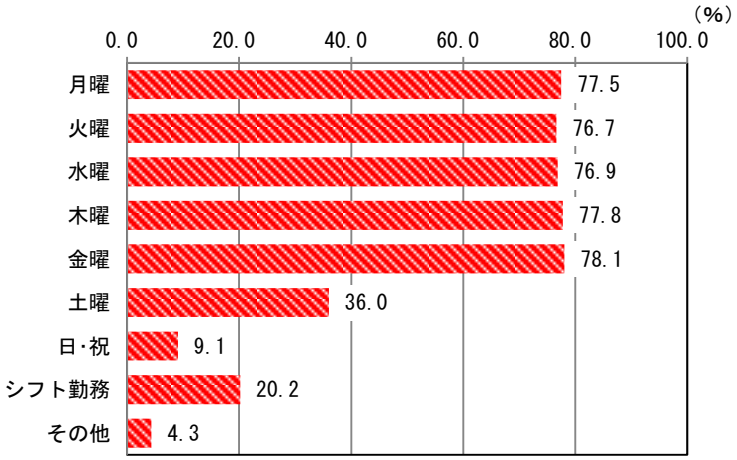


（クロス集計表）問 3-1　父親の就労形態＜SA＞

	N	正規職員	契約職員	パート・アルバイト職員	自営業	その他	非就労	不明
全体	8,390	74.2	1.8	0.8	6.6	0.2	0.2	16.2
児童クラブ（全体）	7,896	74.2	1.9	0.7	6.3	0.2	0.2	16.4
〃　（低学年）	6,434	75.1	1.9	0.8	6.4	0.2	0.2	15.3
〃　（高学年）	1,425	71.1	1.5	0.4	6.0	0.4	0.3	20.3
民間児童育成会（全体）	494	73.3	1.2	1.2	11.7	－	－	12.6
〃　（低学年）	288	76.7	1.7	0.7	11.5	－	－	9.4
〃　（高学年）	206	68.4	0.5	1.9	12.1	－	－	17.0

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

問 3-2　父親の就労曜日等＜SA＞
（N=6,894）※不明除く



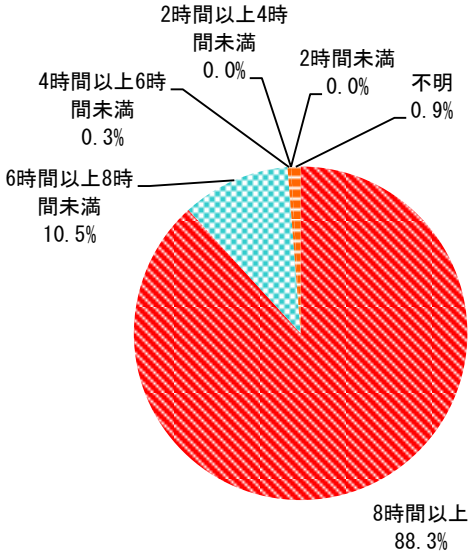
その他
○土・日・祝も出勤の可能性あり(88)
○土曜日隔週等の勤務あり(24)
○不定期・不定休(18)
○祝日勤務(15)
○当直あり(11)
○日曜日のみ休み(8)
○4 週 8 休(8)
○夜勤あり(5)
○休日出勤あり(5)　など

（クロス集計表）問 3-2　父親の就労曜日等＜SA＞

	N	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日・祝	シフト勤務	その他
全体	6,894	77.5	76.7	76.9	77.8	78.1	36.0	9.1	20.2	4.3
児童クラブ（全体）	6,471	77.2	76.3	76.5	77.4	77.7	36.0	9.2	20.5	4.2
〃　（低学年）	5,352	76.9	75.8	76.1	76.9	77.3	35.7	9.2	20.9	4.2
〃　（高学年）	1,104	78.8	78.4	78.5	79.3	79.3	37.5	9.0	18.9	4.3
民間児童育成会（全体）	423	82.0	82.7	82.3	83.9	83.7	36.4	7.1	14.9	6.4
〃　（低学年）	256	78.9	80.5	80.1	82.0	81.2	34.0	7.0	17.6	4.7
〃　（高学年）	167	86.8	86.2	85.6	86.8	87.4	40.1	7.2	10.8	9.0

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

問 3-3　父親の１日当たりの就労曜時間＜SA＞
（N=7,015）



（クロス集計表）問 3-3　父親の１日当たりの就労曜時間＜SA＞

	N	8時間以上	6時間以上8時間未満	4時間以上6時間未満	2時間以上4時間未満	2時間未満	不明
全体	7,015	88.3	10.5	0.3	0.0	－	0.9
児童クラブ（全体）	6,583	88.2	10.5	0.3	0.0	－	0.9
〃　（低学年）	5,435	88.5	10.2	0.3	－	－	1.0
〃　（高学年）	1,132	87.1	11.9	0.1	0.1	－	0.8
民間児童育成会（全体）	432	88.9	9.7	0.9	－	－	0.5
〃　（低学年）	261	88.5	10.0	0.8	－	－	0.8
〃　（高学年）	171	89.5	9.4	1.2	－	－	－

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

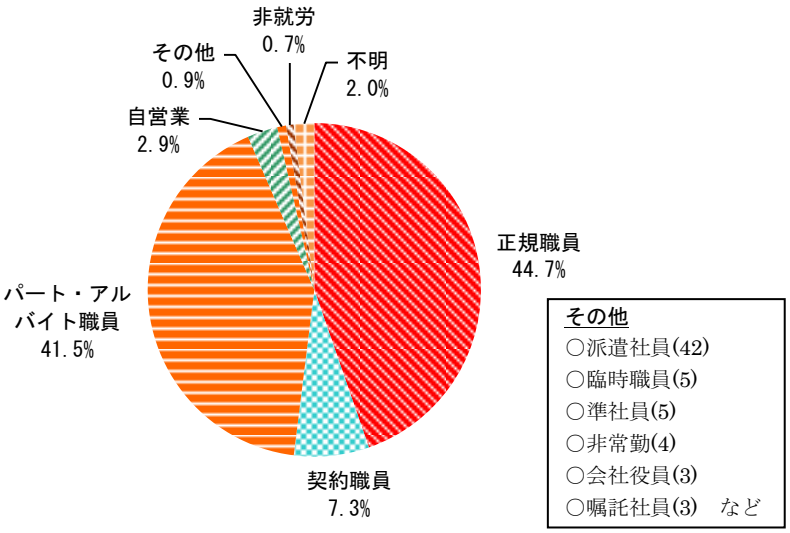
＜母親の就労状況＞

○「問 4-1　母親の就労形態」では「正規職員」(44.7%)「パート・アルバイト職員」(41.5%)が特に多く挙げられた。

○「問 4-2　母親の就労曜日等」では平日の曜日がいずれも 60%を超えている。「シフト勤務」も 34.0%挙げられている。

○「問 4-3　母親の 1 日当たりの就労曜時間」では「6 時間以上 8 時間未満」(39.3%) が最も多く挙げられた。「8 時間以上」(36.1%)、「4 時間以上 6 時間未満」(21.3%) が次ぐ。

問 4-1　母親の就労形態＜SA＞
(N=8,390)

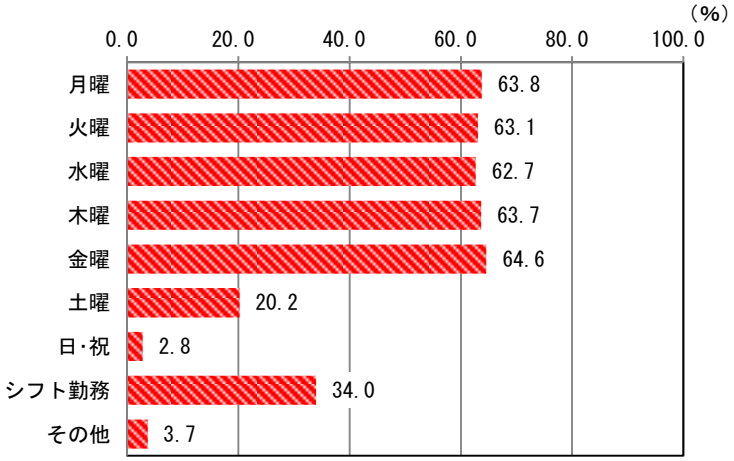


（クロス集計表）問 4-1　母親の就労形態＜SA＞

	N	正規職員	契約職員	パート・アルバイト職員	自営業	その他	非就労	不明
全体	8,390	44.7	7.3	41.5	2.9	0.9	0.7	2.0
児童クラブ（全体）	7,896	43.2	7.4	43.1	2.8	0.9	0.7	1.9
〃　（低学年）	6,434	42.6	7.1	44.2	2.7	1.0	0.7	1.6
〃　（高学年）	1,425	46.2	8.5	38.2	3.2	0.5	0.8	2.7
民間児童育成会（全体）	494	68.4	5.9	16.2	5.7	0.6	0.6	2.6
〃　（低学年）	288	68.4	5.6	16.7	5.9	0.7	－	2.8
〃　（高学年）	206	68.4	6.3	15.5	5.3	0.5	1.5	2.4

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

問 4-2　母親の就労曜日等＜SA＞
（N=8,092）※不明除く



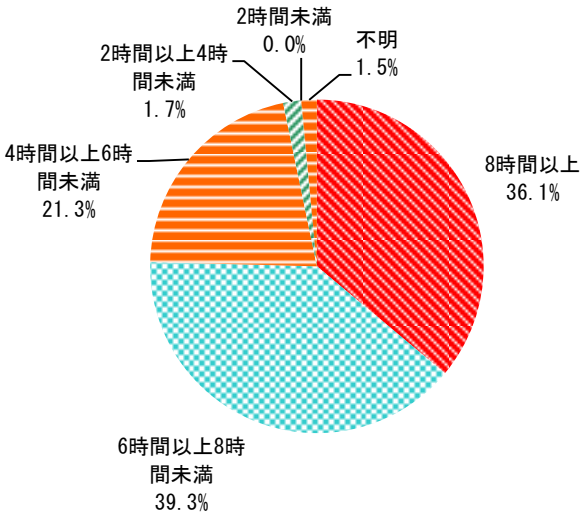
その他
○土・日・祝も出勤の可能性あり(68)
○土曜日隔週等の勤務あり(44)
○週 4 日(11)
○不定期・不定休(10)
○週 3 日(8)
○週休 2 日、不定休(6)
○4 週 8 休(6)
○4 週 6 休(6)
○週 3～4 日(6)　など

（クロス集計表）問 4-2　母親の就労曜日等＜SA＞

	N	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日・祝	シフト勤務	その他
全体	8,092	63.8	63.1	62.7	63.7	64.6	20.2	2.8	34.0	3.7
児童クラブ（全体）	7,619	63.3	62.5	62.2	63.1	64.1	20.0	2.7	34.5	3.6
〃　（低学年）	6,230	62.9	62.1	61.5	62.8	63.6	19.8	2.5	35.0	3.6
〃　（高学年）	1,363	65.4	64.5	65.0	64.8	66.0	20.7	3.7	32.5	3.4
民間児童育成会（全体）	473	71.2	72.3	71.5	72.1	73.2	23.9	4.4	25.6	5.5
〃　（低学年）	277	73.6	74.7	73.3	74.7	75.5	22.7	4.0	23.8	4.3
〃　（高学年）	196	67.9	68.9	68.9	68.4	69.9	25.5	5.1	28.1	7.1

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

問 4-3　母親の１日当たりの就労曜時間＜SA＞
（N=8,162）



（クロス集計表）問 4-3　母親の１日当たりの就労曜時間＜SA＞（N=8,162）

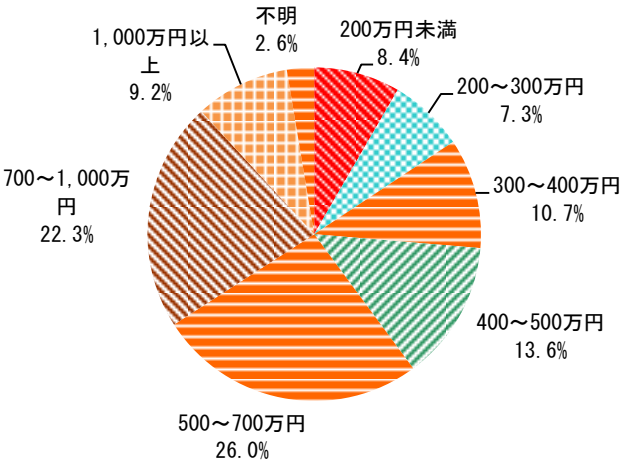
	N	8時間以上	6時間以上8時間未満	4時間以上6時間未満	2時間以上4時間未満	2時間未満	不明
全体	8,162	36.1	39.3	21.3	1.7	0.0	1.5
児童クラブ（全体）	7,684	34.5	39.8	22.3	1.8	0.0	1.5
〃　（低学年）	6,282	33.6	39.5	23.6	1.8	0.0	1.5
〃　（高学年）	1,376	38.9	41.4	16.4	1.9	－	1.5
民間児童育成会（全体）	478	60.9	31.4	6.7	0.6	－	0.4
〃　（低学年）	280	57.1	33.9	7.5	0.7	－	0.7
〃　（高学年）	198	66.2	27.8	5.6	0.5	－	－

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

＜世帯年収＞

○「問４　世帯年収」は、「500～700 万円」（26.0%）が最も多く、「700～1,000 万円」（22.3%）、「400～500 万円」（13.6%）が次ぐ結果となった。

問４　世帯年収＜SA＞
（N=8,390）



（クロス集計表）問４　世帯年収＜SA＞

	N	200万円未満	200～300万円	300～400万円	400～500万円	500～700万円	700～1,000万円	1,000万円以上	不明
全体	8,390	8.4	7.3	10.7	13.6	26.0	22.3	9.2	2.6
児童クラブ（全体）	7,896	8.7	7.5	11.0	13.9	26.3	21.8	8.2	2.7
〃　（低学年）	6,434	8.4	7.1	11.1	14.1	27.2	22.0	7.6	2.5
〃　（高学年）	1,425	9.8	8.9	10.2	12.8	22.9	21.2	11.2	2.9
民間児童育成会（全体）	494	3.0	4.9	6.1	8.5	20.9	30.2	24.5	2.0
〃　（低学年）	288	2.4	3.5	4.5	9.0	24.3	29.9	24.3	2.1
〃　（高学年）	206	3.9	6.8	8.3	7.8	16.0	30.6	24.8	1.9

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

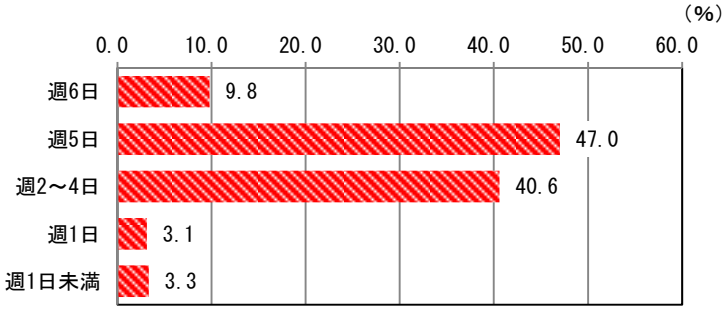
C. 子どもの放課後の状況

＜児童クラブの利用日数＞

○「問６　児童クラブの利用日数」では、「週５日」（47.0%）が最も多く挙げられた。「週２～４日」（40.6%）が次ぐ。「週６日」（9.8%）も約１割であった。

○クロス週結果を見ると「児童クラブ（高学年）」では「週 2～4 日」（50.2%）が最も多くなっている。

問６　児童クラブの利用日数＜MA＞
（N=8,316）※不明除く



（クロス集計表）問６　児童クラブの利用日数＜MA＞

	N	週6日	週5日	週2～4日	週1日	週1日未満
全体	8,317	9.8	47.0	40.6	3.1	3.3
児童クラブ（全体）	7,824	9.3	46.2	41.5	3.3	3.5
〃　（低学年）	6,387	9.5	48.0	39.7	2.6	3.0
〃　（高学年）	1,413	8.0	37.7	50.2	6.5	6.0
民間児童育成会（全体）	493	18.1	59.6	25.8	0.6	0.6
〃　（低学年）	287	16.7	65.2	18.8	0.3	0.3
〃　（高学年）	206	19.9	51.9	35.4	1.0	1.0

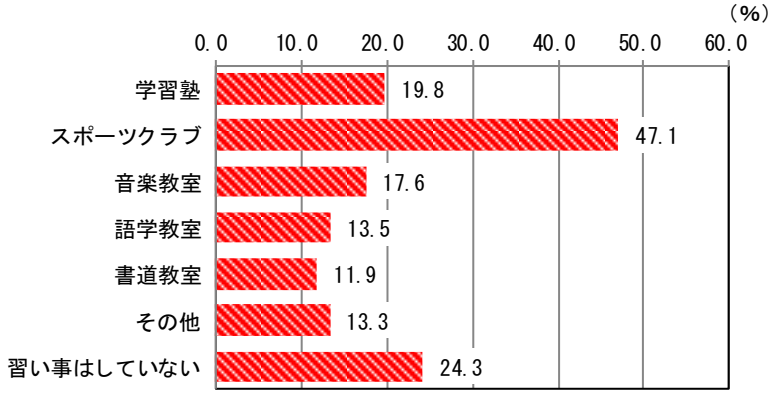
※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

＜習い事全般＞

○「問７　放課後の児童の習い事」として「スポーツクラブ」（47.1%）が最も多く挙げられており、約５割が利用している。他の習い事はいずれも２割以下であった。

○「習い事はしていない」も 24.3%存在する。

問７　放課後の児童の習い事＜MA＞
（N=8,224）※不明除く



その他
○そろばん(498)
○ダンス・ヒップホップ(139)
○バレエ(76)
○放課後ディサービス(74)
○絵画・造形・美術教室（52)
○ロボット・プログラミング教室(35)
○チアダンス・チアリーディング(28)　など

（クロス集計表）問７　放課後の児童の習い事＜MA＞

	N	学習塾	スポーツクラブ	音楽教室	語学教室	書道教室	その他	習い事はしていない
全体	8,224	19.8	47.1	17.6	13.5	11.9	13.3	24.3
児童クラブ（全体）	7,734	19.1	46.6	17.1	13.2	11.6	13.2	24.8
〃　（低学年）	6,303	16.7	46.6	16.5	13.1	10.7	12.4	25.8
〃　（高学年）	1,405	30.0	46.5	20.1	13.2	15.5	16.9	20.3
民間児童育成会（全体）	490	31.6	54.1	24.5	18.6	16.5	15.5	15.7
〃　（低学年）	285	27.0	52.6	24.9	20.0	17.2	12.6	16.1
〃　（高学年）	205	38.0	56.1	23.9	16.6	15.6	19.5	15.1

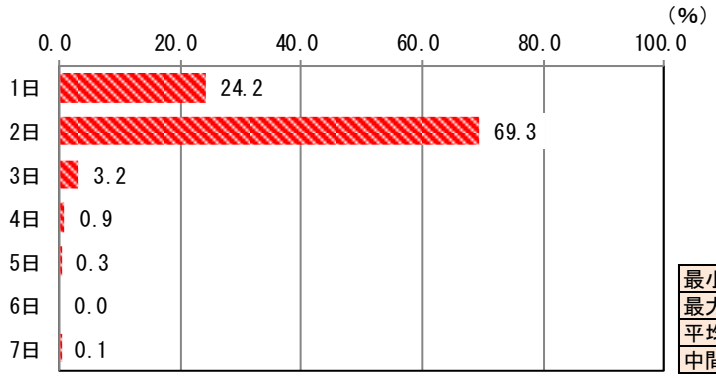
※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

＜習い事～学習塾＞

○「問 7-1-1　学習塾・週の利用頻度」では「2 日」（69.3%）が最も多く挙げられた。

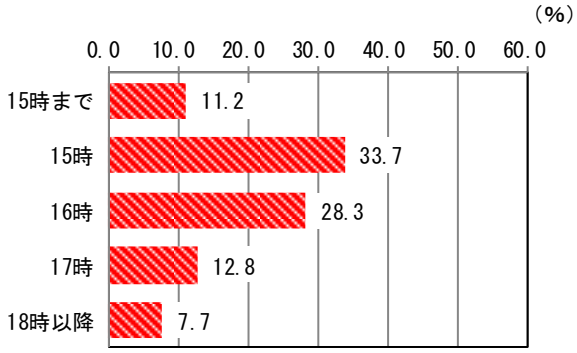
○「問 7-1-2　学習塾・利用開始時間」としては「15 時」（33.7%）が最も多く、「問 7-1-3　学習塾・利用終了時間」は「18 時以降」（30.4%）、「16 時」（28.1%）、「17 時」（26.9%）が僅差で続く。

問 7-1-1　学習塾・週の利用頻度＜IN＞
（N=1,840）※不明除く



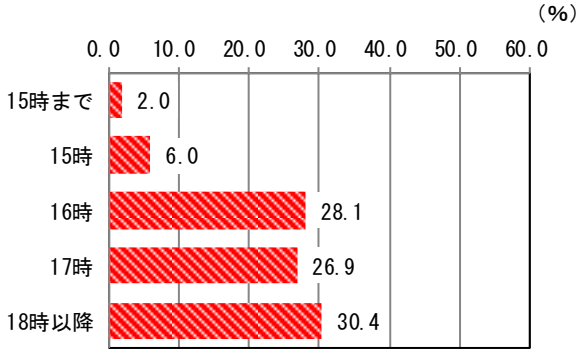
最小値	1
最大値	7
平均値	1.8
中間値	2.0

問 7-1-2　学習塾・利用開始時間＜IN＞
（N=1,814）※不明除く



最小値	9時
最大値	20時
平均値	15.6時
中間値	16時

問 7-1-3　学習塾・利用終了時間＜IN＞
（N=1,812）※不明除く



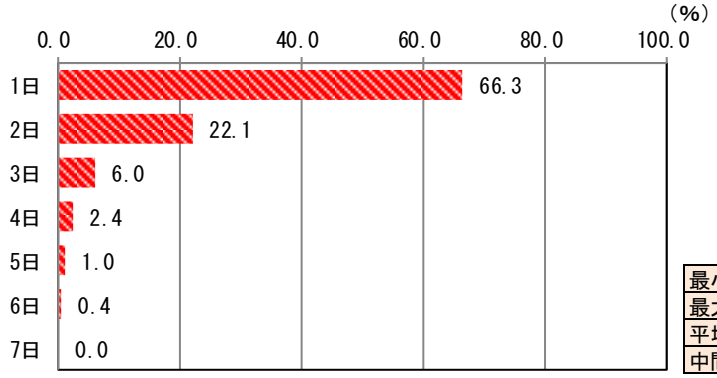
最小値	10時
最大値	22時
平均値	17.0時
中間値	17時

＜習い事～スポーツクラブ＞

○「問 7-2-1　スポーツクラブ・週の利用頻度」では「1 日」（66.3%）が最も多く挙げられた。

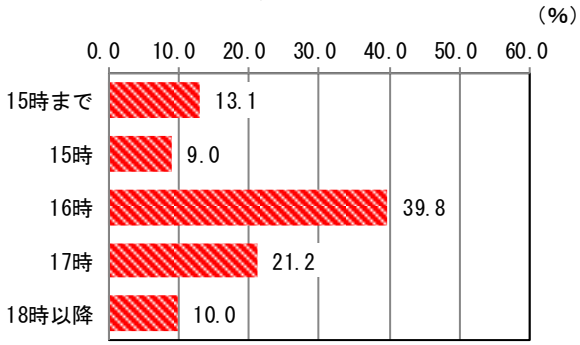
○「問 7-2-2　スポーツクラブ・利用開始時間」としては「16 時」（39.8%）が最も多く、「問 7-2-3　スポーツクラブ・利用終了時間」は「18 時以降」（44.2%）が多くなっている。「17 時」（29.5%）が次ぐ。

問 7-2-1　スポーツクラブ・週の利用頻度＜IN＞
（N=4,118）※不明除く



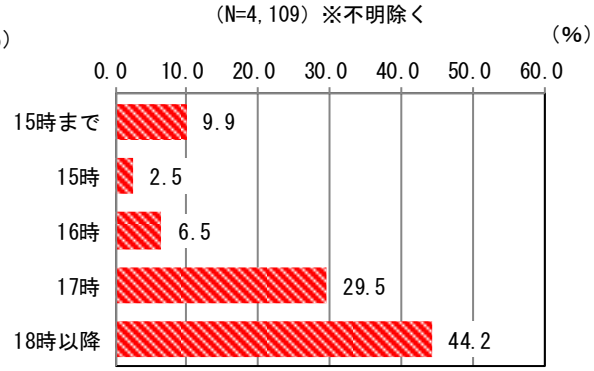
最小値	1
最大値	6
平均値	1.5
中間値	1.0

問 7-2-2　スポーツクラブ・利用開始時間＜IN＞
（N=4,110）※不明除く



最小値	9時
最大値	21時
平均値	15.7時
中間値	16時

問 7-2-3　スポーツクラブ・利用終了時間＜IN＞
（N=4,109）※不明除く



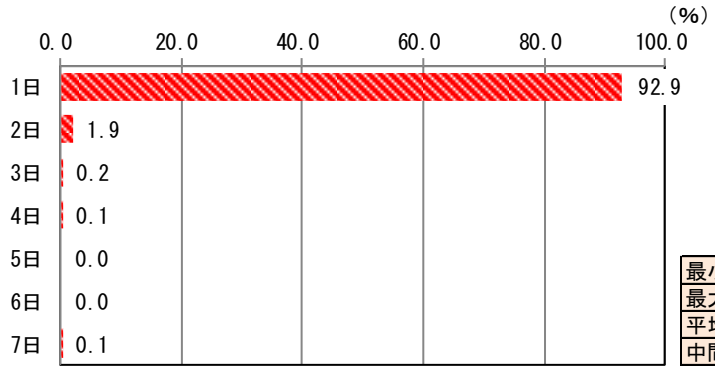
最小値	10時
最大値	22時
平均値	17.0時
中間値	17時

＜習い事～音楽教室＞

○「問 7-3-1　音楽教室・週の利用頻度」では「1 日」（92.9%）が 9 割以上挙げられている。

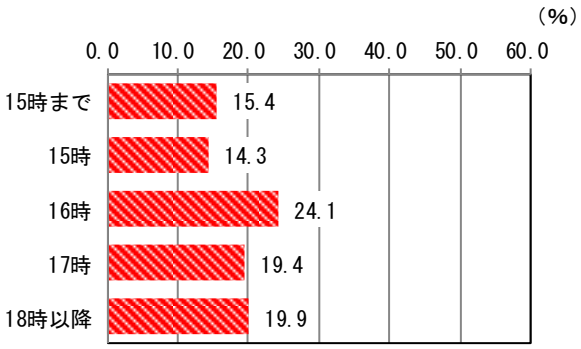
○「問 7-3-2　音楽教室・利用開始時間」では「16 時」（24.1%）が最も多い。「問 7-3-3　音楽教室・利用終了時間」は「18 時以降」が 39.1%であった。「17 時まで」（24.2%）が次ぐ。

問 7-3-1　音楽教室・週の利用頻度＜IN＞
（N=1,628）※不明除く



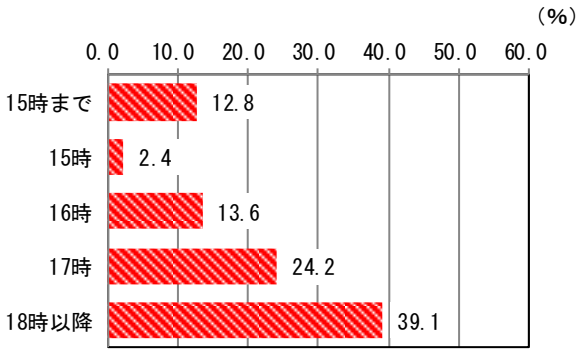
最小値	1
最大値	4
平均値	1.0
中間値	1.0

問 7-3-2　音楽教室・利用開始時間＜IN＞
（N=1,600）※不明除く



最小値	9時
最大値	20時
平均値	15.8時
中間値	16時

問 7-3-3　音楽教室・利用終了時間＜IN＞
（N=1,600）※不明除く



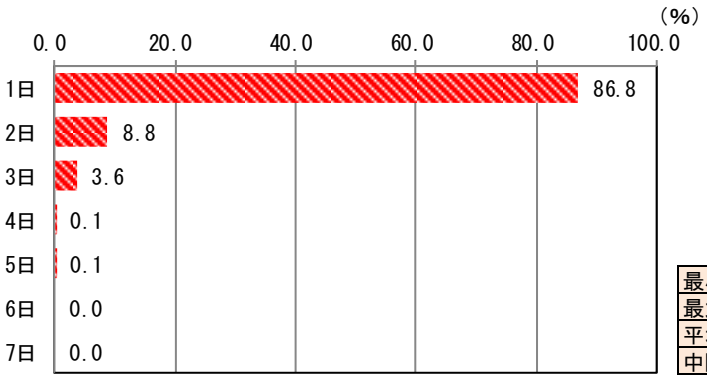
最小値	10時
最大値	22時
平均値	16.8時
中間値	17時

＜習い事～語学教室＞

○「問 7-4-1　語学教室・週の利用頻度」では「1 日」（86.8%）が約 9 割挙げられている。

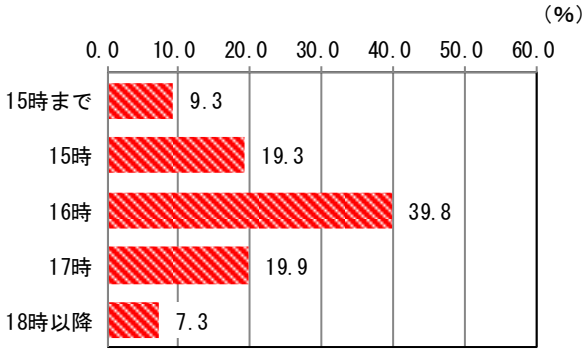
○「問 7-4-2　語学教室・利用開始時間」では「16 時」（39.8%）が最も多く挙げられた。「問 7-4-3　語学教室・利用終了時間」は「17 時」（36.0%）、「18 時以降」（35.2%）、がほぼ同じ値となっている。

問 7-4-1　語学教室・週の利用頻度＜IN＞
（N=1,239）※不明除く



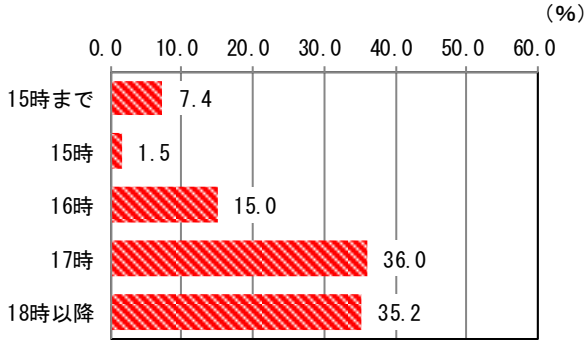
最小値	1
最大値	5
平均値	1.2
中間値	1.0

問 7-4-2　語学教室・利用開始時間＜IN＞
（N=1,239）※不明除く



最小値	9時
最大値	20時
平均値	15.7時
中間値	16時

問 7-4-3　語学教室・利用終了時間＜IN＞
（N=1,237）※不明除く



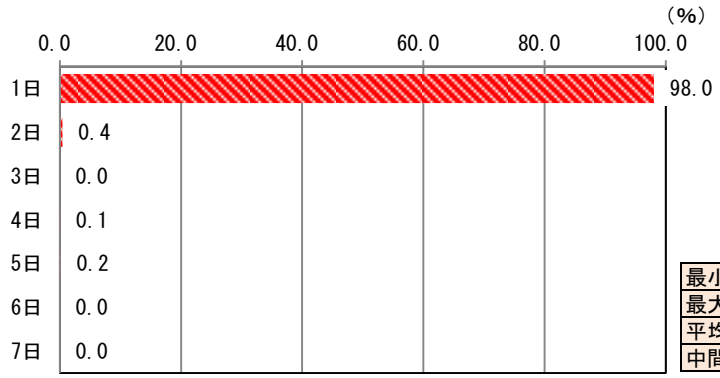
最小値	10時
最大値	21時
平均値	16.9時
中間値	17時

＜習い事～書道教室＞

○「問 7-5-1　書道教室・週の利用頻度」では「1 日」（98.0%）がほぼ 100%となっている。

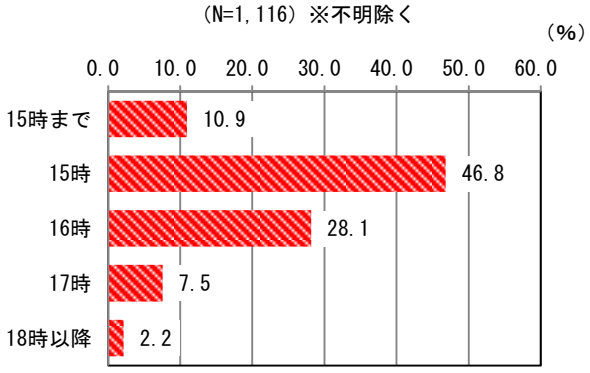
○「問 7-5-2　書道教室・利用開始時間」では「15 時」（46.8%）が最も多く挙げられた。「問 7-5-3　書道教室・利用終了時間」は「17 時」（39.3%）が最も多い。以下「16 時」（27.9%）、「18 時以降」（23.0%）と続く。

問 7-5-1　書道教室・週の利用頻度＜IN＞
（N=1,116）※不明除く



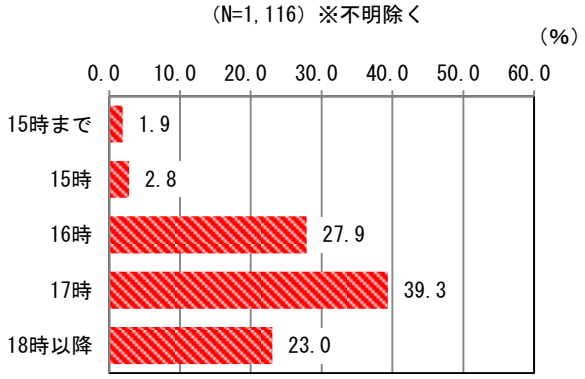
最小値	1
最大値	5
平均値	1.0
中間値	1.0

問 7-5-2　書道教室・利用開始時間＜IN＞
（N=1,116）※不明除く



最小値	9時
最大値	19時
平均値	15.3時
中間値	15時

問 7-5-3　書道教室・利用終了時間＜IN＞
（N=1,116）※不明除く



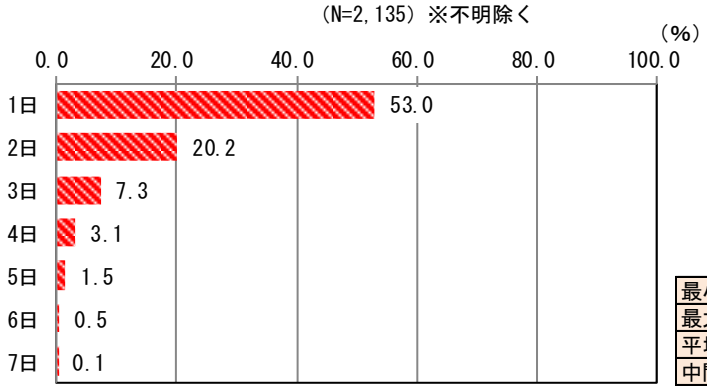
最小値	10時
最大値	21時
平均値	16.9時
中間値	17時

＜習い事～その他＞

○「問 7-6-1　その他・週の利用頻度」では「1 日」（53.0%）が最も多く挙げられた。

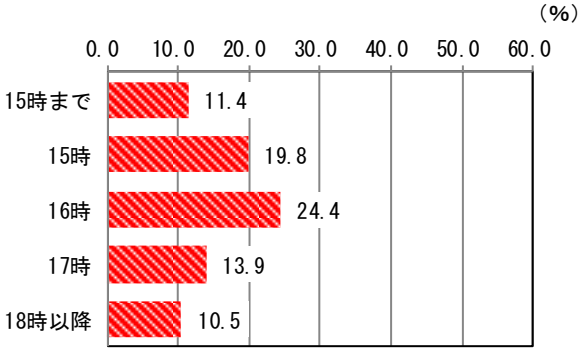
○「問 7-6-2　その他・利用開始時間」では「16 時」（24.4%）が最も多く挙げられ、「15 時」（19.8%）が次ぐ。「問 7-6-3　その他・利用終了時間」では「18 時以降」（34.2%）が最も多くなっている。

問 7-6-1　その他・週の利用頻度＜IN＞
（N=2,135）※不明除く



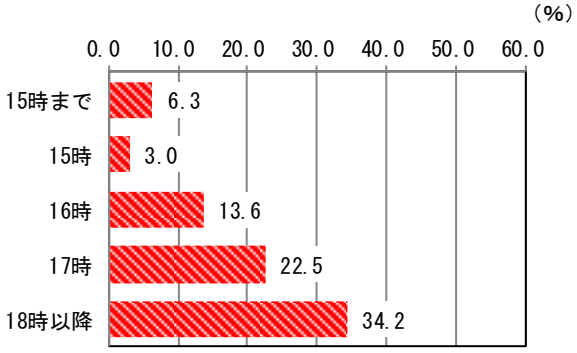
最小値	1
最大値	7
平均値	1.6
中間値	1.0

問 7-6-2　その他・利用開始時間＜IN＞
（N=1,972）※不明除く



最小値	7時
最大値	20時
平均値	15.6時
中間値	16時

問 7-6-3　その他・利用終了時間＜IN＞
（N=1,972）※不明除く



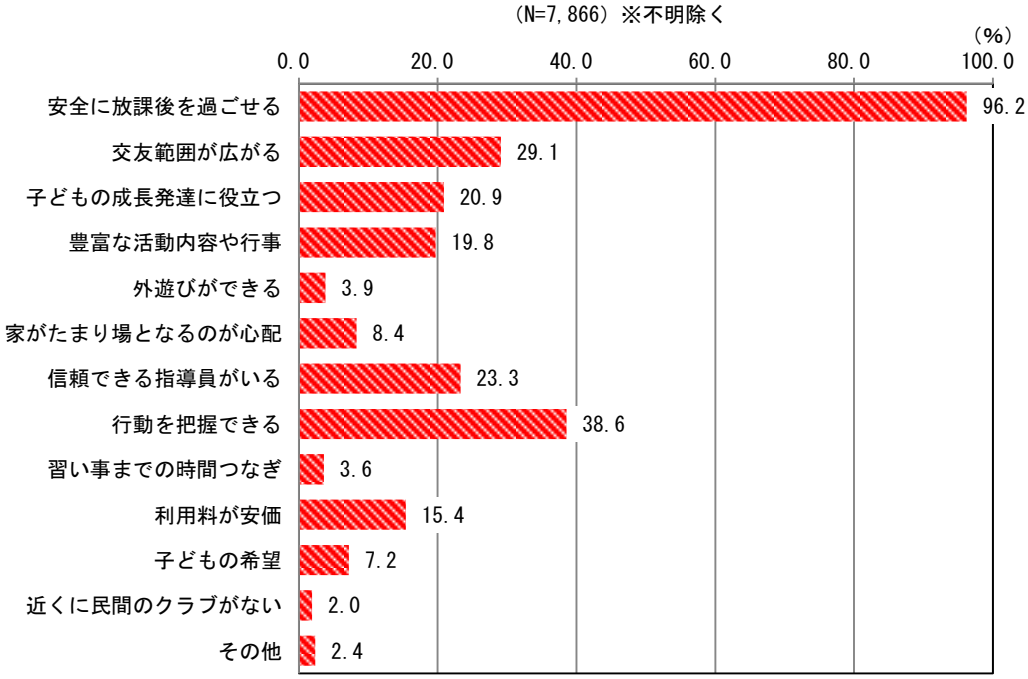
最小値	10時
最大値	22時
平均値	17.1時
中間値	17時

D．児童クラブを利用している理由・満足度

○児童会館等利用者が「問８　児童クラブを利用している理由」として「安全に放課後を過ごせる」（96.2%）をほぼすべての回答者が挙げた。

○以下、「行動を把握できる」（38.6%）、「交友範囲が広がる」（29.1%）が次ぐ。

【児童会館等利用者】問８　児童クラブを利用している理由＜MA＞
（N=7,866）※不明除く



その他
- ○子どもだけで留守番させるのが心配・留守番できないため(57)
- ○親が働いているため(35)
- ○親が働いているため(35)
- ○両親とも働いているため(22)
- ○ほかに預ける場所がないため(11)
- ○学校内にある・近いため(9)
- ○友達等がいるため・友達と遊べるため(7)
- ○いろいろな学び・遊びができるため(6)
- ○母子・父子家庭のため(5)　など

（クロス集計表）【児童会館等利用者】問８　児童クラブを利用している理由
＜MA＞※不明除く

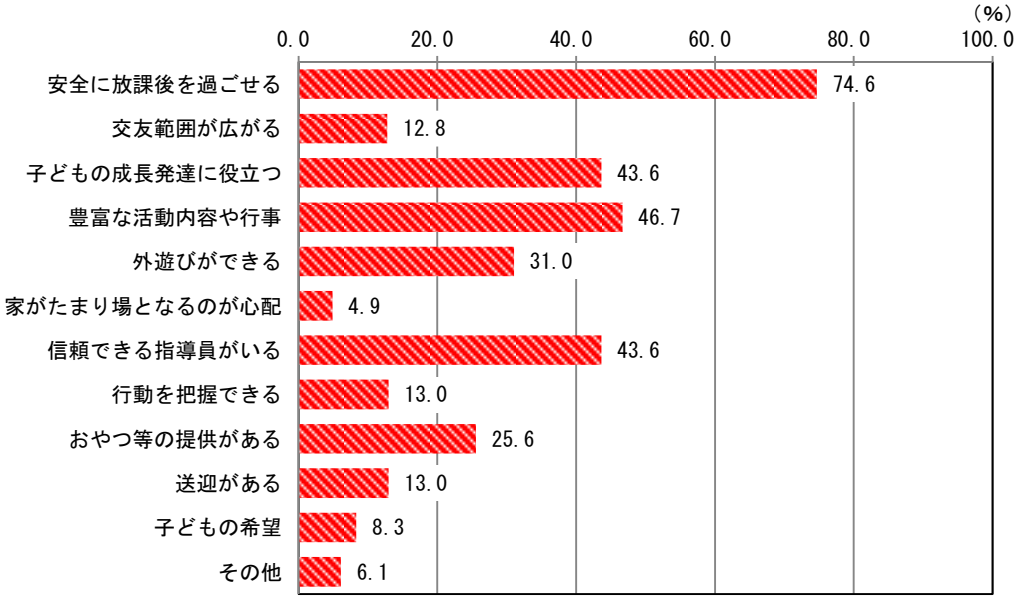
	N	安全に放課後を過ごせる	交友範囲が広がる	子どもの成長発達に役立つ	豊富な活動内容や行事	外遊びができる	家がたまり場となるのが心配	信頼できる指導員がいる	行動を把握できる	習い事までの時間つなぎ	利用料が安価	子どもの希望	近くに民間のクラブがない	その他
児童クラブ（全体）	7,866	96.2	29.1	20.9	19.8	3.9	8.4	23.3	38.6	3.6	15.4	7.2	2.0	2.4
〃　（低学年）	6,422	96.6	30.3	21.1	19.2	4.0	7.3	23.1	38.4	3.2	16.2	6.5	2.1	2.5
〃　（高学年）	1,418	94.5	24.0	20.0	22.1	3.4	13.1	24.4	39.8	5.9	11.6	10.8	1.3	1.9

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○民間児童育成会等利用者が「問８　児童クラブを利用している理由」としても、「安全に放課後を過ごせる」（74.6%）が最も多く挙げられた。

○以下「豊富な活動内容や行事」（46.7%）、「子どもの成長発達に役立つ」「信頼できる指導員がいる」（ともに 43.6%）の順で挙げられている。

【民間児童育成会等利用者】問８　児童クラブを利用している理由＜MA＞
（N=493）※不明除く



その他
○開所時間が長い・融通が効くため(7)
○習い事ができる･習い事の送迎をしてくれるため(4)
○小規模・目が届くため(3)
○朝の保育があるため(2)　など

（クロス集計表）【民間児童育成会等利用者】問８　児童クラブを利用している理由
＜MA＞※不明除く

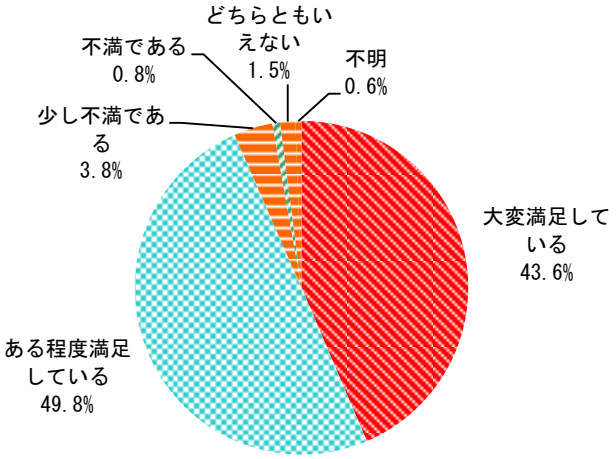
	N	安全に放課後を過ごせる	交友範囲が広がる	子どもの成長発達に役立つ	豊富な活動内容や行事	外遊びができる	家がたまり場となるのが心配	信頼できる指導員がいる	行動を把握できる	おやつ等の提供がある	送迎がある	子どもの希望	その他
民間児童育成会（全体）	493	74.6	12.8	43.6	46.7	31.0	4.9	43.6	13.0	25.6	13.0	8.3	6.1
〃　（低学年）	287	76.7	13.2	41.1	45.3	32.8	2.8	40.4	10.5	25.1	16.4	6.3	6.6
〃　（高学年）	206	71.8	12.1	47.1	48.5	28.6	7.8	48.1	16.5	26.2	8.3	11.2	5.3

※色付きは各行について濃い順に１・２・３番めに高い値であることを示している。

○「大変満足している」(43.6%)、「ある程度満足している」(49.8%) を合計すると、93.4%が「満足している」と回答した。

○民間児童育成会利用者では、全体で「大変満足している」が 51.2%と半数を超えている。

問 9　児童クラブの満足度<MA>
(N=8,390)



（クロス集計表）問 9　児童クラブの満足度<MA>

	N	大変満足している	ある程度満足している	少し不満である	不満である	どちらともいえない	不明
全体	8,390	43.6	49.8	3.8	0.8	1.5	0.6
児童クラブ（全体）	7,896	43.1	50.4	3.7	0.7	1.5	0.6
〃　（低学年）	6,434	42.9	50.9	3.6	0.8	1.5	0.4
〃　（高学年）	1,425	44.5	48.6	4.2	0.6	1.6	0.4
民間児童育成会（全体）	494	51.2	41.1	4.9	1.0	0.8	1.0
〃　（低学年）	288	52.1	40.3	4.9	1.0	0.7	1.0
〃　（高学年）	206	50.0	42.2	4.9	1.0	1.0	1.0

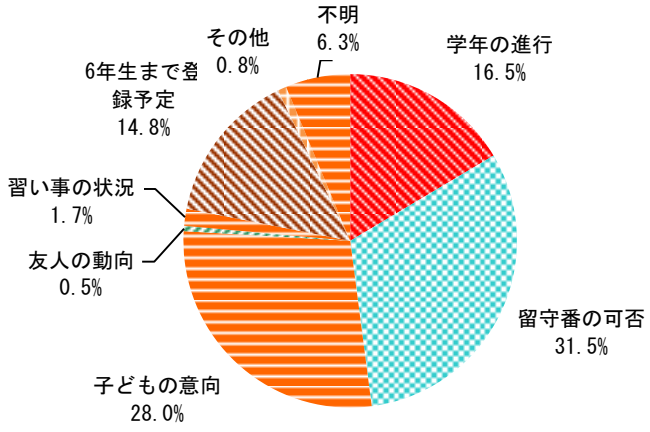
※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

E．児童クラブ退会の判断基準

○「問 10　児童クラブ退会の判断基準」について、全体では「留守番の可否」（31.5%）が最も多く挙げられた。「子どもの意向」（28.0%）が次ぐ。

○クロス集計結果を見ると、民間児童育成会利用者で「6 年生まで登録予定」（51.2%）が最も多く挙げられていることが目立つ。

問 10　児童クラブ退会の判断基準＜MA＞
（N=8,390）



その他
○親の就業・仕事状況(16)
○子どもの成長の状況(12)
○わからない・未定(4)
○卒業(3)
○子どもの安全(3)　など

（クロス集計表）問 10　児童クラブ退会の判断基準＜MA＞

	N	学年の進行	留守番の可否	子どもの意向	友人の動向	習い事の状況	6年生まで登録予定	その他	不明
全体	8,390	16.5	31.5	28.0	0.5	1.7	14.8	0.8	6.3
児童クラブ（全体）	7,896	17.1	33.0	28.1	0.5	1.5	12.5	0.7	6.4
〃　（低学年）	6,434	18.0	35.4	28.3	0.5	1.5	8.9	0.7	6.6
〃　（高学年）	1,425	13.5	22.5	27.3	0.7	1.6	28.6	0.8	5.0
民間児童育成会（全体）	494	5.7	7.1	25.7	0.2	3.8	51.2	2.4	3.8
〃　（低学年）	288	8.0	10.8	27.8	0.3	5.9	42.4	0.7	4.2
〃　（高学年）	206	2.4	1.9	22.8	－	1.0	63.6	4.9	3.4

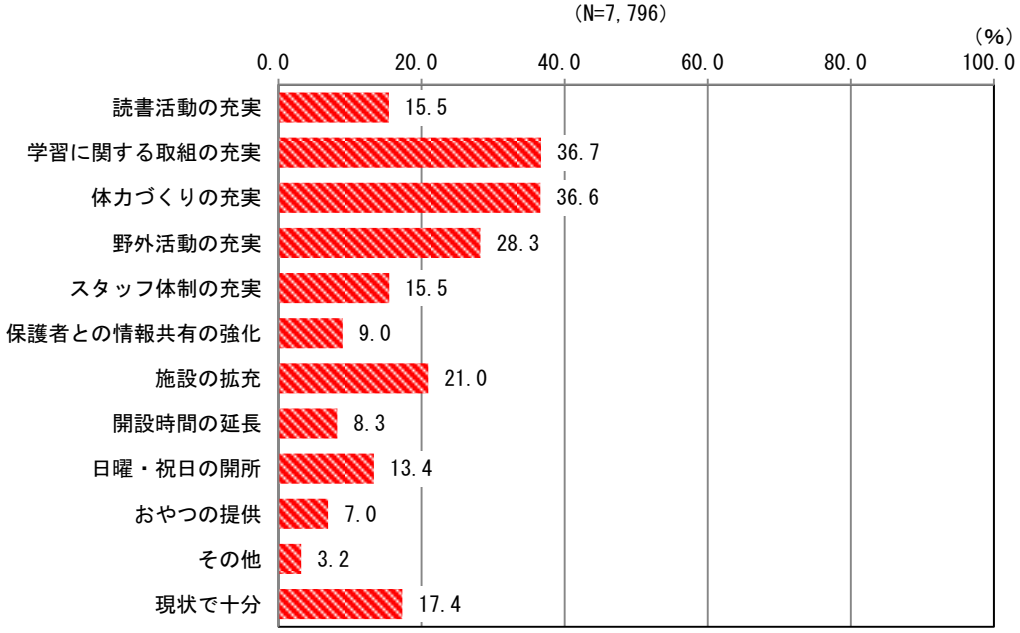
※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

F. 今後、児童クラブに望むこと

○児童会館等利用者が「問 11　今後、児童クラブに望むこと」としては「学習に関する取組の充実」（36.7%）と「体力づくりの充実」（36.6%）がほぼ同率で特に多く挙げられた

○以下「野外活動の充実」（28.3%）、「施設の拡充」（21.0%）が 2 割以上挙げられている。

【児童会館等利用者】問 11　今後、児童クラブに望むこと＜MA＞
（N=7,796）



その他
- ○長期休暇時の昼食提供・斡旋(44)
- ○昼食・弁当の提供(24)
- ○遊び・学びの充実(14)
- ○部屋の拡張(11)
- ○職員の質の向上・教育(9)
- ○開設時間の延長(8)
- ○施設・設備の老朽化・改装(8)
- ○学校近くへの設置・移転(7)
- ○クラブ活動を行ってほしい(7)
- ○駐車スペースの拡張(6)
- ○延長料金の無料化・軽減・制度の改善(5)
- ○行事・イベントの充実(5)　など

（クロス集計表）【児童会館等利用者】問 11　今後、児童クラブに望むこと
＜MA＞※不明除く

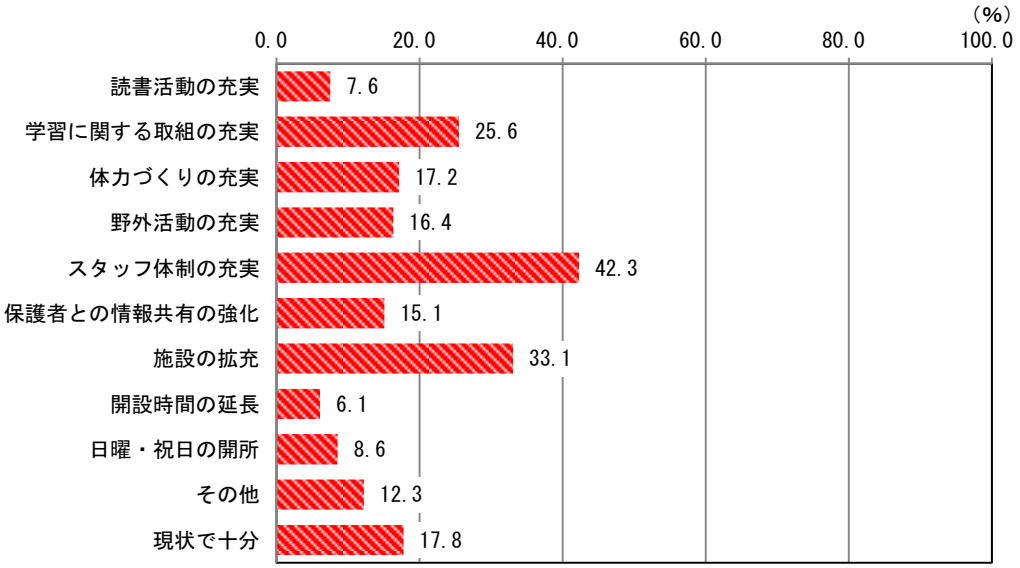
	N	読書活動の充実	学習に関する取組の充実	体力づくりの充実	野外活動の充実	スタッフ体制の充実	保護者との情報共有の強化	施設の拡充	開設時間の延長	日曜・祝日の開所	おやつの提供	その他	現状で十分
児童クラブ（全体）	7,796	15.5	36.7	36.6	28.3	15.5	9.0	21.0	8.3	13.4	7.0	3.2	17.4
〃　（低学年）	6,352	15.4	36.4	37.2	29.5	15.5	9.0	21.5	8.4	13.3	7.2	3.1	16.7
〃　（高学年）	1,407	15.6	38.0	34.0	22.7	15.6	8.9	18.8	7.5	13.6	6.2	3.6	20.2

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

○民間児童育成会等利用者が「問 12　今後、児童クラブに望むこと」としては「スタッフ体制の充実」（42.3%）が最も多く挙げられた

○以下「施設の拡充」（33.1%）、「学習に関する取組の充実」（25.6%）が 2 割以上挙げられている。

【民間児童育成会等利用者】問 12　今後、児童クラブに望むこと＜MA＞
（N=489）



その他
○保護者の運営にかかる負担の軽減(19)
○職員の処遇改善(10)
○会費・運営費等の減額(8)
○財政基盤の強化・補助(5)
○施設・設備の整備・充実(3)　など

【民間児童育成会等利用者】問 12　今後、児童クラブに望むこと＜MA＞
（N=489）※不明除く

	N	読書活動の充実	学習に関する取組の充実	体力づくりの充実	野外活動の充実	スタッフ体制の充実	保護者との情報共有の強化	施設の拡充	開設時間の延長	日曜・祝日の開所	その他	現状で十分
民間児童育成会（全体）	489	7.6	25.6	17.2	16.4	42.3	15.1	33.1	6.1	8.6	12.3	17.8
〃　（低学年）	285	10.2	29.5	17.9	15.4	38.6	13.3	35.1	7.4	10.5	10.9	15.8
〃　（高学年）	204	3.9	20.1	16.2	17.6	47.5	17.6	30.4	4.4	5.9	14.2	20.6

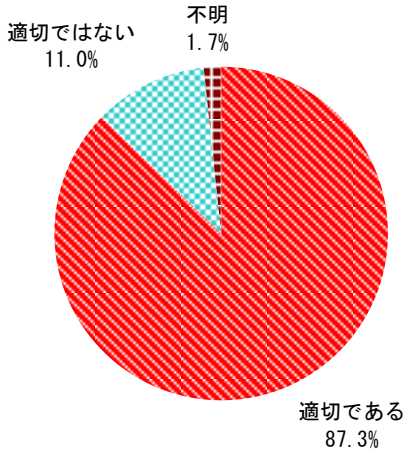
※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

G．児童クラブの開設時間

○「問 12/11-1　児童クラブの開設時間について」はほぼ 9 割が「適切である」（87.3%）と回答している。

○「適切ではない」との回答者による希望開始時間、希望終了時間を見ると特に「問 12/11-2-2 平日の児童クラブの希望終了時間」について「20 時以降、21 時まで」（37.1%）が最も多く挙げられていることが特筆される。

問 12/11-1　児童クラブの開設時間について＜SA＞
（N=8,390）

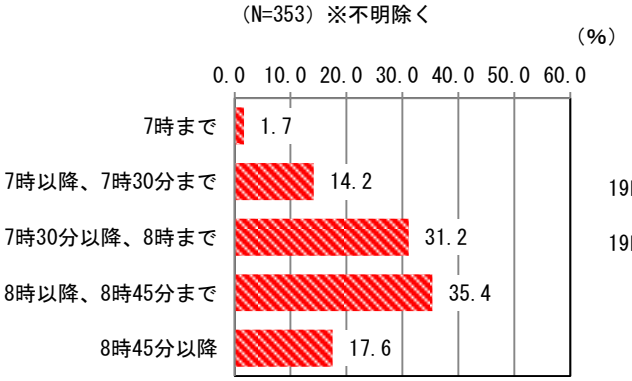


（クロス集計表）問 12/11-1　児童クラブの開設時間について
＜SA＞（N=8,390）

	N	適切である	適切ではない	不明
全体	8,390	87.3	11.0	1.7
児童クラブ（全体）	7,896	87.1	11.3	1.7
〃　（低学年）	6,434	86.8	11.6	1.6
〃　（高学年）	1,425	88.6	9.6	1.8
民間児童育成会（全体）	494	90.7	7.5	1.8
〃　（低学年）	288	88.5	9.0	2.4
〃　（高学年）	206	93.7	5.3	1.0

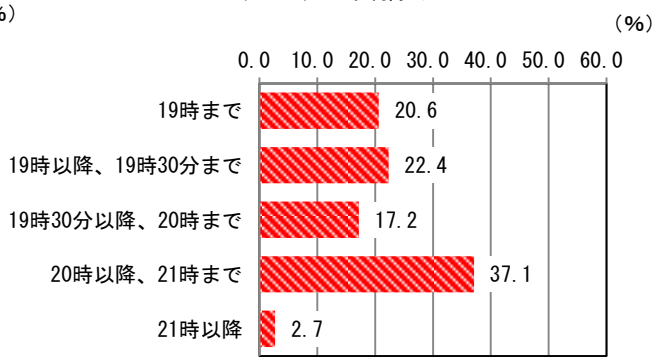
※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

【開設時間について「適切ではない」との回答者限定】
問 12/11-2-1　平日の児童クラブの希望開始時間＜IN＞
（N=353）※不明除く



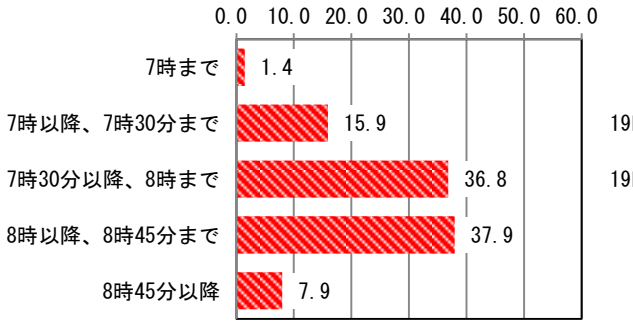
最小値	2時30分
最大値	19時
平均値	8時46分
中間値	8時

【開設時間について「適切ではない」との回答者限定】
問 12/11-2-2　平日の児童クラブの希望終了時間＜IN＞
（N=407）※不明除く



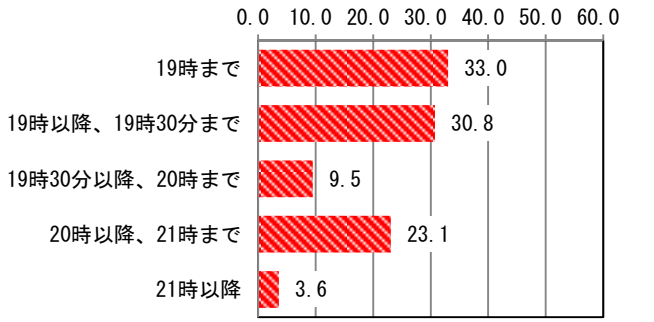
最小値	14時
最大値	21時
平均値	19時16分
中間値	19時30分

【開設時間について「適切ではない」との回答者限定】
問 12/11-3-1　土曜日の児童クラブの希望開始時間＜IN＞
（N=277）※不明除く



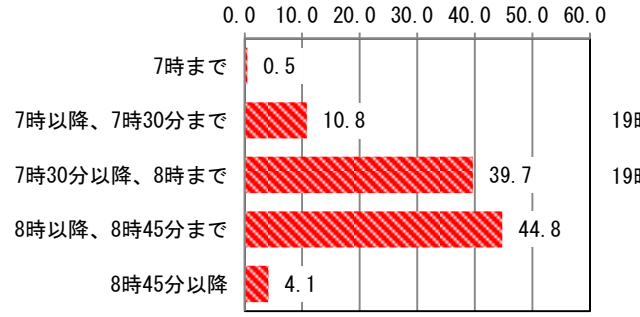
最小値	2時
最大値	16時30分
平均値	7時50分
中間値	7時45分

【開設時間について「適切ではない」との回答者限定】
問 12/11-3-2　土曜日の児童クラブの希望終了時間＜IN＞
（N=221）※不明除く



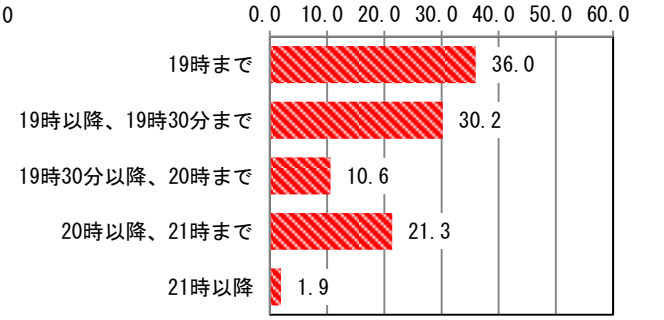
最小値	12時
最大値	21時
平均値	18時49分
中間値	19時

【開設時間について「適切ではない」との回答者限定】
問 12/11-4-1　長期休暇の児童クラブの希望開始時間＜IN＞
（N=627）※不明除く



最小値	1時30分
最大値	10時
平均値	7時49分
中間値	7時50分

【開設時間について「適切ではない」との回答者限定】
問 12/11-4-2　長期休暇の児童クラブの希望終了時間＜IN＞
（N=417）※不明除く



最小値	12時
最大値	21時30分
平均値	18時52分
中間値	19時

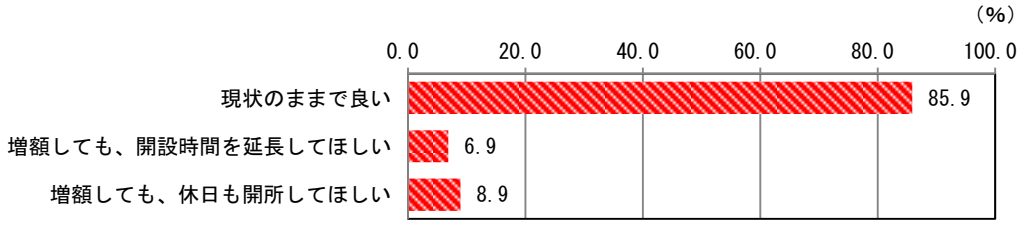
H. 児童クラブの利用意向

＜延長時間【児童会館等利用者限定】＞

○児童会館等利用者に「問 13-1　延長時間利用の意向」を聞いたところ、約 9 割が「現状のままで良い」（85.9%）と回答した。

○「増額しても、開設時間を延長してほしい」「増額しても、休日も開所してほしい」回答者とも、「望ましい増額」として「3,000 円」（36.5%、31.0%）が最も多く挙げられている。中間値も「3,000 円」であった。

【児童会館等利用者】問 13-1　延長時間利用の意向＜MA＞（N=7,686）※不明除く

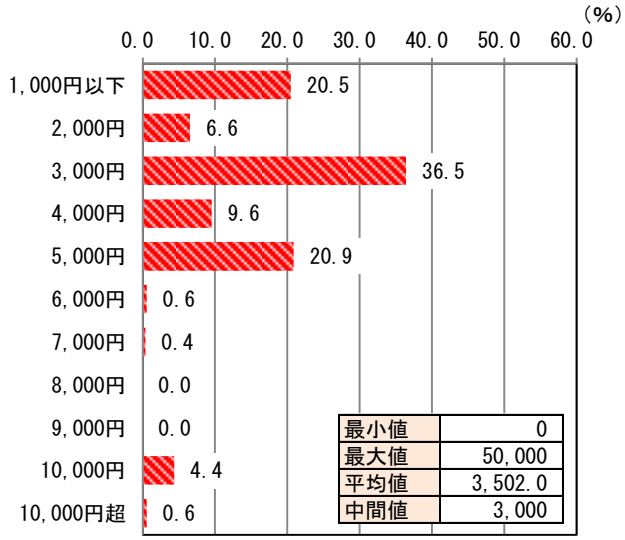


（クロス集計表）【児童会館等利用者】問 13-1　延長時間利用の意向＜MA＞※不明除く

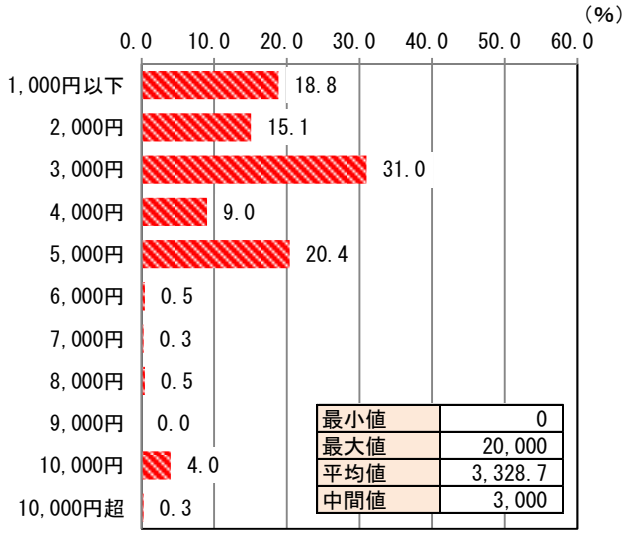
	N	現状のままで良い	増額しても、開設時間を延長してほしい	増額しても、休日も開所してほしい
児童クラブ（全体）	7,686	85.9	6.9	8.9
〃　（低学年）	6,262	85.6	7.2	9.0
〃　（高学年）	1,387	87.2	5.5	8.7

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

【「増額しても、開設時間を延長してほしい」との回答者限定】
問 13-2　開設時間延長時の望ましい増額＜IN＞（N=502）※不明除く



【「増額しても、休日も開所してほしい」回答者限定】
問 13-3　休日開所時の望ましい増額＜IN＞（N=642）※不明除く

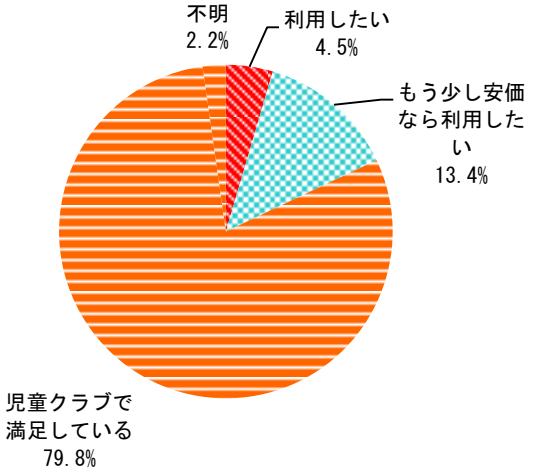


＜民間の放課後児童クラブの利用意向【児童会館等利用者限定】＞

○児童会館等利用者に「問 14-1　民間の児童クラブの利用意向」を聞いたところ、8 割が「児童クラブで満足している」（79.8%）と回答した。

○「もう少し安価なら利用したい」との回答者については「5,000 円」（47.3%）が最も多く、約半数が挙げている。

【児童会館等利用者】問 14-1　民間の児童クラブの利用意向＜SA＞（N=7,896）

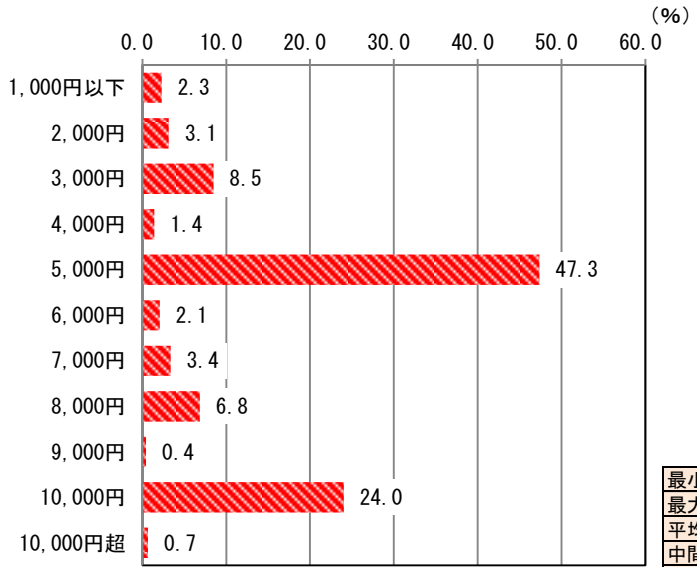


（クロス集計表）【児童会館等利用者】問 14-1　民間の児童クラブの利用意向＜SA＞

	N	利用したい	もう少し安価なら利用したい	児童クラブで満足している	不明
児童クラブ（全体）	7,896	4.5	13.4	79.8	2.2
〃　（低学年）	6,434	4.7	14.2	78.9	2.2
〃　（高学年）	1,425	3.7	10.1	83.6	2.5

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

【「もう少し安価なら利用したい」回答者限定】
問 14-2　民間の児童クラブ利用時の望ましい月額会費＜IN＞※不明除く



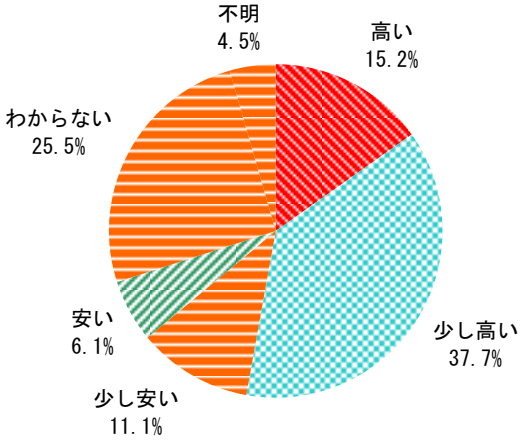
最小値	0
最大値	60,000
平均値	6,235.6
中間値	5,000

＜放課後自動育成会の会費（民間児童育成会等利用者限定）＞

○民間児童育成会等利用者に「問 13-1　児童クラブの会費について」聞くと「高い」と 52.9%が答えた（「高い」（15.2%）、「少し高い」（37.7%）の計）。

○「問 13-2　児童クラブ利用時の望ましい月額会費」としては、「高い」と答えた人の 35.1%が「10,000 円」、24.6%が「5,000 円」と回答している。

【民間児童育成会等利用者】問 13-1　児童クラブの会費について＜SA＞（N=494）

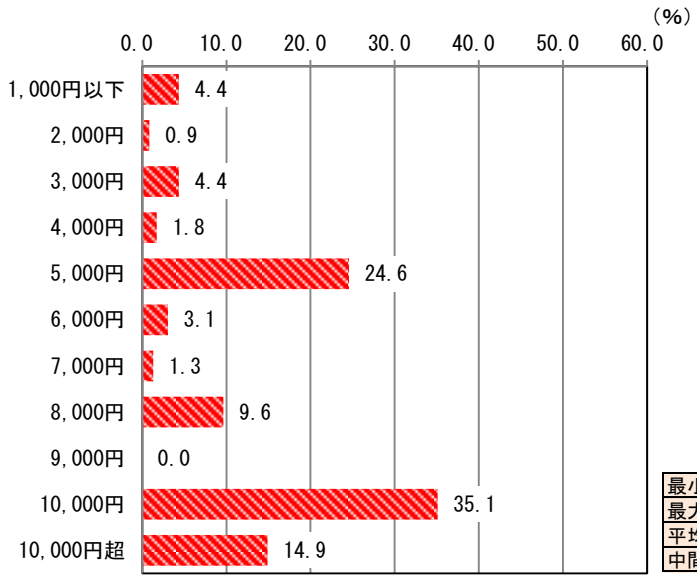


（クロス集計表）【民間児童育成会等利用者】問 13-1　児童クラブの会費について＜SA＞

	N	高い	少し高い	少し安い	安い	わからない	不明
民間児童育成会（全体）	494	15.2	37.7	11.1	6.1	25.5	4.5
〃　（低学年）	288	14.2	42.0	8.7	5.6	25.0	4.5
〃　（高学年）	206	16.5	31.6	14.6	6.8	26.2	4.4

※色付きは各行について濃い順に 1・2・3 番めに高い値であることを示している。

【「高い」「少し高い」回答者限定】
問 13-2　児童クラブ利用時の望ましい月額会費＜IN＞（N=228）※不明除く



最小値	0
最大値	40,000
平均値	8,666.7
中間値	9,000

Ⅰ．児童クラブや児童会館・ミニ児童会館に関するご意見・ご要望（自由記述）

○問 15 の自由意見記入欄には 2,738 名の方が記入された（「特になし」等は除く）。

○特に多かった「意見・要望の種類・分野」は下表の通りである。

意見・要望の種類・分野	該当数
児童クラブ・ミニ児童会館に対する感謝	976
受け入れ時間の延長・土日祝日の開設等	296
施設の拡大	267
指導員の質の向上・柔軟な対応等	208
外遊び・体育館などでの遊びや運動の充実	193
延長・休日利用時の料金の減免	130
学習・クラブ活動等の実施	125
指導員の確保	117
食事・おやつの提供実施・改善（内容・時間等）	112
施設・設備等の改善	101
行事・イベント等の充実	100
高学年に合わせた取組・多学年交流等	83
情報共有・情報発信の強化	76
指導員の待遇改善	68
学校内・学校付近への施設設置・存続等	67
保護者の負担軽減	54
指導員の異動が多い	49
衛生面の改善	41
指導員による教育・指導の強化	35
制度の改善	33

●上位 10 種類・分野の代表的な意見

「児童クラブ・ミニ児童会館に対する感謝」に関して

■保育園から比べると、大人数で放っておかれるんだろうなと想像していましたが、数日で子どもも保護者も覚えてくれ、保育園と同じくらい子ども 1 人 1 人をしっかりみてくださり、報告体制もすばらしく、本当に日々感謝しかないです。子どもも全面的に信頼している様子なので、安心しておまかせできています。

■妹を連れてお迎えに行った際、妹にも優しく接していただき感謝しています。子どもの事をよくみていて、良い所、悪い所を理解して関わってくれているように思っています。

■子ども同士の関わりをいつも見守って下さり、『その時期の、その子の成長』として、いつも前向きにしていただけるお言葉に感謝するとともに、これからの子育ての励みにしています。

■母の勤務時間が長いため長時間利用していますが、子どもも楽しそうに過ごしていて、先生方にも暖かい対応をしていただいて感謝しています。学校から近い所に児童館がある為、安心しています。いつもありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。

■数多い子ども達の事をいつも良く見ていただいてありがたいです。長時間いる児童館は第二のお家のように、いつもくつろいでいる姿を見れて安心しています。いろいろな行事を考えて下さり、頭が下がります。ありがとうございます。

■大きな声を出して走り回れる場所である児童館は大変ありがたいです（体育館を所有してい

ることもありますが・・・)。また、昔遊びなど自宅では体験できないこともできて、よい経験をさせてもらい感謝しています。

■いつもお世話になっております。学習や運動、行事等親が手の届かないところを指導してくださり助かっております。細かなケアや親のわがままにも対処してくださり感謝しております。

■子どもが喜んで通っているので、とても感謝しております。先生方は優しく個性的で、子どものことを考えてくださっていることが伝わってくるので、安心して通わせています。先生の入れ替わりがあるとさみしいので、先生方への待偶も手厚くしていただきたいです。

■放課後に「おかえり」と迎えていただける児童クラブのおかげで、安心して毎日が過ごせています。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

■職員の方もとても良くしてくれて、子どももお友達と楽しく過ごしており感謝です。東京では月額1万円近くかかり、しかも全員受け入れではないため、こちらでの運営にとても助かっています。パートタイムでも受け入れて頂けるのもありがたいです。

「受け入れ時間の延長・土日祝日の開設等」に関して

■開設時間が7：00～20：30だと、冬期に雪道で迎えが少し遅くなった時に助かる。低学年のうちは留守番させられないし、児童館の迎えも間に合わないし、とても困りました。夏期と冬期と分けて時間配分があってもいいかもしれませんね。

■学校内に児童会館があるため、安心して利用することができ、とてもありがたいです。長期休み中の開館時間が8：45～と少し遅いので、もう少し早くから開いていたら嬉しいです。

■仕事がシフト制なため、日・祝日も仕事の時があります。母子家庭で子どもを預ける所がないため、日祝日も開設して頂けるととても助かります（現在は無理を言って仕事を休んでいる状況です)。今年のゴールデンウィークのように長期間の祝日は仕事も長く休めず、子どもの居場所確保が困難なため、祝日開設は切に願います。

■今は父と母の勤務時間が違うため利用頻度が少ないですが、同じ時間帯で働いていたら残業が重なる日もあるため、延長など充実しているとありがたいと思います。

■冬期の一人帰りの時間（16時）が早すぎる。お迎えの場合、冬期はバス等遅れる事が多いので、やむを得ず延長時間になってしまった場合は融通してほしい。

■先日学級閉鎖になり、8:45～しか預かってもらえなかったので仕事を遅刻しなければなりませんでした。8時から預かっていただけると大変助かります。学級閉鎖などは急に決まるので、働く親にとっては大問題だと思います。

■冬休みだけでも、開設時間を早くしてほしい。暖房費の問題もあるので、金額の変動はあっても良いと思う。

「施設の拡大」に関して

■利用人数に比してスペースが小さく、体を動かして遊べる場所・時間が少ない。ミニ児は低学年が多く、児童会館も家が遠い子など遊びやすくはなく、高学年の子が放課後安全に楽しく過ごせる場が少ない。特に冬は天候により公園でも遊べない。働いている親の家では友人と遊べず困っています。

■児童クラブの登録児童に対し、児童会館のスペースが狭いように感じます。登録児童に対する施設スペースの確保、低学年は別の施設で受入れするなどの対応ができるとよいと思います。

■ミニ児では教室の中にぎゅうぎゅう詰めで窮屈だろうなと感じることがあります。ホールや体育館の利用など工夫してくれているとは思いますが、利用人数に見合ったスペースが確保されることを望みます。児童会館のようにもっとのびのび活動できるよう、空き教室や多目的室など使用できないものかなと感じます。

■人数に合わせた施設になると良いですね。ミニ児と同様（料金や場所）のものがもう少し増えると、1ヶ所に集中するのが少し改善すると思います。会館やホール体育館、安全な公園など、子どもが過ごせる場所が増えるといいですね。

■ミニ児を利用していますが、室内の狭さが気になります。児童会館だと2階や体育館もありますが、ミニ児だと少し元気に遊ぶと子ども同士又は、投げたものがぶつかったり喧嘩したりするところをよく見ます。難しいかと思いますが、図書館や図工室、体育館などを利用する活動時間が増えるとどうだろうと考えます。

■人数の割に狭い。地域に遊べる場（特に雨天・冬）がないので、クラブ員ではない子どもや高学年も気軽に行きたいと思える広さ、勉強スペースがほしい。

■児童クラブ人数に対して、会館が狭いので、遊びが限られる。

「指導員の質の向上・柔軟な対応等」に関して

■指導員の質の向上を望みます。指導員の差が激しく、親身になって子どもに寄り添ってくれる方もいれば、暴言を吐く方もおり、入れ替わる度に環境が大きく変わります。

■スタッフの「子どもを預かっている意識」の向上を願う。以前迎えに行ったら子どもの姿がなく、尋ねてもいつだれと帰ったのか誰も把握しておらずスタッフ間で責任のなすりつけ合いがあった。結局子どもはスタッフに告げて返事をもらい、祖母と帰宅しており無事だったが、プロ意識は感じられず。館長からも謝罪や説明はありませんでした。

■職員同士が言い合いをしてるところを見かけました。色々と事情はあると思いますが、子ども達のいる場所でのケンカみたいなのは控えて欲しいなと思いました。

■男性のスタッフが増えてくれたらいいなと思います。いけない事をした時、パートさんであろうと職員に言ってもらわなくきちんと叱って欲しいです。もっと充実するなら有料にしても良いと思います。

■しっかりと細かに親と連携を取ってくれていますのでお任せできます。でも反面それがほんの少しの違いがあると必ず親に判断を求められます。もちろんそれは当然な流れでしょうが、融通の利く範囲内であれば、お願いしたいところです。

■ルールを守らない子にペナルティーを課すのは悪いこととは思わないが、1週間も体育館を使用禁止にするのは少し厳しいのではと思います。

■時代にあった対応をしてほしい。これまでの決まりごとでは、今の子ども達には不向きな決まりごとが多いように思います。

「外遊び・体育館などでの遊びや運動の充実」に関して

■天候の良い日は、屋外遊び・活動、物作り活動、長期休業中は課外活動といった、体を動かす活動がもう少し多ければと感じる。スタッフの負担が増える分、増員・予算加算はできないのか。

■2 年生になってから、キャッチボールやサッカーなど、ボールを使う遊びをやりたがることが増えてきましたが、家の近くの公園は安全のためにボール禁止で、思い切り遊ぶことができません。その分、児童クラブでスタッフの方たちと一緒にボール遊びができる時間が増えると嬉しいです。

■もっと体を動かすような活動を増やしてほしい。館長さんが変わってから、夏休み中もずっと暑いなか室内で映画鑑賞だけで、長期の休みでも友達と会える場としてもう少し遊びの幅を増やしてもらいたいと思った。熱中症対策として水をたくさん持たせてほしいとか言ってたけど、暑い日にずっと部屋にばかりいるのはどうかと思う。

■室内活動が主なので、戸外活動や体育館を利用する機会を増やしてほしい。夏は 17 時、冬は 16 時 30 分と一人で帰る時間が決まっているが、夏だけでももう少し遅くしてほしい。

■夏休みや冬休みなど長期の休みにグラウンドで遊べるようにして欲しい。入会時の説明では外遊びをするという事でしたが、子どもの話によると一度もなかったようでした。

■外遊びが少ない。遊びに行きたい子どもが何人以上なら外遊びが出来ると決まっていて、なかなか外遊びに行けないようです。インドアの子どもが多いと外遊びができないのが可哀想です。

■体育館で体を動かし、汗を流す事はとても良い事だと思っています。体力作りにもなり、思いきり楽しんでる様子が子どもにとっても親にとっても良いと思っています。これからも体育館や外遊びをたくさん出来るよう、よろしくお願いします。

「延長・休日利用時の料金の減免」に関して

■延長料金を月額ではなく、利用した回数の徴収にしてほしい。例えば 1 回利用で 200 円、最高 2,000 円までしか徴収しない等（保育園ではそういった支払いだったので）。

■先日仕事の引き継ぎの関係で、お迎えが 18 時 04 分になってしまいました。児童会館には少し遅れてしまうかもしれない、とお迎え前に連絡を入れました。しかし「18 時を過ぎたので」と有料時間帯の用紙を渡されました。18 時までとわかっていますが、事前に連絡をしていること、仕事の都合、車で急いでお迎えに行っていることなどを考慮していただくことは不可能なのでしょうか。

■有料時間帯の申請をすると利用がなくても料金がかかるのはおかしいと思います（勤務時間がはっきりしない時があるので一応申請していましたが…）。1 回○円とするなど月額として定めなくてよいと思います。

■児童会館は長期休に入った場合、8 時 45 分に入ると月額料金が発生しますが、通常の会社は 9 時から業務がスタートします。8 時 45 分は遅いので 8 時 30 分前に入ると月額料金が発生する形になるとありがたいです。

■土曜や長期休の開始時間が 8 時 45 分だと遅いと思う。朝の短い時間のために延長料金がか

かっているため、8 時から無料にして欲しい。夜間の延長は仕方がないとは思っています。

「学習・クラブ活動等の実施」に関して

■お金がかかっても良いので（オプションで）館内にいる間に継続的に何か習えるとうれしい（プログラミングや英語教室、オカリナ教室、ダンス等）。人数のわりに面積が狭いです。ただ預かるだけ、という感じが時々虚しい。

■児童数が多いので仕方ないのですが、せめて 1 時間程度宿題や自主学習する時間や場所、環境設定があると良いです。様々な理由で（本人の問題も含めて）ただマンガを読んで過ごしているのがもったいないと思います。せめて普通の読書の本が置いてあって、それを読めるといいのですが。

■とても楽しく毎日行っているので安心しています。理想を言うならば、塾や英会話とか、スポーツクラブなどと児童館がコラボし、放課後の過ごし方が充実できればと思います。平日の習い事の送迎が絶対ムリなので。需要はあると思います。

■区の体育館で行っているような習い事を、児童会館内でも（クラブ時間内に）開催してもらえたら通わせたい。

■手芸や茶道などクラブの種類を増やして欲しいです。

「指導員の確保」に関して

■利用する児童数に対し、指導員の数が足りていない。なり手不足もあると思うが、経費的な要素であれば、月額 2,000 円くらいまでならば延長時間帯の利用料のほかに料金を払ってもかまわないので、指導員数の充実をはかって欲しい。

■スタッフ不足で外遊びができない時が多く、「どうして校庭で遊べないの？」と言う子が不憫です。

■いつもいつも細かい所まで目が届いていてとても助かります。唯一言うのであれば、もう少しスタッフを増やした方が、より充実すると思います。

■女性ばかりではなく男性職員もいないと体を動かす遊びなどがつまらない、と子どもが話す。女性は危険だから一緒に遊んでくれないとのこと。以前は楽しめたらしい（男性が元気よく遊んでくれたそうな）。

■おじいちゃん、おばあちゃんが近くに住んでいないため、年配の方に入っていただけると嬉しいです。

「食事・おやつの提供実施・改善（内容・時間等）」に関して

■長期休業中の昼食等、毎日でなくてもお弁当の購入等、クッキング（子ども達が）等があると日々の負担が少し軽くなり良いかな、と思う事があります。

■長期休暇中の昼食については料金がかかってもあるなら利用したい。夏場に自宅で朝イチに用意した昼食が心配。涼しい所に保管できれば良いが。

■道外ですが、長期休暇中に給食を提供しているところもあるとのこと。共働きが多くなる時代になってきているので、それに対応していくことが市としても大切かと思います。夜間や休日の対応できるところが区に 1 つでもあると良いかと思います。平日の 15 時以降にもお

やつの時間を作っていただけたら助かります。延長時間までおやつがないのはつらいと感じます。

■お金を払ってもいいので、飲み物やちょっとしたおやつなどを 15 時頃に提供していただけると夕食の食べ具合に響かないのでお願いしたい。18 時におやつを取ると夕食の食べる量に影響が出ます。

「施設・設備等の改善」に関して

■施設の老朽化が気になります。トイレや水のみ場など、もう少し広くならないかな…と。利用している子どもの数が増加しているのであればなおさらです。

■夏は北海道とはいえ、暑い日も多くなりました。迎えに行くと、館内はもわっとしており、子ども達は皆汗だくです。熱中症にならないように、もう少し夏の館内の温度・湿度に気を付けて対応して欲しいです。

■現在利用している児童館は古い建物と思われますが、地震があった時、子ども達の安全性に不安があります。物が高いところにまで積み上げられているお部屋もあると思います。

■来館時は読書をしているそうですが、常時同じものしかなく、自宅から持っていくことも禁止されているため、飽きています。定期的に他の児童館や図書館との本の交換など子どもが楽しめるような対策があれば良いです。

■各家庭にあるもので寄付できるものもあるがと思うので、足りないものなどあればできる限りしていきたいので何か募っていただければうれしいです。

＜民間児童育成会に関するご意見・ご要望（自由記述）＞

○問 14 の自由意見記入欄には 112 名の方が記入された（「特になし」等は除く）。

○特に多かった「意見・要望の種類・分野」は下表の通りである。

意見・要望の種類・分野	該当数
指導員の待遇改善	27
保護者の負担軽減	22
民間児童育成会に対する感謝	21
民間児童育成会への支援強化	20
料金の減免	18
存続希望・公的施設との選択の自由	13
施設・設備等の改善	10
公的施設との格差解消	7
指導員の人員確保	4
延長保育・土日祝日の保育等	4

●上位 5 種類・分野の代表的な意見

「指導員の待遇改善」に関して

■時間が長く遅くなっても対応してもらえるため、長く利用しています。職員も信頼できるので安心しています。しかし、その分職員の負担により離職率も高いので、職員の給与増など待遇の改善を求めます。それにより、さらに安心して預かってもらうことが出来ると思います。

■指導員、父母の負担が現在のままでは大きいと感じる。指導員の待遇を改善しなければ指導員不足の解消にならず、その結果子ども達への影響が危惧される。また、運営に関して素人の父母が行うため、行政への書類手続き等をもっと簡単にして頂きたい。

■保育士さんの給与が安すぎるためか、毎年変わるし出産のために皆辞めてしまう。大変良い先生方なのにもったいない。産休・育休が取得できる体制にすべき。

■補助員さんに長く働いてほしい。そのために待遇改善を。父母の事務作業も軽減して欲しい。事務員さんをパートでもお願いできるような援助を。

■指導員の処遇改善をお願いします。

「保護者の負担軽減」に関して

■処遇改善などの申請が複雑すぎて、通っている子どもは続けたかったのに、役員が負担で退所してしまう家庭がありました。 ただでさえ子ども達が減ってきて運営が厳しくなってきているのに、とても残念です。

■民間なので仕方ないと思っていますが、保護者がやるべき事が多く負担になっています。仕事をしているから預けているのに、夜に集会とか。家庭と仕事だけで精一杯なのに学童の保護者の強制的な参加の雰囲気には疑問を感じています。 せっかく子どもは環境に慣れているので、辞めさせたくはないのですが、保護者である私が続かないと悩む次第です。

■少子化で、多様化した世の中だからこそ、他の学年と交流したり、親がさせてやれない体験をしてくれたり、卒所してからも親以外の相談相手が指導員だったりすることを考えると非常に働く親のいる子どもには、良い環境であると考えます。ただ、就労しながらの申請の書類作成、給料など経営に関わる業務は、畑違いの作業となり大変な作業です。更に子どもと過ごす時間が割かれます。なんのための学童保育かわからなくなります。

■ミニ児童会館のあまりの混雑による不十分な子どもの見守りぶりから、対応の手厚い民間児童育成会を利用しているが、経営に関する父母負担が非常に重いことが大きな問題である。しかもその多くが、補助金を得るための市への書類提出作業であり、これが本業にも影響が出るほどになっているため、民間児童育成会に預けるメリットがかなり相殺されている。

「民間児童育成会に対する感謝」に関して

■自由度の高い今の児童クラブに入会しました。今は毎日のびのびと楽しく過ごせているようで、とても良かったと思っています。指導員の先生がとても熱心な方で、様々なイベントを企画してくれたり、毎日のおやつも手作りのものを提供して下さったりと、子ども達のことを常に考えてくださり、本当に感謝しています。

■現在利用している児童クラブは、大変満足している。指導員の人達もとても話しやすく、色々と相談がしやすい。何よりも子どもが楽しいと言っているのが一番だと思います。

■3 年生くらいで児童館に行かなくなる子が多いと聞きますが、6 年間しっかり見守っていただける学童保育はとても心強く思っています。家庭的で柔軟に対応して貰えるので安心して働くことができています。

■保育料、運営など大変ですが、民間の学童で子育てできて幸せです。これからも、続いていくよう努力していきたいです。

「民間児童育成会への支援強化」に関して

■民間の児童クラブは人数が少ない分、スタッフは 1 人 1 人を細やかに見てくれていて大変ありがたいです。しかし、児童会館やミニ児童会館に比べて利用料が高く、入りたくても入れない家庭もあるし、現在利用しているものも負担が大きいです。また、スタッフの給料も仕事内容に見合わず低賃金です。もっと市の助成金を増やしてスタッフが安定して働ける、利用者が利用しやすい価格設定にしてほしいです。民間児童クラブをこれ以上減らすことの無いようにしてください。

■会費が高い以外は大変良い施設に通所している。多くの人がこのような施設を利用できるように助成が出ればいいと思う。幼保の完全無料化だけではなく学齢期の子どもにも均等に少しずつ補助が出ればよいと思う。

■運営面やスタッフ体制の安定化に対し、十分な補助を維持して欲しい。 運営に対し厳しく監査するのであれば、事務作業の専門員雇用の補助を検討していただきたい。

■税金の清く正しい使い道として子ども達のための施設、行事に税金を使ってください。放課後児童クラブだけではなく学校、その他施設にでもとにかく税金をしっかりと正しい使い方で使ってほしい。

「料金の減免」に関して

■民間のクラブ利用者に対する利用料助成、もしくはクラブ運営に対する助成を願います。現状の会費について、クラブの運営を考えると仕方のない額かと思いますが、兄弟 2 人で通うことになるので、家庭の支出も大変です。

■ひとり親家庭なので、現在は助成があります。しかし、来年度より対象外になってしまいます。上の子もいるので、出費が大きく負担が多いため退会しないとなりません。物価も上がっているので、収入額の見直しもしくはひとり親家庭には無条件で助成対象にして欲しいです。

■週 5 日利用していた時(1 年時は）12,000 円/月でも適正だと思ったが、今は週 3 日くらいしか利用していないので、高いと思う。補助金を増やすことができれば登録（予約）日数に合わせた保育料にできると思うので、保育園だけではなく、学童の補助も増やしてほしいです。

■親と子どもが安心して預けられ、行く事ができるのは学童だが、保育料の面や係活動などで更に負担がかかるのはいかがなものかとも思う。 学校とミニ児童会館と民間児童育成会とで子どものための連携、情報の共有、助け合いを取れるともっと安心安全に子どもが過ごせる環境になるのではないか。